

茨城県教育財団文化財調査報告第355集

# 鹿島台遺跡 保土通遺跡

都市計画道路平野杉本線道路整備  
事業地内埋蔵文化財調査報告書

平成 24 年 3 月

茨城県常陸大宮土木事務所  
財団法人茨城県教育財団



茨城県教育財団文化財調査報告第355集

か しま だい 遺 跡  
ほ ど とおり 遺 跡  
鹿 島 台 遺 跡  
保 土 通 遺 跡

都市計画道路平野杉本線道路整備  
事業地内埋蔵文化財調査報告書

平成 24 年 3 月

茨城県常陸大宮土木事務所  
財団法人茨城県教育財団



## 序

茨城県では、県土の均衡ある発展を念頭におきながら地域の特性を生かした振興を図るために、一般国道や主要地方道などの広域的なネットワークの整備を進めています。

その一環として、茨城県常陸大宮土木事務所は、那珂市瓜連地区において、都市計画道路平野杉本線道路整備事業を計画しました。しかしながら、その事業予定地内には埋蔵文化財包蔵地である鹿島台遺跡、保土通遺跡が所在し、記録保存の措置を講じる必要があるため、当財団が茨城県常陸大宮土木事務所から埋蔵文化財発掘調査事業の委託を受け、平成22年7月から12月までの6か月間にわたりこれを実施しました。

本書は、鹿島台遺跡と保土通遺跡の調査成果を収録したもので、学術的な研究資料としてはもとより、郷土の歴史に対する理解を深め、教育・文化の向上の一助として御活用いただければ幸いです。

最後になりますが、発掘調査から報告書の刊行に至るまで、委託者であります茨城県常陸大宮土木事務所から多大な御協力を賜りましたことに対し、厚く御礼申し上げますとともに、茨城県教育委員会、那珂市教育委員会をはじめ、関係各位からいただいた御指導、御協力に対し、深く感謝申し上げます。

平成24年3月

財団法人茨城県教育財団

理事長 鈴木 欣一



# 例 言

- 1 本書は、茨城県常陸大宮土木事務所の委託により、財団法人茨城県教育財団が平成 22 年度に発掘調査を実施した茨城県那珂市瓜連 866 - 1 番地ほかに所在する鹿島台遺跡、那珂市瓜連 811 - 3 番地ほかに所在する保土通遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 両遺跡の発掘調査期間及び整理期間は以下のとおりである。  
調査 平成 22 年 7 月 1 日～ 12 月 31 日  
整理 平成 23 年 7 月 1 日～ 12 月 31 日
- 3 両遺跡の発掘調査は、調査課長池田晃一のもと、以下の者が担当した。  
首席調査員兼班長 仲村浩一郎 平成 22 年 7 月 1 日～ 12 月 31 日  
主任調査員 齋藤 貴史 平成 22 年 7 月 1 日～ 12 月 31 日  
主任調査員 長津 盛男 平成 22 年 10 月 1 日～ 12 月 31 日  
調査員 宮崎 剛 平成 22 年 7 月 1 日～ 9 月 30 日
- 4 整理及び本書の執筆・編集は、整理課長原信田正夫のもと、調査員宮崎 剛が担当した。
- 5 本書の作成にあたり、窯道具については、茨城県工業技術センター窯業指導所工芸技術部門主任久野亘央氏ほかにご指導いただいた。

# 凡 例

1 当遺跡の地区設定は、日本平面直角座標第 IX 系座標に準拠し、 $X = + 54,980 \text{ m}$ 、 $Y = + 55,760 \text{ m}$ の交点を基準点 (A 1 a1) とした。なお、この原点は、世界測地系による基準点である。

この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北各々 40 m 四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々 10 等分し、4 m 四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へ A, B, C…、西から東へ 1, 2, 3…とし、「A 1 区」「B 2 区」のように呼称した。さらに小調査区は、北から南へ a, b, c…j, 西から東へ 1, 2, 3, …0 と小文字を付し、名称は、大調査区の名称を冠して「A 1 a1 区」、「B 2 b2 区」のように呼称した。

2 実測図・一覧表・遺物観察表等で使用した記号は次のとおりである。





遺構 P - ピット PG - ピット群 SA - 柵跡 SB - 掘立柱建物跡 SD - 溝跡 SE - 井戸跡  
SF - 道路跡 SH - 竪穴遺構 SI - 竪穴住居跡 SK - 土坑 SN - 粘土採掘坑 SY - 窯跡  
遺物 DP - 土製品 M - 金属製品 Q - 石器・石製品 TP - 拓本記録土器  
土層 K - 攪乱

3 遺構・遺物実測図の作成方法については、次のとおりである。

(1) 遺構全体図は 400 分の 1、各遺構の実測図は原則として 60 分の 1 の縮尺で掲載した。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(2) 遺物実測図は、原則として 3 分の 1 の縮尺で掲載した。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(3) 遺構・遺物実測図中の表示は、次のとおりである。

|   |               |   |       |   |        |   |      |         |     |
|---|---------------|---|-------|---|--------|---|------|---------|-----|
|  | 焼土・赤彩・施釉      |  | 炉・火床面 |   |        |   |      |         |     |
|  | 竈部材・粘土範囲・黒色処理 |  | 煤     |   |        |   |      |         |     |
| ●   | 土器            | ○   | 土製品   | □ | 石器・石製品 | △ | 金属製品 | — — — — | 硬化面 |

4 土層観察と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社)を使用した。また、土層解説中の含有物については、各々総量を記述した。

5 遺構一覧表・遺物観察表の表記は、次のとおりである。

(1) 現存値は ( ) を、推定値は [ ] を付して示した。計測値の単位は m, cm, kg, g で示した。

(2) 遺物観察表の備考の欄は、残存率、写真図版番号及びその他必要と思われる事項を記した。

(3) 遺物番号は通し番号とし、本文、挿図、観察表、写真図版に記した番号と同一とした。

6 竪穴住居跡の「主軸」は、炉・竈を通る軸線とし、主軸方向は、その他の遺構の長軸(径)方向と共に、座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した(例 N - 10° - E)。



# 目 次

序

例言

凡例

目次

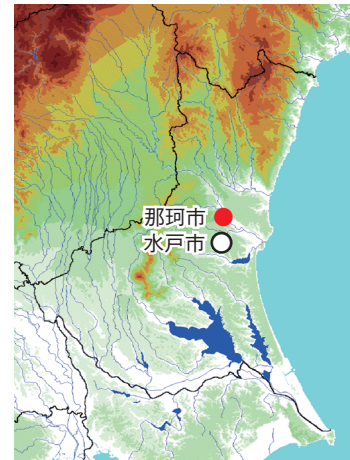
|                      |    |
|----------------------|----|
| 鹿島台遺跡・保土通遺跡の概要 ..... | 1  |
| 第1章 調査経緯 .....       | 5  |
| 第1節 調査に至る経緯 .....    | 5  |
| 第2節 調査経過 .....       | 6  |
| 第2章 位置と環境 .....      | 7  |
| 第1節 地理的環境 .....      | 7  |
| 第2節 歴史的環境 .....      | 7  |
| 第3章 鹿島台遺跡 .....      | 13 |
| 第1節 調査の概要 .....      | 13 |
| 第2節 基本層序 .....       | 13 |
| 第3節 遺構と遺物 .....      | 14 |
| 1 古墳時代の遺構と遺物 .....   | 14 |
| (1) 竪穴住居跡 .....      | 14 |
| (2) 溝跡 .....         | 17 |
| 2 奈良時代の遺構と遺物 .....   | 19 |
| (1) 竪穴住居跡 .....      | 19 |
| (2) 掘立柱建物跡 .....     | 32 |
| 3 平安時代の遺構と遺物 .....   | 34 |
| (1) 竪穴住居跡 .....      | 34 |
| (2) 竪穴遺構 .....       | 43 |
| (3) 粘土採掘坑 .....      | 44 |
| (4) 土坑 .....         | 47 |
| 4 その他の遺構と遺物 .....    | 54 |
| (1) 掘立柱建物跡 .....     | 54 |
| (2) 井戸跡 .....        | 56 |
| (3) 溝跡 .....         | 57 |
| (4) 土坑 .....         | 58 |
| (5) ピット群 .....       | 69 |
| (6) 遺構外出土遺物 .....    | 72 |
| 第4節 まとめ .....        | 73 |

|                    |              |
|--------------------|--------------|
| 第4章 保土通遺跡 .....    | 79           |
| 第1節 調査の概要 .....    | 79           |
| 第2節 基本層序 .....     | 79           |
| 第3節 遺構と遺物 .....    | 80           |
| 1 古墳時代の遺構と遺物 ..... | 80           |
| (1) 竪穴住居跡 .....    | 80           |
| 2 近世の遺構と遺物 .....   | 84           |
| (1) 窯関連遺構 .....    | 84           |
| ア 窯跡 .....         | 84           |
| イ 掘立柱建物跡 .....     | 90           |
| ウ 柵跡 .....         | 93           |
| エ 竪穴遺構 .....       | 93           |
| オ 粘土採掘坑 .....      | 94           |
| カ 土坑 .....         | 97           |
| (2) 道路跡 .....      | 97           |
| (3) 溝跡 .....       | 99           |
| 3 その他の遺構と遺物 .....  | 100          |
| (1) 掘立柱建物跡 .....   | 100          |
| (2) 井戸跡 .....      | 102          |
| (3) 土坑 .....       | 102          |
| (4) 溝跡 .....       | 117          |
| (5) ピット群 .....     | 121          |
| (6) 遺構外出土遺物 .....  | 125          |
| 第4節 まとめ .....      | 128          |
| 写真図版 .....         | PL 1 ~ PL 20 |
| 抄 録                |              |
| 付 図                |              |

# かしまだい ほ ど とおり 鹿島台遺跡・保土通遺跡の概要

## 遺跡の位置と調査の目的

鹿島台遺跡と保土通遺跡は、<sup>なか</sup>那珂市の北部に位置し、<sup>くじがわ</sup>久慈川右岸の那珂台地上に立地しています。今回の発掘調査は、都市計画道路平野杉本線道路整備事業の道路予定地内に両遺跡があることから、遺跡の内容を図や写真に記録するため、茨城県教育財団が平成 22 年度に実施しました。



## 鹿島台遺跡

### 調査の内容

当遺跡は、久慈川と春日川に挟まれた標高 36 ~ 39 m の台地の上にあります。東西約 1.5km、南北約 0.4km と広大な遺跡で、本格的な調査は今回が初めてです。遺跡の北西部の 1,720m<sup>2</sup>について発掘調査しました。

この遺跡からは、古墳時代から平安時代までの竪穴住居跡 12 軒が見つかりました。土師器の高坏や壺、お米を蒸すための甑や、須恵器の高台付坏、蓋、甕などが見つかりました。



南東上空から見た鹿島台遺跡・保土通遺跡

## 調査の成果

調査の結果、<sup>しゅうらく</sup>集落は古墳時代中期から平安時代まで継続して営まれ、春日川へ下る<sup>だいちえんべんぶ</sup>台地縁辺部まで広がっていたことが確認できました。調査区は遺跡の一部のため、集落全体の様子はわかりませんが、集落の中心はおそらく北東側の台地上に広がっていたものと考えられます。この遺跡の<sup>かまど</sup>竈穴住居の竈は、良質な粘土で造られており、調査区南西部の大きな<sup>ねんどさいくつこう</sup>粘土採掘坑で採取された粘土が使われたと考えられます。

また、この粘土採掘坑からは、右の<sup>たかつきこう</sup>「高月郷」と記された平安時代の<sup>ぼくしょどき</sup>坏（墨書土器）が出土しています。高月郷は、当遺跡から北東約18kmにある現在の<sup>みずき</sup>日立市水木周辺にあたります。当遺跡のある地域は<sup>しどりこう</sup>倭文郷で、布を産出していました。高月郷のあった水木周辺は古代から海産物が豊富であったことから、布と海産物の交換が行われていたのかもしれませんが、離れた地域との交流を知る貴重な遺物です。



2か所の炉と貯蔵穴を持つ古墳時代の住居



墨書土器が出土した粘土採掘坑



「高月郷」と記された土師器の坏

## 保土通遺跡

### 調査の内容

保土通遺跡は、春日川右岸の標高約 38 m ほどの那珂台地上にあり、北と南をその支流に挟まれています。今回の調査で、5,607㎡の範囲を発掘調査しました。この調査区の中央部では、古墳時代の住居跡 1 軒が見つかりました。また、東部では窯跡と、それに関わる掘立柱建物跡 2 棟や竪穴遺構 1 基、粘土を貼った土坑などが確認できました。

第 1 号住居跡からは土師器の坏、甕、甑や手捏土器、須恵器の甕や甗が出土しました。また、窯跡とその関連遺構からは、7 種類の窯道具（トチン、かまどうぐ 粉もみ団子、だんご サヤ鉢、ぼち わ 輪ドチ、ぼうじょうねん どひも とめぐ 留具、くい 杭）が見つかりました。

### 調査の成果

調査区の中央部にある古墳時代後期の竪穴住居跡からは、須恵器の甗が見つかりました。容器の真ん中に穴が開いており、この穴に竹管などを通して、お酒などを注いだと考えられています。この住居跡から見つかったその他の土器は、時代が少し新しいため、この甗は何代かにわたり、受け継がれて使用されていたものと思われます。この時代の住居に住む人々にとって、この甗は貴重なものであったと考えられます。

また、調査区の東部では、窯跡とその関連遺構、かんれん い ころ 色々な窯道具が見つかりました。



古墳時代後期の住居



第 1 号住居から出土した甗

## 窯関連遺構と窯道具

窯自体は削平されており、<sup>せつちめん</sup>接地面と<sup>しんぼく</sup>真北を向く<sup>かどう</sup>火道、<sup>しょうど</sup>焼土しか確認できませんでしたが、窯に関わる一連の遺構が確認できました。ここからは7種類の窯道具が出土しています。トチンは、<sup>よう</sup>窯床の砂や土と製品が直接接触れることを防ぐ台です。<sup>しょう</sup>粉団子も同様に高さを出すために使います。強度を増し、<sup>もみがら</sup>陶器とくっつきづらくするために、<sup>もみがら</sup>粉殻を混ぜてあります。サヤ鉢は陶器を焼く時に灰がかからないようにする容器です。輪ドチは小皿のような陶器を重ね焼きする窯道具で、リング状をしています。棒状粘土紐は、<sup>かくざら</sup>角皿のような長方形の器を焼く際に使用し、<sup>えん</sup>留具は円筒状の陶器が転がるのを防ぎます。杭は棚板を支えたり高さを出すため、<sup>さしょう</sup>窯の砂床に刺して使用します。これらの窯道具を観察したところ、何度も繰り返し使用した<sup>こんせき</sup>痕跡が見られないことから、当遺跡の窯は、<sup>そうぎょう</sup>短期間の操業で<sup>はいき</sup>廃棄されたことがわかりました。

9代水戸藩主の徳川齊昭は、陶器生産による殖産興業を目指し、陶土のある候補地を探していたことから、当遺跡の窯跡も、候補地の一つであったのかもしれませんが。



窯関連遺構



トチン



トチン



サヤ鉢



粉団子



輪ドチ



棒状粘土紐



留具



杭

窯跡とその関連遺構から出土した窯道具

# 第1章 調査経緯

## 第1節 調査に至る経緯

茨城県常陸大宮土木事務所は、那珂市瓜連地区において、都市計画道路平野杉本線の道路整備を進めている。

平成20年6月2日、茨城県常陸大宮土木事務所長は、茨城県教育委員会教育長に対して、都市計画道路平野杉本線道路整備事業地内における埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて照会した。これを受けて茨城県教育委員会は、平成20年7月8日に現地踏査を実施した。平成21年2月24・26・27日に保土通遺跡、同年5月21日に鹿島台遺跡の試掘調査を実施し、両遺跡の所在を確認した。

平成21年3月30日、茨城県教育委員会教育長は茨城県常陸大宮土木事務所長あてに、事業地内に保土通遺跡が存在すること及びその取扱いについて別途協議が必要であると回答した。また、同年10月5日、鹿島台遺跡についても同様に別途協議が必要であることを回答した。

平成21年11月20日、茨城県常陸大宮土木事務所長は、茨城県教育委員会教育長に対して、文化財保護法第94条の規定に基づき、土木工事等のための埋蔵文化財包蔵地の発掘について通知した。茨城県教育委員会教育長は、計画変更による現状保存が困難であることから、記録保存のための発掘調査が必要であると決定し、平成22年2月10日、茨城県常陸大宮土木事務所長あてに、工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成22年2月15日、茨城県常陸大宮土木事務所長は、茨城県教育委員会教育長に対して、都市計画道路平野杉本線道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施についての協議書を提出した。

平成22年3月9日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県常陸大宮土木事務所長あてに、鹿島台遺跡、保土通遺跡について、発掘調査の範囲及び面積等について回答し、あわせて調査機関として、財団法人茨城県教育財団を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は、茨城県常陸大宮土木事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、平成22年7月1日から12月31日まで発掘調査を実施した。

## 第2節 調査経過

鹿島台遺跡，保土通遺跡の調査は，平成22年7月1日から12月31日までの6か月間にわたって実施した。以下，その概要を表で記載する。

### (1) 鹿島台遺跡

| 工程 \ 期間              | 7月 | 8月 | 9月 |
|----------------------|----|----|----|
| 調査準備<br>表土除去<br>遺構確認 | ■  |    |    |
| 遺構調査                 |    | ■  | ■  |
| 遺物洗浄<br>写真整理         |    | ■  | ■  |
| 補足調査<br>撤収           |    |    | ■  |

### (1) 保土通遺跡

| 工程 \ 期間              | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------------------|----|----|----|-----|-----|-----|
| 調査準備<br>表土除去<br>遺構確認 |    | ■  |    |     | ■   |     |
| 遺構調査                 |    |    | ■  | ■   | ■   | ■   |
| 遺物洗浄<br>写真整理         |    |    |    | ■   | ■   | ■   |
| 補足調査<br>撤収           |    |    |    |     |     | ■   |



## 第2章 位置と環境

### 第1節 地理的環境

鹿島台遺跡は、茨城県那珂市瓜連 866 - 1 番地ほかに所在し、保土通遺跡は、那珂市瓜連 811 - 3 番地ほかに所在している。

那珂市は、茨城県の北部に位置しており、平成 15 年に瓜連町と那珂町の合併により誕生した市である。両遺跡が所在する瓜連は、那珂市北部の那珂台地北縁に位置する。東部を久慈川と那珂川に挟まれた那珂台地上に所在している。那珂市瓜連付近の地形は、西に標高 90m 前後の丘陵地、中央に那珂台地、東に久慈川に沿って広がる沖積低地の三つに区分できる。

那珂台地は、下層には茨城粘土層と見和層の砂層や砂礫層が堆積し、表層には関東ローム層がほぼ水平に堆積し、下位の段丘礫層と接している部分は粘土化している。関東ローム層の厚さは 2～3m で、下部より 1m 前後のところには 15～20cm の鹿沼軽石層が挟まれている<sup>1)</sup>。

鹿島台遺跡は、瓜連地区の北東部、久慈川と春日川に挟まれた標高 36～39 m の台地上に位置しており、東西約 1.5km、南北約 0.4km の広範囲にわたる遺跡である。今回の調査区はその北西部に位置する。保土通遺跡は、春日川右岸の標高 36～39 m の台地上に位置し、北と南を春日川の支流が流れている。

### 第2節 歴史的環境

瓜連地区周辺には古くから人々の生活の痕跡を見出すことができ、特に旧石器時代から奈良・平安時代にかけての遺跡が久慈川に面した台地縁辺部に多く所在している。ここでは、鹿島台・保土通両遺跡周辺の遺跡を時代ごとに概観していく。特に鹿島台遺跡〈①〉は、旧石器時代から近世まで連続と続く遺跡である。

旧石器時代の遺跡としては、久慈川右岸の額田大宮遺跡、森戸遺跡、西組遺跡〈9〉、北坪遺跡〈15〉、中丸遺跡〈30〉、八石遺跡〈32〉や飛内遺跡〈41〉がある。額田大宮遺跡からは 1977 年の発掘調査で旧石器時代終末期の細石刃、彫刻刀、スクレイパー、円ノミ形石器などの良好な資料が検出されている。また森戸遺跡でも、1987～1988 年の当財団の発掘調査で、チョッパー、削器、搔器、石核、剥片等が出土している<sup>1)</sup>。北坪遺跡では頁岩の石刀核、西組遺跡からは安山岩製の尖頭器が出土している<sup>2)</sup>。

縄文時代の遺跡としては、早期の田戸下層式土器や子母口式土器が出土した大塚遺跡、鹿島台遺跡や石井戸遺跡、中期では加曾利 E 式や大木 8a 式、大木 8b 式、堀ノ内式土器が出土している下大賀遺跡〈50〉、鹿島台遺跡のすぐ南に位置し、加曾利 E 式や堀ノ内式土器が出土している谷津向遺跡〈34〉がある<sup>3)</sup>。鹿島台遺跡、保土通遺跡から東南に 1 km ほどの野田遺跡〈43〉、西方 1km ほどにある権現下遺跡〈42〉、西室家遺跡〈44〉、辻後遺跡〈46〉でも縄文土器が採集されている<sup>4)</sup>。那珂市瓜連で発見された縄文土器の大半は、南関東の子母口式に比定されるもので、大塚遺跡から出土した縄文土器が、瓜連地区では最古のものとしてされている<sup>5)</sup>。縄文時代中期・後期の土器は、JR 水郡線の静駅付近の畑やその西側に広がる上宿地区から出土しており、この地方が数千年前から人々の生活の場として拓けていたことがうかがえる<sup>6)</sup>。

弥生時代の遺跡は、東中根式土器や十王台式土器と呼ばれる後期の土器が出土した瓜連遺跡〈48〉、下大賀遺跡、大塚遺跡等があり、台地縁辺部に広がっている。弥生土器が茨城県にもたらされたのは弥生時代中期前

半とされ、瓜連地区出土の弥生時代後期の東中根式、十王台式土器などから推測すると、瓜連地区は紀元前3世紀後半頃より稲作文化の影響を受け入れ、久慈川に面した瓜連、下大賀、大塚、鹿島地区の谷津田を開拓して水稲耕作が進められたと考えられる<sup>7)</sup>。

古墳時代の遺跡としては、下大賀遺跡や十林寺古墳群等がある。以前は上宿古墳群、上宿遺跡、二ツ堂遺跡、新宿古墳群、静駅付近遺跡に登録されていたが、2000年の分布調査によりこれらの遺跡は下大賀遺跡と同一遺跡となった<sup>8)</sup>。近隣の同時代の遺跡として、久慈川右岸に小谷場遺跡〈11〉、中組遺跡〈13〉、おはぐろ塚古墳〈19〉、白河内松原遺跡〈21〉や白河内台坪遺跡〈24〉、那珂川左岸台地上に権現山横穴群〈20〉、富士山古墳群、白石遺跡、西木倉古墳群、津田西山古墳群などが所在している。那珂市に古墳文化が最初に伝来したのは、瓜連、下大賀、鹿島付近であったと思われ、この地域からは初期の五領式土器が出土している<sup>9)</sup>。古墳時代になると、鹿島・大塚・十林寺・静地区などの台地縁辺部に20基近くの古墳が築造され、その周辺に同時期の集落遺跡が認められている。特に静神社の東方約700mの下大賀遺跡内にある新宿・上宿古墳群は、「倭文」すなわち機織りの神を祭る静神社を奉祭した人々の墳墓とされ、この人々の住む集落が『常陸国風土記』久慈郡の条に「郡西□里静織里」と記された静織の里であろうと考えられている<sup>10)</sup>。風土記によれば、静の地名は静織、倭文から出たもので、綾布を常陸で初めて織りだしたのでこう名付けられたと説明している。古代に倭文部という一族が集団で盛んに倭文布を生産しており、一族は建葉槌命を祖神としてこの地に奉斎したのが静神社である。那珂市瓜連の古墳のうち、新宿古墳や鹿島台古墳は半地下式の石室を有する古墳であるが、この他にも地下に営まれた石室をもつ古墳が発見されている。鹿島台古墳に隣接した畑中から方頭の太刀が出土しているが、その出土状況から、地下式古墳の出土品と考えられている<sup>11)</sup>。那珂市や常陸太田市内には、権現山横穴等の多くの横穴墓が確認されているが、横穴墓を持たない瓜連付近の人々は、8世紀には地下式古墳を造営していたものと推定される。

奈良・平安時代の遺跡としては、権現下遺跡や、保土通遺跡から1kmほど南に位置する十文字遺跡〈40〉がある。古墳時代から奈良時代にかけて、国家体制が確立し、従来の豪族は大和朝廷の政治体制の中に次第に組み入れられた。『常陸国風土記』の中にも随所にその形成の過程が述べられており、水戸付近にも河内駅家をはじめ郡衙や郡寺なども置かれて、都市的な機構も整備されたことがうかがわれる。律令期になると、瓜連地区は久慈郡に編入され、『和名類聚抄』に記載されている久慈郡の倭文郷に属していたと推測される<sup>12)</sup>。久慈郡十九郷一余戸の位置や範囲については、地名、地形などを基に研究者によって考証がなされてきた。『新編常陸国誌』の「倭文郷 之登利」には、「風土記ニヨリテ地図ヲ按ズルニ、コノ郷東ハ木前郷ニ接シ、西南並ニ那珂郡ノ界ニ至リ、北ハ真野郷ニ隣リテ静、古徳、瓜連、戸崎、下大賀、上村田、下村田、石沢、上岩瀬、下岩瀬ノ十村、九千石バカリノ地、皆古ノ倭文郷ナリ」とあり、「木前郷 支左岐」には、「倭名鈔云、木前、按ズルニ、今ノ那珂郡南酒出、北酒出ノ両村共ニ木崎ト云フ地アリ、コノ地古ハ久慈郡ニ属シタレバ、古ノ木前郷タルコト明ナリ、木前ハ城崎ナリ、凡古俗ノ言ニ、地ノ一區ヲナシタルモノコレヲ城ト云フ、其崎ヲバコレヲ城崎ト云ヘバナリ、地図ニヨリテ考フルニ、コノ郷東ハ神崎郷ニ隣リ、西ハ倭文郷ニ接シ、南ハ那珂郡ノ界ニ至リ、北ハ久慈川ニ涯リテ、南北酒出、門部、磯崎、中岡、中里、豊喰、飯田、福田、鴻巣ノ十村、七千七百石ノ地、皆古ノ木前郷ナリ」となっている<sup>13)</sup>。これによれば両遺跡が位置する瓜連地区は、「倭文郷」全体と「木前郷」の一部とにまたがっていることになる。瓜連町教育委員会によって、2000年に発掘調査が行われた権現下遺跡では、古墳時代から平安時代後期頃までの29軒の住居跡が確認されている<sup>15)</sup>。これらの調査結果からもわかるように、平安時代のこの地域にはいくつかの集落が存在していた。那珂市の鹿島台、瓜連、古徳、静地区など谷津や台地下の低湿地では、各所に7～8世紀の条里制水田が見られるようになり、土

師器や須恵器が多く採集されている。

南北朝時代に入ると、常陸の南朝方拠点として、楠木正成の代官として遣わされた楠木正家<sup>うりづらじょう</sup>が瓜連城〈49〉を築き、北朝方の将、佐竹の軍勢と久慈川を挟んで対峙した。瓜連城は常福寺境内を本丸とし、旧町域をほぼ含む東西南北にそれぞれ700 mほどで、各所に深い堀と土塁を残している。瓜連城落城の後、草地山蓮華院常福寺二世了誉上人によってこの地に常福寺が再建され、佐竹氏・江戸氏の保護を受けて発展した。さらに江戸期には徳川家康から百石の寺領が与えられ、早くから壇林として格付けされ、寛永十二（1635）年には、当寺は常陸国の浄土宗の総本山となり、近隣の人々より厚い信仰を受け現在に至っている<sup>16)</sup>。

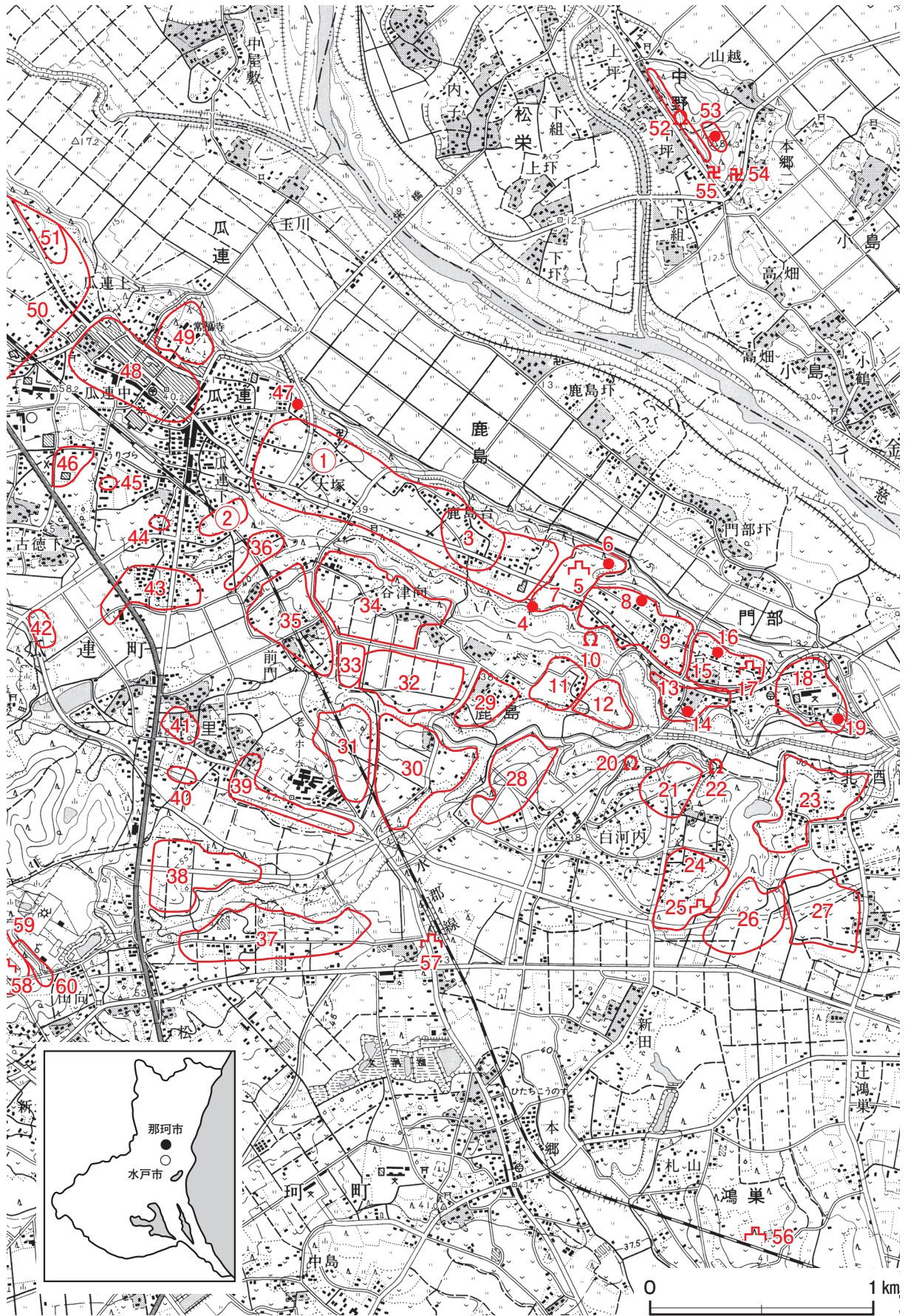
このように瓜連地区周辺は旧石器時代から近世までの遺跡が周知されているが、台地縁辺部に多く、中央部では減少する傾向を示している。

#### 註

- 1) 小松崎和浩・栗田功「久保山遺跡 主要地方道那珂湊那珂線道路改良事業地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第274集 2007年3月
- 2) 那珂町史編さん委員会『那珂町の考古学』那珂町 1990年1月
- 3) 千種重樹『山王原遺跡 県営那珂北部畑地帯総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』那珂町教育委員会 2000年3月
- 4) 加藤雅美『十林寺古墳第1号墳・下大賀遺跡調査報告書市道153号線・929号線改良工事に伴う埋蔵文化財の調査』那珂市教育委員会・常総考古学研究所 2007年2月
- 5) 瓜連町史編さん委員会『瓜連町史』1985年7月
- 6) 註5に同じ
- 7) 註5に同じ
- 8) 註4に同じ
- 9) 註5に同じ
- 10) 加藤雅美『瓜連城跡地内埋蔵文化財発掘調査報告書 No1～No4地点』瓜連町教育委員会 1996年3月
- 11) 註5に同じ
- 12) 註5に同じ
- 13) 中山信名著・栗田寛補訂『新編常陸国誌』宮崎報恩会 1969年
- 14) 註13に同じ
- 15) 茨城県那珂郡瓜連町教育委員会『権現下遺跡調査報告書 瓜連町ふれあいの杜公園用地内遺跡調査報告書』2002年3月
- 16) 註10に同じ

#### 参考文献

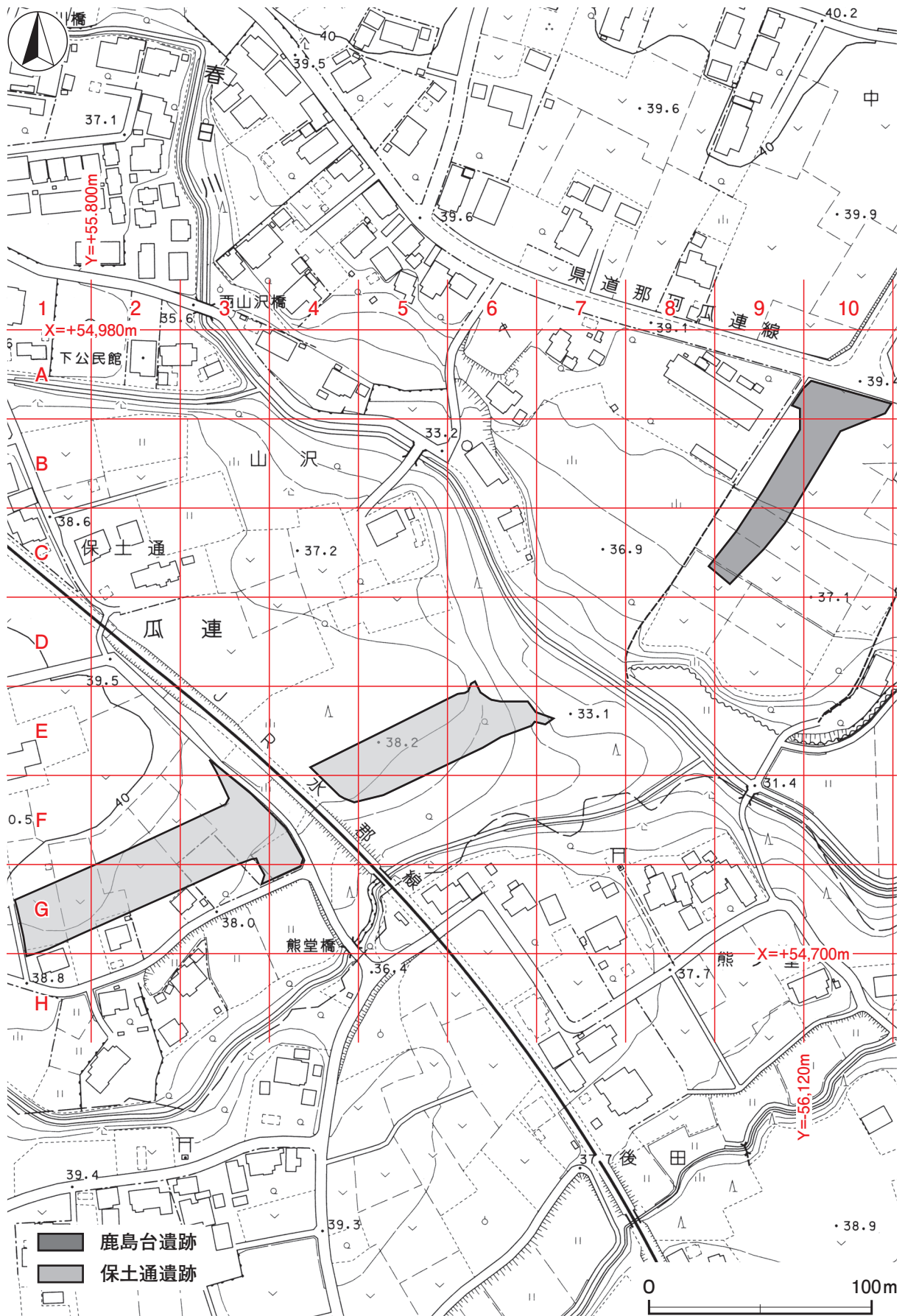
- ・茨城地方史研究会『茨城の歴史 県北編』茨城新聞社 2002年5月
- ・茨城県教育庁文化課『茨城県遺跡地図 地図編』茨城県教育委員会 2001年3月



第1図 鹿島台遺跡・保土通遺跡周辺遺跡分布図 (国土地理院 25,000分の1「石塚」「常陸大宮」)

表1 鹿島台・保土通遺跡周辺遺跡一覧表

| 番号 | 遺跡名      | 時代  |    |    |    |       |    |    | 番号 | 遺跡名     | 時代  |    |    |    |       |    |    |
|----|----------|-----|----|----|----|-------|----|----|----|---------|-----|----|----|----|-------|----|----|
|    |          | 旧石器 | 縄文 | 弥生 | 古墳 | 奈良・平安 | 中世 | 近世 |    |         | 旧石器 | 縄文 | 弥生 | 古墳 | 奈良・平安 | 中世 | 近世 |
| ①  | 鹿島台遺跡    | ○   | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  | 29 | 鹿島幅遺跡   |     |    |    | ○  | ○     |    |    |
| ②  | 保土通遺跡    |     |    |    | ○  |       |    | ○  | 30 | 中丸遺跡    | ○   |    |    | ○  | ○     |    |    |
| 3  | 鹿島台古墳群   |     |    |    | ○  |       |    |    | 31 | 孫目遺跡    |     | ○  |    | ○  | ○     | ○  |    |
| 4  | 塚の根古墳群   |     |    |    | ○  |       |    |    | 32 | 八石遺跡    | ○   | ○  |    | ○  | ○     |    |    |
| 5  | 要害城跡     |     |    |    |    |       | ○  |    | 33 | 榎戸遺跡    |     |    |    |    | ○     |    |    |
| 6  | 要害古墳     |     |    |    | ○  |       |    |    | 34 | 谷津向遺跡   |     | ○  |    | ○  | ○     |    |    |
| 7  | 要害遺跡     |     | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  |    | 35 | 高後遺跡    |     | ○  |    | ○  | ○     | ○  |    |
| 8  | 稲荷様古墳    |     |    |    | ○  |       |    |    | 36 | 熊ノ堂遺跡   |     | ○  | ○  |    | ○     | ○  |    |
| 9  | 西組遺跡     | ○   | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  |    | 37 | 戸崎木戸遺跡  |     | ○  |    | ○  | ○     |    |    |
| 10 | 門部西組横穴墓群 |     |    |    | ○  |       |    |    | 38 | 戸崎井尻遺跡  |     |    |    | ○  | ○     |    |    |
| 11 | 小谷場遺跡    |     |    |    | ○  | ○     |    |    | 39 | 前谷津遺跡   |     | ○  |    |    | ○     | ○  |    |
| 12 | 小谷場館跡    |     |    |    |    |       | ○  |    | 40 | 十文字遺跡   |     |    |    |    | ○     |    |    |
| 13 | 中組遺跡     |     | ○  | ○  | ○  | ○     |    |    | 41 | 飛内遺跡    | ○   | ○  |    | ○  | ○     |    |    |
| 14 | 中組古墳     |     |    |    | ○  |       |    |    | 42 | 権現下遺跡   |     | ○  |    |    | ○     |    |    |
| 15 | 北坪遺跡     | ○   | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  |    | 43 | 野田遺跡    |     | ○  |    | ○  | ○     | ○  | ○  |
| 16 | 熊ノ堂遺跡    |     | ○  | ○  |    | ○     | ○  |    | 44 | 西室家遺跡   |     | ○  |    | ○  | ○     | ○  |    |
| 17 | 門部館跡     |     |    |    |    |       | ○  |    | 45 | 水戸海道遺跡  |     | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  |    |
| 18 | 東組遺跡     |     | ○  | ○  | ○  | ○     |    |    | 46 | 辻後遺跡    |     | ○  |    | ○  | ○     | ○  | ○  |
| 19 | おはぐろ塚古墳  |     |    |    | ○  |       |    |    | 47 | 大塚古墳    |     |    |    | ○  |       |    |    |
| 20 | 権現山横穴群   |     |    |    | ○  |       |    |    | 48 | 瓜連遺跡    |     | ○  | ○  | ○  |       | ○  | ○  |
| 21 | 白河内松原遺跡  |     | ○  | ○  | ○  | ○     |    |    | 49 | 瓜連城跡    |     |    |    |    |       | ○  |    |
| 22 | 白河内横穴墓群  |     |    |    | ○  |       |    |    | 50 | 下大賀遺跡   |     | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  | ○  |
| 23 | 宮の脇遺跡    |     | ○  |    | ○  | ○     | ○  |    | 51 | 十林寺古墳群  |     |    |    | ○  |       |    |    |
| 24 | 白河内台坪遺跡  |     | ○  | ○  | ○  | ○     |    |    | 52 | ばくち穴横穴群 |     |    |    | ○  |       |    |    |
| 25 | 白河内台坪館跡  |     |    |    |    |       | ○  |    | 53 | 東山古墳群   |     |    |    |    | ○     |    |    |
| 26 | 山王原遺跡    |     | ○  | ○  | ○  | ○     | ○  |    | 54 | 大角寺跡    |     |    |    |    |       | ○  |    |
| 27 | 宮の台遺跡    |     | ○  |    | ○  |       |    |    | 55 | 長慶寺跡    |     |    |    |    |       | ○  |    |
| 28 | 立花遺跡     |     |    | ○  | ○  | ○     |    |    | 56 | 稲荷山館跡   |     |    |    |    |       | ○  |    |



第2図 鹿島台遺跡・保土通遺跡調査区設定図（那珂市都市計画図2,500分の1）

# 第3章 鹿島台遺跡

## 第1節 調査の概要

当遺跡は、那珂市の北部に位置し、久慈川右岸の標高約40mほどの那珂台地上に立地している。調査面積は1,720㎡で、調査前の現況は畑地である。

調査の結果、竪穴住居跡12軒（古墳時代1・奈良時代5・平安時代6）、掘立柱建物跡2棟（奈良時代・時期不明）、竪穴遺構1基（平安時代）、粘土採掘坑2か所（平安時代）、土坑117基（平安時代11・時期不明106）、井戸跡2基（時期不明）、溝跡2条（古墳時代・時期不明）、ピット群3か所（時期不明）を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に12箱出土している。主な出土遺物は、土師器（坏・椀・高台付坏・高坏・壺・甕・甑）、須恵器（坏・高台付坏・蓋・鉢・甕・甗）、土製品（支脚・管状土錘）、石器（砥石）・石製品（双孔円板）、金属製品（釘・銭貨）などである。

## 第2節 基本層序

調査区北部の平坦面（A10h4区）にテストピットを設定し、調査面から2.0mまで掘り下げて基本層序の確認を行った（第3図）。土層は8層に分層でき、観察結果は以下のとおりである。

第1層は、にぶい褐色のソフトローム層である。粘性は強く、締まりは普通で、層厚は6～14cmである。

第2層は、明褐色のハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は30～50cmである。

第3層は、明褐色の鹿沼パミス層への漸移層である。鹿沼パミスを中量含み、粘性は強く締まりは普通で、層厚は4～20cmである。

第4層は、褐色の鹿沼パミス層である。粘性は強く、締まりは普通で、層厚は12～24cmである。

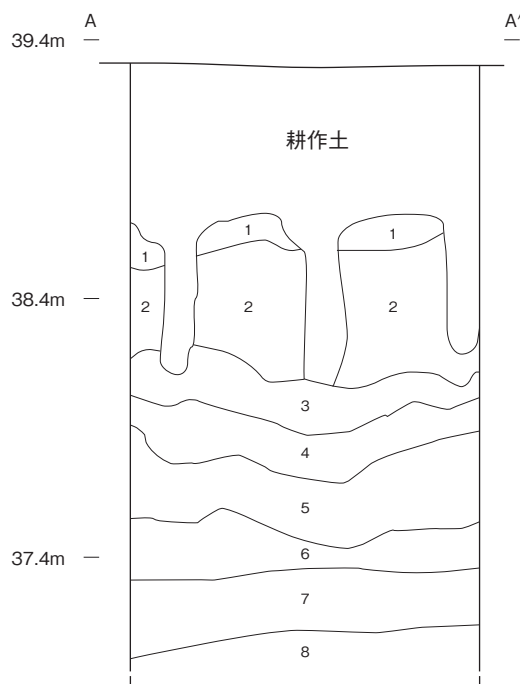
第5層は、褐色のハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は20～40cmである。

第6層は、褐色のハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は6～28cmである。

第7層は、明褐色のハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は20～30cmである。

第8層は、橙色の粘土層である。粘性・締まりともに強く、層厚は10cmまで確認したが、下層は未掘のため不明である。

なお、遺構は第1層の上面で確認できた。



第3図 基本土層図

## 第3節 遺構と遺物

### 1 古墳時代の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は、竪穴住居跡1軒、溝跡1条である。以下、それぞれの遺構の特徴と出土した遺物について記述する。

#### (1) 竪穴住居跡

##### 第4号住居跡（第4～7図）

**位置** 調査区北部のA10h2区、標高38mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第69号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸5.96m、短軸5.56mの方形で、主軸方向はN-10°-Wである。壁高は14～70cmで、ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦な貼床で、中央部まで踏み固められている。貼床は全体をほぼ平坦に掘り込み、ローム粒子や炭化粒子を含んだ第13層を埋土して構築されている。壁下には、南コーナーを除き壁溝が巡っている。

**炉** 2か所。炉1は北壁際に付設された地床炉である。規模は長径70cm、短径50cmの楕円形である。炉床部は床面を8～12cm掘りくぼめており、火を受けてわずかに赤変している。炉2は、中央部西側に付設された地床炉である。規模は長径130cm、短径47cmの楕円形であり、2か所の炉床部が認められる。土層から確認すると、これら2か所の炉床部に新旧関係はない。炉床部は床面を6～12cm掘りくぼめており、わずかに赤変している。炉1の炉床面は、炉2と比較して赤変の度合いが強いため、炉2よりも使用頻度が高く長期間使用されていたと考えられる。

##### 炉1土層解説

|          |                       |       |                  |
|----------|-----------------------|-------|------------------|
| 1 褐色     | ローム粒子中量、焼土ブロック・炭化粒子少量 | 4 明褐色 | ローム粒子中量、焼土ブロック少量 |
| 2 にぶい赤褐色 | 焼土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子少量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 |
| 3 にぶい褐色  | ローム粒子・炭化粒子中量          | 6 褐色  | ローム粒子中量、焼土粒子微量   |

##### 炉2土層解説

|       |                       |       |                     |
|-------|-----------------------|-------|---------------------|
| 1 褐色  | 焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子中量   | 4 明褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量    |
| 2 明褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子少量        | 5 褐色  | ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |       |                     |

**ピット** 4か所。P1～P4は深さ45～68cmで、配置から支柱穴である。

**貯蔵穴** 2か所。貯蔵穴1は南壁寄りの中央部に位置し、長径113cm、短径105cmの円形で、深さは62cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。貯蔵穴2は南西コーナー部に位置し、長径90cm、短径87cmの円形で深さは50cm、底面は皿状で、壁は外傾して立ち上がっている。貯蔵穴2の北側と東側に2か所の高まり部を確認した。規模は、北側は長軸66cm、短軸28cmで、東側は長軸93cm、短軸38cmで、いずれも床面からの高さは8cm程度である。

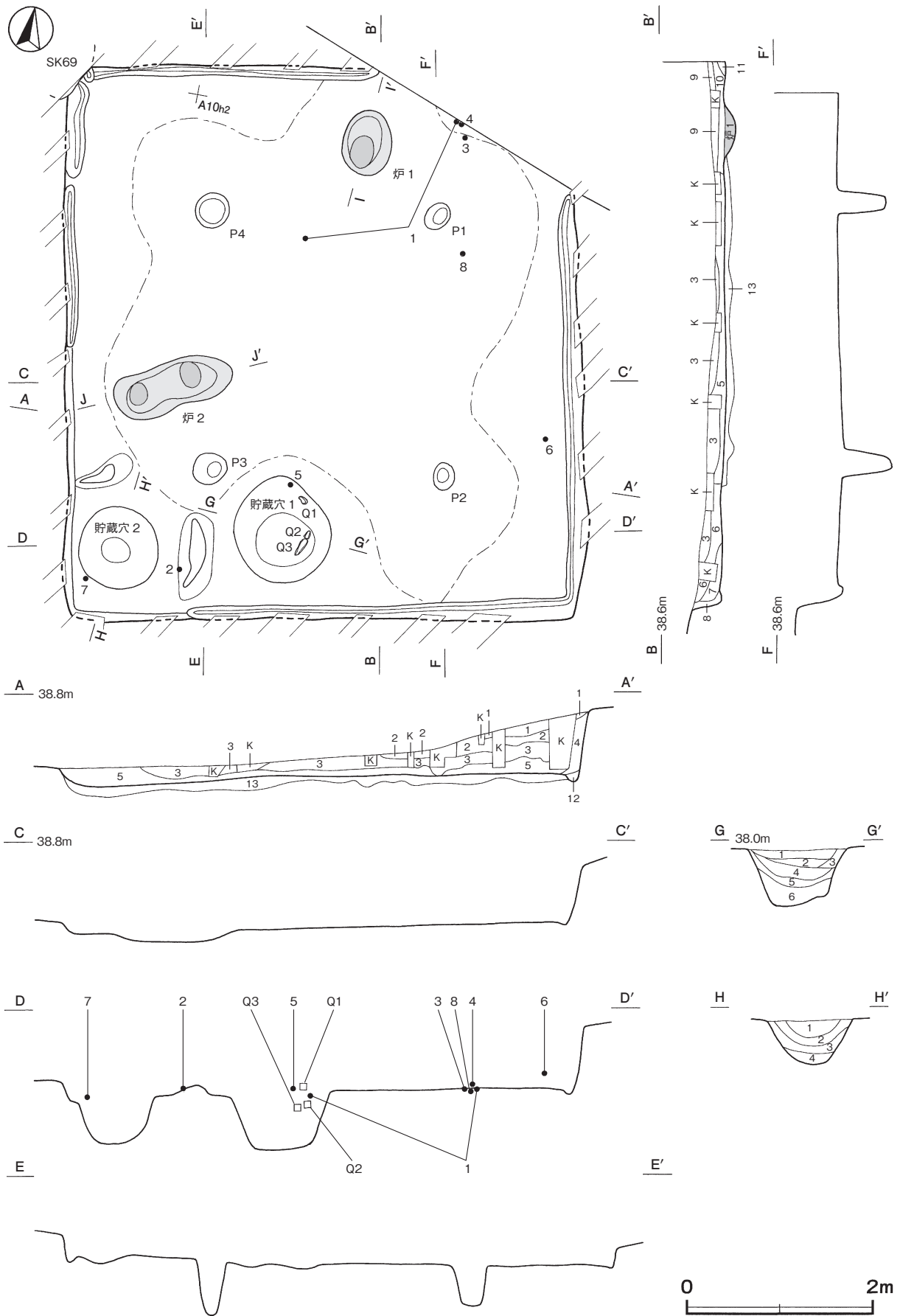
##### 貯蔵穴1土層解説

|       |                               |       |                          |
|-------|-------------------------------|-------|--------------------------|
| 1 黒褐色 | 炭化物・ローム粒子・焼土粒子微量              | 5 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量       |
| 2 黒褐色 | 炭化物・ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量         | 6 褐色  | ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量          |       |                          |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・粘土ブロック・炭化物微量 |       |                          |

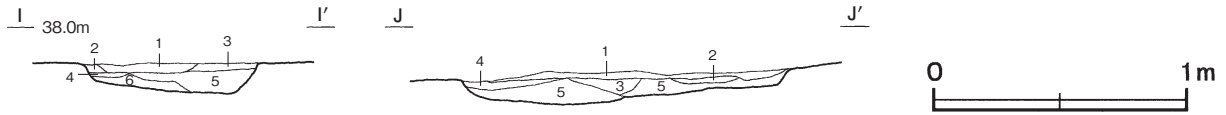
##### 貯蔵穴2土層解説

|       |                            |       |                    |
|-------|----------------------------|-------|--------------------|
| 1 黒色  | ロームブロック・焼土ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化物少量    |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量        | 4 褐色  | ロームブロック中量、焼土ブロック微量 |





第4図 第4号住居跡実測図(1)



第5図 第4号住居跡実測図(2)

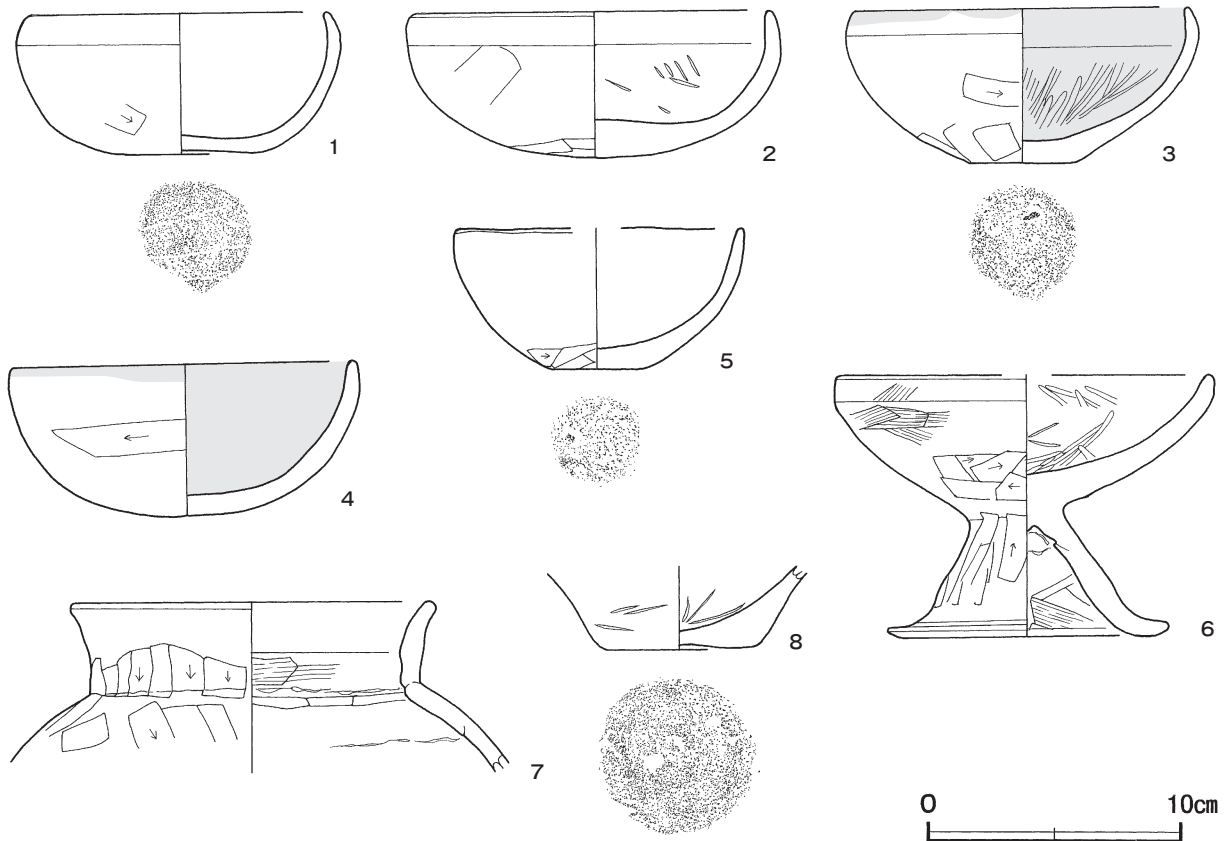
**覆土** 12層に分層できる。壁際にロームブロックが含まれているが、周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。第13層は貼床の構築土である。

**土層解説**

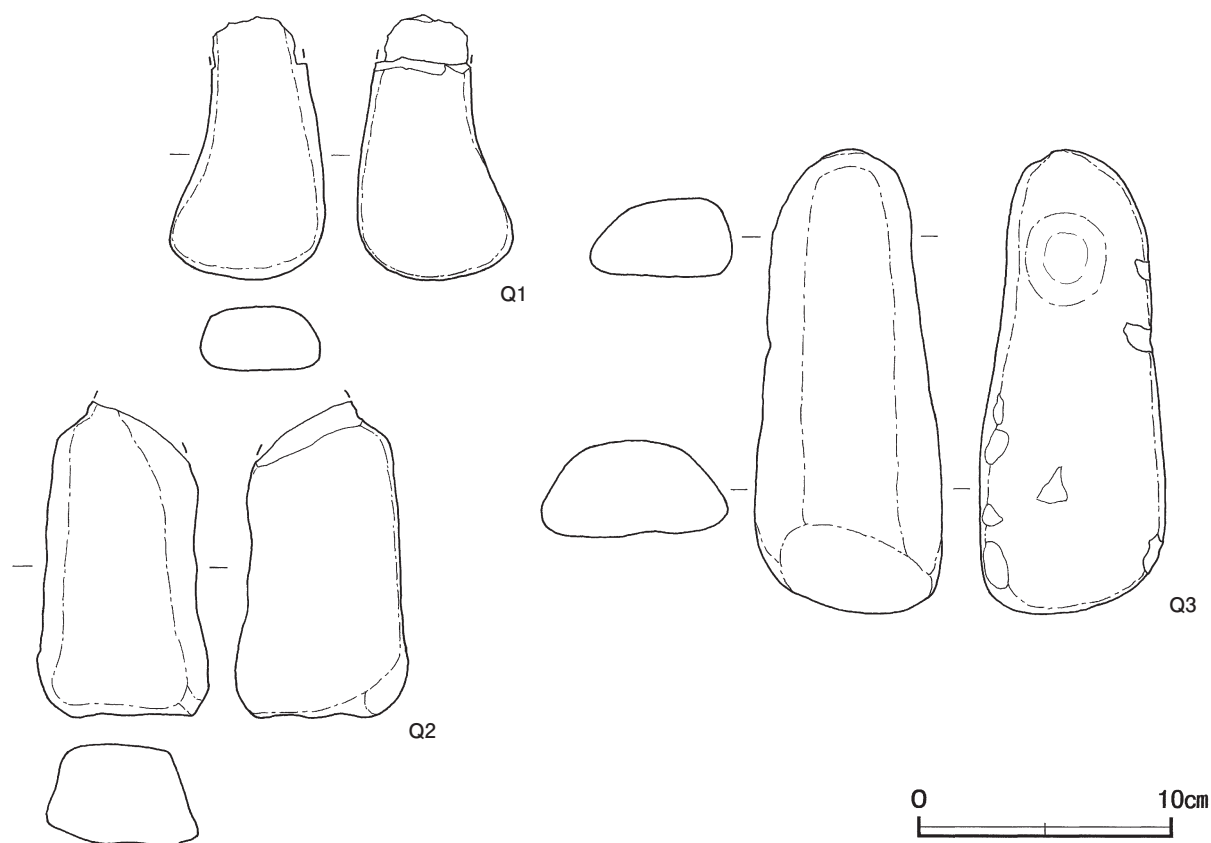
- |       |                        |        |                          |
|-------|------------------------|--------|--------------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      | 8 暗褐色  | ロームブロック少量                |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量        | 9 黒褐色  | ローム粒子・焼土ブロック微量           |
| 3 黒褐色 | ローム粒子少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 10 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量              | 11 黒褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子微量          |
| 5 暗褐色 | ローム粒子中量                | 12 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量             |
| 6 黒褐色 | ローム粒子少量, 焼土粒子微量        | 13 橙褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量             |
| 7 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量      |        |                          |

**遺物出土状況** 土師器片 304点(坏55, 椀16, 高坏5, 甕類228), 石器3点(台形石器), 鉄滓1点, 粘土塊3点, 礫4点が, 全面の覆土上層から下層にかけて出土している。3・4は北東部の床面から, 2・7は南西コーナー部の床面から出土している。Q1~Q3は貯蔵穴1の壁に貼り付けられた状態で, 5は貯蔵穴1の覆土上層からそれぞれ出土している。1は北東部と中央部の床面から出土した破片が接合したものである。6は東部の覆土下層から横位で, 8は中央部東側の覆土下層からそれぞれ出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から5世紀後葉に比定できる。



第6図 第4号住居跡出土遺物実測図(1)



第7図 第4号住居跡出土遺物実測図(2)

第4号住居跡出土遺物観察表(第6・7図)

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径     | 器高    | 底径   | 胎土                 | 色調  | 焼成 | 手法の特徴ほか   | 出土位置      | 備考       |
|----|-----|----|--------|-------|------|--------------------|-----|----|---|-----------|----------|
| 1  | 土師器 | 坏  | 11.7   | 5.5   | 4.8  | 長石・石英・雲母           | 明赤褐 | 普通 | 体部外面剥離 内面斑状剥離 底部ヘラ削り後ナデ 底部二次被熱痕                 | 床面        | 90% PL7  |
| 2  | 土師器 | 坏  | 14.1   | 5.8   | -    | 長石・石英・赤色粒子         | 橙   | 普通 | 体部外面ヘラ削り後ナデ 内面ナデ 二次被熱痕有り                        | 床面        | 100% PL7 |
| 3  | 土師器 | 椀  | 13.1   | 6.1   | 4.2  | 長石・石英・細礫・針状鉱物      | 浅黄橙 | 普通 | 体部外面ヘラ削り後ナデ 内面ヘラ磨き 底部外面ヘラ削り後ナデ 赤彩               | 床面        | 95% PL7  |
| 4  | 土師器 | 椀  | 13.3   | 6.0   | -    | 長石・石英・雲母・赤色粒子      | 明赤褐 | 普通 | 体部外面ヘラ削り後ナデ 内面ナデ 外・内面斑状剥離 二次被熱痕 赤彩              | 床面        | 95% PL7  |
| 5  | 土師器 | 椀  | [11.2] | 5.6   | 3.6  | 長石・石英              | 浅黄橙 | 不良 | 外・内面剥離 底部ヘラ削り後ナデ 赤彩カ                            | 貯蔵穴1 覆土上層 | 30% PL7  |
| 6  | 土師器 | 高坏 | [14.7] | 10.4  | 11.1 | 長石・石英・細礫・黒色粒子      | 橙   | 良好 | 坏部外面ヘラ削り後ナデ 坏部内面斑状剥離ヘラミガキ残存 脚部縦位のヘラ削り 脚部内面刷毛目調整 | 覆土下層      | 80% PL9  |
| 7  | 土師器 | 甕  | 14.2   | (6.8) | -    | 長石・石英・細礫・針状鉱物・黒色粒子 | 明赤褐 | 良好 | 頸部縦位のヘラ削り後ナデ 頸部内面刷毛目調整 頸部外・内面輪積痕 体部縦位のヘラ削り      | 床面        | 20% PL8  |
| 8  | 土師器 | 甕  | -      | (3.3) | 6.3  | 長石・石英・細礫・赤色粒子      | 橙   | 不良 | 外面体部ナデ 内面ヘラナデ 底部ナデ 二次被熱痕                        | 覆土下層      | 10%      |

| 番号 | 器種   | 長さ     | 幅   | 厚さ  | 重量      | 材質  | 特徴           | 出土位置      | 備考      |
|----|------|--------|-----|-----|---------|-----|--------------|-----------|---------|
| Q1 | 台形石器 | (10.5) | 6.2 | 2.6 | (207.5) | 凝灰岩 | 断面楕円形 持ち手部欠損 | 貯蔵穴1 覆土上層 | 壁面 PL10 |
| Q2 | 台形石器 | (12.6) | 6.8 | 4.1 | (544.5) | 凝灰岩 | 断面台形 上部欠損    | 貯蔵穴1 覆土上層 | 壁面 PL10 |
| Q3 | 台形石器 | 18.5   | 7.4 | 3.8 | (714.5) | 凝灰岩 | 研磨痕          | 貯蔵穴1 覆土上層 | 壁面 PL10 |

## (2) 溝跡

## 第1号溝跡(第8図)

位置 調査区北部のA10j8～B10a7区、標高39m程の平坦な台地上に位置している。

規模と形状 北端部と南端部が調査区域外へ伸びているため、長さ9.25mしか確認できなかった。南西方向

(N - 145° - W)に直線状に延びている。規模は上幅 0.97 ~ 1.4m, 下幅 0.44 ~ 0.64m, 深さ 25 ~ 57cm である。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

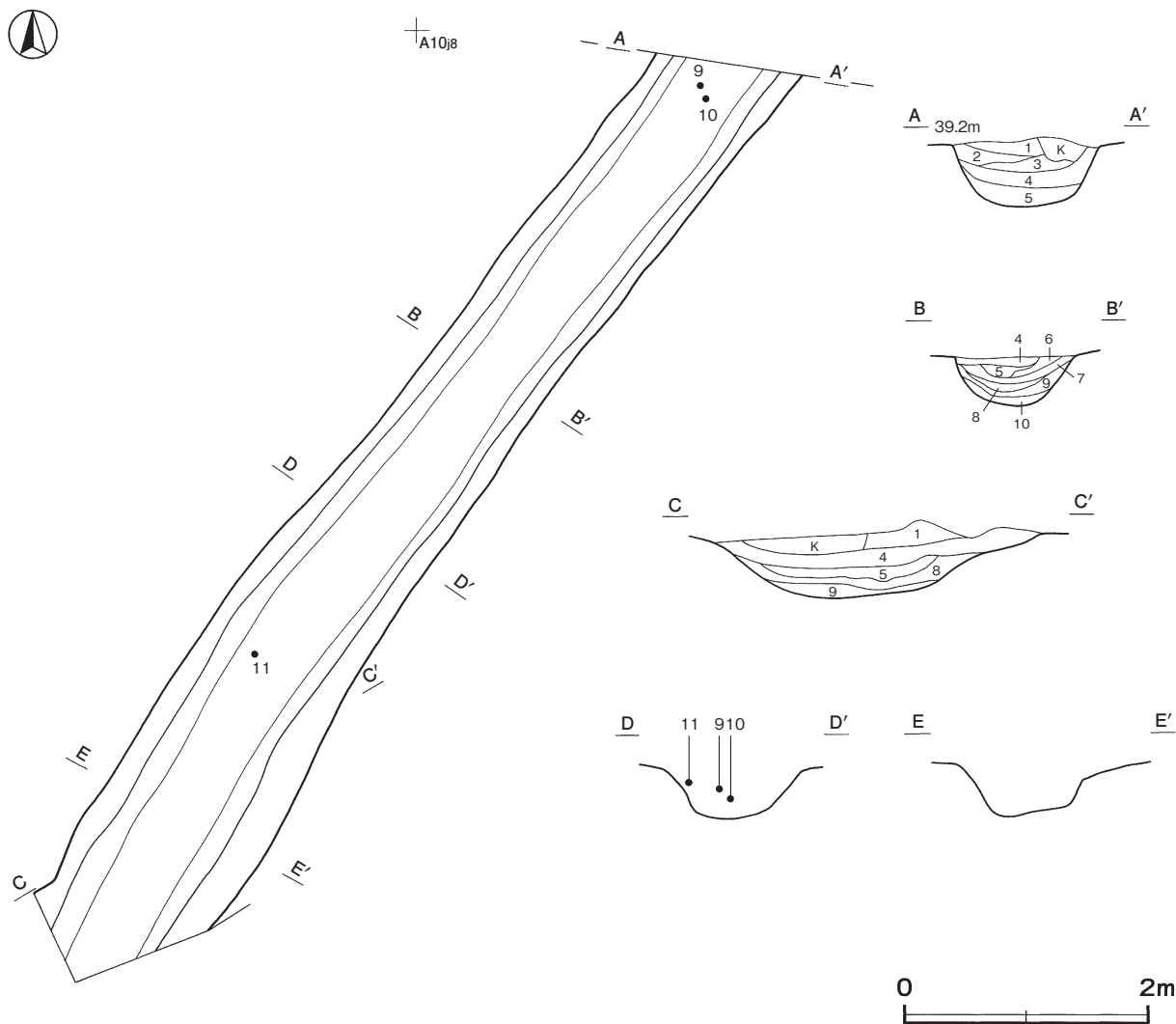
**覆土** 10層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

**土層解説**

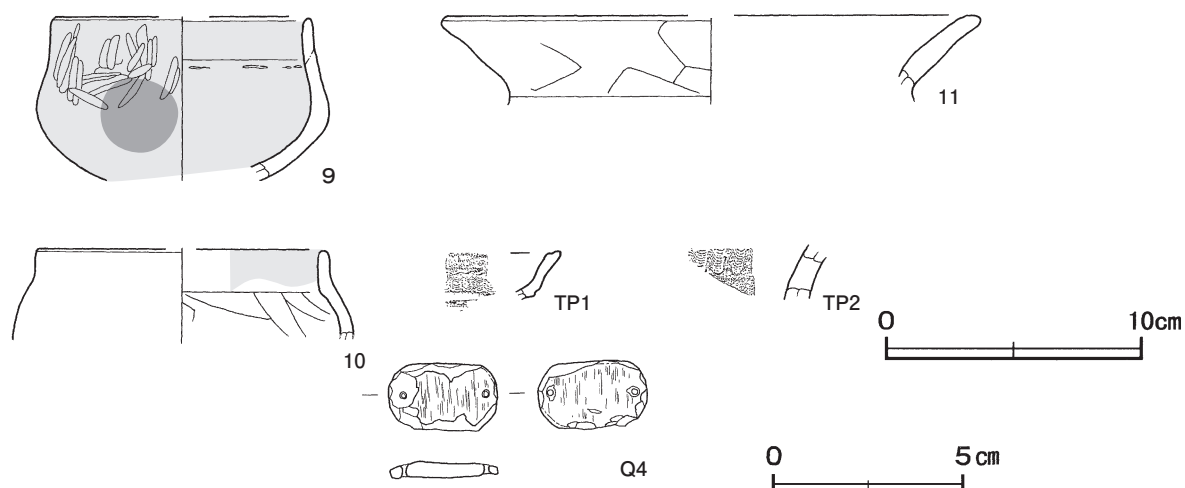
- |       |                      |        |                   |
|-------|----------------------|--------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 褐色   | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量         | 7 黒褐色  | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量       | 8 暗褐色  | ロームブロック少量         |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物微量     | 9 褐色   | ロームブロック多量         |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量    | 10 黒褐色 | ロームブロック少量         |

**遺物出土状況** 土師器片 259 点 (坏 40, 碗 13, 高台付坏 2, 壺 3, 甕類 201), 須恵器片 20 点 (甗 1, 壺 1, 甕 18), 石製品 1 点 (双孔円板) が, 全面の覆土中層から下層にかけて出土している。また, 流れ込んだ縄文土器片 1 点 (深鉢), 弥生土器片 1 点 (壺), 灰釉陶器片 1 点 (壺) が出土している。10 は覆土下層から, 9 は覆土中層から, 11 は覆土上層からそれぞれ出土している。TP1・TP2, Q 4 は覆土中から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 5 世紀末 ~ 6 世紀前葉に比定できる。



第8図 第1号溝跡実測図



第9図 第1号溝跡出土遺物実測図

第1号溝跡出土遺物観察表（第9図）

| 番号 | 種別  | 器種  | 口径     | 器高    | 底径 | 胎土         | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                             | 出土位置 | 備考  |
|----|-----|-----|--------|-------|----|------------|-------|----|-------------------------------------|------|-----|
| 9  | 土師器 | 椀   | [10.0] | (6.5) | -  | 長石・石英      | 褐     | 普通 | 体部ヘラ削り後ヘラミガキ 体部内面輪積痕底部内面剥離 赤彩 外面煤附着 | 覆土中層 | 15% |
| 11 | 土師器 | 甕   | [21.0] | (3.5) | -  | 長石・石英・赤色粒子 | 明赤褐   | 普通 | 体部外面斜位のヘラナデ                         | 覆土上層 | 5%  |
| 10 | 土師器 | 小型甕 | [11.4] | (3.6) | -  | 長石・石英      | にぶい赤褐 | 普通 | 内面ヘラナデ 口縁部赤彩残存 外・内面二次被熱痕            | 覆土下層 | 5%  |

| 番号   | 種別  | 器種 | 胎土    | 色調 | 手法の特徴ほか             | 出土位置 | 備考  |
|------|-----|----|-------|----|---------------------|------|-----|
| TP 1 | 須恵器 | 甕  | 長石    | 灰  | 口縁部外面横位の櫛描波状文（櫛歯7本） | 覆土中  | PL9 |
| TP 2 | 須恵器 | 甕  | 長石・石英 | 褐灰 | 頸部外面横位の櫛描波状文        | 覆土中  | PL9 |

| 番号  | 器種   | 長さ  | 幅   | 厚さ  | 重量    | 材質 | 特徴         | 出土位置 | 備考   |
|-----|------|-----|-----|-----|-------|----|------------|------|------|
| Q 4 | 双孔円板 | 2.9 | 1.8 | 0.5 | (4.3) | 滑石 | 両面平滑 表面研磨痕 | 覆土中  | PL10 |

## 2 奈良時代の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は、竪穴住居跡5軒、掘立柱建物跡1棟である。以下、それぞれの遺構の特徴と出土した遺物について記述する。

### (1) 竪穴住居跡

#### 第2号住居跡（第10・11図）

**位置** 調査区北部のA10i5区、標高39mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第1号住居に掘り込まれている。

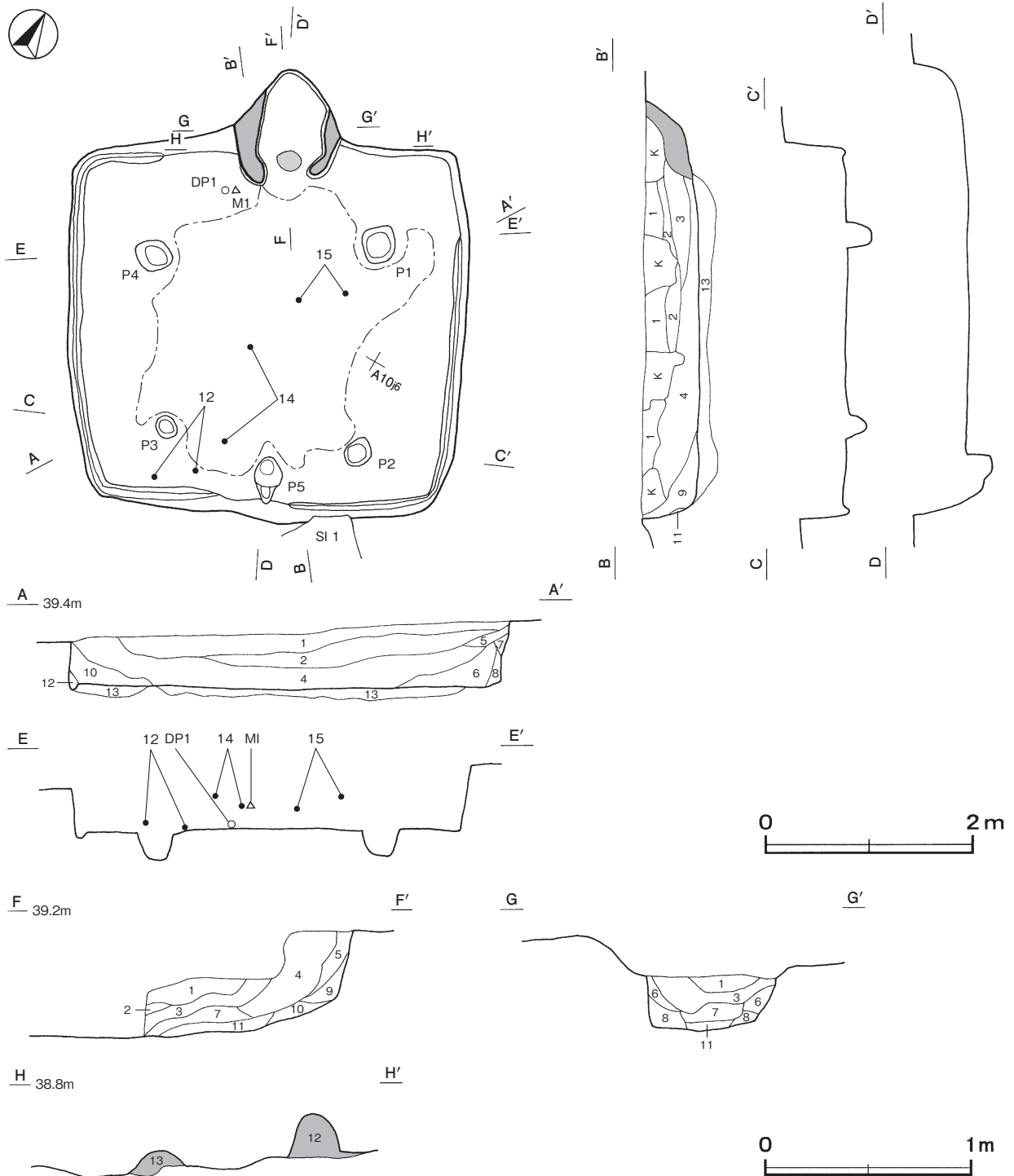
**規模と形状** 長軸3.90m、短軸3.69mの方形で、主軸方向はN-26°-Wである。壁高は40～60cmで、ほぼ直立している。

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は全体をほぼ平坦に掘り込み、ロームブロックを多く含んだ第13層を埋土して構築されている。壁溝が北東コーナー部を除いた壁下に巡っている。

**竈** 北壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで130cmで、燃焼部幅は58cmである。袖部は黄褐色土の第12・13層を主体として構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は火を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に61cm掘り込まれ、火床部から外傾して立ち上がっている。

竈土層解説

- |         |                                  |            |                                   |
|---------|----------------------------------|------------|-----------------------------------|
| 1 黒 褐 色 | ロームブロック・白色粘土ブロック・炭化物・焼土粒子微量      | 7 灰 褐 色    | ロームブロック・炭化物・焼土粒子少量, 白色粘土ブロック微量    |
| 2 黒 褐 色 | ロームブロック・白色粘土ブロック微量               | 8 灰 褐 色    | 焼土ブロック・炭化物・ローム粒子・焼土粒子少量, 白色粘土粒子微量 |
| 3 黒 褐 色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック・白色粘土ブロック・炭化物微量 | 9 褐 灰 色    | 白色粘土粒子多量, ローム粒子微量                 |
| 4 褐 灰 色 | 白色粘土ブロック多量, ロームブロック微量            | 10 褐 色     | ローム粒子多量                           |
| 5 褐 灰 色 | ロームブロック中量, 白色粘土ブロック少量            | 11 暗 褐 色   | ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量              |
| 6 灰 褐 色 | ロームブロック・白色粘土ブロック少量, 炭化物微量        | 12 灰 黄 褐 色 | 焼土粒子少量, ロームブロック・炭化物微量             |
|         |                                  | 13 にぶい黄褐   | 白色粘土粒子中量, 炭化物少量                   |



第10図 第2号住居跡実測図

ピット 5か所。P 1～P 4は深さ18～27cmで、配置から支柱穴である。P 5は南壁際のはぼ中央に位置していることや、硬化面の広がりから出入口施設に伴うピットと考えられる。

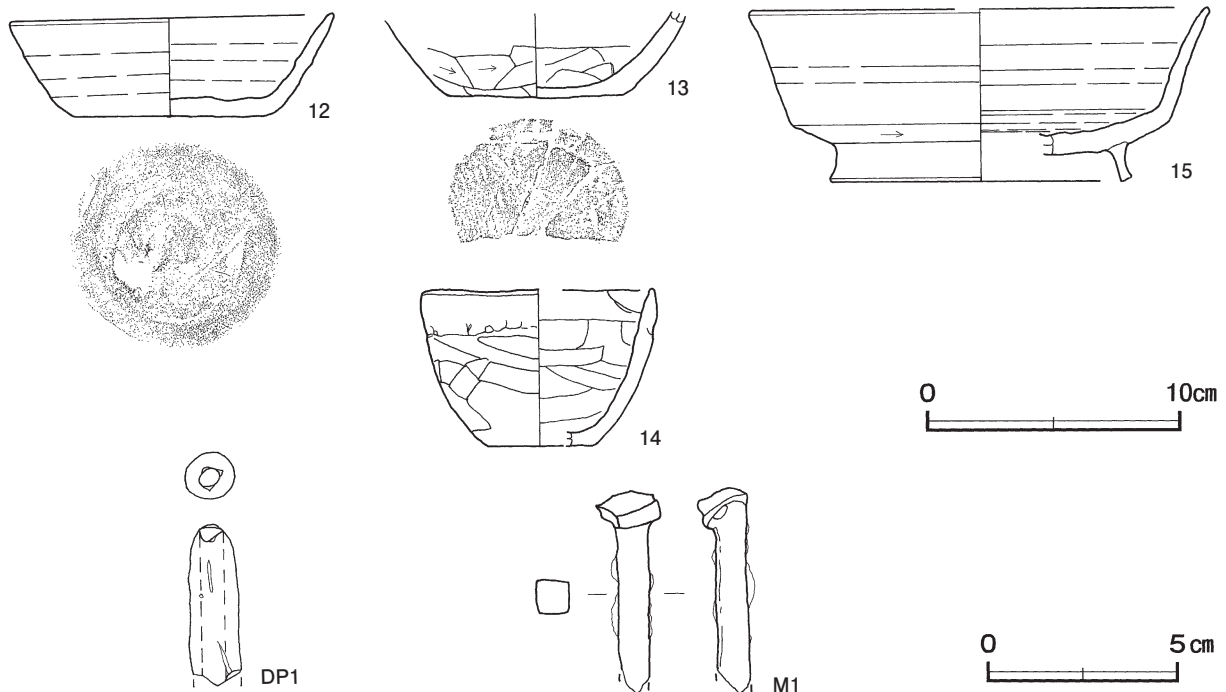
覆土 12層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。第13層は貼床の構築土である。

土層解説

- |       |                          |          |              |
|-------|--------------------------|----------|--------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量             | 7 褐色     | ローム粒子中量      |
| 2 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量        | 8 黒褐色    | ローム粒子中量      |
| 3 黒褐色 | ローム粒子少量, 焼土粒子微量          | 9 黒褐色    | ローム粒子少量      |
| 4 黒褐色 | ローム粒子・砂粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 10 黒褐色   | ローム粒子微量      |
| 5 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量           | 11 にぶい褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 6 暗褐色 | ローム粒子少量                  | 12 褐色    | ローム粒子少量      |
|       |                          | 13 褐色    | ロームブロック多量    |

遺物出土状況 土師器片 532点（坏109, 碗4, 鉢1, 甕類418）, 須恵器片 62点（坏30, 高台付坏1, 鉢27, 甕類4）, 土製品1点（管状土錘）, 鉄製品7点（釘）が全面的覆土上層から下層にかけて出土している。また、混入した灰釉陶器片1点（碗）, 陶器片1点（甕類）, 磁器片4点（碗）が出土している。DP1は竈左袖前の床面から出土している。M1は竈左袖前の覆土中層から、12は南部壁際の床面から、14は中央部と南部の覆土中層から、それぞれ出土している。15は中央部の覆土中層から、13は北西部の覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から8世紀後葉に比定できる。



第11図 第2号住居跡出土遺物実測図

第2号住居跡出土遺物観察表（第11図）

| 番号 | 種別  | 器種   | 口径     | 器高    | 底径     | 胎土            | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                       | 出土位置 | 備考      |
|----|-----|------|--------|-------|--------|---------------|-------|----|-------------------------------|------|---------|
| 12 | 須恵器 | 坏    | 12.6   | 4.0   | 7.7    | 長石・石英         | 黄灰    | 普通 | 底部へら削り後ナデ                     | 床面   | 70% PL7 |
| 13 | 土師器 | 甕    | -      | (3.4) | 7.0    | 長石・石英・雲母・赤色粒子 | にぶい黄褐 | 普通 | 体部内面粗いへらナデ 底部・体部下端へら削り後ナデ 輪積痕 | 覆土中  | 10%     |
| 15 | 須恵器 | 高台付坏 | [18.1] | 6.8   | [12.0] | 長石・細礫・黒色粒子    | 灰     | 良好 | 底部右回りの回転へら削り後高台貼付け            | 覆土中層 | 15% PL7 |
| 14 | 土師器 | 鉢    | [9.0]  | 6.2   | [4.2]  | 長石・石英・細礫      | 浅黄橙   | 普通 | 外・内面へら削り後ナデ 頸部輪積痕             | 覆土中層 | 30% PL7 |

| 番号   | 器種   | 長さ    | 幅   | 孔径  | 重量    | 胎土    | 特徴          | 出土位置 | 備考   |
|------|------|-------|-----|-----|-------|-------|-------------|------|------|
| DP 1 | 管状土錘 | (4.3) | 1.4 | 0.6 | (5.6) | 長石・石英 | ナデ 一方向からの穿孔 | 床面   | PL10 |

| 番号  | 器種 | 長さ    | 幅   | 厚さ  | 重量     | 材質 | 特徴   | 出土位置 | 備考   |
|-----|----|-------|-----|-----|--------|----|------|------|------|
| M 1 | 釘  | (5.4) | 1.7 | 0.9 | (16.2) | 鉄  | 断面方形 | 覆土中層 | PL10 |

### 第3号住居跡（第12・13図）

**位置** 調査区北部のA10i4区、標高39mほどの緩やかな斜面部に位置している。

**重複関係** 第1号ピット群に掘り込まれている。

**規模と形状** 一辺3.32mの方形で、主軸方向はN-18°-Wである。壁高は32～55cmである。

**床** 平坦な貼床で、壁際まで踏み固められている。貼床は北部と西部を溝状に掘り込み、ロームブロックを多く含む第26・27層を埋土して構築されている。北壁を除いた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁中央部やや東寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで105cmで、燃焼部幅は42cmである。両袖とも攪乱を受けているため遺存状態はよくないが、袖部は、15cm程皿状に掘り込み、ロームブロックを含む第11層を埋土とし、その上に白色粘土混じりの第9・10層を主体として、その上に粘土層である第8層を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面はわずかに赤変している。煙道部は壁外に22cm掘り込まれ、火床部から外傾して立ち上がっている。

#### 竈土層解説

|                        |                                       |
|------------------------|---------------------------------------|
| 1 灰褐色 焼土粒子少量           | 7 褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子微量                 |
| 2 暗褐黄色 砂質粘土粒子多量、焼土粒子微量 | 8 灰褐色 粘土ブロック多量、焼土粒子微量                 |
| 3 暗褐色 焼土粒子中量           | 9 褐灰色 白色粘土粒子多量、焼土粒子微量                 |
| 4 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量  | 10 褐色 白色粘土粒子中量、ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化物微量 |
| 5 極暗褐色 ロームブロック少量       | 11 暗褐色 ロームブロック中量                      |
| 6 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量  |                                       |

**ピット** 深さ35cmで、位置から出入口施設に伴うピットと考えられる。

**覆土** 25層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示すことから自然堆積である。第26・27層は貼床の構築土である。

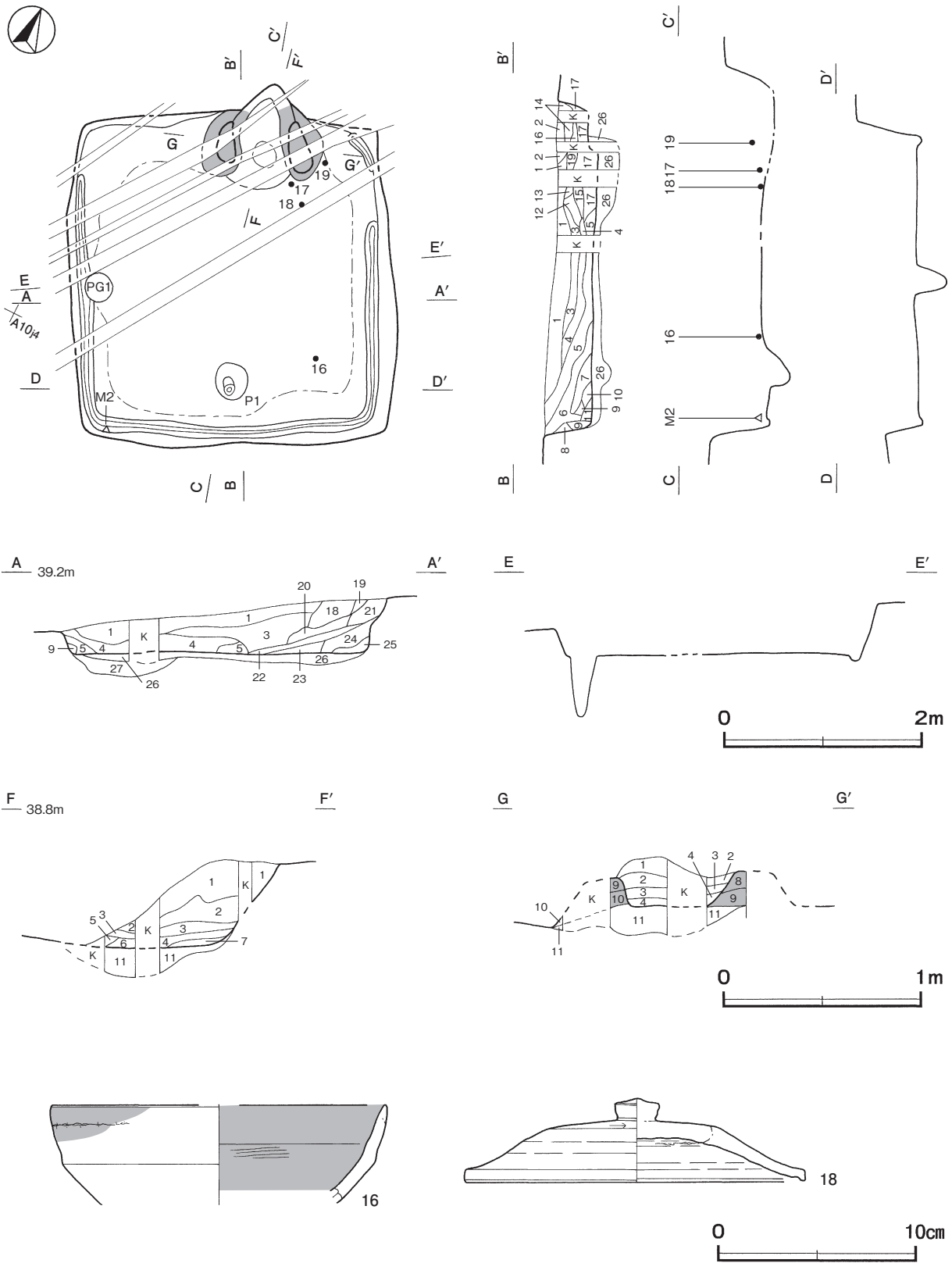
#### 土層解説

|                             |                                 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1 灰褐色 ロームブロック少量             | 16 褐灰色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・白色粘土粒子微量 |
| 2 褐灰色 ロームブロック少量             | 17 褐灰色 白色粘土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量  |
| 3 黒褐色 ロームブロック少量、炭化物微量       | 18 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量           |
| 4 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量      | 19 黒褐色 ロームブロック少量                |
| 5 暗褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック少量    | 20 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量    |
| 6 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子微量        | 21 黒褐色 ロームブロック微量                |
| 7 黒褐色 ローム粒子微量               | 22 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量           |
| 8 にぶい褐色 ローム粒子多量             | 23 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量        |
| 9 暗褐色 ロームブロック少量             | 24 暗褐色 ローム粒子中量                  |
| 10 暗褐色 ローム粒子少量              | 25 暗褐色 ロームブロック微量                |
| 11 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量       | 26 褐色 ロームブロック多量                 |
| 12 黒褐色 白色粘土ブロック・ローム粒子微量     | 27 黒褐色 ロームブロック多量、白色粘土ブロック微量     |
| 13 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量       |                                 |
| 14 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量     |                                 |
| 15 褐灰色 白色粘土ブロック多量、ロームブロック微量 |                                 |

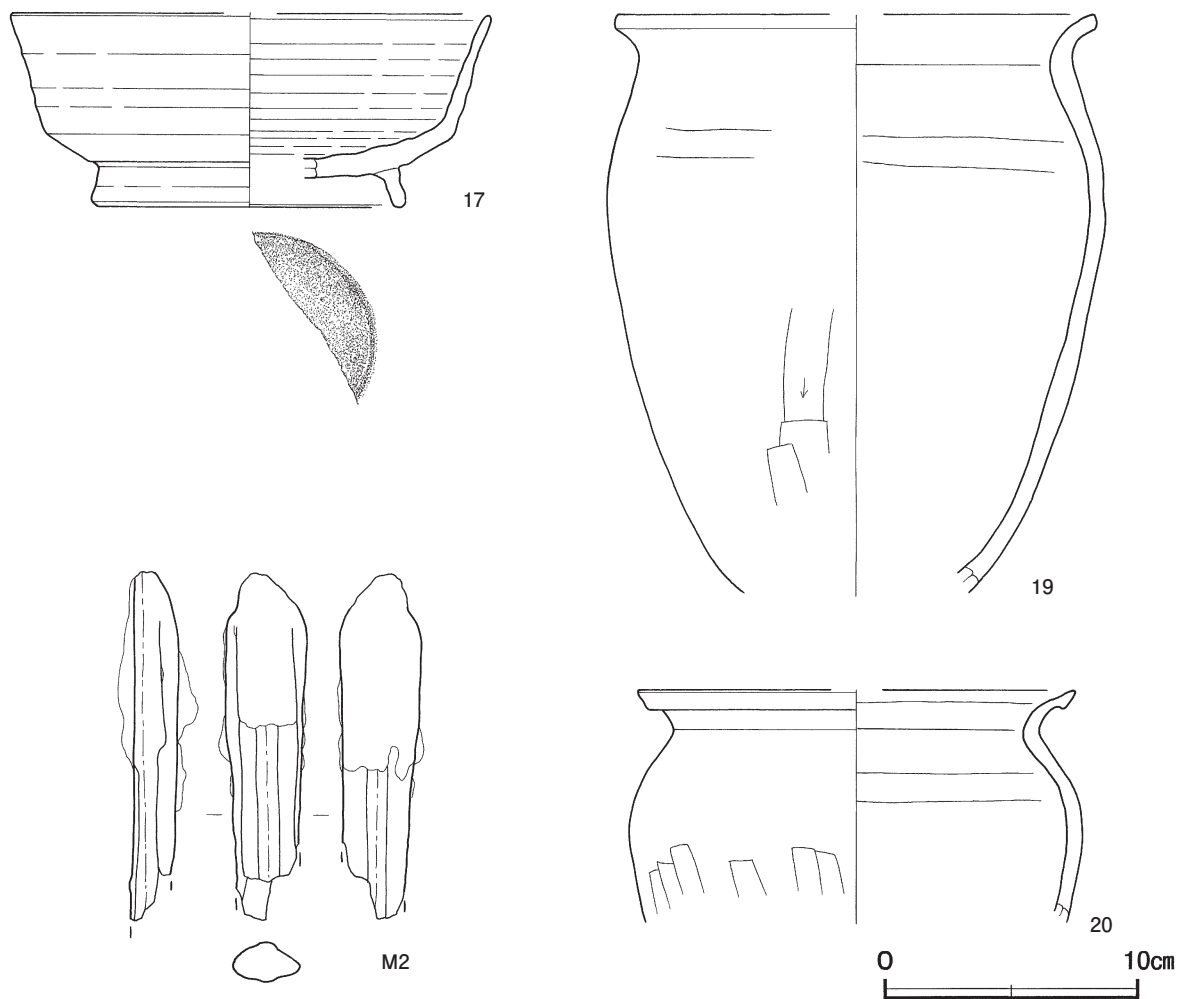
**遺物出土状況** 土師器片85点（坏3，碗6，甕類76），須恵器片11点（坏5，高台付坏1，蓋2，鉢3），鉄製品1点（剣カ）が出土している。M2は南西コーナー部から、18は竈右袖前の床面からそれぞれ出土している。16は東コーナー部、17はカマド右袖前の覆土下層から出土している。19は北コーナー部の覆土中層



から、20は覆土中から出土している。また、混入した磁器片2点（碗）が出土している。  
 所見 時期は、出土土器から8世紀中葉～後葉と考えられる。



第12図 第3号住居跡・出土遺物実測図



第13図 第3号住居跡出土遺物実測図

第3号住居跡出土遺物観察表（第12・13図）

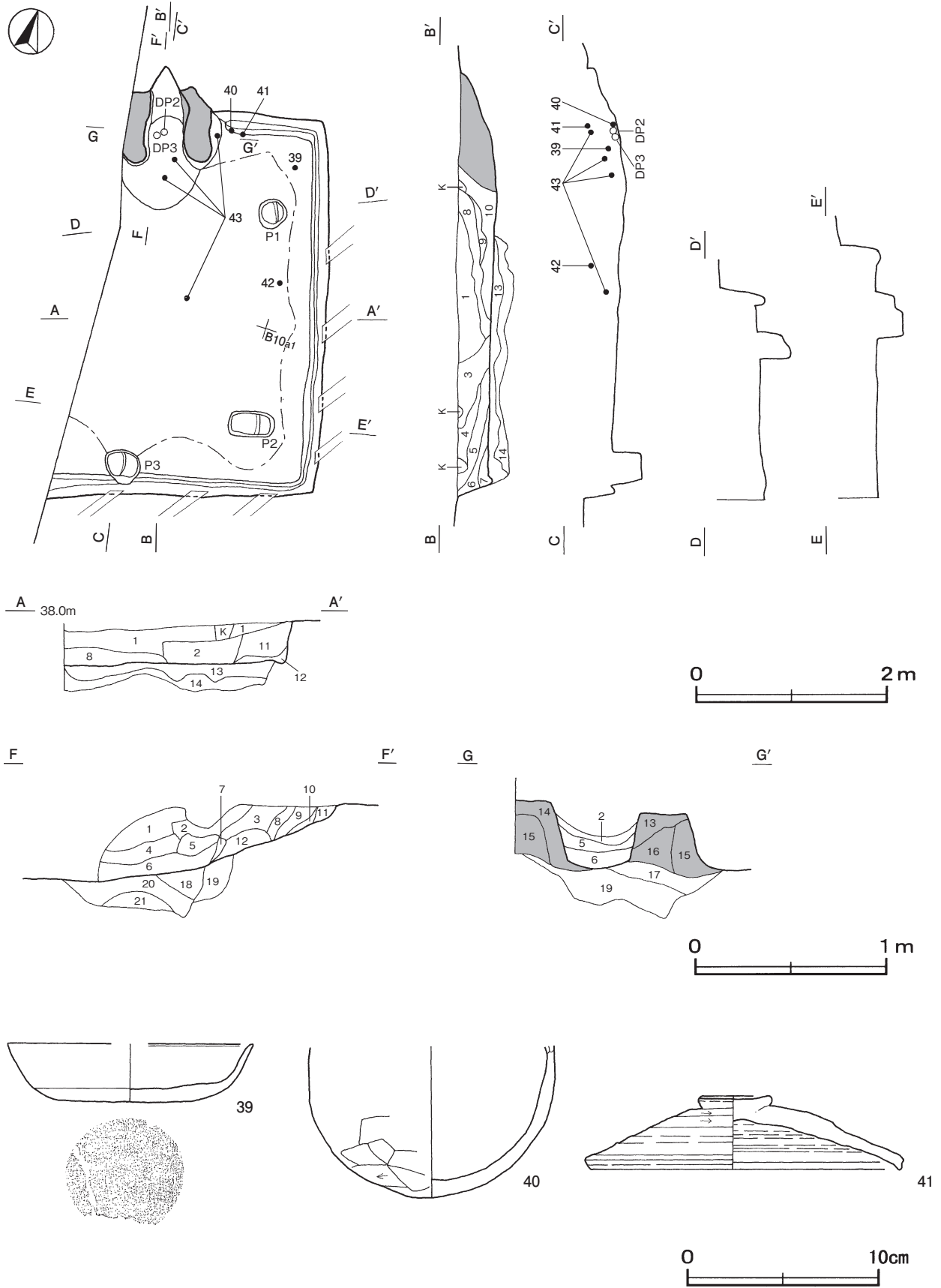
| 番号 | 種別  | 器種   | 口径     | 器高     | 底径     | 胎土                 | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                         | 出土位置 | 備考      |
|----|-----|------|--------|--------|--------|--------------------|-------|----|---------------------------------|------|---------|
| 16 | 土師器 | 坏    | [17.0] | (5.1)  | -      | 長石・石英・雲母・黒色粒子・赤色粒子 | 橙     | 普通 | 内面ヘラミガキ残存 外面摩滅 内面黒色処理<br>内面斑状剥離 | 覆土下層 | 15%     |
| 17 | 須恵器 | 高台付坏 | [18.9] | 7.7    | [12.4] | 長石・石英・細礫・針状鉄物      | 灰     | 良好 | 底部回転ヘラ削り後高台貼付け                  | 覆土下層 | 35% PL7 |
| 18 | 須恵器 | 蓋    | 17.4   | 4.2    | -      | 長石・石英・細礫・針状鉄物      | 黄灰    | 普通 | 天井部右回りの回転ヘラ削り後つまみ貼付け            | 床面   | 80% PL9 |
| 19 | 土師器 | 甕    | [18.8] | (23.1) | -      | 長石・石英・雲母           | 黒褐    | 普通 | 体部外面ヘラ削り後ナデ                     | 覆土中層 | 30% PL8 |
| 20 | 土師器 | 甕    | [17.2] | (9.2)  | -      | 長石・石英・雲母・赤色粒子      | にぶい赤褐 | 普通 | 体部外面縦位のヘラナデ                     | 覆土中  | 15% PL8 |

| 番号 | 器種 | 長さ     | 幅   | 厚さ  | 重量     | 材質 | 特徴            | 出土位置 | 備考   |
|----|----|--------|-----|-----|--------|----|---------------|------|------|
| M2 | 剣カ | (13.8) | 3.5 | 2.9 | (96.3) | 鉄  | 断面菱形 鋸有り 一部欠損 | 覆土下層 | PL10 |

### 第6号住居跡（第14・15図）

**位置** 調査区北西部の A 9j0 区，標高 38 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 西部が調査区域外に延びているため，南北軸は 4.08 m で，東西軸は 2.75 m しか確認できなかった。平面形は方形または長方形と推定され，主軸方向は N - 16° - W である。壁高は 37 ~ 43 cm で，ほぼ直立している。



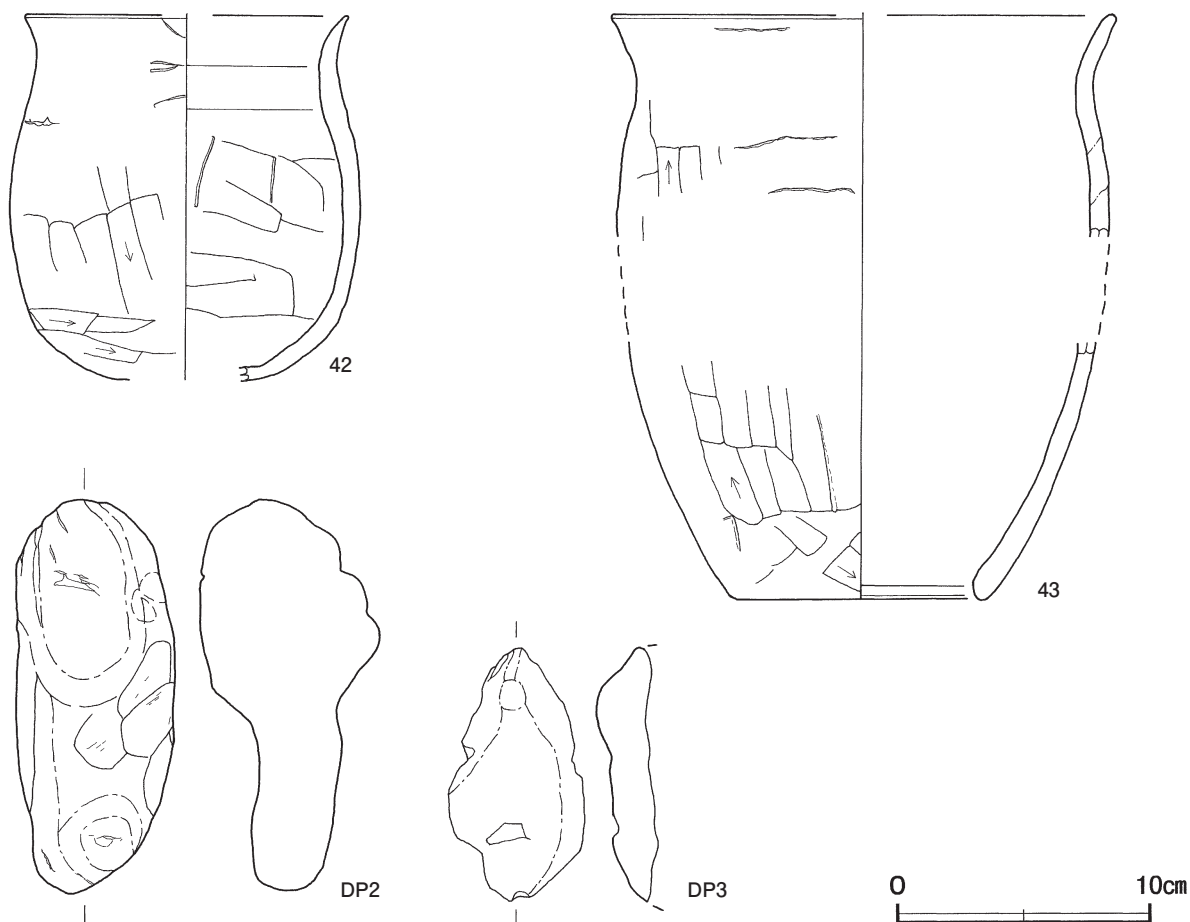
第14図 第6号住居跡・出土遺物実測図

床 ほぼ平坦な貼床で、壁際まで踏み固められている。全体を10～20cmの深さで掘り込み、ロームブロックを含む第13・14層を埋土して構築されている。壁下には壁溝が巡っている。

竈 北壁に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで152cmで、燃烧部幅は40cmである。袖部は、25cmほど床を掘りくぼめたところに粘土ブロックを含む第17～21層を埋土とし、その上に粘土ブロックを含む第15・16層を基部として、その上に粘土ブロックを含む第13・14層を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は確認できなかった。煙道部は壁外に50cm掘り込まれ、火床部から緩やかに立ち上がっている。

竈土層解説

- |    |        |                                |    |        |                                  |
|----|--------|--------------------------------|----|--------|----------------------------------|
| 1  | にぶい黄褐色 | 炭化物少量                          | 14 | 褐色     | ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子中量、粘土ブロック少量   |
| 2  | 灰褐色    | 砂質粘土粒子中量、ロームブロック少量             | 15 | にぶい黄褐色 | 粘土ブロック少量、焼土ブロック微量                |
| 3  | 黒褐色    | 焼土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子少量          | 16 | 灰褐色    | 粘土ブロック多量、ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 |
| 4  | 黒褐色    | 粘土粒子多量、炭化粒子中量                  | 17 | 暗褐色    | ロームブロック多量、粘土ブロック・炭化粒子中量、焼土ブロック少量 |
| 5  | 灰褐色    | ロームブロック・焼土粒子中量                 | 18 | 橙色     | 炭化粒子少量、粘土ブロック・焼土粒子微量             |
| 6  | 暗褐色    | ロームブロック中量                      | 19 | にぶい褐色  | ロームブロック多量、炭化粒子少量、粘土ブロック・焼土粒子微量   |
| 7  | にぶい褐色  | 粘土ブロック・炭化粒子中量、焼土ブロック少量         | 20 | 黒色     | 粘土ブロック多量、ロームブロック中量               |
| 8  | 灰黄褐色   | 砂質粘土粒子中量、焼土ブロック・炭化粒子少量、ローム粒子微量 | 21 | 褐色     | ロームブロック・粘土ブロック・炭化粒子中量            |
| 9  | 褐色     | 炭化粒子・砂質粘土粒子中量、焼土ブロック微量         |    |        |                                  |
| 10 | 黒褐色    | 炭化粒子少量、焼土ブロック・砂質粘土粒子微量         |    |        |                                  |
| 11 | 褐色     | 炭化粒子中量、ローム粒子少量                 |    |        |                                  |
| 12 | 灰褐色    | ローム粒子・焼土粒子中量、炭化粒子少量            |    |        |                                  |
| 13 | 灰黄色    | 粘土ブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量       |    |        |                                  |



第15図 第6号住居跡出土遺物実測図

**ピット** 3か所。P 1・P 2は深さ32cm・28cmで、配置から主柱穴と考えられる。P 3は深さ30cmで南壁際の中央部と推定される箇所位置していることや、硬化面の広がりから出入り口施設に伴うピットと考えられる。

**覆土** 12層に分層できる。レンズ状に堆積しているが、ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第13・14層は貼床の構築土である。

#### 土層解説

|   |      |                               |    |       |                                   |
|---|------|-------------------------------|----|-------|-----------------------------------|
| 1 | 黒褐色  | ロームブロック・炭化粒子少量                | 8  | 黒褐色   | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 | 極暗褐色 | ローム粒子中量, 焼土粒子少量               | 9  | 極暗褐色  | 焼土粒子少量, ローム粒子微量                   |
| 3 | 黒褐色  | ロームブロック・焼土ブロック・ローム粒子少量, 炭化物微量 | 10 | 黒褐色   | ロームブロック・焼土ブロック少量, 焼土粒子微量          |
| 4 | 黒褐色  | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量        | 11 | 褐色    | ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量           |
| 5 | 黒色   | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量        | 12 | 黒色    | ロームブロック少量, 炭化粒子微量                 |
| 6 | 黒褐色  | ロームブロック少量                     | 13 | 黒褐色   | ロームブロック中量, 白色粘土ブロック微量             |
| 7 | 黒褐色  | ロームブロック中量                     | 14 | にぶい褐色 | ロームブロック中量                         |

**遺物出土状況** 土師器片92点（坏19, 椀1, 高坏1, 甕類69, 小形甕1, 甌1）, 須恵器片4点（坏2, 蓋2）, 土製品2点（支脚）が出土している。また混入した縄文土器片3点（深鉢）が出土している。40は竈東側の床面から, 39は北東コーナー部の覆土下層から, 41は竈東側, 42は中央部東側の覆土上層からそれぞれ出土している。43は竈焚口部, 竈右袖部, 中央部の覆土上層から中層にかけて出土した破片による接点のない同一個体である。DP 2とDP 3は竈煙道部から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から8世紀前葉に比定できる。

#### 第6号住居跡出土遺物観察表（第14・15図）

| 番号 | 種別  | 器種  | 口径     | 器高     | 底径  | 胎土         | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                              | 出土位置        | 備考      |
|----|-----|-----|--------|--------|-----|------------|-------|----|--------------------------------------|-------------|---------|
| 39 | 須恵器 | 坏   | [13.0] | 3.1    | 6.0 | 長石・石英      | 灰白    | 普通 | 外・内面ナデ 底部ヘラ削り後ナデ                     | 覆土下層        | 40% PL7 |
| 40 | 土師器 | 椀   | -      | (8.0)  | -   | 長石・石英・雲母   | にぶい橙  | 普通 | 外面ヘラ削り後ナデ 内面斑状剥離 二次被熱痕               | 床面          | 70% PL7 |
| 41 | 須恵器 | 蓋   | 16.4   | 3.9    | -   | 長石・石英・細礫   | 灰     | 良好 | 天井部右回りの回転ヘラ削り後つまみ貼付け                 | 覆土上層        | 55% PL9 |
| 42 | 土師器 | 小形甕 | [12.6] | (14.5) | -   | 長石・石英・細礫   | 灰黄褐   | 良好 | 体部外面縦位のヘラ削り 内面ヘラナデ 体部下端横位のヘラ削り 体部輪積痕 | 覆土上層        | 30% PL9 |
| 43 | 土師器 | 甌   | [19.8] | [23.2] | 9.8 | 長石・石英・赤色粒子 | にぶい黄橙 | 普通 | 体部外面縦位のヘラ削り後ナデ 内面ナデ 体部輪積痕            | 覆土上層<br>～中層 | 30% PL8 |

| 番号   | 器種 | 長さ     | 幅     | 厚さ    | 重量     | 胎土    | 特徴       | 出土位置 | 備考   |
|------|----|--------|-------|-------|--------|-------|----------|------|------|
| DP 2 | 支脚 | 15.7   | 6.4   | 7.2   | 244.5  | 雲母・砂粒 | ヘラナデ 指頭痕 | 煙道部  | PL10 |
| DP 3 | 支脚 | (10.0) | (5.4) | (2.5) | (45.7) | 雲母・砂粒 | ナデ 一部欠損  | 煙道部  |      |

#### 第9号住居跡（第16・17図）

**位置** 調査区中央部のB 9f9区, 標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 北部を第13号土坑に, 南部を第1号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸4.22m, 短軸3.76mの長方形で, 主軸方向はN-37°-Wである。壁高は10～15cmで, ほぼ直立している。

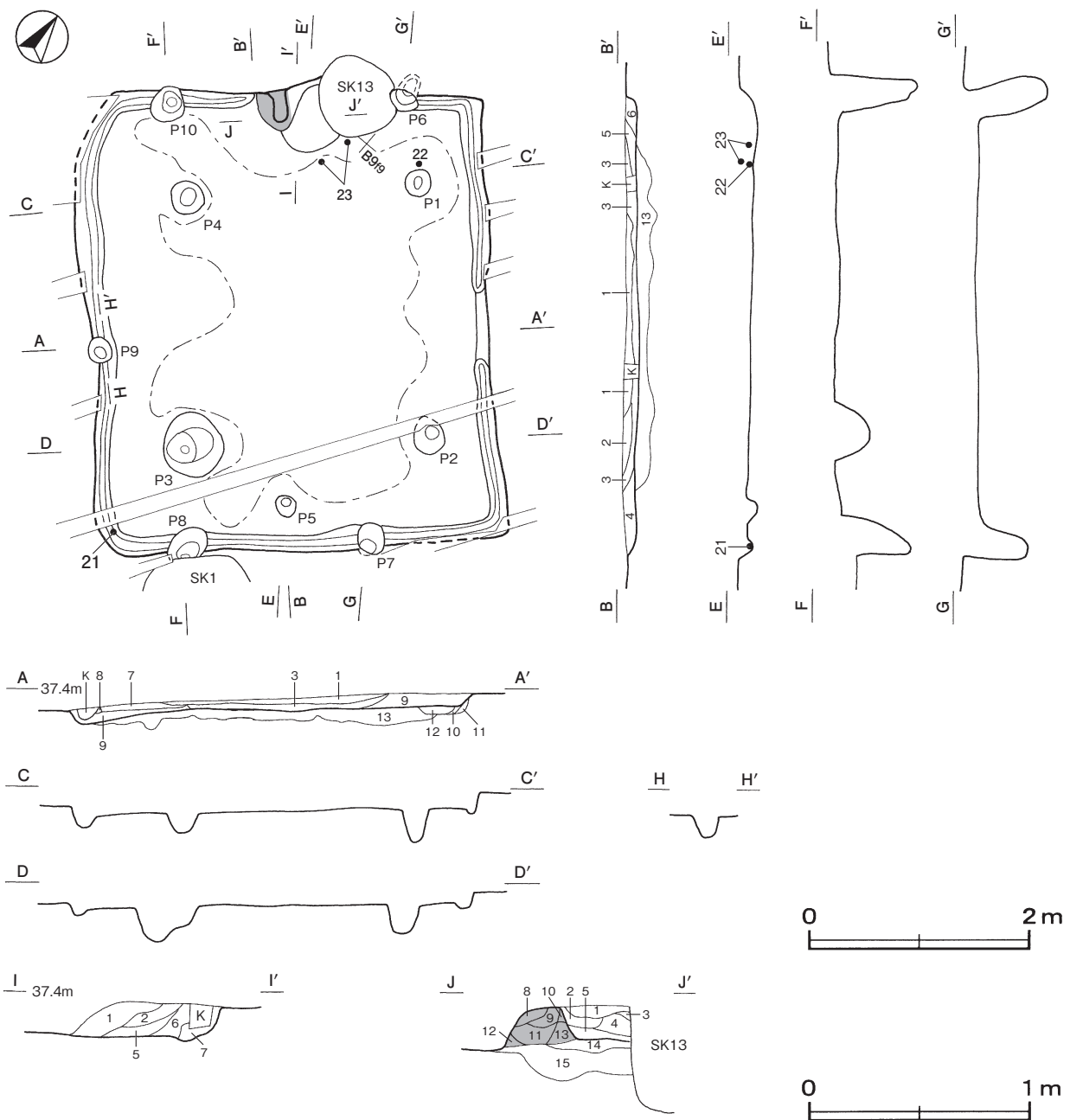
**床** ほぼ平坦な貼床で, 竈前から南部壁際にかけての中央部が踏み固められている。貼床は全体をほぼ平坦に掘り込み, ロームブロックを含む第10～13層を埋土して構築されている。壁下には, 東壁下の中央部を除き壁溝が巡っている。

**竈** 北壁のほぼ中央部に付設されている。右袖部を第13号土坑に掘り込まれている。規模は焚口部から煙道

部まで70cmで、攪乱のため燃焼部幅は40cm程度しか確認できていない。左袖部はロームブロックを含む第14・15層を埋土とし、その上に白色粘土を含む第8～13層を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面はわずかに赤変しているが硬化は弱い。煙道部は外傾して立ち上がっている。

**竈土層解説**

- |        |                                      |           |                          |
|--------|--------------------------------------|-----------|--------------------------|
| 1 褐灰色  | 白色粘土ブロック少量, 炭化物・ローム粒子・焼土粒子微量         | 8 灰白色     | 白色粘土粒子多量, ロームブロック・焼土粒子少量 |
| 2 黄灰色  | 白色粘土ブロック多量, 焼土ブロック, 炭化物微量            | 9 黒褐色     | ロームブロック・白色粘土ブロック・焼土粒子少量  |
| 3 褐灰色  | 白色粘土ブロック少量, ローム粒子微量                  | 10 灰白色    | 白色粘土粒子多量                 |
| 4 黒褐色  | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・白色粘土粒子微量             | 11 褐色     | ロームブロック多量, 白色粘土ブロック微量    |
| 5 暗褐色  | 焼土ブロック・焼土粒子少量, 白色粘土ブロック・ローム粒子・炭化粒子微量 | 12 灰黄色    | 白色粘土粒子多量, ローム粒子・白色粘土粒子微量 |
| 6 褐灰色  | ローム粒子・白色粘土粒子微量                       | 13 にぶい赤褐色 | 焼土粒子少量, ローム粒子・白色粘土粒子微量   |
| 7 明黄褐色 | 黄褐色粘土粒子多量                            | 14 黒褐色    | ロームブロック少量, 鹿沼パミスブロック微量   |
|        |                                      | 15 明褐色    | ロームブロック多量, 鹿沼パミスブロック微量   |



第16図 第9号住居跡実測図

**ピット** 10か所。P1～P4は深さ15～35cmで、配置から主柱穴と考えられる。P5は深さ10cmで、南壁際の中央部に位置していることや硬化面の広がりから出入り口施設に伴うピットと考えられる。P6～P10は確認面からの深さが20～80cmで、配置から壁柱穴と考えられる。

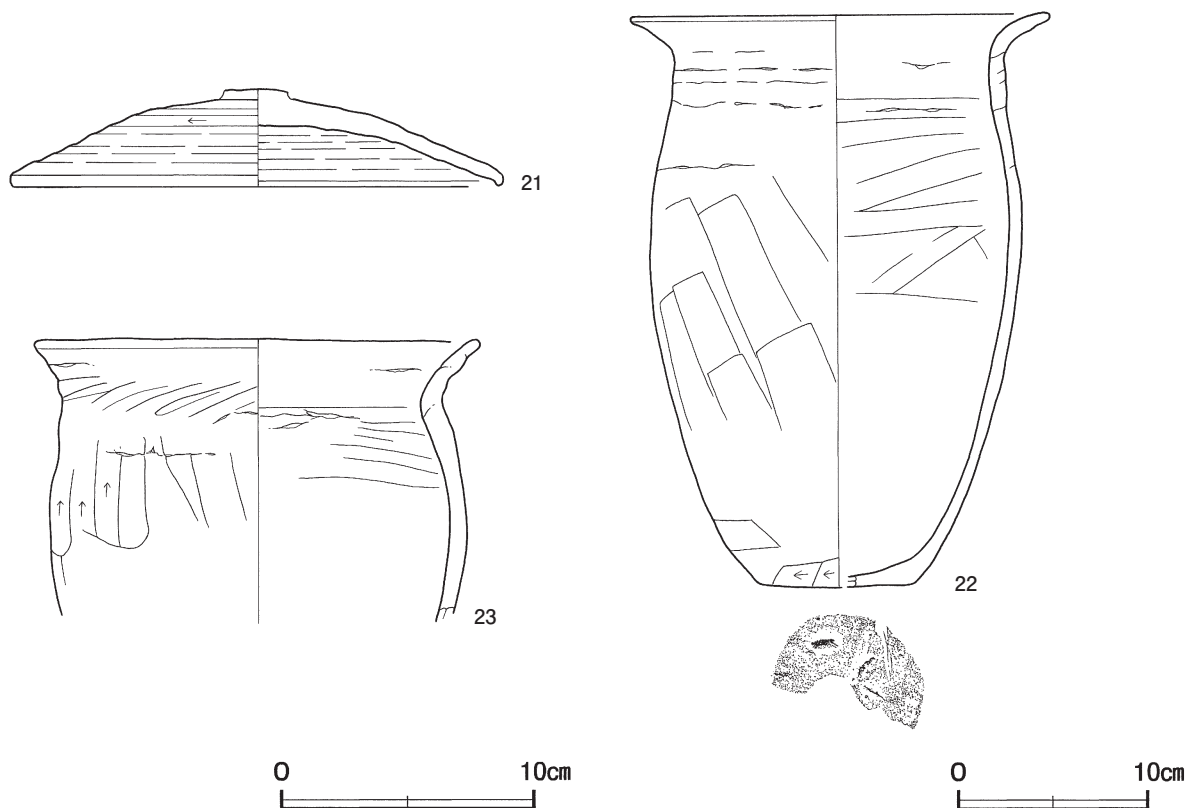
**覆土** 9層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第10～13層は貼床の構築土である。

#### 土層解説

|   |     |                             |    |     |                              |
|---|-----|-----------------------------|----|-----|------------------------------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子・鹿沼バミス粒子微量 | 8  | 暗褐色 | ロームブロック少量、鹿沼バミス粒子微量          |
| 2 | 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・鹿沼バミス粒子微量  | 9  | 暗褐色 | ローム粒子・鹿沼バミス粒子少量              |
| 3 | 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子少量       | 10 | 灰褐色 | 粘土ブロック中量、ローム粒子・鹿沼バミス粒子微量     |
| 4 | 黒褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子微量              | 11 | 暗褐色 | ロームブロック・粘土ブロック微量             |
| 5 | 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・鹿沼バミス粒子微量      | 12 | 黒褐色 | ロームブロック・粘土ブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 6 | 暗褐色 | ロームブロック・鹿沼バミス粒子少量           | 13 | 黒褐色 | ロームブロック少量、鹿沼バミスブロック、焼土粒子微量   |
| 7 | 黒褐色 | ロームブロック・鹿沼バミスブロック微量         |    |     |                              |

**遺物出土状況** 土師器片30点（坏5、甕類25）、須恵器片6点（蓋1、甕類5）、土製品2点（管状土錘、羽口）、磁器片1点（碗）、鉄滓1点、粘土塊5点、礫7点が出土している。21は南コーナー部の壁溝から、22は北東コーナー部の床面からそれぞれ出土している。23は竈前の覆土中層から出土した破片が接合したものである。

**所見** 時期は、出土土器から8世紀後葉に比定できる。



第17図 第9号住居跡出土遺物実測図

第9号住居跡出土遺物観察表（第17図）

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径   | 器高     | 底径  | 胎土            | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                                | 出土位置 | 備考      |
|----|-----|----|------|--------|-----|---------------|-------|----|--|------|---------|
| 21 | 須恵器 | 蓋  | 19.2 | (3.9)  | -   | 長石・石英・黒色粒子    | 浅黄    | 普通 | 天井部左回りの回転ヘラ削り                          | 壁溝   | 70% PL9 |
| 22 | 土師器 | 甕  | 21.4 | 30.0   | 8.1 | 長石・石英・雲母      | 褐     | 普通 | 体部斜位のヘラ削り後ナデ 底部ヘラナデ 内面横位のヘラナデ 体部輪積痕    | 床面   | 70% PL8 |
| 23 | 土師器 | 甕  | 17.7 | (11.3) | -   | 長石・石英・雲母・針状鉄物 | にぶい黄橙 | 良好 | 頸部外面斜位の棒状圧痕 体部外面縦位のヘラ削り 内面ナデ 頸部・口縁部輪積痕 | 覆土中層 | 20% PL8 |

第12号住居跡（第18・19図）

**位置** 調査区中央部のC9c6区、標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長軸4.15m、短軸3.90mの方形で、主軸方向はN-45°-Wである。壁高は18~22cmで、外傾して立ち上がっている。

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は中央部を深く掘り込み、第9~14層を埋土して構築されている。壁下には壁溝が全周している。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。上部を幅の広いトレンチャーで攪乱されており遺存状態はよくないが、規模は焚口部から煙道部まで約79cmで、燃焼部幅は約62cmである。袖部は白色粘土を主体とする第8~15層を積み上げて構築されている。煙道部は壁外に20cmほど掘り込まれ、外傾して立ち上がっている。

**竈土層解説**

|   |        |                                 |    |        |                                       |
|---|--------|---------------------------------|----|--------|---------------------------------------|
| 1 | 褐灰色    | 白色粘土ブロック少量、焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子微量  | 9  | 黒褐色    | 炭化粒子中量、白色粘土粒子・ロームブロック少量               |
| 2 | 灰褐色    | 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化物・白色粘土粒子微量   | 10 | にぶい黄褐色 | 焼土ブロック・白色粘土粒子・炭化粒子少量                  |
| 3 | 褐灰色    | 白色粘土粒子・砂粒多量、焼土粒子微量              | 11 | 褐色     | 炭化粒子中量、ロームブロック・白色粘土粒子微量               |
| 4 | 暗褐色    | 炭化物・ローム粒子・白色粘土粒子微量              | 12 | 暗褐色    | ローム粒子中量、鹿沼パミス粒子少量、白色粘土ブロック・炭化物・焼土粒子微量 |
| 5 | 暗褐色    | 焼土ブロック少量、炭化物・ローム粒子微量            | 13 | 褐色     | 炭化粒子中量、ローム粒子・白色粘土粒子・鹿沼パミス粒子少量         |
| 6 | 暗褐色    | 白色粘土ブロック少量、ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 | 14 | 暗褐色    | 炭化物多量、白色粘土粒子・ロームブロック微量                |
| 7 | 黒褐色    | ロームブロック・白色粘土ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量    | 15 | 橙褐色    | 炭化物多量、白色粘土ブロック中量・鹿沼パミス粒子少量、ロームブロック微量  |
| 8 | にぶい黄褐色 | 白色粘土粒子・炭化粒子少量                   |    |        |                                       |

**ピット** 9か所。P1~P4は深さ17~50cmで、配置から主柱穴と考えられる。P5は深さ24cmで、南壁際の中央部に位置することや硬化面の広がりから出入り口施設に伴うピットと考えられる。P6~P9は深さ10~18cmで性格は不明である。

**覆土** 8層に分層できる。各層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第9~14層は貼床の構築土である。

**土層解説**

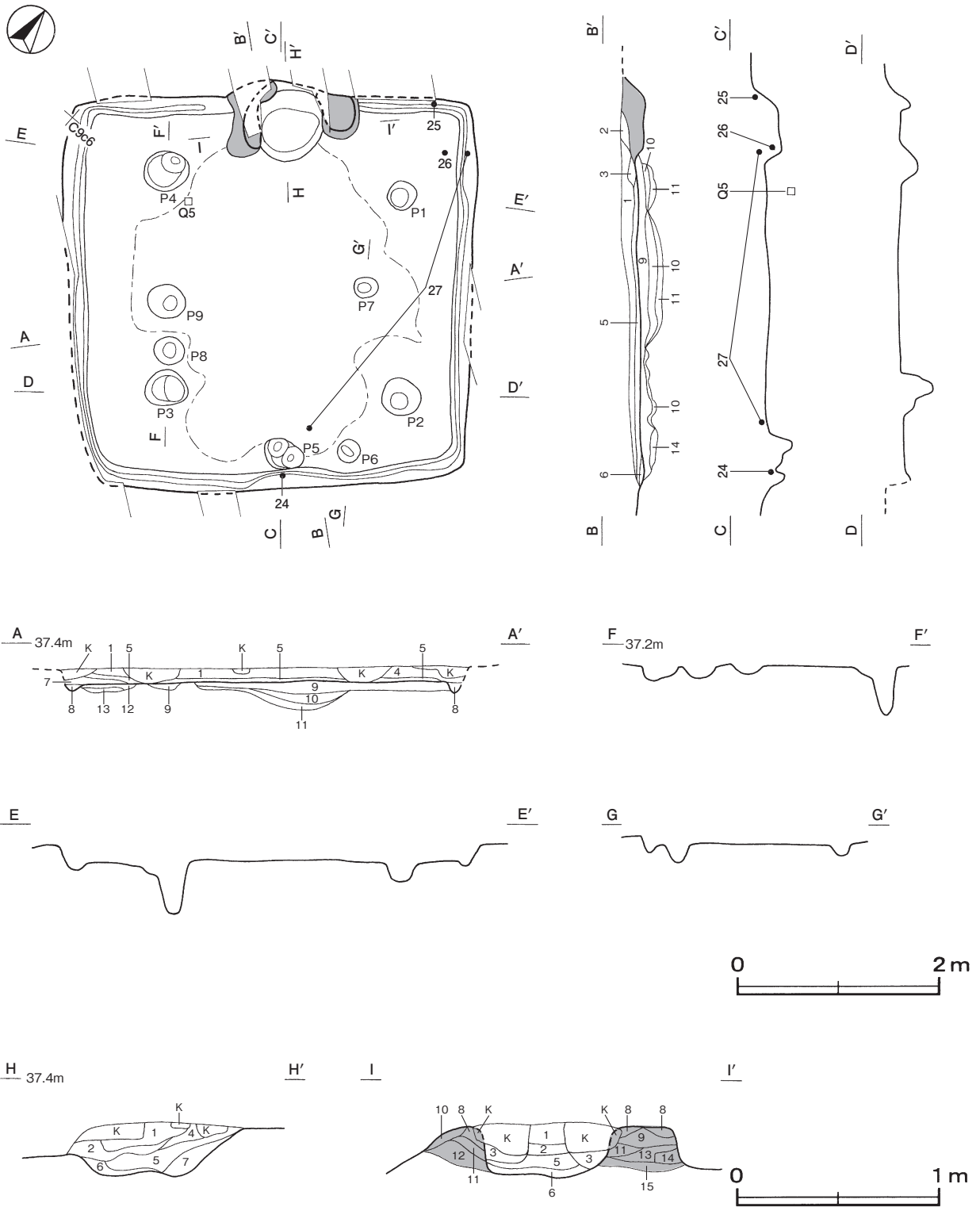
|   |     |                                   |    |     |                                   |
|---|-----|-----------------------------------|----|-----|-----------------------------------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・鹿沼パミス粒子微量            | 9  | 明褐色 | ロームブロック・鹿沼パミスブロック中量、炭化粒子少量、炭化物微量  |
| 2 | 灰褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量                      | 10 | 明褐色 | ロームブロック・炭化物・鹿沼パミス粒子少量             |
| 3 | 褐灰色 | 粘土ブロック少量、焼土ブロック・炭化物・ローム粒子微量       | 11 | 黄褐色 | 炭化粒子・鹿沼パミス粒子少量                    |
| 4 | 黒褐色 | 鹿沼パミスブロック・ローム粒子・焼土粒子微量            | 12 | 明褐色 | 炭化粒子少量                            |
| 5 | 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量               | 13 | 明褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量                    |
| 6 | 暗褐色 | ローム粒子少量、粘土ブロック微量                  | 14 | 明褐色 | 鹿沼パミスブロック多量、ロームブロック・粘土ブロック・炭化粒子少量 |
| 7 | 黒褐色 | ロームブロック少量                         |    |     |                                   |
| 8 | 明褐色 | 鹿沼パミスブロック多量・ロームブロック・粘土ブロック・炭化粒子少量 |    |     |                                   |

**遺物出土状況** 土師器片215点（坏17、甕類198）、須恵器片33点（坏18、蓋3、鉢8、小形壺1、甕3）、石器3点（砥石）が出土している。また、混入した磁器片1点（碗）が出土している。甕類を中心とする土

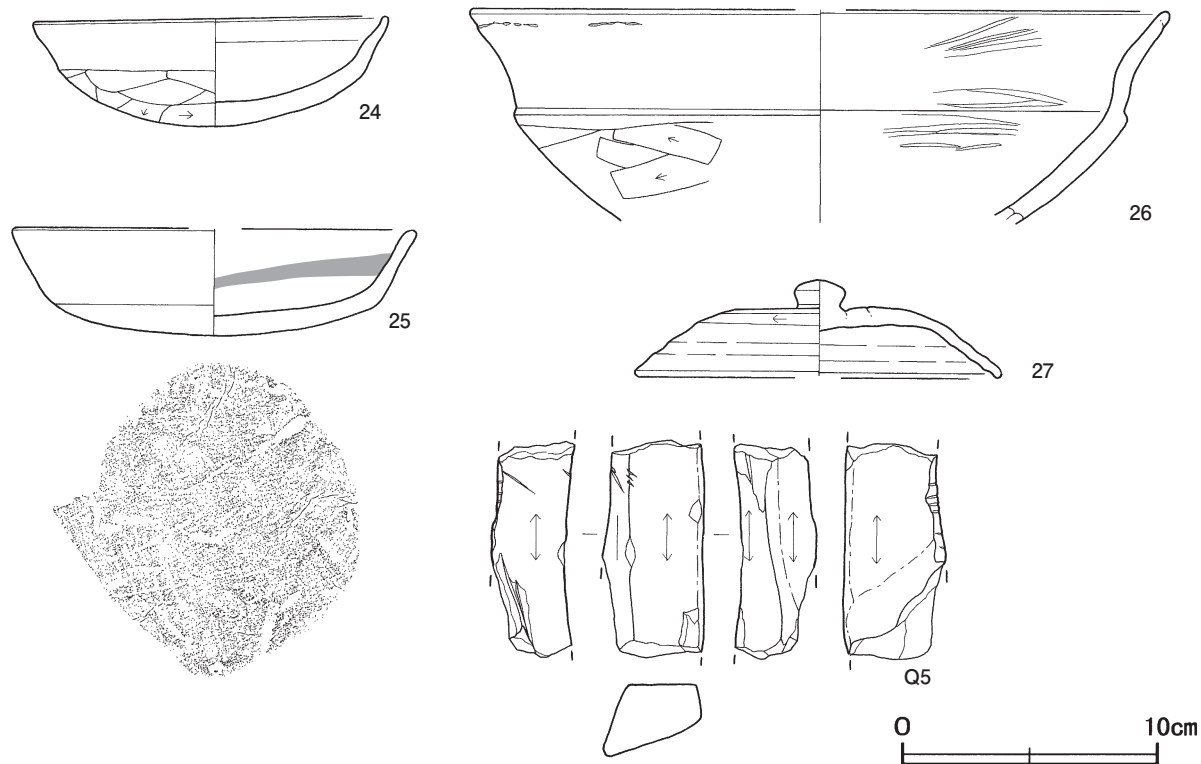


師器片 215 点は、全面的覆土上層から下層にかけて出土している。24 は南部の壁溝から逆位で、25 は北コーナー部の壁溝から出土している。26、Q 5 は貼床の構築土から出土している。27 は南部の覆土下層と北東壁溝から出土した破片が接合したものである。

所見 時期は、出土土器から 8 世紀中葉に比定できる。



第 18 図 第 12 号住居跡実測図



第19図 第12号住居跡出土遺物実測図

第12号住居跡出土遺物観察表（第19図）

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径     | 器高    | 底径 | 胎土              | 色調   | 焼成 | 手法の特徴ほか                      | 出土位置  | 備考      |
|----|-----|----|--------|-------|----|-----------------|------|----|------------------------------|-------|---------|
| 24 | 土師器 | 坏  | 13.9   | 4.4   | -  | 長石・石英・赤色粒子      | 橙    | 普通 | 内面ナデ 底部ヘラ削り後ナデ               | 壁溝    | 90% PL7 |
| 25 | 土師器 | 坏  | [15.8] | 4.3   | -  | 長石・石英・雲母・黒色粒子   | にぶい褐 | 良好 | 内面ナデ 底部ヘラ削り 内面煤附着            | 壁溝    | 65% PL7 |
| 26 | 土師器 | 坏  | [27.6] | (8.5) | -  | 長石・石英・雲母・細礫     | にぶい橙 | 良好 | 体部ヘラ削り 内面横ナデ後横位のヘラミガキ 口縁部輪積痕 | 貼床構築土 | 5%      |
| 27 | 須恵器 | 蓋  | [14.2] | 3.4   | -  | 長石・細礫・針状鉱物・黒色粒子 | 黄灰   | 良好 | 天井部左回りの回転ヘラ削り後つまみ貼付け         | 覆土下層  | 40% PL9 |

| 番号 | 器種 | 長さ    | 幅   | 厚さ  | 重量      | 材質 | 特徴                | 出土位置  | 備考   |
|----|----|-------|-----|-----|---------|----|-------------------|-------|------|
| Q5 | 砥石 | (8.6) | 4.1 | 3.3 | (118.7) | 砂岩 | 砥面4面 他は破断面 側面粗研ぎ痕 | 貼床構築土 | PL10 |

表2 奈良時代竪穴住居跡一覧表

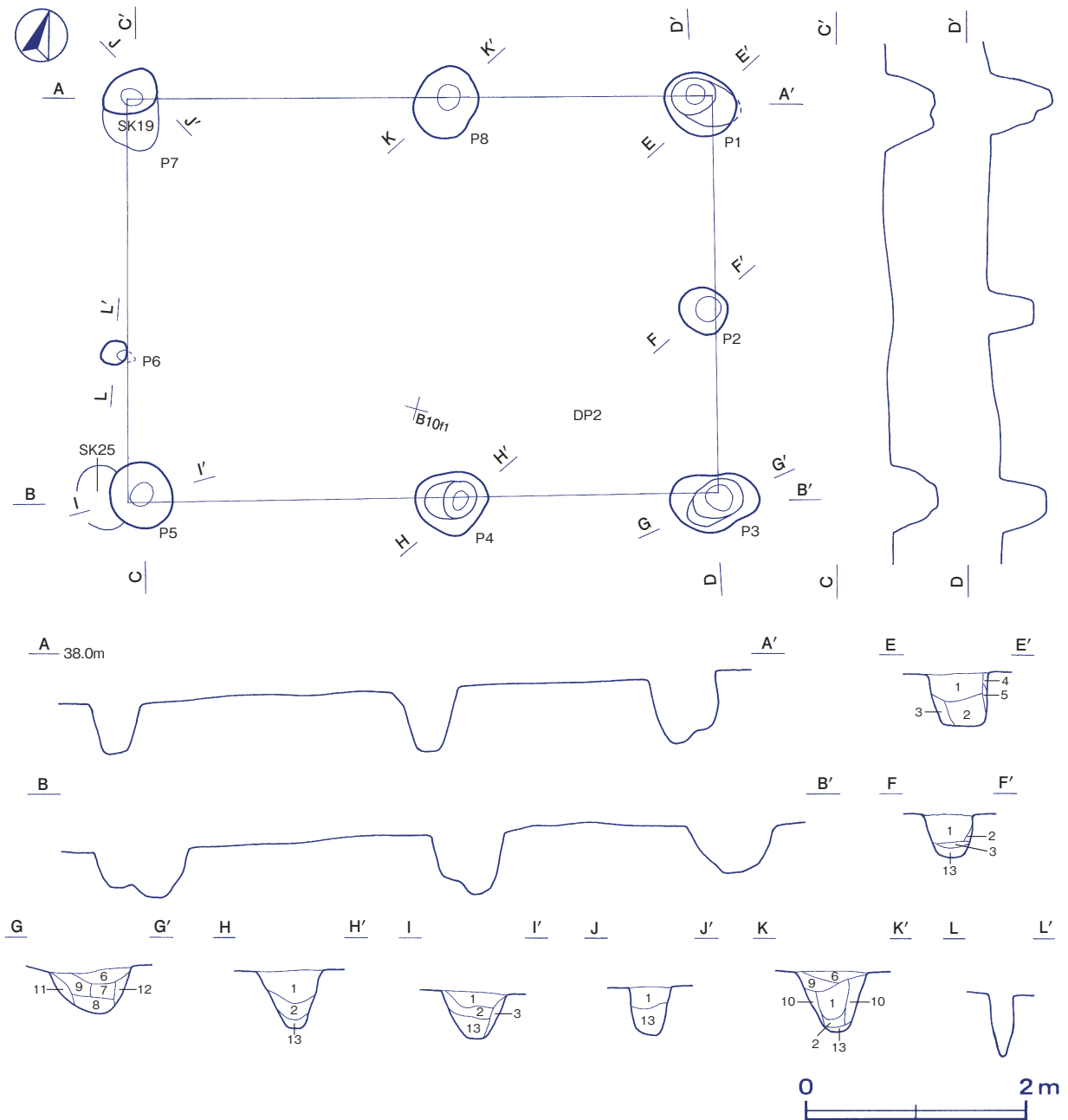
| 番号 | 位置          | 平面形 | 主軸方向    | 規模            |  | 壁高 (cm) | 床面 | 壁溝   | 内部施設 |     |     |     |     | 覆土 | 主な出土遺物                | 時期       | 備考<br>重複関係<br>(古→新) |
|----|-------------|-----|---------|---------------|--|---------|----|------|------|-----|-----|-----|-----|----|-----------------------|----------|---------------------|
|    |             |     |         | 長軸×短軸 (m)     |  |         |    |      | 主柱穴  | 出入口 | ビット | 炉・竈 | 貯蔵穴 |    |                       |          |                     |
| 2  | A10j5       | 方形  | N-26°-W | 3.90 × 3.69   |  | 40~60   | 平坦 | ほぼ全周 | 4    | 1   | -   | 1   | -   | 自然 | 土師器, 須恵器, 土製品, 鉄製品    | 8世紀後葉    | SI 1→本跡             |
| 3  | A10i3       | 方形  | N-18°-W | 3.32 × 3.32   |  | 32~55   | 平坦 | ほぼ全周 | -    | 1   | -   | 1   | -   | 自然 | 土師器, 須恵器, 鉄製品         | 8世紀中葉~後葉 | 本跡→PG1              |
| 6  | A 9j0 [長方形] | 長方形 | N-16°-W | 4.08 × (2.75) |  | 37~43   | 平坦 | 全周   | 2    | 1   | -   | 1   | -   | 人為 | 土師器, 須恵器, 土製品         | 8世紀前葉    |                     |
| 9  | B 9e9       | 長方形 | N-37°-W | 4.22 × 3.76   |  | 10~15   | 平坦 | ほぼ全周 | 4    | 1   | 5   | 1   | -   | 人為 | 土師器, 須恵器, 土製品, 磁器, 鉄滓 | 8世紀後葉    | 本跡→SK1・13           |
| 12 | C 9c6       | 方形  | N-45°-W | 4.15 × 3.90   |  | 18~22   | 平坦 | 全周   | 4    | 1   | 4   | 1   | -   | 人為 | 土師器, 須恵器, 石器          | 8世紀中葉    |                     |

(2) 掘立柱建物跡

第2号掘立柱建物跡（第20・21図）

位置 調査区中央部のB 9e0区, 標高38mほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第19・25号土坑を掘り込んでいる。



第20図 第2号掘立柱建物跡実測図

**規模と構造** 桁行2間，梁行2間の側柱建物跡で，桁行方向がN - 74° - Eの東西棟である。規模は桁行5.40m，梁行3.60mで，面積は19.44㎡である。柱間寸法は，桁行が西妻から3.00m（10尺）・2.40m（8尺）で梁行は，西妻が北平から2.40m（8尺）・1.20m（4尺）で，東妻が1.80m（6尺）である。柱筋はほぼ揃っている。

**柱穴** 8か所。平面形は円形または楕円形で，長径22～78cm，短径20～58cmである。深さは43～60cmである。

**覆土** 13層に分層できる。第1層は抜き取り後の覆土，第10層は埋土である。

**土層解説**

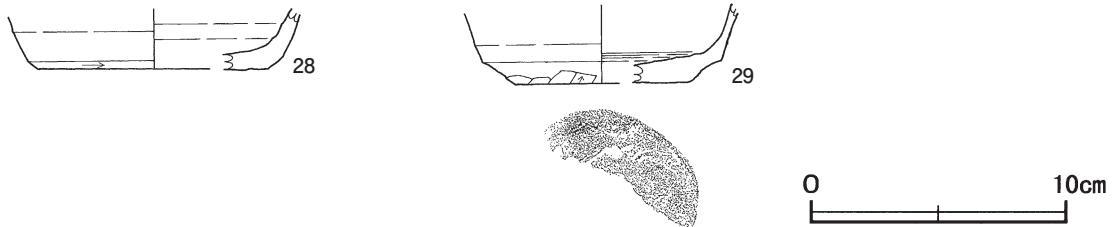
- |       |                    |       |                       |
|-------|--------------------|-------|-----------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化物・焼土粒子微量 | 5 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量        |
| 2 黒褐色 | 炭化物・ローム粒子微量        | 6 黒褐色 | ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・炭化物微量      | 7 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量   |
| 4 褐色  | ロームブロック中量          | 8 黒褐色 | ロームブロック微量             |

9 暗 褐 色 ロームブロック中量  
 10 黒 褐 色 ローム粒子微量  
 11 黒 褐 色 ロームブロック少量

12 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量  
 13 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片 20 点 (甕類), 須恵器片 6 点 (坏 3, 甕 3) が出土している。28 は P 4 の覆土中から, 29 は P 1 の覆土中からそれぞれ出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 8 世紀後葉と推定される。



第 21 図 第 2 号掘立柱建物跡出土遺物実測図

第 2 号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第 21 図)

| 番号 | 種 別 | 器種 | 口径 | 器高    | 底径    | 胎 土           | 色 調 | 焼成 | 手 法 の 特 徴 ほか       | 出土位置   | 備 考 |
|----|-----|----|----|-------|-------|---------------|-----|----|--------------------|--------|-----|
| 28 | 須恵器 | 坏  | -  | (2.3) | [9.0] | 長石            | 灰   | 普通 | 体部下端・底部右回りの回転ヘラ削り  | P4 覆土中 | 10% |
| 29 | 須恵器 | 坏  | -  | (3.1) | [6.8] | 長石・石英・細礫・針状鉄物 | 灰   | 普通 | 底部ヘラ削り 底面ヘラナデ 二次底面 | P1 覆土中 | 15% |

### 3 平安時代の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は, 竪穴住居跡 6 軒, 竪穴遺構 1 基, 粘土採掘坑 2 か所, 土坑 11 基である。以下, それぞれの遺構の特徴と出土した遺物について記述する。

#### (1) 竪穴住居跡

##### 第 1 号住居跡 (第 22・23 図)

**位置** 調査区北部の A10j6 区, 標高 39 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第 2 号住居跡を掘り込み, 第 1 号ピット群に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸 3.31 m, 短軸 2.26 m の長方形で, 主軸方向は N - 6° - E である。壁高は 3 ~ 11cm で, 外傾して立ち上がっている。

**床** ほほ平坦で, 壁際まで踏み固められている。壁溝は確認できなかった。

**竈** 北壁の東寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 120cm で, 燃焼部幅は 70cm である。袖部は地山を 6 cm ほど掘りくぼめたところに, ロームブロック混じりの第 19 層を埋土とし, その上に砂質粘土混じりの第 16 ~ 18 層を積み上げて構築されている。火床部は床面から 6 cm ほど皿状に掘り込まれ, 火床面は赤変硬化しており, 内壁も赤変している。煙道部は壁外に 72cm 掘り込まれ, 火床部から外傾して立ち上がっている。

#### 電土層解説

1 暗 褐 色 粘土ブロック中量, ロームブロック・焼土粒子微量  
 2 にぶい赤褐色 焼土ブロック・粘土ブロック・炭化物少量  
 3 明 赤 褐色 炭化物・焼土粒子少量  
 4 褐 色 粘土ブロック・砂質粘土粒子中量, 焼土粒子少量  
 5 明 赤 褐色 焼土粒子多量, 炭化粒子少量  
 6 にぶい赤褐色 焼土ブロック少量, 炭化物微量

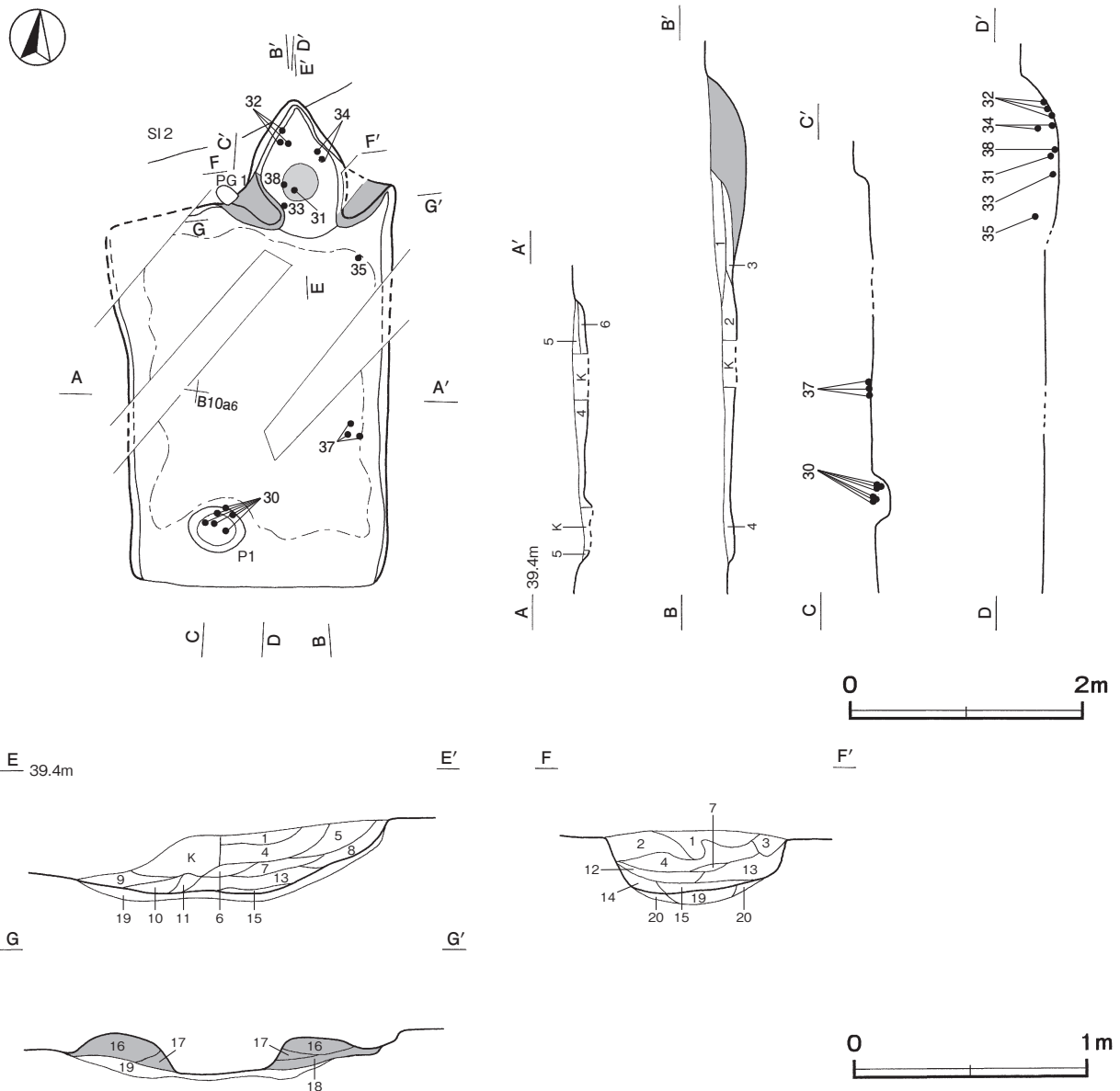
- |    |        |                              |    |        |                          |
|----|--------|------------------------------|----|--------|--------------------------|
| 7  | にぶい赤褐色 | 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量             | 15 | にぶい赤褐色 | 焼土ブロック中量, 炭化物・ローム粒子微量    |
| 8  | 赤褐色    | 焼土粒子中量, 炭化粒子少量               | 16 | 明褐色    | 砂質粘土ブロック多量, ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 9  | 黒褐色    | 砂質粘土粒子少量, 焼土ブロック・焼土粒子微量      | 17 | 明褐色    | 砂質粘土粒子中量, 焼土ブロック・ローム粒子微量 |
| 10 | 黒褐色    | 砂質粘土粒子少量, ロームブロック・焼土粒子微量     | 18 | にぶい橙色  | ロームブロック・焼土ブロック・砂質粘土粒少量   |
| 11 | 赤褐色    | 焼土ブロック・砂質粘土粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 19 | 褐色     | ローム粒子多量, 焼土粒子微量          |
| 12 | にぶい赤褐色 | 焼土ブロック多量, 炭化粒子少量             | 20 | 暗赤褐色   | 焼土粒子少量, ローム粒子・炭化粒子微量     |
| 13 | にぶい赤褐色 | 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量             |    |        |                          |
| 14 | 明赤褐色   | 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量             |    |        |                          |

ピット 深さ15cmで、位置から出入口施設に伴うピットと考えられる。

覆土 6層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

土層解説

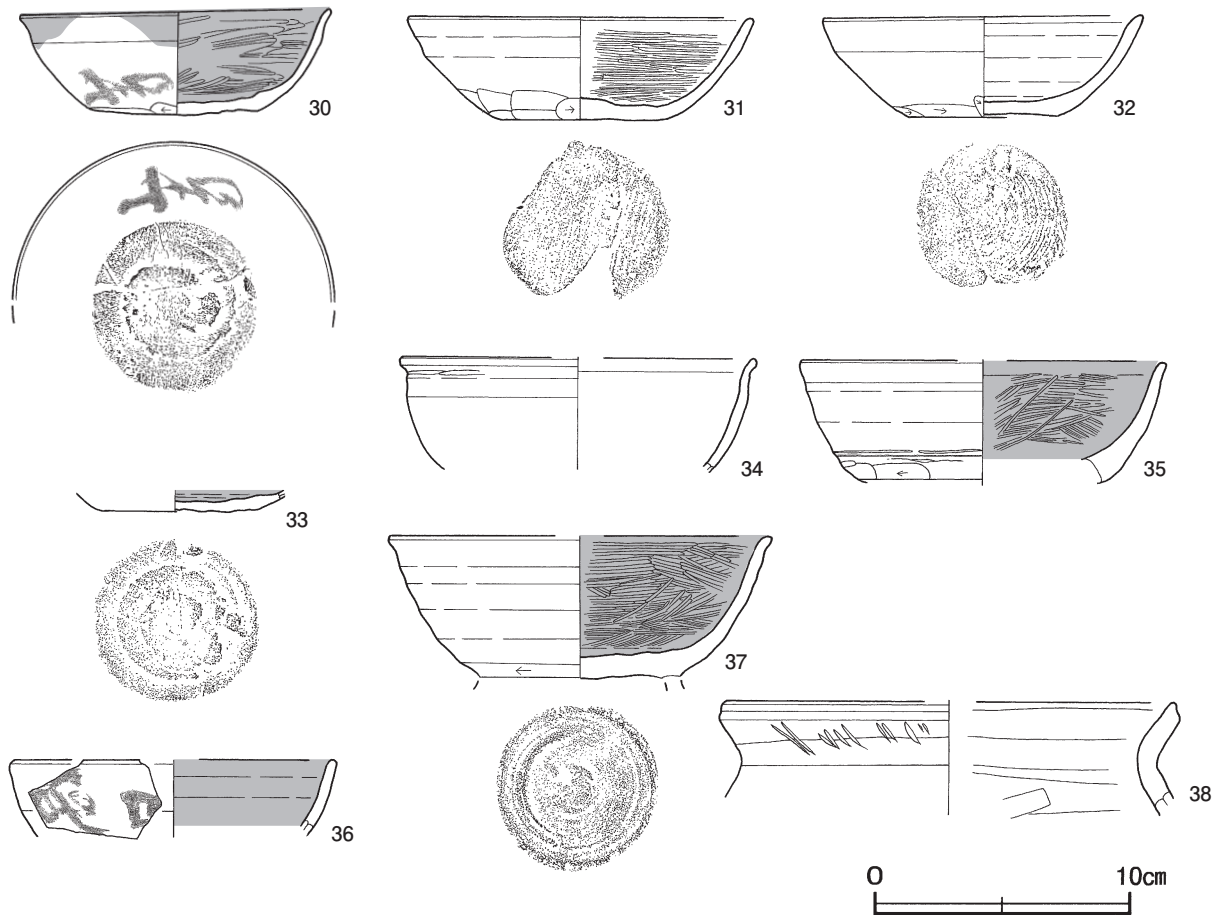
- |   |      |                                |   |     |                        |
|---|------|--------------------------------|---|-----|------------------------|
| 1 | 暗褐色  | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量              | 4 | 褐色  | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 | 極暗褐色 | ローム粒子少量, 炭化粒子・焼土粒子微量           | 5 | 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子微量  |
| 3 | 黒褐色  | ロームブロック中量, 焼土粒子・粘土粒子少量, 炭化粒子微量 | 6 | 明褐色 | ロームブロック多量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |



第22図 第1号住居跡実測図

遺物出土状況 土師器片 139 点 (坏 43, 椀 1, 高台付坏 1, 甕類 94), 須恵器片 3 点 (坏), が出土している。また混入した縄文土器片 3 点 (深鉢) も出土している。31, 32, 33, 34, 38 は竈火床部の覆土下層から, 37 は中央部の床面から, 35 は北東部の覆土下層から, 36 は覆土中からそれぞれ出土している。30 は P 1 の覆土中層から出土した破片が接合したものである。

所見 時期は, 出土土器から 9 世紀後葉に比定できる。



第 23 図 第 1 号住居跡出土遺物実測図

第 1 号住居跡出土遺物観察表 (第 23 図)

| 番号 | 種別  | 器種   | 口径     | 器高    | 底径     | 胎土                 | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか  | 出土位置    | 備考      |
|----|-----|------|--------|-------|--------|--------------------|-------|----|--|---------|---------|
| 30 | 土師器 | 坏    | 12.3   | 4.3   | 6.6    | 長石・石英・細礫・針状鉱物      | にぶい黄橙 | 普通 | 内面ヘラミガキ 体部下端回転ヘラ削り 底部回転ヘラ切り後ナデ 外・内面黒色処理 外面体部下端に墨書「寺」 | P1 覆土中層 | 85% PL6 |
| 31 | 土師器 | 坏    | 13.6   | 4.1   | 6.5    | 長石・石英              | にぶい赤褐 | 普通 | 内面ヘラミガキ 底部回転ヘラ削り後ナデ                                  | 火床部     | 70% PL7 |
| 32 | 土師器 | 坏    | 12.6   | 4.1   | 6.0    | 長石・雲母・細礫・黒色粒子      | にぶい橙  | 良好 | 体部下端回転ヘラ削り 底部回転糸切り後ヘラナデ                              | 火床部     | 50% PL7 |
| 33 | 土師器 | 坏    | -      | (0.9) | 6.5    | 長石・石英              | にぶい黄橙 | 普通 | 外・内面ロクロナデ内面ヘラミガキ 底部回転ヘラ削り 内面黒色処理                     | 火床部     | 20%     |
| 34 | 土師器 | 坏    | [13.9] | (4.5) | -      | 長石・石英・細礫・赤色粒子・黒色粒子 | にぶい黄橙 | 普通 | 外・内面剥離   | 火床部     | 20%     |
| 36 | 土師器 | 坏    | [12.8] | (3.1) | -      | 長石・石英・雲母           | 明褐    | 普通 | 外・内面ロクロナデ 内面黒色処理 体部外面に横位で「高月」の墨書                     | 覆土中     | 5% PL6  |
| 35 | 土師器 | 椀    | [14.2] | (4.9) | [10.0] | 長石・石英・細礫・針状鉱物      | にぶい黄橙 | 良好 | 内面ヘラミガキ 体部下端回転ヘラ削り後ナデ 内面黒色処理 輪積痕                     | 覆土下層    | 15%     |
| 37 | 土師器 | 高台付坏 | [15.0] | (5.7) | -      | 長石・石英・雲母・黒色粒子      | にぶい褐  | 普通 | 外面ロクロナデ 内面ヘラミガキ 底部左回りの回転ヘラ削り後高台貼付け 内面黒色処理            | 床面      | 50% PL7 |
| 38 | 土師器 | 甕    | [17.8] | (4.5) | -      | 石英・雲母              | にぶい橙  | 普通 | 体部内面粗いヘラナデ 頸部外面斜位の工具痕                                | 火床部     | 10%     |

## 第5号住居跡(第24図)

**位置** 調査区南西部のC9b4区, 標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 南東部が削平されているため, 北西・南東軸2.73m, 北東・南西軸2.62mしか確認できなかった。形状は方形もしくは長方形で, 主軸方向はN-33°-Eと推定される。壁高は5~8cmで, 外傾して立ち上がっている。

**床** 平坦で, 硬化面, 壁溝は確認できない。

**ピット** 深さ10cmで, 位置から出入口施設に伴うピットと考えられる。

**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

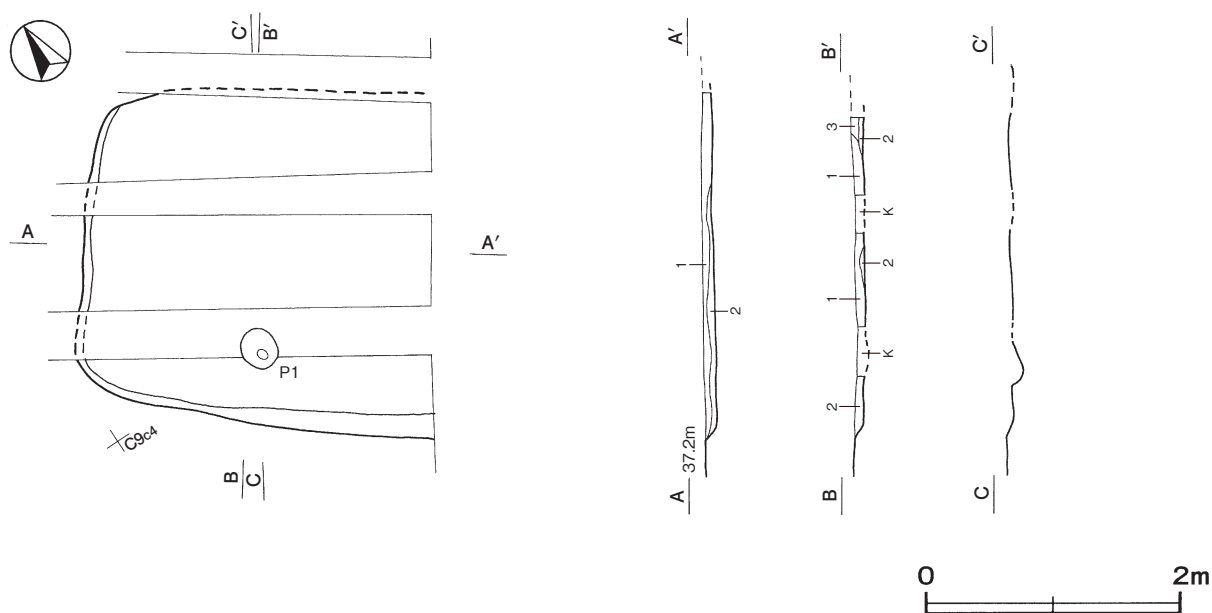
## 土層解説

1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量  
2 褐色 ローム粒子中量

3 黒褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量

**遺物出土状況** 土師器片14点(坏6, 甕類8)が出土している。陶器片2点(碗), 磁器片1点(碗)も出土している。遺物は細片のため図示できない。

**所見** 出土土器が細片のため時期の確定は困難であるが, 覆土中から出土している坏の様相から9世紀以降と推定される。



第24図 第5号住居跡実測図

## 第7号住居跡(第25図)

**位置** 調査区北部のB10a1区, 標高38mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第4号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸3.60m, 短軸3.25mの長方形で, 主軸方向はN-2°-Eである。壁高は3cmで, 外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦で, 踏み固められていない。北東コーナー部の壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。攪乱を受けているため遺存状態は悪く、規模は焚口部から煙道部まで約97cmで、燃焼部幅は約40cmしか確認できなかった。袖部は地山を掘り残して基部とし、その上にロームブロック混じりの第3層を積み上げて構築されている。左袖は攪乱を受け遺存しない。火床面の赤変は認められない。

**竈土層解説**

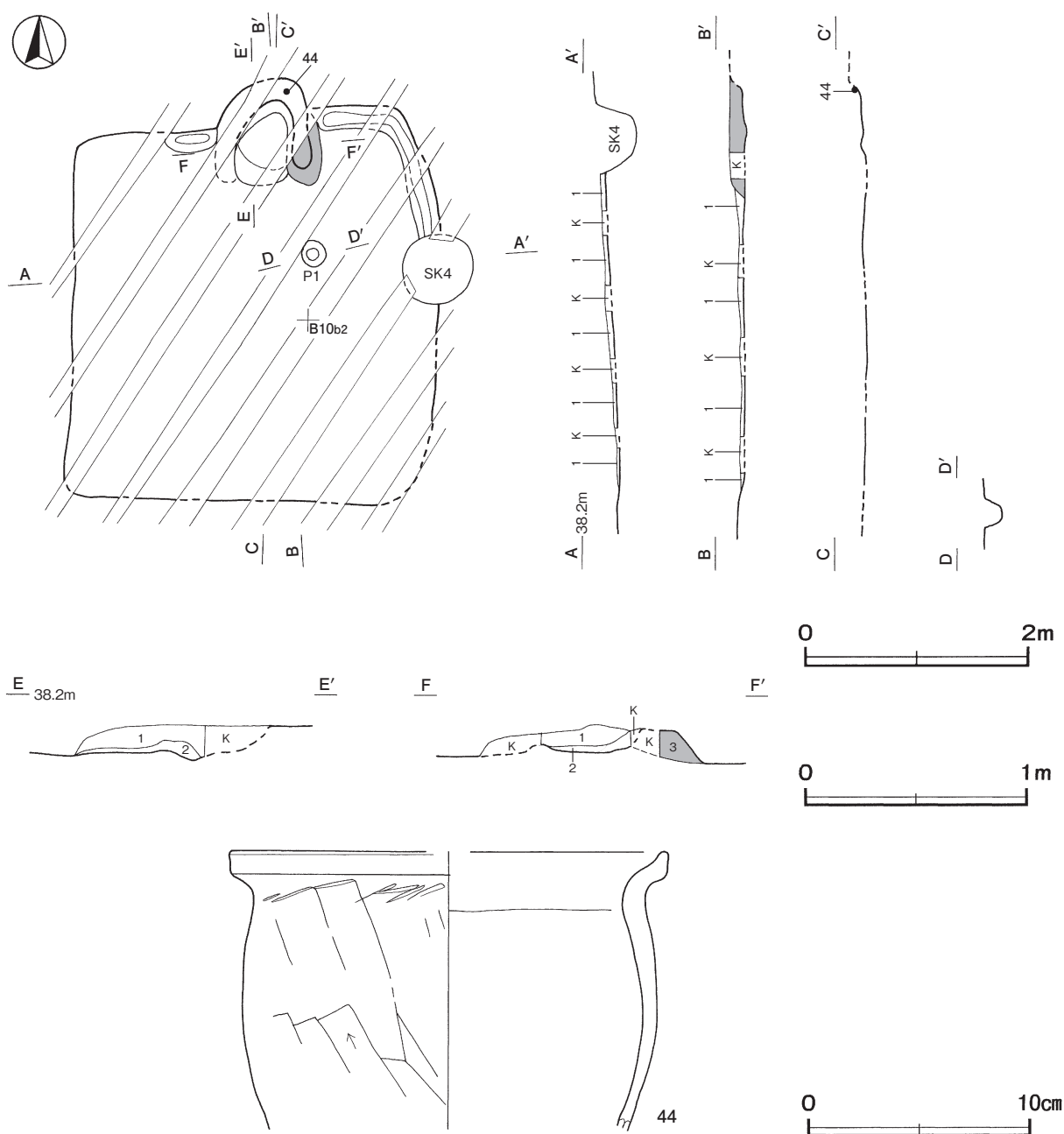
- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量

**ピット** 深さ18cmで性格は不明である。

**覆土** 単一層である。層厚が薄いため、堆積状況は不明である。

**土層解説**

- 1 褐色 ロームブロック少量、鹿沼パミス粒子・七本桜パミス微量



第25図 第7号住居跡・出土遺物実測図



**遺物出土状況** 土師器片 71 点 (坏 32, 甕類 39), 須恵器片 5 点 (甕) が出土している。44 は竈の覆土下層から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 9 世紀後葉に比定できる。

第 7 号住居跡出土遺物観察表 (第 25 図)

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径     | 器高    | 底径 | 胎土       | 色調 | 焼成 | 手法の特徴ほか                         | 出土位置  | 備考  |
|----|-----|----|--------|-------|----|----------|----|----|---------------------------------|-------|-----|
| 44 | 土師器 | 甕  | [19.5] | (127) | -  | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 体部へら削り後粗いへらナデ<br>内面ナデ 頸部<br>工具痕 | 竈覆土下層 | 15% |

**第 8 号住居跡** (第 26 図)

**位置** 調査区北東部の B10d2 区, 標高 38 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 攪乱を受けているが, 規模は北東・南西軸 3.85 m, 北西・南東軸 2.70 m の長方形と推定でき, 長軸方向は N - 31° - E である。壁高は 5 ~ 9 cm で, 外傾して立ち上がっている。

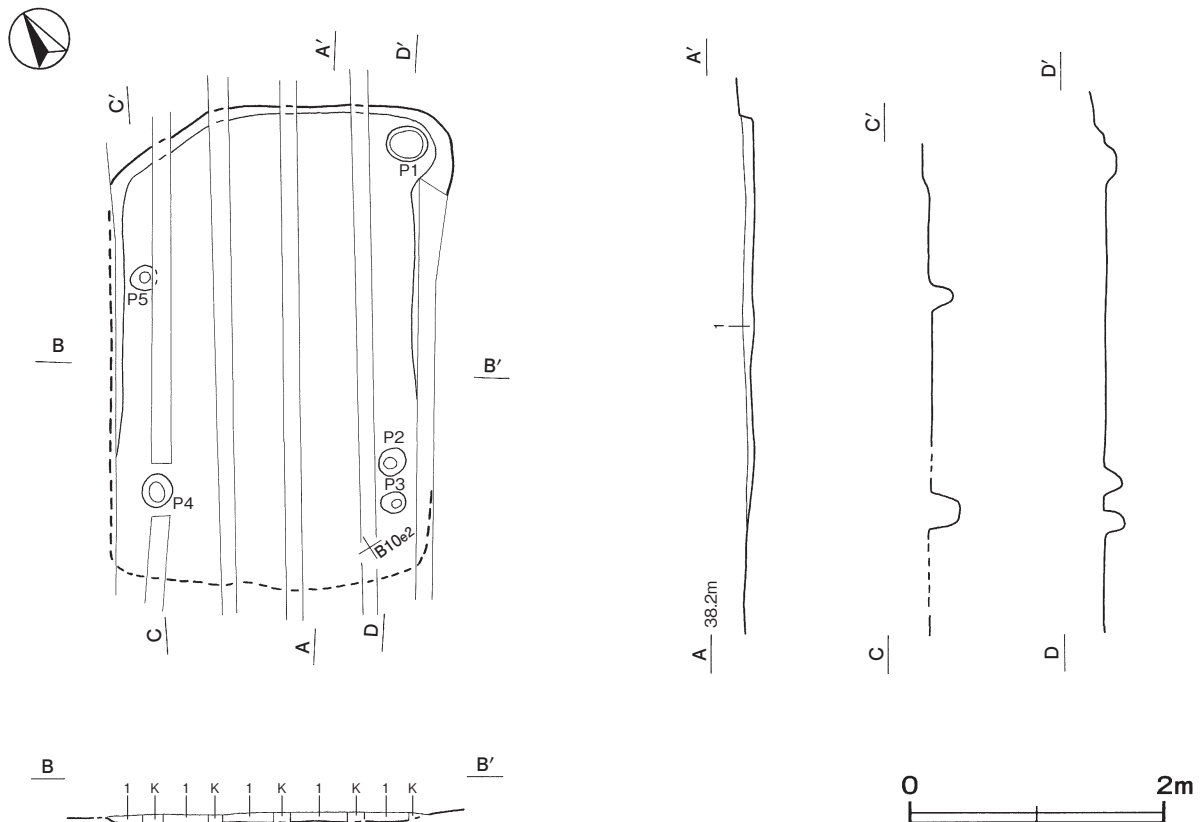
**床** ほぼ平坦で, 硬化面は認められない。

**覆土** 単一層である。層厚が薄いため, 堆積状況は不明である。

**土層解説**

- 1 褐 色 ロームブロック少量, 鹿沼パミス粒子・七本桜パミス微量

**ピット** 5 か所。P 1 ~ P 5 は深さ 10 ~ 34 cm で, P 4・P 5 は配置から支柱穴の可能性が考えられる。P 1 ~ P 3 は性格は不明である。



第 26 図 第 8 号住居跡実測図

**遺物出土状況** 土師器片 29 点（坏 13, 甕類 16）, 土製品 1 点（紡錘車カ）が出土している。遺物は細片のため図示できない。

**所見** 出土土器が細片のため時期の確定は困難であるが、覆土中から出土している坏の様相から 9 世紀以降と推定される。

### 第 10 号住居跡（第 27 図）

**位置** 調査区中央部東側の B 9j9 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第 96 号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 一辺 4.03 m の方形で, 主軸方向は N - 27° - W である。壁高は 8 ~ 20cm で, 外傾して立ち上がっている。

**床** 平坦な貼床で, 中央部が踏み固められている。北コーナー部を除いた壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで約 97cm で, 燃烧部幅は 47cm しか確認できなかった。右袖部は粘土ブロックを含む 18 層の上に, 粘土を主体とした第 15・16・17 層を積み上げて構築されている。左袖部は攪乱を受け遺存状態は良くないが, 白色粘土を含む黒褐色土の第 14 層の上に, 粘土を主体とした第 13 層を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで, 火床面の赤変, 硬化はともに認められない。煙道部は壁外に 29cm 掘り込まれ, 火床部から外傾して立ち上がっている。

#### 竈土層解説

|         |                                  |           |                                     |
|---------|----------------------------------|-----------|-------------------------------------|
| 1 灰黄色   | 白色粘土ブロック多量, ロームブロック・焼土ブロック微量     | 10 黒褐色    | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量            |
| 2 にぶい橙色 | 焼土ブロック・白色粘土ブロック・ローム粒子微量          | 11 灰褐色    | 焼土ブロック少量, ロームブロック・白色粘土ブロック・炭化粒子微量   |
| 3 暗褐色   | 焼土ブロック少量, ロームブロック・白色粘土ブロック・炭化物微量 | 12 暗褐色    | 焼土ブロック・炭化物・ローム粒子・焼土粒子少量, 白色粘土ブロック微量 |
| 4 黒褐色   | 白色粘土ブロック少量, ローム粒子・焼土粒子微量         | 13 灰黄褐色   | 焼土ブロック・炭化物・ローム粒子微量                  |
| 5 黒褐色   | ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量          | 14 黒褐色    | ロームブロック・焼土ブロック・焼土粒子少量, 炭化物・白色粘土粒子微量 |
| 6 にぶい褐色 | 焼土ブロック少量, ロームブロック・炭化物・白色粘土粒子微量   | 15 黄褐色    | 焼土粒子微量                              |
| 7 黒褐色   | ロームブロック・焼土粒子微量                   | 16 灰褐色    | 焼土ブロック少量, ロームブロック・炭化物・白色粘土粒子微量      |
| 8 黒褐色   | ロームブロック少量, 白色粘土ブロック微量            | 17 暗灰黄色   | 炭化物微量                               |
| 9 黒褐色   | 焼土ブロック少量, ロームブロック・炭化物微量          | 18 にぶい黄褐色 | 粘土ブロック・焼土粒子少量, ロームブロック・炭化物微量        |

**ピット** 6 か所。P 1 ~ P 4 は深さ 28 ~ 40cm で, 配置から主柱穴と考えられる。P 5 は深さ 28cm で, 南壁際のほぼ中央に位置していることや, 硬化面の広がりから出入り口施設に伴うピットと考えられる。P 6 は位置から壁柱穴と考えられる。

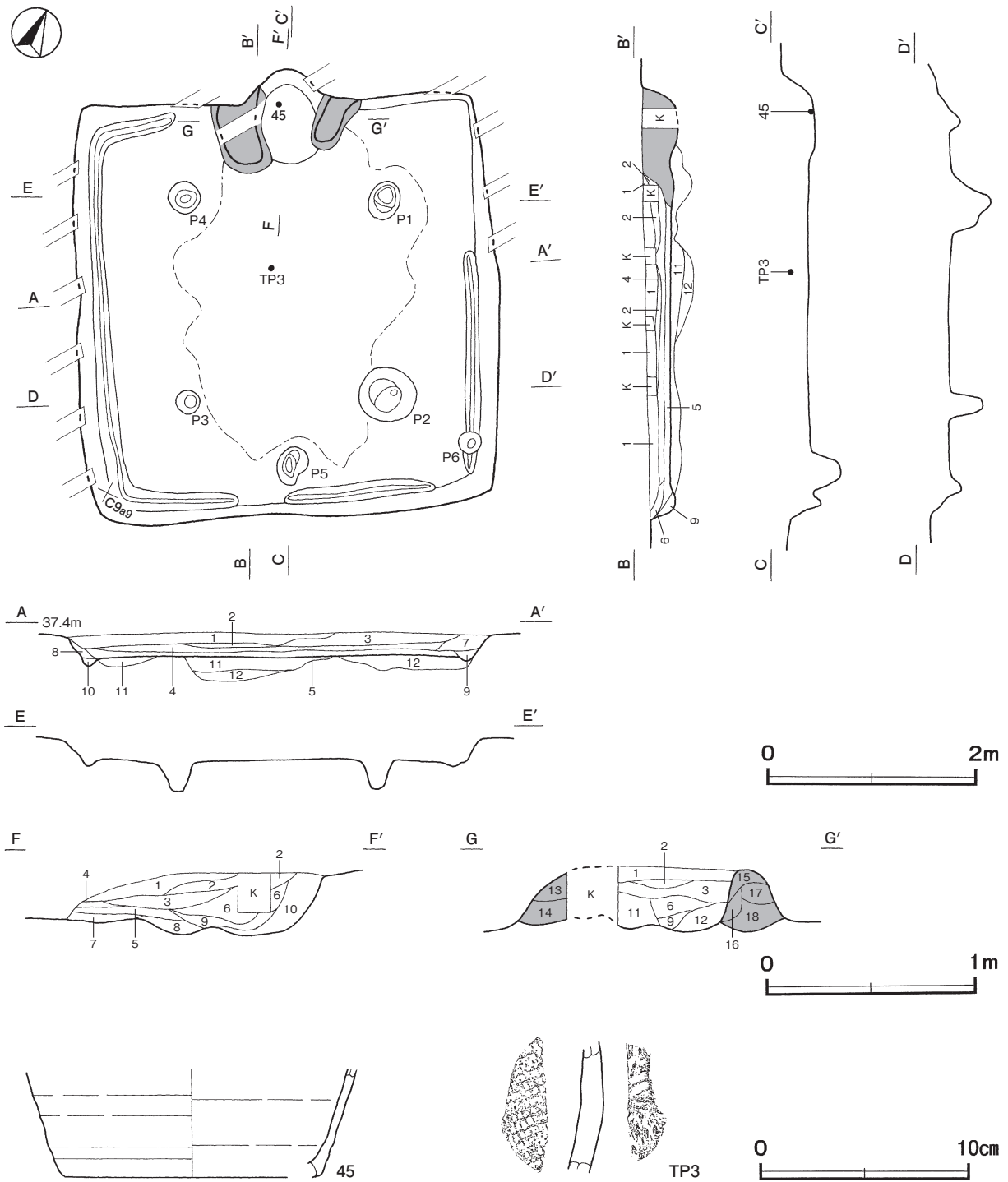
**覆土** 10 層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。第 11・12 層は貼床の構築土である。

#### 土層解説

|       |                                      |        |                               |
|-------|--------------------------------------|--------|-------------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・砂質粘土ブロック・炭化物微量               | 7 黒褐色  | ロームブロック少量, 焼土ブロック・鹿沼パミスブロック微量 |
| 2 灰褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・砂質粘土ブロック少量, 砂質粘土粒子微量  | 8 黒褐色  | ロームブロック・焼土ブロック・鹿沼パミス粒子微量      |
| 3 黒褐色 | 砂質粘土粒子少量, ロームブロック, 焼土ブロック・砂質粘土ブロック微量 | 9 黒褐色  | ローム粒子・鹿沼パミス粒子微量               |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量, 鹿沼パミス粒子微量                 | 10 暗褐色 | ロームブロック微量                     |
| 5 黒褐色 | ロームブロック・鹿沼パミス粒子微量                    | 11 黒褐色 | ロームブロック中量, 鹿沼パミスブロック微量        |
| 6 黒褐色 | ロームブロック微量                            | 12 褐色  | ロームブロック多量, 鹿沼パミスブロック少量        |

**遺物出土状況** 土師器片 130 点（坏 13, 甕類 117）, 須恵器片 14 点（坏 7, 蓋 1, 甕類 6）が出土している。45 は竈煙道部から, TP 3 は覆土上層から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 9 世紀後葉に比定できる。



第 27 図 第 10 号住居跡・出土遺物実測図

第 10 号住居跡出土遺物観察表 (第 27 図)

| 番号   | 種別  | 器種 | 口径 | 器高    | 底径     | 胎土    | 色調 | 焼成 | 手法の特徴ほか                 | 出土位置         | 備考  |
|------|-----|----|----|-------|--------|-------|----|----|-------------------------|--------------|-----|
| 45   | 須恵器 | 坏  | -  | (5.2) | [12.3] | 長石・石英 | 灰  | 普通 | 体部下端回転ヘラ削り              | 竈煙道部<br>覆土下層 | 10% |
| TP 3 | 須恵器 | 甕  |    |       |        | 長石・石英 | 灰  |    | 体部外面格子叩き<br>内面同心円文の当て具痕 | 覆土上層         | 5%  |

### 第 11 号住居跡 (第 28・29 図)

**位置** 調査区中央部東寄りの C 9b8 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第 1 号竪穴遺構, 第 62 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 東半部が調査区域外に延びており, 北東部を第 62 号土坑と第 1 号竪穴遺構に掘り込まれているため, 北東・南西軸 2.86 m, 北西・南東軸 2.48 m しか確認できなかった。平面形は方形もしくは長方形と推定され, 主軸方向は N - 35° - W である。壁高は 10 ~ 20 cm で, 外傾して立ち上がっている。

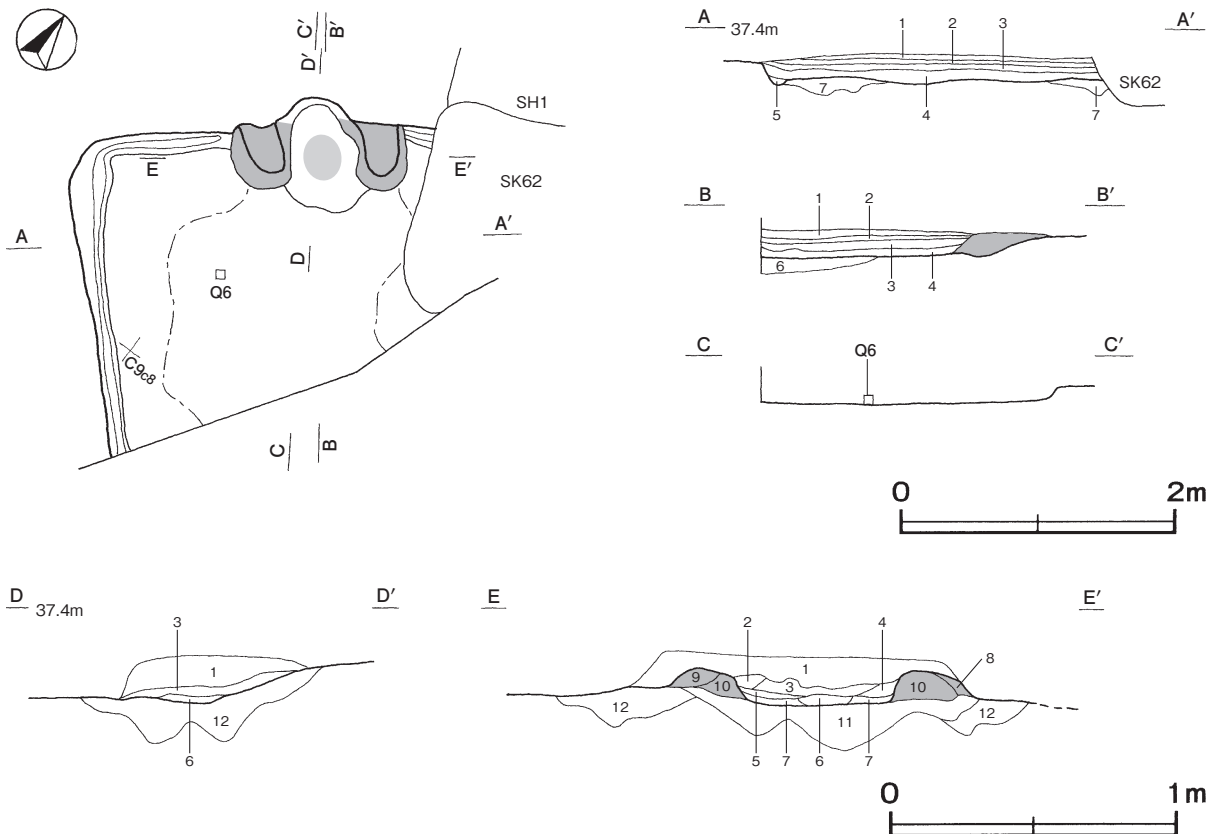
**床** 平坦な貼床で, 竈前が踏み固められている。確認できる壁下には壁溝が巡っている。

**竈** 北壁に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 89 cm で, 燃焼部幅は 53 cm である。袖部は火床部を 18 cm ほど掘りくぼめたところに, ロームブロックを含む第 11・12 層を埋土とし, その上に粘土を主体とした第 8 ~ 10 層を積み上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで, 火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外に 20 cm 掘り込まれ, 火床部から緩やかに外傾して立ち上がっている。

#### 竈土層解説

- |                                  |                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1 黒褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック・焼土ブロック微量 | 7 暗褐色 ロームブロック中量                   |
| 2 灰褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子・焼土粒子微量     | 8 黒褐色 白色粘土ブロック少量, ロームブロック微量       |
| 3 にぶい褐色 ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化物・粘土粒子微量 | 9 灰白色 粘土ブロック多量, ローム粒子微量           |
| 4 暗褐色 焼土粒子少量, ロームブロック・粘土粒子微量     | 10 褐灰色 粘土ブロック多量, ローム粒子微量          |
| 5 赤褐色 焼土粒子中量, ローム粒子微量            | 11 黒色 ロームブロック少量, 鹿沼バミスブロック・焼土粒子微量 |
| 6 赤褐色 焼土粒子多量, ローム粒子・炭化粒子微量       | 12 明褐色 ロームブロック中量                  |

**覆土** 5 層に分層できる。水平に堆積しており, 各層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。第 6・7 層は貼床の構築土である。



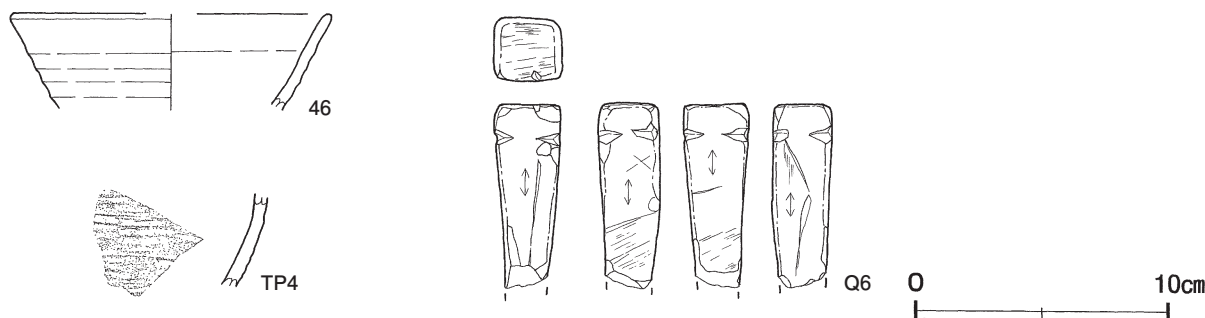
第 28 図 第 11 号住居跡実測図

土層解説

- |       |                                 |        |                                      |
|-------|---------------------------------|--------|--------------------------------------|
| 1 黒褐色 | 白色粘土ブロック・ローム粒子・鹿沼バミス粒子微量        | 4 黒色   | ロームブロック・鹿沼バミス粒子微量                    |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・白色粘土ブロック・鹿沼バミスブロック微量    | 5 暗褐色  | ロームブロック少量                            |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量, 白色粘土ブロック・鹿沼バミスブロック微量 | 6 明赤褐色 | 鹿沼バミス粒子中量, 炭化粒子微量                    |
|       |                                 | 7 黒褐色  | 炭化粒子中量, ロームブロック・白色粘土ブロック・鹿沼バミスブロック少量 |

遺物出土状況 土師器片 33 点 (坏 4, 甕類 29), 須恵器片 3 点 (坏 1, 甕 2), 石器 2 点 (砥石) が出土している。Q 6 は中央部北西寄りの床面から, 46 と TP 4 は覆土中からそれぞれ出土している。

所見 時期は, 出土土器から 9 世紀中葉と考えられる。



第 29 図 第 11 号住居跡出土遺物実測図

第 11 号住居跡出土遺物観察表 (第 29 図)

| 番号   | 種別  | 器種    | 口径     | 器高    | 底径     | 胎土         | 色調     | 焼成     | 手法の特徴ほか   | 出土位置  | 備考  |      |
|------|-----|-------|--------|-------|--------|------------|--------|--------|-----------|-------|-----|------|
| 46   | 須恵器 | 坏     | [12.6] | (3.8) | -      | 長石・石英・針状鉱物 | 灰      | 良好     | 外・内面ロクロナデ | 覆土中   | 5%  |      |
| TP 4 | 須恵器 | 甕     |        |       |        | 長石・石英      | 褐灰     |        | 体部横位の平行叩き | 覆土中   | PL9 |      |
| 番号   | 器種  | 長さ    | 幅      | 厚さ    | 重量     | 材質         | 特徴     |        |           | 出土位置  | 備考  |      |
| Q 6  | 砥石  | (7.3) | 2.5    | 2.5   | (63.3) | 凝灰岩        | 砥面 5 面 | 提げ紐用刻み | 研磨痕       | 下半部欠損 | 床面  | PL10 |

表 3 平安時代竪穴住居一覧表

| 番号 | 位置    | 平面形         | 主軸方向          | 規模              | 壁高<br>(cm) | 床面 | 壁溝   | 内部施設 |     |     |     |     | 覆土 | 主な出土遺物       | 時期     | 備考<br>重複関係(古→新) |
|----|-------|-------------|---------------|-----------------|------------|----|------|------|-----|-----|-----|-----|----|--------------|--------|-----------------|
|    |       |             |               | 長軸×短軸 (m)       |            |    |      | 主柱穴  | 出入口 | ピット | 炉・竈 | 貯蔵穴 |    |              |        |                 |
| 1  | A10j6 | 長方形         | N - 6° - E    | 3.31 × 2.26     | 3 ~ 11     | 平坦 | -    | -    | -   | 1   | 1   | -   | 人為 | 土師器, 須恵器     | 9 世紀後葉 | SI2 → 本跡 → PG1  |
| 5  | C9b4  | [長方形]       | N - 33° - E   | (2.73) × (2.62) | 5 ~ 8      | 平坦 | -    | -    | -   | 1   | -   | -   | 人為 | 土師器          | 9 世紀以降 |                 |
| 7  | B10a1 | 方形          | N - 2° - E    | 3.60 × 3.25     | 3          | 平坦 | 一部   | -    | -   | 1   | 1   | -   | 不明 | 土師器, 須恵器     | 9 世紀後葉 | 本跡 → SK4        |
| 8  | B10d2 | [長方形]       | N - 31° - W   | [3.85] × [2.70] | 5 ~ 9      | 平坦 | -    | 3    | -   | 2   | -   | -   | 不明 | 土師器, 土製品     | 9 世紀以降 |                 |
| 10 | B9j9  | 方形          | N - 27° - W   | 4.04 × 4.03     | 8 ~ 20     | 平坦 | ほぼ全周 | 4    | 1   | 1   | -   | -   | 自然 | 土師器, 須恵器     | 9 世紀後葉 | SK96 → 本跡       |
| 11 | C9b8  | [方形<br>長方形] | [N - 35° - W] | (2.86) × (2.48) | 10 ~ 20    | 平坦 | 全周   | -    | -   | -   | 1   | -   | 人為 | 土師器, 須恵器, 石器 | 9 世紀中葉 | 本跡 → SH1, SK62  |

(2) 竪穴遺構

第 1 号竪穴遺構 (第 30 図)

位置 調査区中央部南寄りの C 9 a8 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 11 号住居跡を掘り込み, 第 62 号土坑・第 3 号ピット群に掘り込まれている。

**規模と形状** 東部が調査区外に延びているため、東西軸は4.95 mで、南北軸は4.10 mしか確認できなかった。平面形は長方形と推定される。深さは10cmで、底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦で、硬化した床は認められなかった。

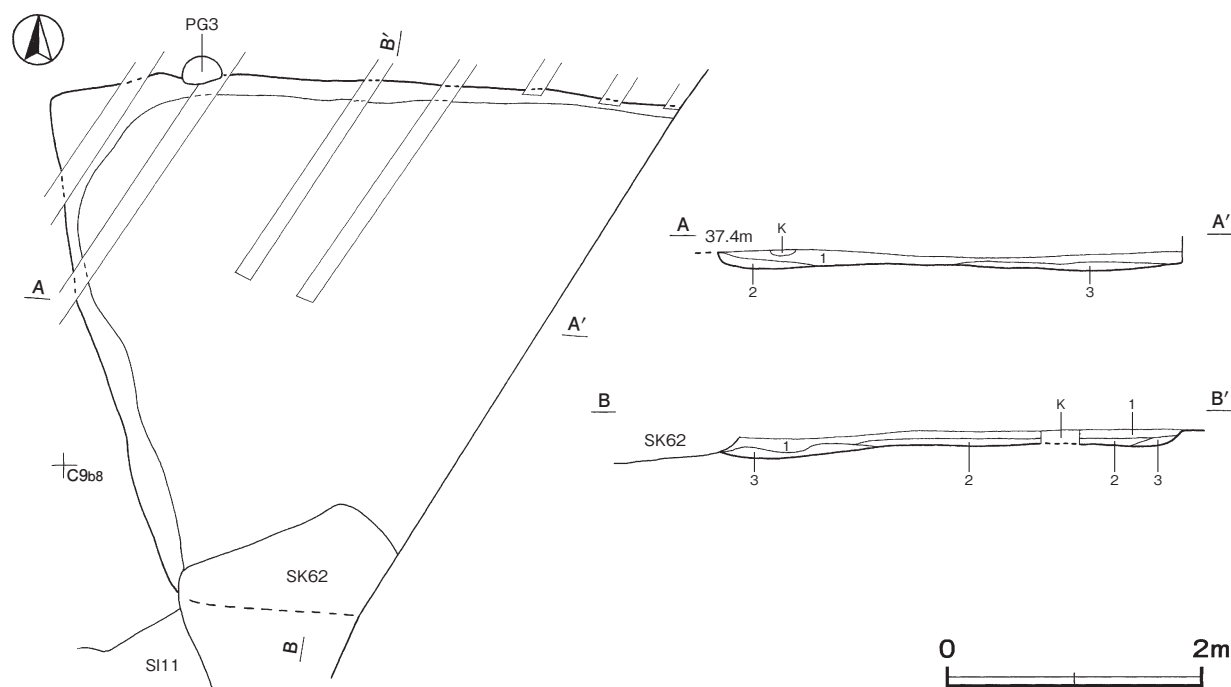
**覆土** 3層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

**土層解説**

- |                                      |                             |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・鹿沼パ<br>ミスブロック少量 | 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・鹿沼パミス粒子微量  |
|                                      | 3 明褐色 ロームブロック中量、鹿沼パミスブロック少量 |

**遺物出土状況** 土師器片56点(坏7, 椀1, 甕類48), 須恵器片4点(坏1, 甕類3)が出土している。遺物は細片のため図示できない。

**所見** 時期は、内面に黒色処理を施した土師器坏が出土していることから、9世紀以降と考えられる。確認できた範囲では、竈や炉がなく、床が踏み固められた形跡も薄いことから、住居以外の施設と考えられる。



第30図 第1号竖穴遺構実測図

(3) 粘土採掘坑

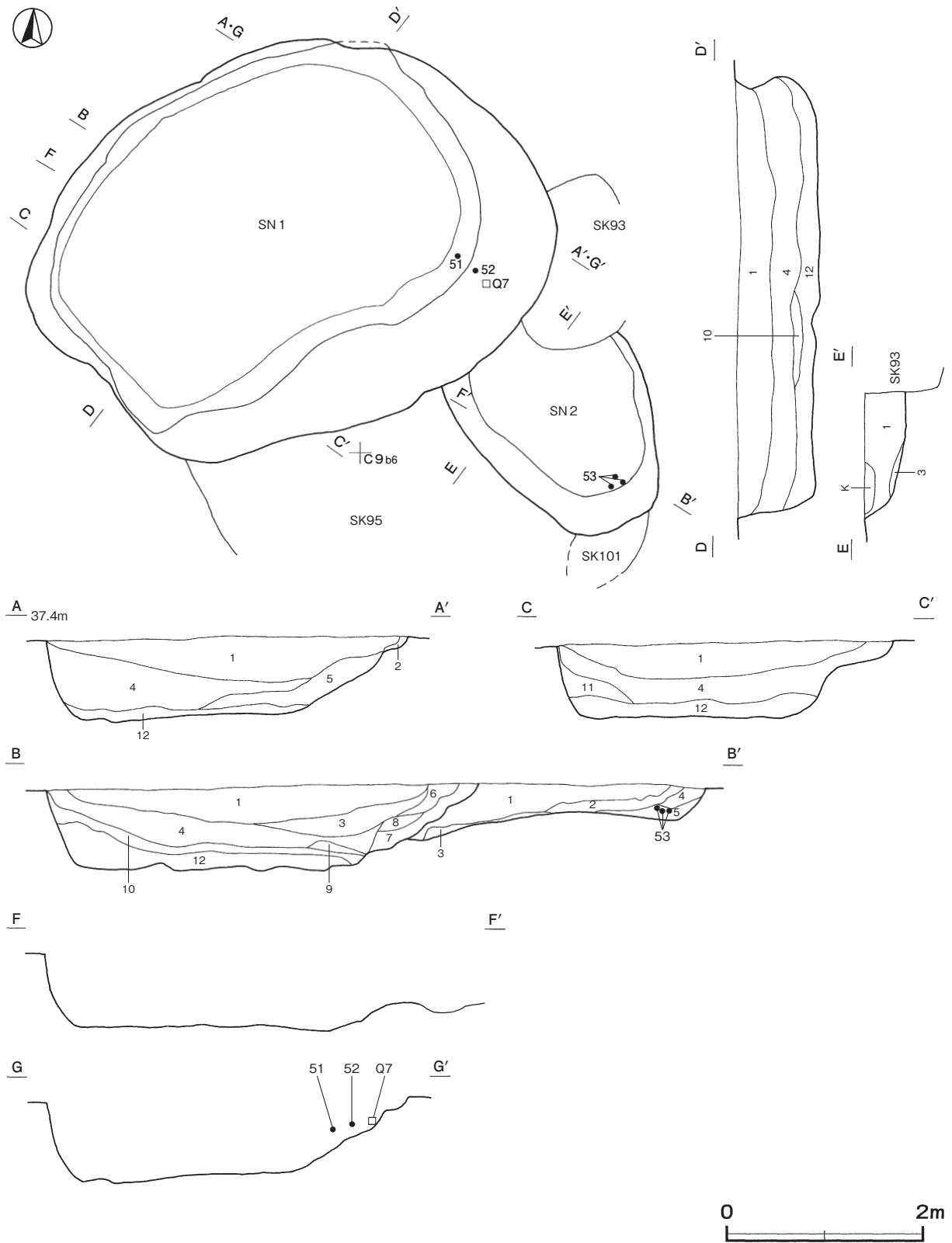
第1号粘土採掘坑 (第31・32図)

**位置** 調査区中央部南寄りのC9a5区、標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第2号粘土採掘坑、第93・95号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径4.82 m、短径4.02 mの楕円形で、長径方向はN-57°-Eである。深さは80cm程度で、粘土採掘のための窪みが各所に認められるが、底面はほぼ平坦である。北壁は内彎して立ち上がり、北西壁から南西壁にかけては外傾して立ち上がっている。北東壁から南東壁にかけては緩やかに傾斜して立ち上がっている。

覆土 12層に分層できる。各層にロームブロックが含まれているが、周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。



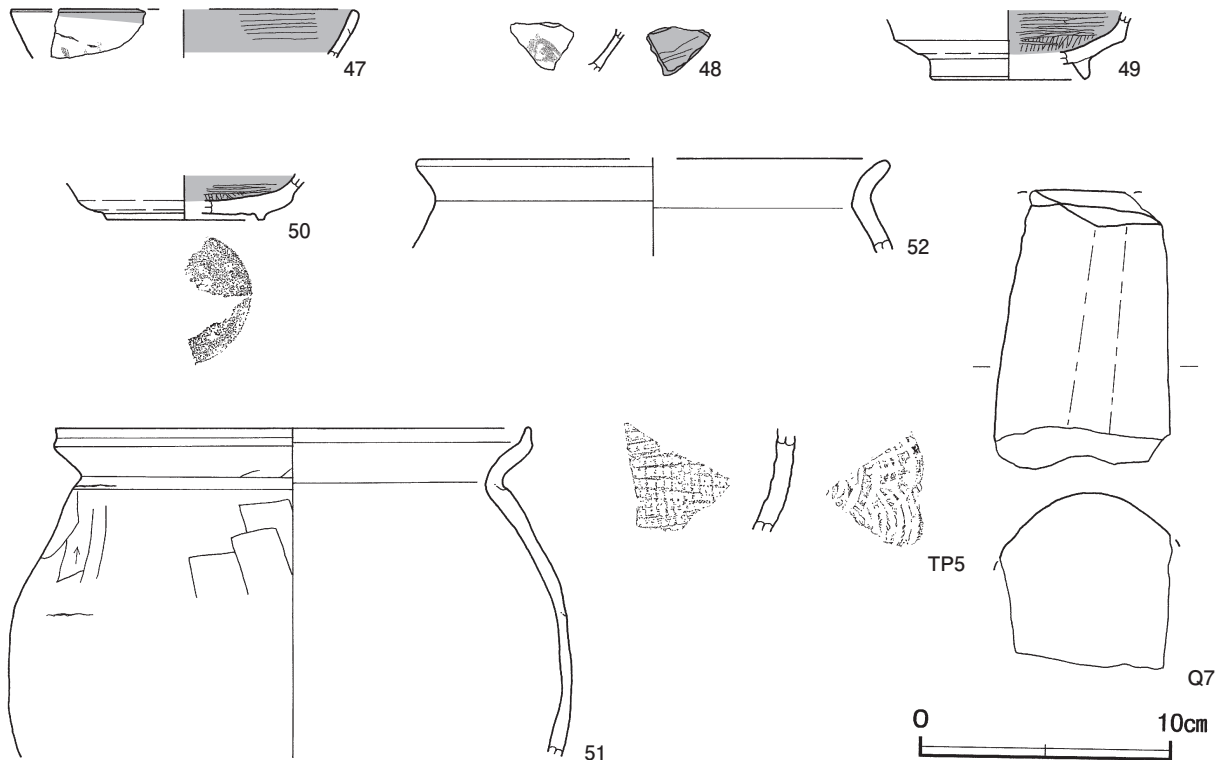
第31図 第1・2号粘土採掘坑実測図

土層解説

- |         |                                 |          |                               |
|---------|---------------------------------|----------|-------------------------------|
| 1 黒 褐 色 | 粘土ブロック・鹿沼パミス粒子少量, ロームブロック・炭化物微量 | 7 暗 褐 色  | ロームブロック中量, 粘土ブロック・鹿沼パミスブロック少量 |
| 2 黒 褐 色 | 鹿沼パミスブロック少量, ローム粒子・粘土粒子微量       | 8 浅 黄 色  | 粘土ブロック中量, ローム粒子微量             |
| 3 黒 褐 色 | ロームブロック・粘土ブロック・鹿沼パミスブロック・炭化物微量  | 9 浅 黄 色  | 粘土ブロック多量                      |
| 4 黒 褐 色 | ロームブロック・粘土ブロック・鹿沼パミスブロック少量      | 10 黒 褐 色 | ロームブロック・炭化物・粘土粒子・鹿沼パミス粒子微量    |
| 5 黒 褐 色 | 粘土ブロック少量, ローム粒子・鹿沼パミス粒子微量       | 11 黒 褐 色 | ロームブロック・鹿沼パミスブロック少量, 粘土粒子微量   |
| 6 黒 褐 色 | 粘土粒子少量, ロームブロック・炭化物微量           | 12 黒 褐 色 | ロームブロック・粘土ブロック・鹿沼パミスブロック少量    |

遺物出土状況 土師器片 337 点 (坏 55, 高台付坏 2, 皿 1, 蓋 4, 甕類 275), 須恵器片 50 点 (坏 31, 壺 2, 甕 17), 石製品 1 (支脚), 鉄製品 2 点 (釘) が, 全面の覆土中層~下層にかけて出土している。また, 混入した縄文土器片 10 点 (鉢) が出土している。51・52, Q 7 は東壁際の覆土中層から, 47~50, TP 5 は覆土中から出土している。

所見 時期は, 出土土器から 9 世紀中葉に比定できる。



第 32 図 第 1 号粘土採掘坑出土遺物実測図

第 1 号粘土採掘坑出土遺物観察表 (第 32 図)

| 番号 | 種別  | 器種   | 口径     | 器高     | 底径    | 胎土                 | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                           | 出土位置 | 備考      |
|----|-----|------|--------|--------|-------|--------------------|-------|----|-----------------------------------|------|---------|
| 47 | 土師器 | 坏    | [13.8] | (1.9)  | -     | 長石・石英・雲母           | 灰黄褐   | 普通 | 体部外面墨書「(判読不明)」 内面黒色処理             | 覆土中  | 5% PL6  |
| 48 | 土師器 | 坏    | -      | (1.6)  | -     | 石英                 | にぶい黄橙 | 普通 | 体部外面墨書「高カ」 内面ヘラミガキ 内面黒色処理         | 覆土中  | 5% PL6  |
| 49 | 土師器 | 高台付坏 | -      | (2.7)  | [6.1] | 長石・石英・雲母           | にぶい褐  | 普通 | 内面ヘラミガキ 内面黒色処理                    | 覆土中  | 10%     |
| 50 | 土師器 | 高台付坏 | -      | (1.8)  | [6.2] | 長石・石英・雲母           | にぶい赤褐 | 普通 | 内面ヘラミガキ 内面黒色処理                    | 覆土中  | 10%     |
| 51 | 土師器 | 甕    | 19.0   | (13.2) | -     | 長石・石英・細礫・黒色粒子・赤色粒子 | にぶい橙  | 普通 | 頸部斜位のヘラ削り工具痕 頸部輪積痕 体部外面縦位のヘラ削り後ナデ | 覆土中層 | 25% PL8 |
| 52 | 土師器 | 甕    | [18.6] | (3.8)  | -     | 長石・石英・雲母           | にぶい橙  | 普通 | 内・外面ナデ                            | 覆土中層 | 5%      |



| 番号   | 種別  | 器種 | 胎土    | 色調 | 手法の特徴ほか              | 出土位置 | 備考  |
|------|-----|----|-------|----|----------------------|------|-----|
| TP 5 | 須恵器 | 甕  | 長石・石英 | 褐灰 | 体部外面格子叩き 内面同心円文の当て具痕 | 覆土中  | PL9 |

| 番号  | 器種 | 長さ     | 幅     | 厚さ    | 重量    | 材質    | 特徴     | 出土位置 | 備考   |
|-----|----|--------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|
| Q 7 | 支脚 | (11.1) | (7.0) | (7.0) | (843) | 泥質凝灰岩 | 二面に被熱痕 | 覆土中層 | PL10 |

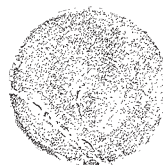
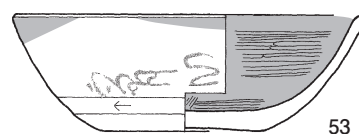
## 第2号粘土採掘坑（第31・32図）

**位置** 調査区中央部南寄りのC 9a6区，標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第95・101号土坑を掘り込み，第1号粘土採掘坑・第93号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北部を第1号粘土採掘坑と第93号土坑に掘り込まれているため，北西・南東径は2.34mで，南西・北東径は1.88mしか確認できなかった。長径方向がN-29°-Wの楕円形と推定される。深さは30～55cmで，粘土採掘のための掘り込みが各所に認められ，底面は第1号粘土採掘坑方向に緩やかに傾斜している。壁は外傾して立ち上がっている。

**覆土** 5層に分層できる。各層にロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。



### 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック・鹿沼パミスブロック微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子微量
- 3 褐灰色 粘土粒子少量，ローム粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量

第33図 第2号粘土採掘坑出土遺物実測図

**遺物出土状況** 土師器片23点（坏1，甕22），須恵器片5点（坏3，甕2）が出土している。53は南部の覆土下層から出土している。

**所見** 時期は，出土土器から9世紀中葉に比定できる。

## 第2号粘土採掘坑出土遺物観察表（第33図）

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径   | 器高  | 底径  | 胎土         | 色調  | 焼成 | 手法の特徴ほか                                      | 出土位置 | 備考      |
|----|-----|----|------|-----|-----|------------|-----|----|--|------|---------|
| 53 | 土師器 | 坏  | 13.5 | 4.6 | 6.2 | 長石・石英・赤色粒子 | 明黄褐 | 普通 | 内面ヘラミガキ 底面左回りの回転ヘラ削り<br>内面黒色処理 体部外面に墨書「高月郷カ」 | 覆土下層 | 80% PL6 |

表4 平安時代粘土採掘坑一覧表

| 番号   | 位置   | 長径方向    | 平面形   | 規模          |         | 底面 | 壁面    | 覆土 | 主な出土遺物          | 備考                   |
|------|------|---------|-------|-------------|---------|----|-------|----|-----------------|----------------------|
|      |      |         |       | 長径×短径 (m)   | 深さ (cm) |    |       |    |                 |                      |
| SN 1 | C9a5 | N-57°-E | 楕円形   | 4.82×4.02   | 76～85   | 平坦 | 外傾・緩斜 | 人為 | 土師器，須恵器，鉄製品，土製品 | SK93・95，SN2→本跡       |
| SN 2 | C9a6 | N-29°-W | [楕円形] | (2.31)×1.88 | 30～55   | 平坦 | 外傾    | 人為 | 土師器，須恵器         | SK95・101→本跡→SK93，SN1 |

### (4) 土坑

#### 第1号土坑（第34図）

**位置** 調査区中央部のB 9g9区，標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第9号住居跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長軸 1.65 m, 短軸 1.06 m の長方形で, 長軸方向は N - 49° - W である。深さは 37cm で, 底面は平坦である。壁はほぼ直立している。

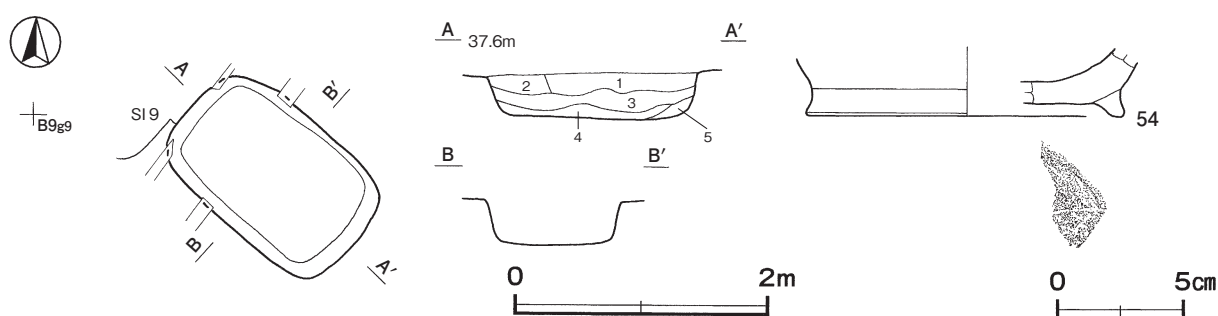
**覆土** 5層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                     |       |           |
|-------|---------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック微量 | 4 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子微量      | 5 黒褐色 | ロームブロック微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量   |       |           |

**遺物出土状況** 土師器片 12 点 (坏 6, 甕類 6), 須恵器片 1 点 (短頸壺) が出土している。54 は覆土中から出土している。また, 陶器片 (壺) も出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 9 世紀代と考えられる。



第 34 図 第 1 号土坑・出土遺物実測図

第 1 号土坑出土遺物観察表 (第 34 図)

| 番号 | 種別  | 器種  | 口径 | 器高    | 底径     | 胎土    | 色調  | 焼成 | 手法の特徴ほか        | 出土位置 | 備考 |
|----|-----|-----|----|-------|--------|-------|-----|----|----------------|------|----|
| 54 | 須恵器 | 短頸壺 | -  | (2.7) | [12.4] | 長石・石英 | 灰黄褐 | 普通 | 底部回転ヘラ削り後高台貼付け | 覆土中  | 5% |

**第 3 号土坑 (第 35 図)**

**位置** 調査区中央部の B 9f9 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第 2 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 径 0.30 m の円形である。深さは 28cm で, 底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

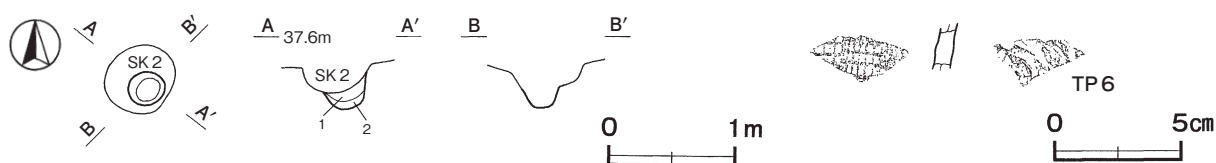
**覆土** 2層に分層できる。ロームブロックを含むことから埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                   |       |                   |
|-------|-------------------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 | 2 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 |
|-------|-------------------|-------|-------------------|

**遺物出土状況** 土師器片 1 点 (甕類), 須恵器片 1 点 (甕類) が出土している。TP 6 は覆土中から出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 9 世紀代と考えられる。



第 35 図 第 3 号土坑・出土遺物実測図

## 第3号土坑出土遺物観察表

| 番号   | 種別  | 器種 | 胎土    | 色調 | 手法の特徴ほか              | 出土位置 | 備考 |
|------|-----|----|-------|----|----------------------|------|----|
| TP 6 | 須恵器 | 甕類 | 長石・細礫 | 灰  | 体部外面格子叩き 内面同心円丈の当て具痕 | 覆土中  |    |

## 第5号土坑（第36図）

**位置** 調査区北部の A10j5 区，標高 39 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径 0.66 m，短径 0.55 m の楕円形で，長径方向は N - 76° - E である。深さは 45cm で，底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

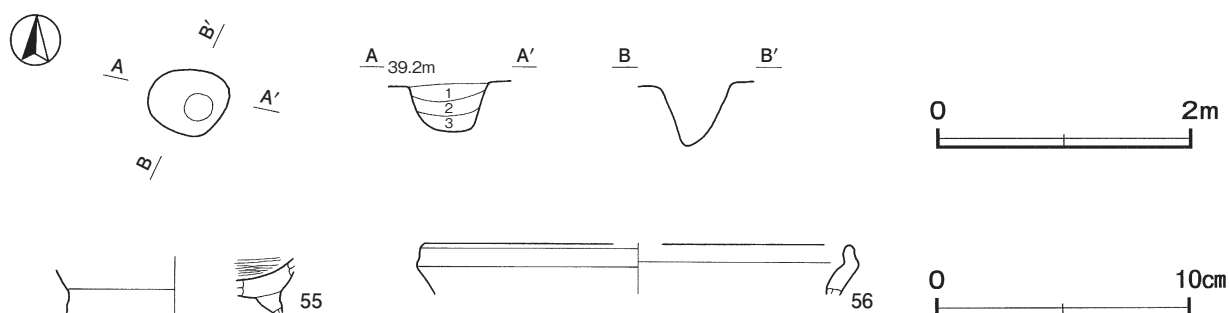
**覆土** 3層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量，焼土ブロック微量      3 黒褐色 焼土ブロック・ローム粒子微量  
2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子・焼土粒子微量

**遺物出土状況** 土師器片 13 点（坏 4，高台付坏 1，甕類 8），須恵器片 1 点（甕）が出土している。55・56 は覆土中からそれぞれ出土している。

**所見** 時期は，出土土器から 9 世紀中葉と推定される。



第36図 第5号土坑・出土遺物実測図

## 第5号土坑出土遺物観察表（第36図）

| 番号 | 種別  | 器種   | 口径     | 器高    | 底径 | 胎土         | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか       | 出土位置 | 備考 |
|----|-----|------|--------|-------|----|------------|-------|----|---------------|------|----|
| 55 | 土師器 | 高台付坏 | -      | (2.3) | -  | 長石・石英・赤色粒子 | 橙     | 普通 | 内面ヘラミガキ 高台貼付け | 覆土中  | 5% |
| 56 | 土師器 | 甕    | [17.0] | (2.0) | -  | 長石・雲母      | にぶい赤褐 | 普通 | 口縁部外・内面ナデ     | 覆土中  | 5% |

## 第6号土坑（第37図）

**位置** 調査区北部の B10a5 区，標高 39 m ほどの平坦な台地上に位置している。

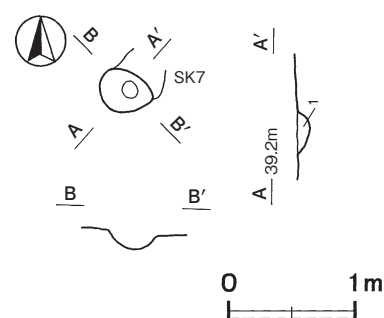
**重複関係** 第7号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長径 0.43 m，短径 0.28 m の楕円形で，長径方向は N - 78° - W である。深さは 11cm で，底面は皿状である。壁は緩やかに傾斜して立ち上がっている。

**覆土** 単一層である。レンズ状に堆積していることから自然堆積である。

## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量



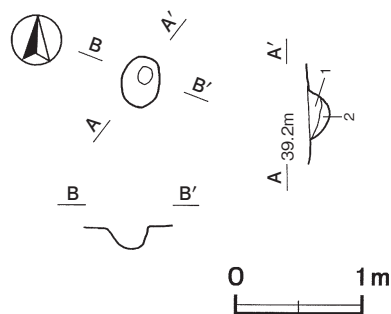
第37図 第6号土坑実測図

**遺物出土状況** 土師器片5点（坏1，甕類4）が出土しているが、いずれも細片のため図示できない。  
**所見** 時期は、内面に黒色処理が施された土師器坏が出土していることから、9世紀以降と考えられる。

### 第9号土坑（第38図）

**位置** 調査区北部のA10j5区，標高39mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径0.41m，短径0.32mの楕円形で，長径方向はN-18°-Eである。深さは16cmで，底面は皿状である。壁は緩やかに外傾して立ち上がっている。



**覆土** 2層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

#### 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

**遺物出土状況** 土師器片3点（坏2，甕類1）が出土しているが、いずれも細片のため図示できない。

**所見** 時期は、内面に黒色処理が施された土師器坏が出土していることから、9世紀以降と考えられる。

第38図 第9号土坑実測図

### 第10号土坑（第39図）

**位置** 調査区北部のA10j4区，標高39mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径0.52m，短径0.44mの不整楕円形で，長径方向はN-51°-Eである。深さは70cmで，底面の北東部はピット状に掘り込まれている。壁は東部は外傾し，西部は内彎して立ち上がっている。

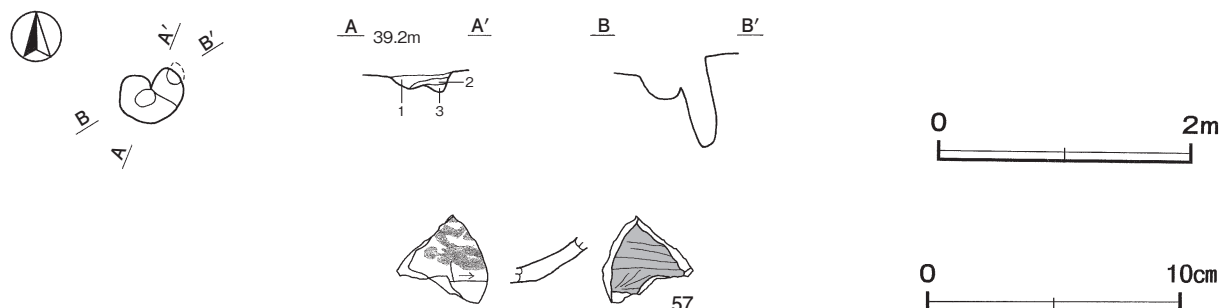
**覆土** 3層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

#### 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子多量

**遺物出土状況** 土師器片4点（坏3，甕類1）が出土している。57は覆土中から出土している。

**所見** 時期は、内面に黒色処理が施された土師器坏が出土していることから、9世紀以降と考えられる。



第39図 第10号土坑・出土遺物実測図

### 第10号土坑出土遺物観察表（第39図）

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土    | 色調   | 焼成 | 手法の特徴ほか                                  | 出土位置 | 備考     |
|----|-----|----|----|-------|----|-------|------|----|--|------|--------|
| 57 | 土師器 | 坏  | -  | (1.8) | -  | 長石・石英 | にぶい橙 | 良好 | 内面ヘラミガキ 底部横位のヘラ削り 内面黒色処理 体部外面に墨書「(判読不明)」 | 覆土中  | 5% PL6 |

## 第16号土坑 (第40図)

**位置** 調査区中央部の北側のB 9c9区, 標高38mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径0.50m, 短径0.46mの円形である。深さは29cmで, 底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

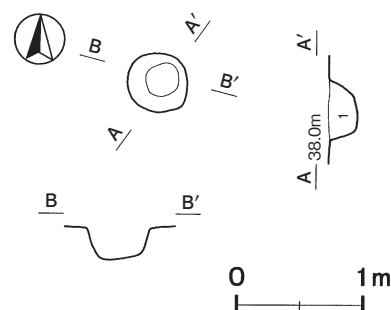
**覆土** 単一層である。ロームブロックを含んでいることから埋め戻されている。

## 土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量

**遺物出土状況** 土師器片2点(坏, 甕類)が覆土中から出土しているが, いずれも細片のため図示できない。

**所見** 時期は, 内面に黒色処理が施された土師器坏が出土していることから, 9世紀以降と考えられる。



第40図 第16号土坑実測図

## 第54号土坑 (第41図)

**位置** 調査区中央部のB 9j7区, 標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 北西部は攪乱を受けているため長軸1.43m, 短軸0.78mしか確認できなかった。長方形と推定され, 長軸方向はN-35°-Eである。深さは10cmで, 底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

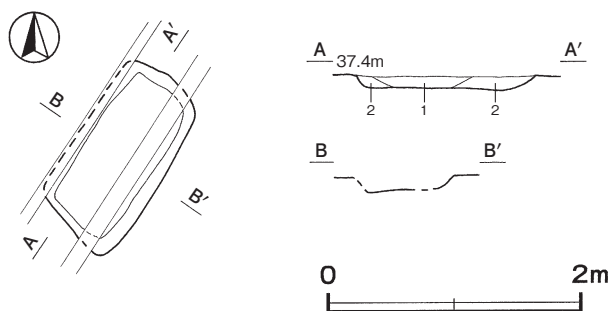
**覆土** 2層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

## 土層解説

- 1 黒褐色 鹿沼パミスブロック・ローム粒子微量  
2 黒褐色 ロームブロック・鹿沼パミスブロック少量

**遺物出土状況** 土師器片1点(坏)が出土しているが, 遺物は細片のため図示できない。

**所見** 時期は, 内面に黒色処理が施された土師器坏が出土していることから, 9世紀以降と考えられる。



第41図 第54号土坑実測図

## 第74号土坑 (第42図)

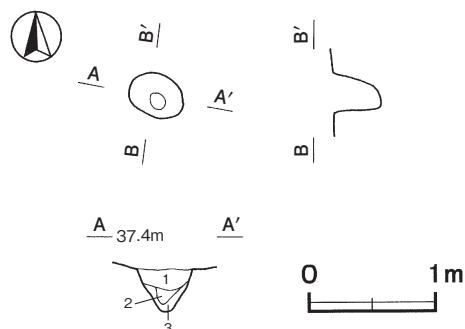
**位置** 調査区南部のC 9b7区, 標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長径0.44m, 短径0.33mの楕円形で, 長径方向はN-58°-Wである。深さは32cmで, 底面は皿状である。壁は外傾して立ち上がっており, 南部はほぼ直立している。

**覆土** 3層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

## 土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量  
2 黒褐色 ローム粒子・鹿沼パミス粒子微量  
3 暗褐色 鹿沼パミスブロック少量, ロームブロック・粘土ブロック微量



第42図 第74号土坑実測図

**遺物出土状況** 土師器片4点（坏1，甕類3）が出土している。遺物は細片のため図示できない。

**所見** 時期は、内面に黒色処理が施された土師器坏が出土していることから、9世紀以降と考えられる。

**第95号土坑（第43・44図）**

**位置** 調査区中央部南寄りのC9b6区，標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

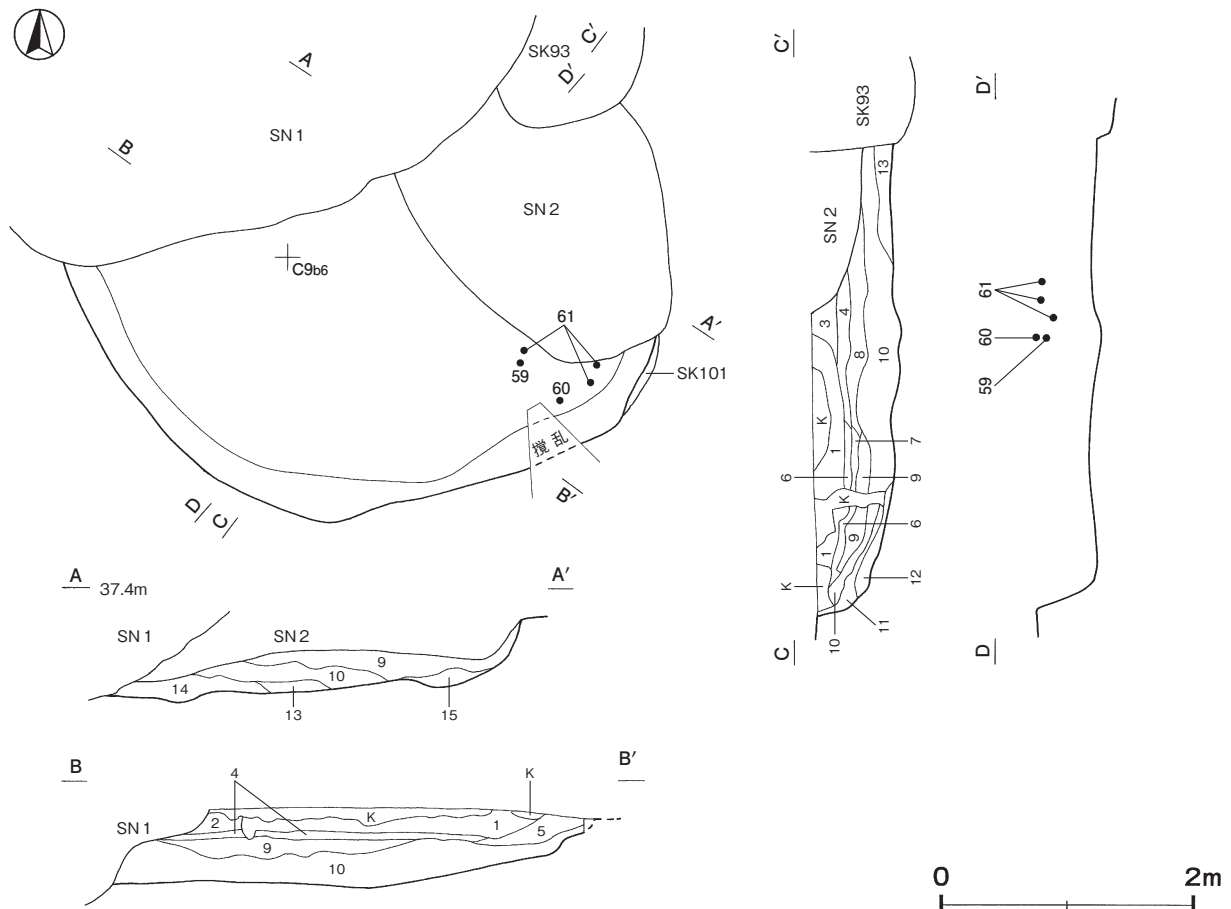
**重複関係** 第101号土坑を掘り込み，第1・2号粘土採掘坑と第93号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北部を第1・2号粘土採掘坑に掘り込まれているため，北東・南西径は3.30m，北西・南東径は2.55mしか確認できなかった。楕円形と推定される。深さは67cmで，底面は平坦である。壁は外傾して立ち上がっている。

**覆土** 15層に分層できる。各層にロームブロックが含まれているが，周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

**土層解説**

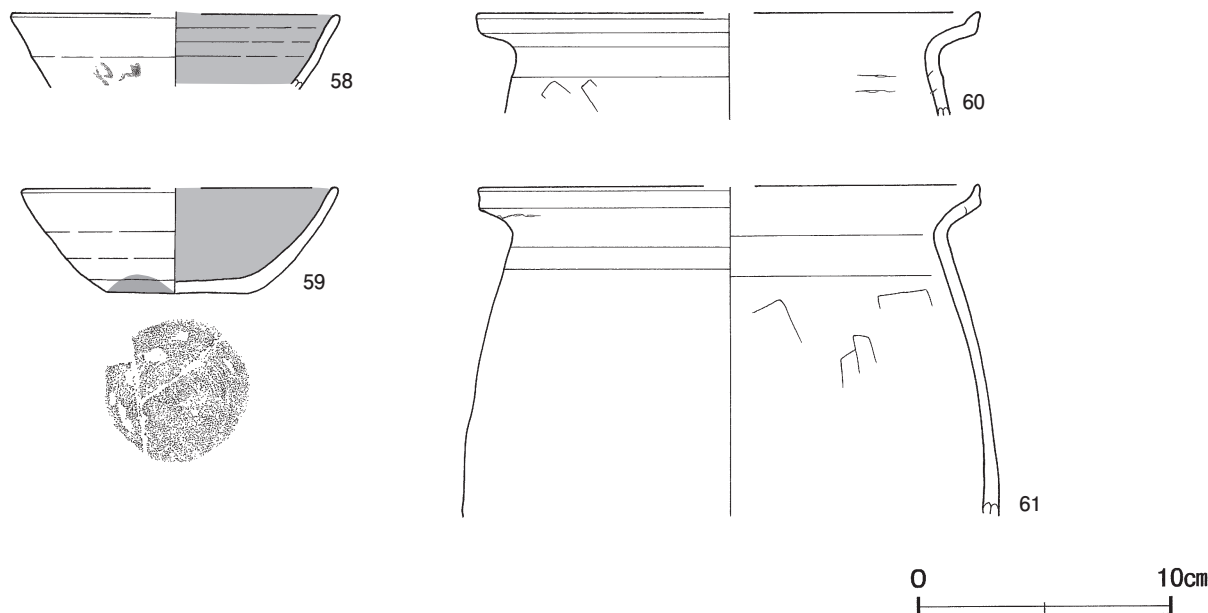
- |        |                            |        |                                  |
|--------|----------------------------|--------|----------------------------------|
| 1 黒褐色  | ロームブロック・粘土ブロック・炭化物・焼土粒子微量  | 9 暗褐色  | 粘土ブロック少量，ロームブロック・鹿沼パミスブロック・炭化物微量 |
| 2 灰褐色  | ロームブロック・粘土ブロック微量           | 10 黒褐色 | 粘土ブロック少量，ロームブロック・鹿沼パミスブロック微量     |
| 3 黒褐色  | ロームブロック・粘土ブロック・炭化物微量       | 11 暗褐色 | 粘土粒子少量，ロームブロック微量                 |
| 4 浅黄色  | ロームブロック中量，粘土ブロック少量         | 12 黒褐色 | ロームブロック少量，粘土粒子微量                 |
| 5 暗褐色  | ロームブロック少量，粘土粒子微量           | 13 暗褐色 | ローム粒子中量，粘土ブロック微量                 |
| 6 灰褐色  | 炭化物少量，粘土ブロック・ローム粒子・焼土粒子微量  | 14 暗褐色 | ローム粒子中量，粘土ブロック・鹿沼パミス粒子微量         |
| 7 暗赤褐色 | 焼土ブロック・炭化物中量，ローム粒子微量       | 15 黒褐色 | ローム粒子・粘土粒子・鹿沼パミス粒子微量             |
| 8 暗褐色  | ロームブロック・粘土ブロック・鹿沼パミスブロック少量 |        |                                  |



第43図 第95号土坑実測図

**遺物出土状況** 土師器片 75 点（坏 19，甕類 56），須恵器片 6 点（坏 5，甕類 1）が出土している。また，混入して陶器片 1 点（碗）が出土している。59・60 は覆土上層から，58 は覆土中からそれぞれ出土している。61 は覆土上層から出土した破片が接合したものである。

**所見** 時期は，出土土器から 9 世紀中葉に比定できる。



第 44 図 第 95 号土坑出土遺物実測図

第 95 号土坑出土遺物観察表（第 44 図）

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径     | 器高     | 底径  | 胎土                      | 色調     | 焼成 | 手法の特徴ほか                            | 出土位置 | 備考      |
|----|-----|----|--------|--------|-----|-------------------------|--------|----|------------------------------------|------|---------|
| 58 | 土師器 | 坏  | [12.8] | (3.0)  | -   | 長石・石英・雲母                | にぶい黄褐色 | 普通 | 内・外面ロクロナデ 内面黒色処理 体部外面横位の墨書「(判読不明)」 | 覆土中  | 5% PL6  |
| 59 | 土師器 | 坏  | [12.4] | 4.2    | 5.5 | 長石・石英・雲母・赤色粒子           | 橙      | 普通 | 底部回転ヘラ切り後ナデ 内面黒色処理                 | 覆土上層 | 50% PL7 |
| 60 | 土師器 | 甕  | [19.9] | (4.2)  | -   | 長石・石英・細礫・赤色粒子・黒色粒子・針状鉱物 | にぶい橙   | 普通 | 体部縦位のヘラ削り後ナデ 内面輪積痕                 | 覆土上層 | 5%      |
| 61 | 土師器 | 甕  | [19.8] | (13.1) | -   | 長石・石英・細礫                | 橙      | 普通 | 内面縦位のヘラナデ 口縁部外面輪積痕 外面剥離            | 覆土上層 | 10%     |

### 第 100 号土坑（第 45 図）

**位置** 調査区中央部南寄りの C 9 a6 区，標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複** 第 93・99 号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北西部を第 93 号土坑，南部を第 99 号土坑に掘り込まれているため，長径 2.78 m，短径 1.57 m しか確認できなかった。長径方向が N - 48° - W の楕円形と推定される。深さは 10cm で，底面は平坦である。壁は緩やかに傾斜して立ち上がっている。

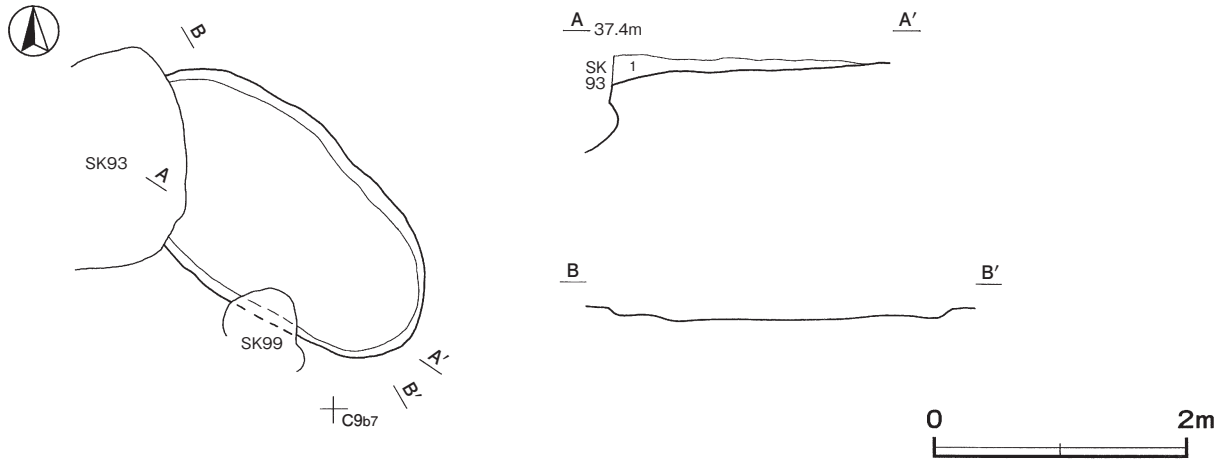
**覆土** 単一層である。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

#### 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・鹿沼パミスブロック微量

**遺物出土状況** 土師器片 8 点（坏 2，甕類 6）が出土している。遺物は細片のため図示できない。

**所見** 時期は，内面に黒色処理が施された土師器坏が出土していることから，9 世紀以降と考えられる。



第45図 第100号土坑実測図

表5 平安時代の土坑一覧表

| 番号  | 位置    | 長径方向        | 平面形   | 規模              |         | 底面 | 壁面    | 覆土 | 主な出土遺物   | 備考<br>重複関係(古→新)             |
|-----|-------|-------------|-------|-----------------|---------|----|-------|----|----------|-----------------------------|
|     |       |             |       | 長径×短径 (m)       | 深さ (cm) |    |       |    |          |                             |
| 1   | B9g9  | N - 49° - W | 長方形   | 1.65 × 1.06     | 37      | 平坦 | 直立    | 人為 | 土師器, 須恵器 | SI 9 → 本跡                   |
| 3   | B9f9  | -           | 円形    | 0.30 × 0.30     | 28      | 平坦 | 外傾    | 人為 | 土師器, 須恵器 | SK 2 → 本跡                   |
| 5   | A10j5 | N - 76° - E | 楕円形   | 0.66 × 0.55     | 45      | 平坦 | 外傾    | 自然 | 土師器, 須恵器 |                             |
| 6   | B10a5 | N - 78° - W | 楕円形   | 0.43 × 0.28     | 11      | 皿状 | 緩斜    | 自然 | 土師器      | SK 7 → 本跡                   |
| 9   | A10j5 | N - 18° - E | 楕円形   | 0.41 × 0.32     | 16      | 皿状 | 緩斜    | 自然 | 土師器      |                             |
| 10  | A10j4 | N - 51° - E | 楕円形   | 0.52 × 0.44     | 70      | 皿状 | 外傾・内傾 | 自然 | 土師器      |                             |
| 16  | B9c9  | -           | 円形    | 0.50 × 0.46     | 29      | 平坦 | 外傾    | 人為 | 土師器      |                             |
| 54  | B9j7  | N - 35° - E | [長方形] | 1.43 × [0.78]   | 10      | 平坦 | 外傾    | 自然 | 土師器      |                             |
| 74  | C9b7  | N - 58° - W | 楕円形   | 0.44 × 0.33     | 32      | 皿状 | 外傾・直立 | 自然 | 土師器      |                             |
| 95  | C9b6  | -           | [楕円形] | (2.55) × (3.30) | 67      | 平坦 | 外傾    | 人為 | 土師器, 須恵器 | SK101 → 本跡<br>→ SN1・2, SK93 |
| 100 | C9a6  | N - 48° - W | [楕円形] | (2.78) × 1.57   | 10      | 平坦 | 緩斜    | 人為 | 土師器      | 本跡 → SK93・99                |

#### 4 その他の遺構と遺物

遺構に伴う出土遺物がないことから、時期を決定できない掘立柱建物跡1棟、溝跡1条、井戸跡2基、土坑106基、ピット群3か所が存在する。以下、これらのうち特徴的な遺構については文章で記述し、それ以外の遺構については実測図と一覧表を掲載する。

##### (1) 掘立柱建物跡

##### 第1号掘立柱建物跡 (第46図)

**位置** 調査区北部のB10a3区、標高38mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と構造** 桁行3間、梁行2間の側柱建物跡で、桁行方向がN - 25° - Wの南北棟である。規模は桁行6.30m (21尺)、梁行は、北妻が4.50m (15尺)で、南妻が4.20m (14尺)で、面積は27.405㎡である。柱間寸法は、桁行が2.1m (7尺)で、梁行は、北妻が西平から2.10m (7尺)、2.40m (8尺)で、南平は2.10m (7尺)である。柱筋はほぼ揃っている。

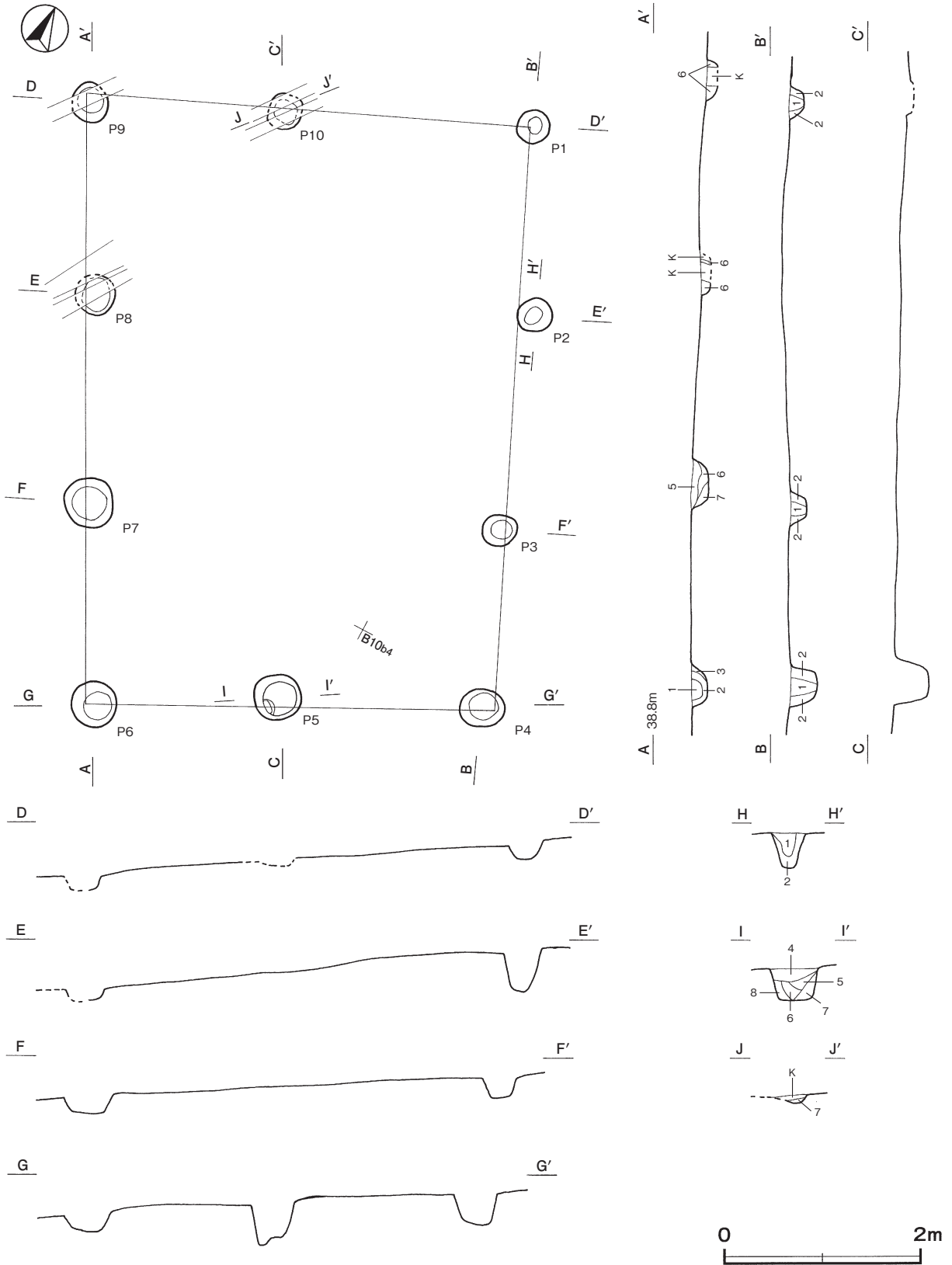
**柱穴** 10か所。平面形は円形で、長径30～52cm、短径29～50cmである。深さは10～45cmである。

**覆土** 8層に分層できる。第1層は抜き取り後の覆土、第2層は掘方への埋土である。



土層解説 (各柱穴共通)

- |         |                |         |                     |
|---------|----------------|---------|---------------------|
| 1 黒 褐 色 | ロームブロック・焼土粒子微量 | 5 黒 褐 色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒 褐 色 | ローム粒子少量        | 6 黒 褐 色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量   |
| 3 暗 褐 色 | ロームブロック少量      | 7 褐 色   | ローム粒子中量             |
| 4 黒 褐 色 | ロームブロック・炭化粒子微量 | 8 褐 色   | ローム粒子多量             |



第 46 図 第 1 号掘立柱建物跡実測図

**遺物出土状況** 混入した土師器片 13 点（坏 1・甕類 11，手捏 1）が出土している。遺物は細片のため図示できない。

**所見** 時期は，判定できる出土遺物がないため不明である。

(2) 井戸跡

**第 1 号井戸跡** (第 47 図)

**位置** 調査区中央部の B 9 f8 区，標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 確認面は，長径 2.45m，短径 2.00m の楕円形である。確認面から 1.3m まで漏斗状に掘り込み，下部は径 0.92m の円筒状に掘り下げている。2.07m まで掘り下げた時点で壁面の崩落が想定されたため，下部の調査を断念した。

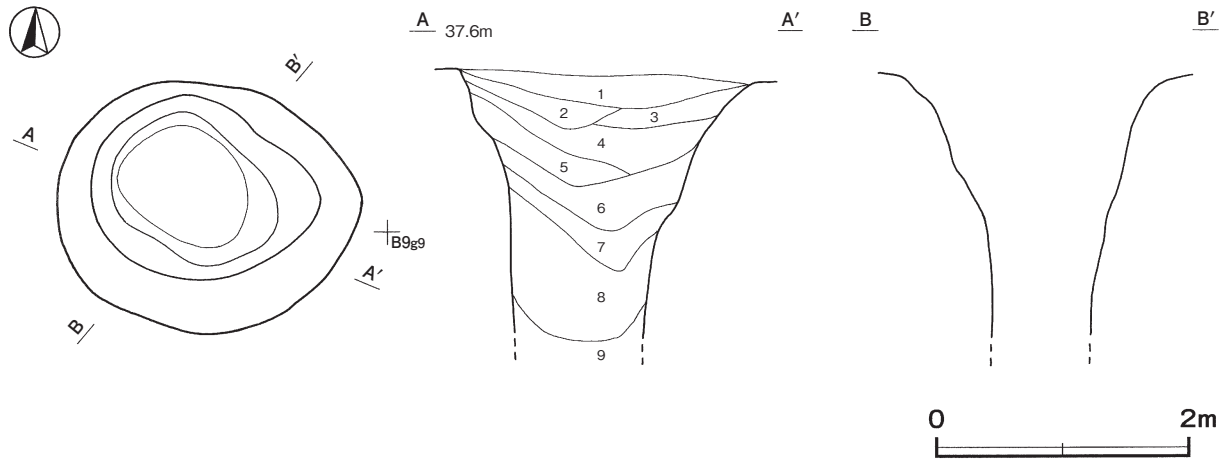
**覆土** 9 層に分層できる。ロームブロックや白色粘土ブロックを含んだ不自然な堆積状況から，埋め戻されている。

**土層解説**

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1 灰 褐色 細礫多量，粘土ブロック中量，ローム粒子微量  | 6 褐色 ロームブロック中量            |
| 2 にぶい黄橙色 白色粘土ブロック多量，ローム粒子微量   | 7 褐色 ローム粒子多量              |
| 3 黒 褐色 白色粘土ブロック少量，ローム粒子微量     | 8 黒 褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量 |
| 4 にぶい黄橙色 白色粘土ブロック中量，ローム粒子微量   | 9 黒 褐色 不明                 |
| 5 にぶい黄橙色 白色粘土ブロック多量，ロームブロック少量 |                           |

**遺物出土状況** 混入した土師器片 4 点（甕類）が覆土中から出土している。遺物は細片のため図示できない。

**所見** 時期は，覆土が埋め戻されており，出土遺物が混入であることから不明である。



第 47 図 第 1 号井戸跡実測図

**第 2 号井戸跡** (第 48 図)

**位置** 調査区中央部東寄りの B 9 j6 区，標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 直径 1.10m ほどの円形で，円筒状に掘り込まれている。1.91m まで掘り下げた時点で，壁面の崩落が想定されたので，下部の調査を断念した。

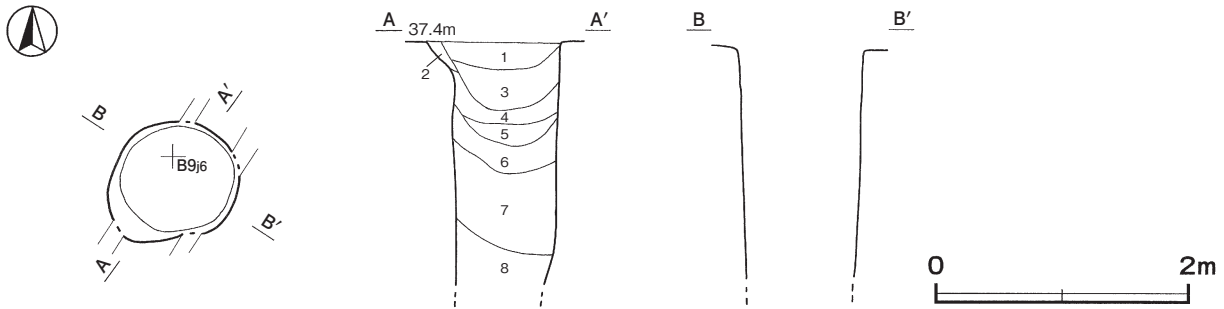
**覆土** 8 層に分層できる。細礫やロームブロック，粘土ブロックが含まれる不自然な堆積状況から，埋め戻されている。

土層解説

- |         |                 |         |                   |
|---------|-----------------|---------|-------------------|
| 1 黒 褐 色 | ローム粒子・焼土粒子微量    | 5 黒 色   | ロームブロック・粘土ブロック少量  |
| 2 黒 褐 色 | ロームブロック多量       | 6 黒 褐 色 | 砂質粘土粒子中量, ローム粒子少量 |
| 3 黒 色   | ロームブロック少量       | 7 黒 褐 色 | 細礫中量, ロームブロック少量   |
| 4 黒 色   | 細礫多量, ロームブロック微量 | 8 黒 褐 色 | ロームブロック微量         |

遺物出土状況 混入した土師器片 16 点 (坏 7, 甕類 8, 甑 1), 陶器片 1 点 (甕), 灰釉陶器片 1 点 (椀), 石器 1 点 (台形石器) が出土している。遺物は細片のため図示できない。

所見 時期は, 覆土が埋め戻されており, 出土遺物が混入であることから不明である。



第 48 図 第 2 号井戸跡実測図

表 6 時期不明の井戸跡一覧表

| 番号 | 位置   | 長径方向    | 平面形 | 規 模         |         | 断面         | 底面 | 覆 土 | 主な出土遺物      | 備 考<br>重複関係(古→新) |
|----|------|---------|-----|-------------|---------|------------|----|-----|-------------|------------------|
|    |      |         |     | 長径×短径 (m)   | 深さ (cm) |            |    |     |             |                  |
| 1  | B9f8 | N - 90° | 楕円形 | 2.45 × 2.00 | (207)   | 漏斗状<br>円筒状 | 不明 | 人為  | 土師器         |                  |
| 2  | B9j6 | -       | 円形  | 1.08 × 1.00 | (191)   | 円筒状        | 不明 | 人為  | 土師器, 陶器, 石器 |                  |

(3) 溝跡

第 2 号溝跡 (第 49 図)

位置 調査区北部の A10h1 ~ A10i1 区, 標高 39 m ほどの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第 68・71 号土坑に掘り込まれている。

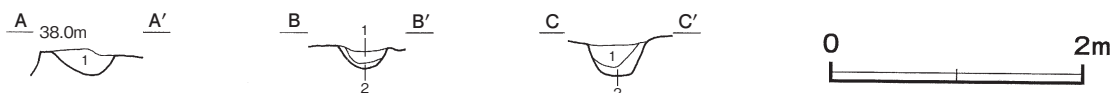
規模と形状 北端部を第 68 号土坑, 南端部を第 71 号土坑に掘り込まれているため, 長さは 5.22 m しか確認できなかった。A10h1 区から南西方向 (N - 51° - E) に直線的に延び, A9j0 区で湾曲して南東方向 (N - 45° - W) に A10j2 区までほぼ直線的に延びている。上幅 0.26 ~ 0.55m, 下幅 0.11 ~ 0.25m, 深さ 16 ~ 25cm である。断面形は U 字状で, 壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 2 層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

土層解説

- |         |                     |       |                        |
|---------|---------------------|-------|------------------------|
| 1 黒 褐 色 | 炭化粒子・砂粒子少量, ローム粒子微量 | 2 褐 色 | 炭化粒子中量, ローム粒子少量, 砂粒子微量 |
|---------|---------------------|-------|------------------------|

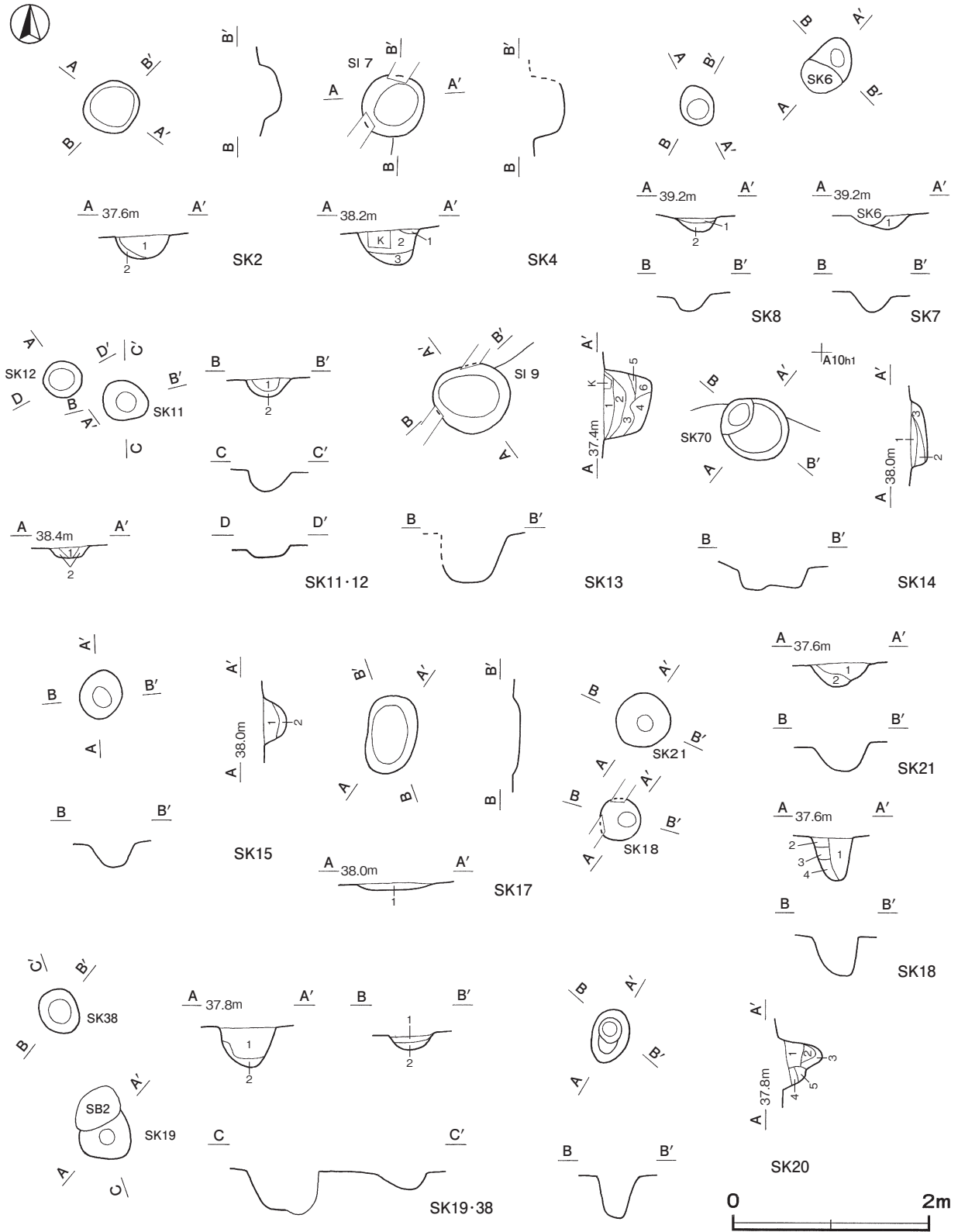
所見 時期は, 判定できる出土遺物がないため不明である。



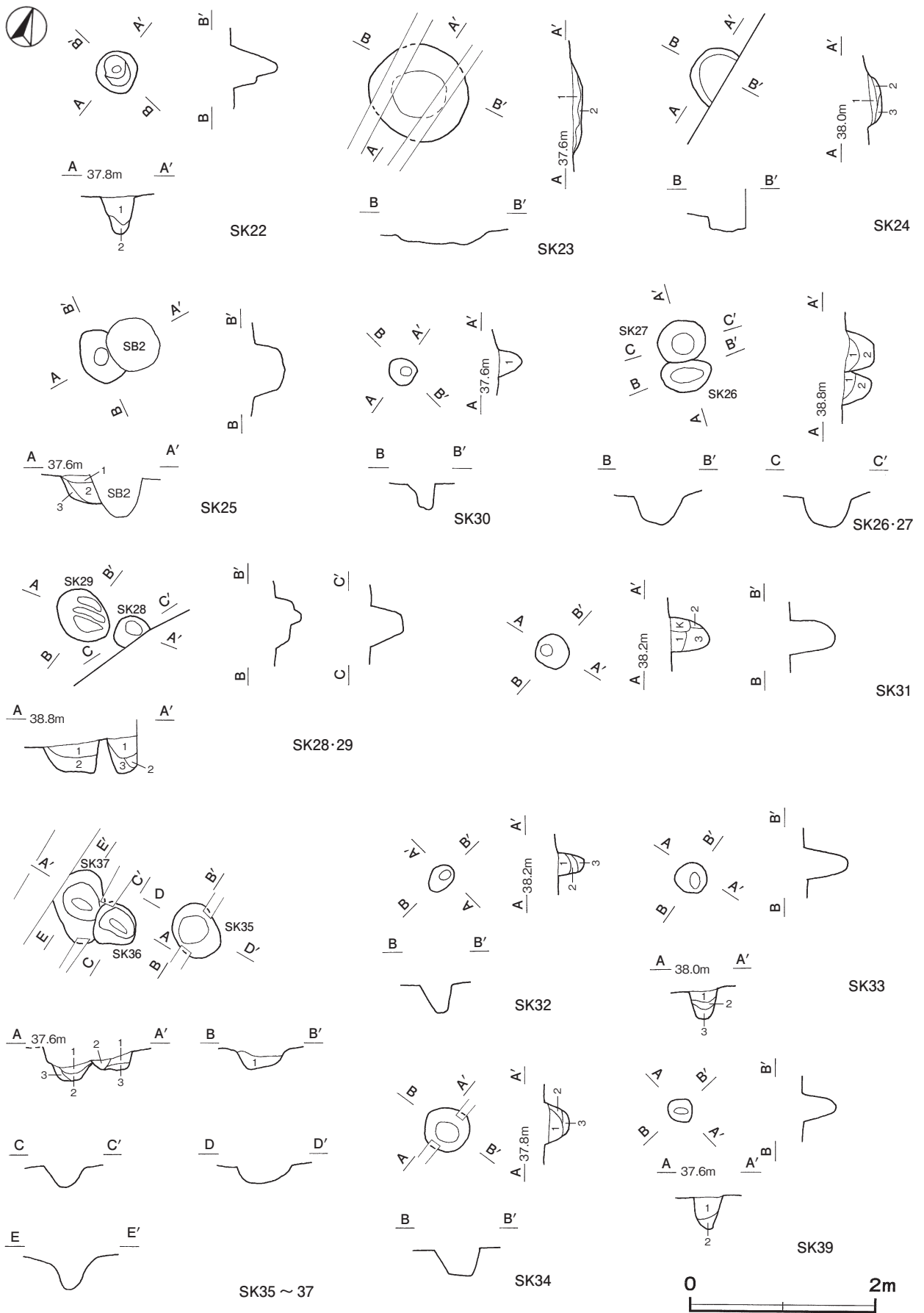
第 49 図 第 2 号溝跡実測図

(4) 土坑

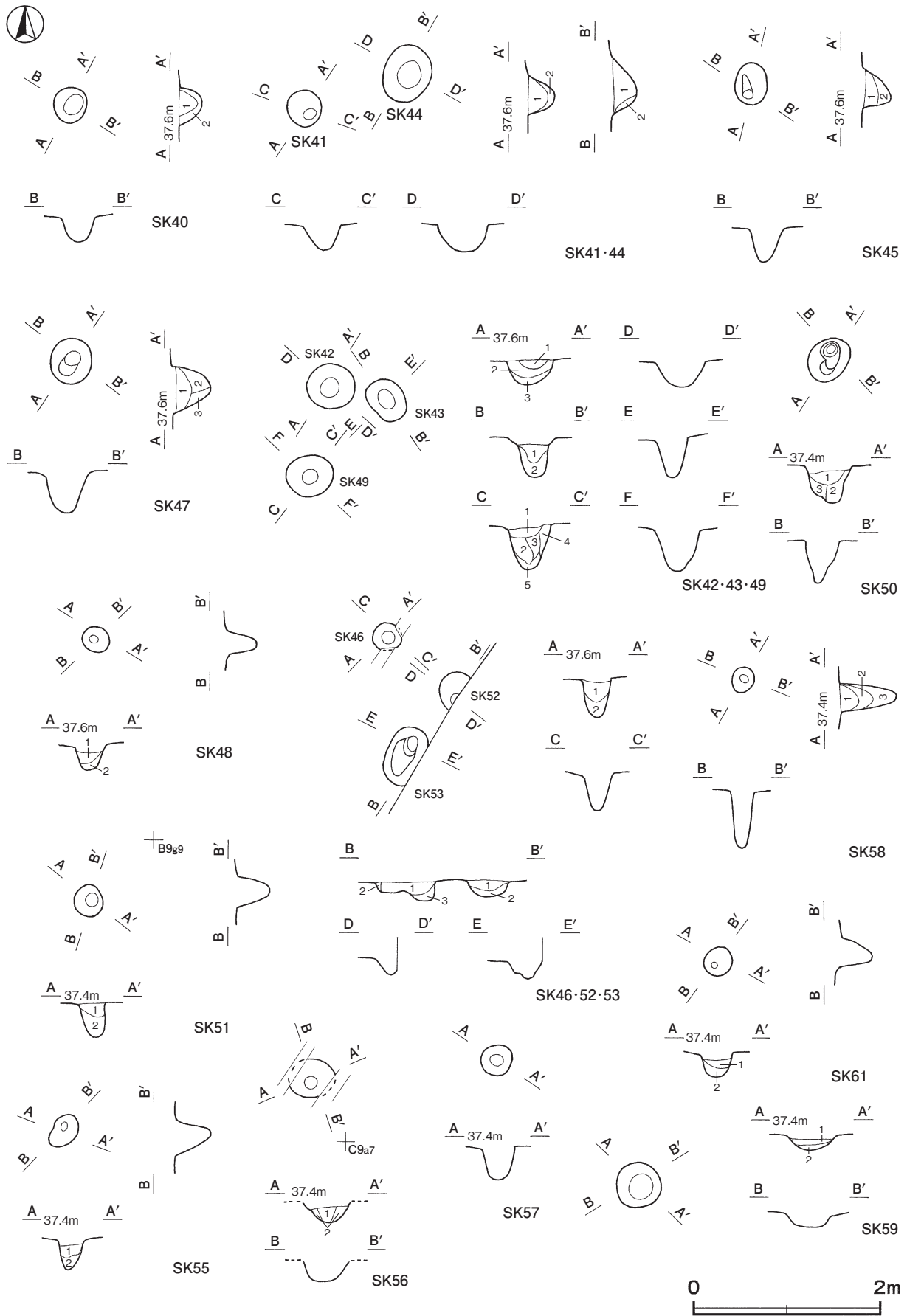
今回の調査で、時期不明の土坑 106 基を確認した。ここでは、それらの遺構の実測図と土層解説、一覧表を掲載する。



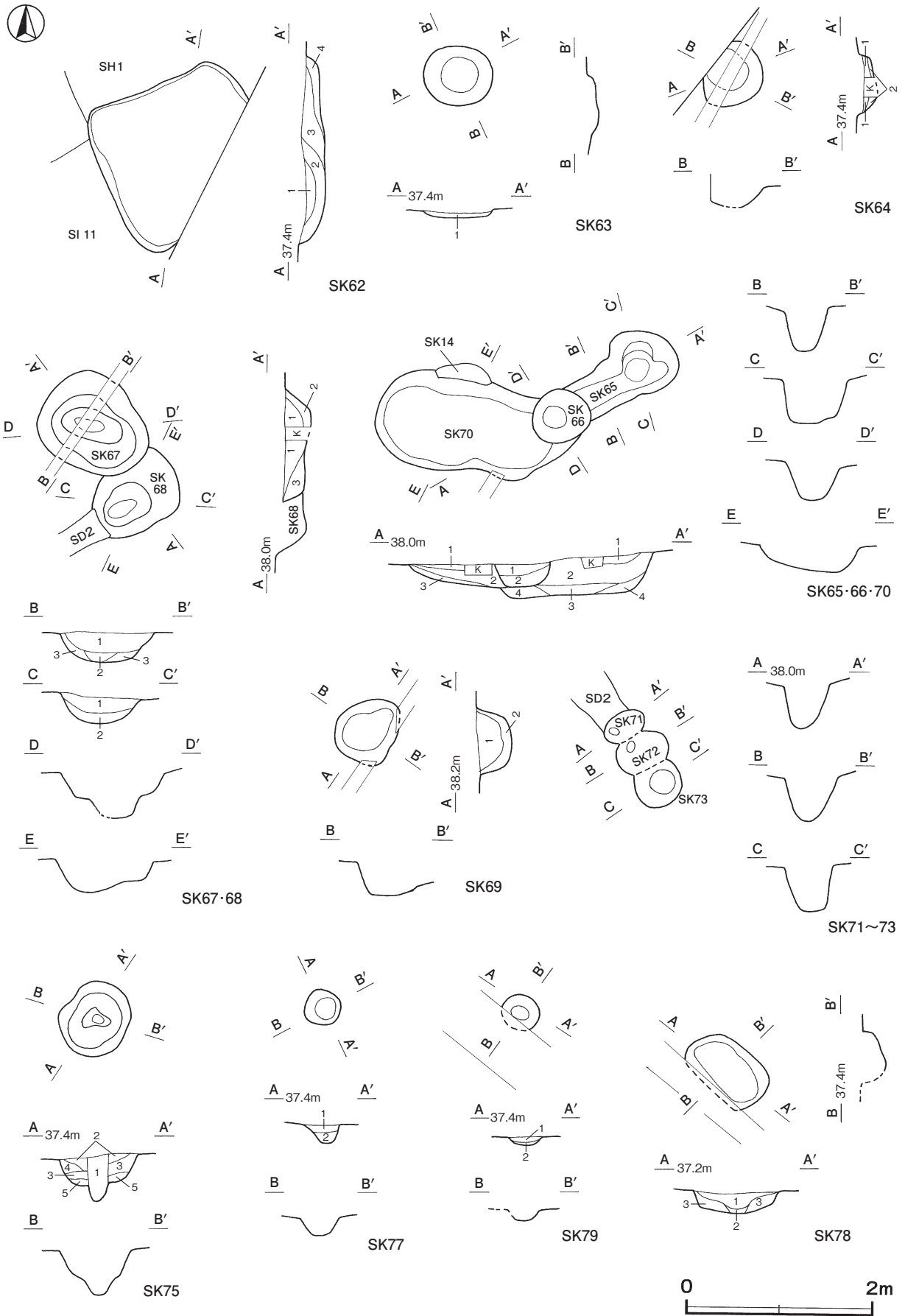
第 50 図 時期不明の土坑実測図 (1)



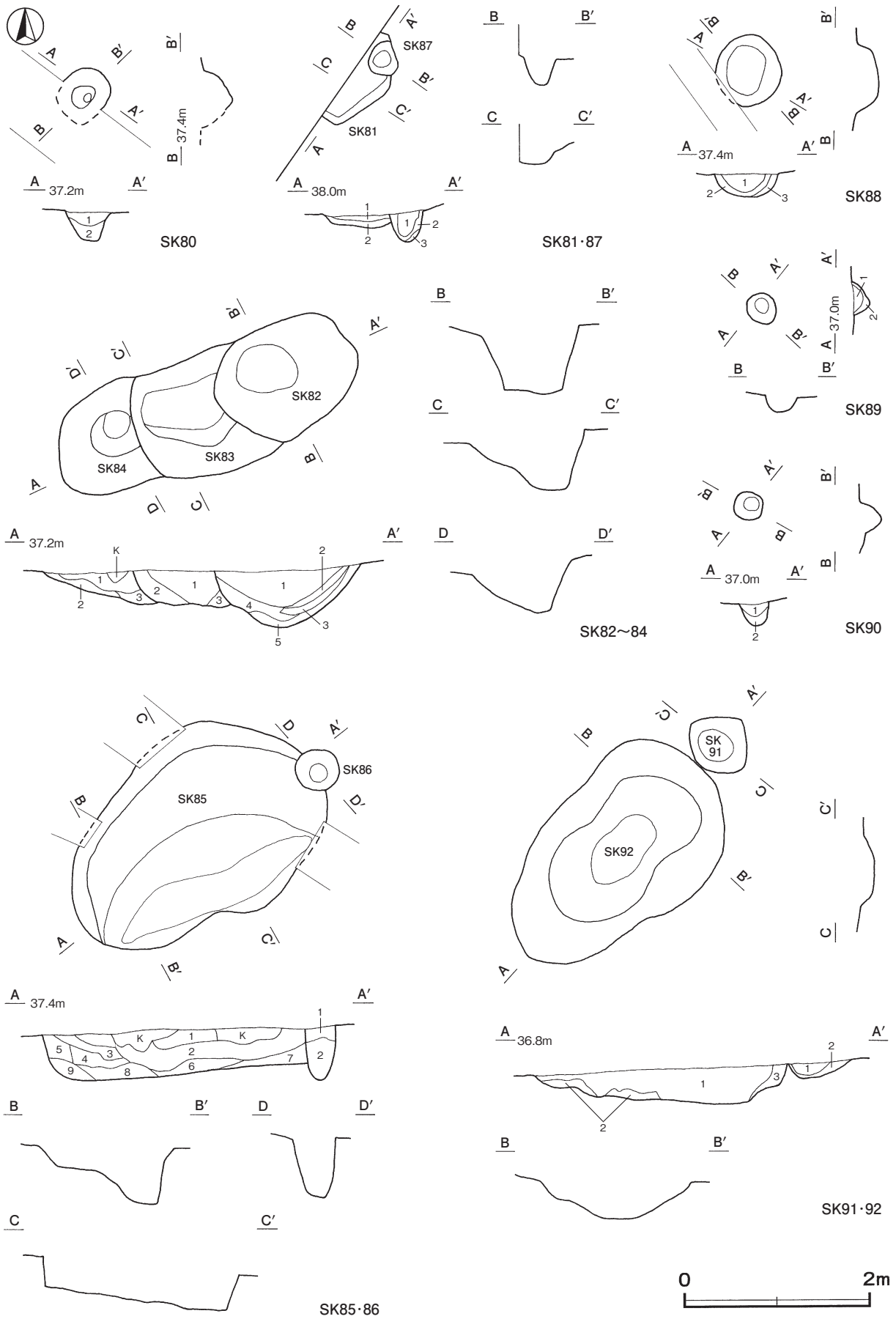
第 51 図 時期不明の土坑実測図 (2)



第 52 図 時期不明の土坑実測図 (3)

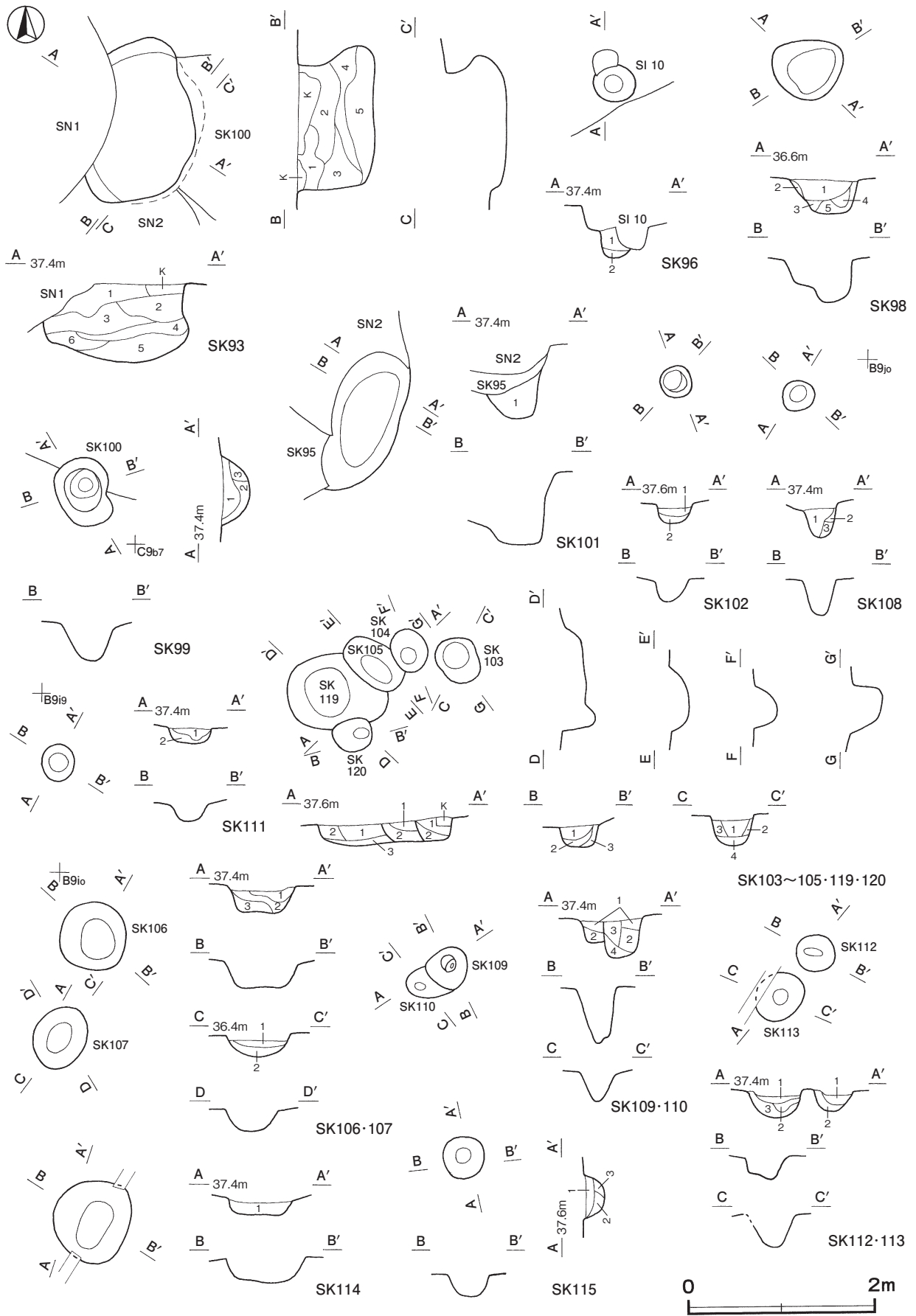


第 53 図 時期不明の土坑実測図 (4)

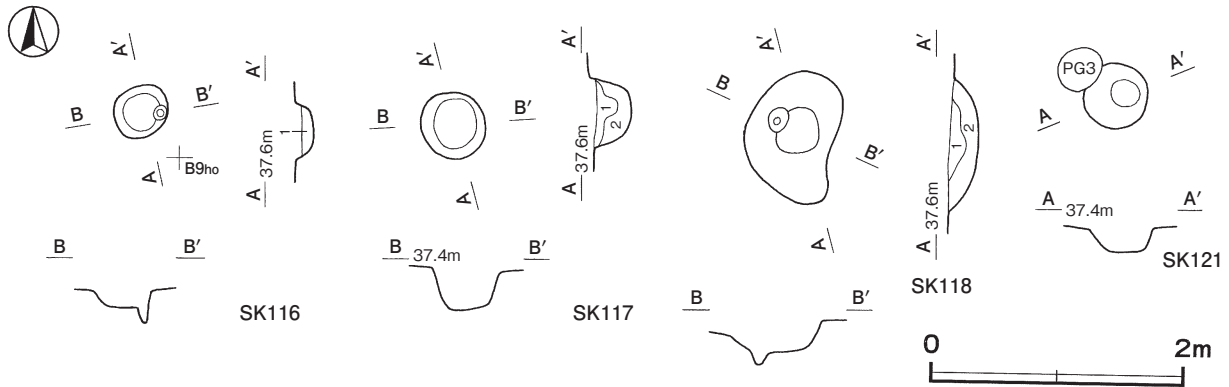


第 54 図 時期不明の土坑実測図 (5)





第 55 図 時期不明の土坑実測図 (6)



第 56 図 時期不明の土坑実測図 (7)

第 2 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量

第 4 号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・七本桜粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量

第 7 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量

第 8 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量

第 11 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 鹿沼パミス粒子・七本桜粒子微量

第 12 号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 鹿沼パミス粒子・七本桜粒子微量

第 13 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 焼土ブロック・砂質粘土ブロック・炭化物・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 砂質粘土ブロック少量, 炭化物・ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 砂質粘土ブロック・ローム粒子・焼土粒子微量
- 4 暗褐色 白色粘土ブロック少量, ローム粒子・七本桜粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック少量, 砂質粘土ブロック・七本桜粒子微量
- 6 黒褐色 白色粘土ブロック・ローム粒子・七本桜粒子微量

第 14 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 白色粘土ブロック少量, ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・七本桜粒子微量

第 15 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・白色粘土粒子・七本桜粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック・七本桜粒子少量, 白色粘土粒子微量

17 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化材多量

第 18 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第 19 号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・粘土ブロック中量

第 20 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量

第 21 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・七本桜粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量

第 22 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子中量, ロームブロック・炭化材微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第 23 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 明褐色 ロームブロック中量

第 24 号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 炭化粒子中量, ローム粒子少量
- 2 褐色 炭化物少量
- 3 明褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量

第 25 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量・焼土粒子微量

第 26 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 明褐色 炭化物中量

第 27 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 明褐色 炭化物中量

第 28 号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 明褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第 29 号土坑土層解説

- 1 褐色 炭化粒子少量, ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量

第 30 号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック中量

## 第31号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 明褐色 炭化粒子中量

## 第32号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 明褐色 炭化粒子中量

## 第33号土坑土層解説

- 1 黒褐色 砂粒中量, ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・砂粒少量
- 3 極暗褐色 ローム粒子微量

## 第34号土坑土層解説

- 1 褐色 砂粒中量, 炭化粒子少量
- 2 褐色 砂粒中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 焼土粒子・炭化粒子少量

## 第35号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子微量

## 第36号土坑土層解説

- 1 明褐色 炭化粒子少量
- 2 褐色 炭化粒子少量
- 3 明褐色 炭化粒子微量

## 第37号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量
- 2 明褐色 炭化物少量
- 3 明褐色 炭化粒子微量

## 第38号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 炭化粒子中量, ローム粒子少量

## 第39号土坑土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子中量, ローム粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量

## 第40号土坑土層解説

- 1 明褐色 炭化粒子少量, 砂質粘土粒子微量
- 2 明褐色 炭化粒子微量

## 第41号土坑土層解説

- 1 黒色 炭化粒子中量, 焼土ブロック・ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量

## 第42号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・鹿沼バミス粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・鹿沼バミス粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 鹿沼バミス粒子微量

## 第43号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

## 第44号土坑土層解説

- 1 褐色 砂粒子中量, ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量

## 第45号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 炭化粒子・焼土粒子微量

## 第46号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量

## 第47号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

- 3 暗褐色 ローム粒子中量

## 第48号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

## 第49号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・七本桜粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・七本桜粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 粘土ブロック・焼土粒子・七本桜粒子微量
- 4 黒褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子・七本桜粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量

## 第50号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・七本桜粒子少量

## 第51号土坑土層解説

- 1 褐灰色 焼土ブロック中量
- 2 黒褐色 焼土ブロック少量

## 第52号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化物微量

## 第53号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・鹿沼バミス粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 鹿沼バミス粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 鹿沼バミスブロック・七本桜粒子微量

## 第55号土坑土層解説

- 1 褐灰色 ローム粒子・砂質粘土粒子・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量

## 第56号土坑土層解説

- 1 灰褐色 ロームブロック・粘土ブロック・炭化粒子少量
- 2 褐灰色 ローム粒子・炭化粒子少量

## 第58号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 白色粘土ブロック微量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量

## 第59号土坑土層解説

- 1 褐灰色 砂粒子少量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 明褐色 ローム粒子微量

## 第61号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 粘土ブロック多量, 炭化粒子少量

## 第62号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・鹿沼バミス粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 鹿沼バミスブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 鹿沼バミスブロック・焼土粒子微量
- 4 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量

## 第63号土坑土層解説

- 1 にぶい褐色 ローム粒子・砂質粘土粒子・焼土粒子微量

## 第64号土坑土層解説

- 1 灰褐色 焼土粒子少量, ロームブロック微量
- 2 明褐色 焼土粒子・炭化粒子微量

## 第65号土坑土層解説

- 1 黒褐色 鹿沼バミス粒子少量, ローム粒子・七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・鹿沼バミス粒子少量, 七本桜粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量
- 4 灰褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量

**第 66 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 鹿沼バミス粒子少量, ローム粒子・焼土粒子・七本桜粒子微量
- 2 黒 褐 色 鹿沼バミス粒子少量, ローム粒子・七本桜粒子微量

**第 67 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 鹿沼バミス粒子少量, ローム粒子・焼土粒子・七本桜粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量

**第 68 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 鹿沼バミス粒子少量, ロームブロック・焼土粒子・七本桜粒子微量
- 2 灰 褐 色 ロームブロック・鹿沼バミス粒子少量, 七本桜粒子微量

**第 69 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量

**第 70 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・鹿沼バミス粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量, 鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量

**第 75 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 鹿沼バミスブロック・ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・鹿沼バミスブロック少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・鹿沼バミスブロック微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック・鹿沼バミスブロック微量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック中量, 鹿沼バミスブロック微量

**第 77 号土坑土層解説**

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子少量

**第 78 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック中量

**第 79 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

**第 80 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・粘土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・粘土粒子微量

**第 81 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 炭化物微量
- 2 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量

**第 82 号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
- 3 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 5 黒 褐 色 砂質粘土粒子中量, ロームブロック微量

**第 83 号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 砂質粘土粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子微量

**第 84 号土坑土層解説**

- 1 暗 褐 色 ローム粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック微量

**第 85 号土坑土層解説**

- 1 灰 黄 色 粘土粒子多量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・粘土ブロック微量
- 3 黒 褐 色 粘土ブロック中量, ローム粒子・焼土粒子微量

- 4 黒 褐 色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 5 明 褐 色 ローム粒子多量
- 6 褐 色 ロームブロック中量, 粘土ブロック少量, 焼土ブロック微量
- 7 明 褐 色 ローム粒子多量, 焼土粒子微量
- 8 にぶい褐色 ローム粒子多量, 焼土ブロック微量
- 9 灰 白 色 粘土ブロック多量

**第 86 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量

**第 87 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 橙 色 炭化粒子少量

**第 88 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 鹿沼バミスブロック・炭化粒子・粘土粒子微量
- 2 黒 褐 色 粘土ブロック少量, 鹿沼バミスブロック微量
- 3 黒 褐 色 粘土ブロック中量

**第 89 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 粘土ブロック・ローム粒子微量
- 2 黒 褐 色 粘土ブロック少量, ローム粒子微量

**第 90 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 粘土ブロック少量
- 2 黒 褐 色 粘土ブロック・ローム粒子少量

**第 91 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・炭化粒子少量, 焼土ブロック・砂質粘土粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子・炭化粒子少量

**第 92 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 褐 色 粘土ブロック多量, ロームブロック・炭化粒子中量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

**第 93 号土坑土層解説**

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 粘土ブロック・鹿沼バミスブロック少量, 炭化物微量
- 2 黒 褐 色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 粘土ブロック少量, ロームブロック・鹿沼バミスブロック・焼土粒子微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック・粘土ブロック・鹿沼バミス粒子微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 6 黒 褐 色 ローム粒子少量, 鹿沼バミスブロック微量

**第 96 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・粘土ブロック微量
- 2 褐 灰 色 粘土ブロック中量, ロームブロック微量

**第 98 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 炭化粒子少量, ローム粒子微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 3 黒 色 炭化粒子少量
- 4 灰黄褐色 粘土ブロック・炭化物少量
- 5 黄 褐 色 粘土粒子・細礫中量, 炭化粒子少量

**第 99 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 炭化粒子少量, ロームブロック・鹿沼バミスブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・鹿沼バミスブロック微量
- 3 明 褐 色 炭化物微量

**第 101 号土坑土層解説**

- 1 暗 褐 色 ローム粒子中量, 鹿沼バミスブロック少量

**第 102 号土坑土層解説**

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック・七本桜粒子微量

## 第103号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 灰褐色 七本桜粒子少量, ローム粒子微量
- 4 灰褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量

## 第104号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子・七本桜粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量

## 第105号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量

## 第106号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・鹿沼バミスブロック・七本桜粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 鹿沼バミス粒子・七本桜粒子少量

## 第107号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 鹿沼バミス粒子・七本桜粒子微量

## 第108号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 七本桜粒子少量

## 第109号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 七本桜粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量

## 第110号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 七本桜粒子微量

## 第111号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・鹿沼バミスブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 七本桜粒子微量

## 第112号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・七本桜粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 七本桜粒子微量

## 第113号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 七本桜粒子微量

## 第114号土坑土層解説

- 1 暗褐色 七本桜粒子少量, ロームブロック微量

## 第115号土坑土層解説

- 1 暗褐色 七本桜粒子少量, ロームブロック微量
- 2 褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 七本桜粒子少量

## 第116号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 七本桜粒子少量

## 第117号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・七本桜粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック・七本桜粒子中量

## 第118号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・七本桜粒子少量, 鹿沼バミス粒子微量

## 第119号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子多量, 七本桜粒子微量

## 第120号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・七本桜粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・七本桜粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 七本桜粒子微量

表7 土坑一覽表

| 番号 | 位置     | 長径方向        | 平面形   | 規模            |        | 底面 | 壁面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考<br>重複関係(古→新) |
|----|--------|-------------|-------|---------------|--------|----|----|----|--------|-----------------|
|    |        |             |       | 長径×短径(m)      | 深さ(cm) |    |    |    |        |                 |
| 2  | B 9f9  | -           | 円形    | 0.55 × 0.53   | 21     | 皿状 | 外傾 | 人為 |        | SK3 → 本跡        |
| 4  | B10a1  | -           | 円形    | 0.53 × 0.52   | 33     | 平坦 | 外傾 | 自然 | 土師器    | SI7 → 本跡        |
| 7  | B10a5  | N - 46° - E | [楕円形] | (0.53) × 0.40 | 18     | 皿状 | 緩斜 | 自然 |        | 本跡 → SK6        |
| 8  | B10a5  | N - 21° - W | 楕円形   | 0.43 × 0.35   | 17     | 皿状 | 緩斜 | 自然 |        |                 |
| 11 | B10b3  | N - 76° - E | 楕円形   | 0.45 × 0.40   | 19     | 平坦 | 外傾 | 自然 |        |                 |
| 12 | B10b2  | -           | 円形    | 0.39 × 0.37   | 11     | 平坦 | 外傾 | 自然 |        |                 |
| 13 | B 9e8  | -           | 円形    | 0.75 × 0.70   | 45     | 平坦 | 外傾 | 自然 | 土師器    | SI9 → 本跡        |
| 14 | A 9h0  | -           | 円形    | 0.65 × 0.62   | 24     | 平坦 | 外傾 | 自然 |        | SK70 → 本跡       |
| 15 | A 9h0  | N - 4° - E  | 楕円形   | 0.49 × 0.42   | 24     | 皿状 | 外傾 | 自然 |        |                 |
| 17 | B 1e1  | N - 10° - E | 楕円形   | 0.80 × 0.52   | 7      | 平坦 | 緩斜 | 自然 |        |                 |
| 18 | B 9e9  | -           | 円形    | 0.45 × 0.42   | 42     | 平坦 | 外傾 | 人為 | 須恵器    |                 |
| 19 | B 9e0  | N - 5° - W  | [楕円形] | 0.50 × (0.38) | 42     | 皿状 | 外傾 | 人為 |        | 本跡 → SB2        |
| 20 | B 9e0  | N - 16° - E | 楕円形   | 0.55 × 0.38   | 44     | 皿状 | 外傾 | 人為 |        |                 |
| 21 | B 9e9  | -           | 円形    | 0.58 × 0.56   | 29     | 皿状 | 緩斜 | 自然 |        |                 |
| 22 | B 10f1 | -           | 円形    | 0.45 × 0.45   | 49     | 平坦 | 直立 | 自然 | 土師器    |                 |
| 23 | B 10g1 | -           | 円形    | 1.10 × 1.03   | 11     | 平坦 | 緩斜 | 自然 |        |                 |
| 24 | B 10f1 | -           | [円形]  | 0.63 × (0.38) | 19     | 平坦 | 直立 | 自然 |        |                 |
| 25 | B 10f0 | N - 33° - W | [楕円形] | 0.62 × (0.32) | 36     | 皿状 | 外傾 | 自然 |        | 本跡 → SB2        |

| 番号 | 位置    | 長径方向        | 平面形     | 規 模             |         | 底 面 | 壁 面   | 覆 土 | 主な出土遺物   | 備 考<br>重複関係(古→新)     |
|----|-------|-------------|---------|-----------------|---------|-----|-------|-----|----------|----------------------|
|    |       |             |         | 長径×短径 (m)       | 深さ (cm) |     |       |     |          |                      |
| 26 | B10b4 | N - 83° - E | 楕円形     | 0.54 × (0.33)   | 30      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          | 本跡→SK27              |
| 27 | B10b4 | N - 75° - E | 楕円形     | 0.42 × 0.47     | 31      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          | SK26→本跡              |
| 28 | B10c4 | -           | [円形]    | 0.40 × (0.30)   | 35      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 29 | B10c4 | N - 64° - W | 楕円形     | 0.64 × 0.51     | 30      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 30 | B 9f0 | -           | 円形      | 0.17 × 0.17     | 30      | 皿状  | 外傾    | 人為  | 須恵器      |                      |
| 31 | B10c1 | -           | 円形      | 0.37 × 0.37     | 46      | 平坦  | 外傾    | 人為  |          |                      |
| 32 | B10c1 | N - 44° - E | 楕円形     | 0.33 × 0.25     | 29      | 平坦  | 外傾    | 人為  |          |                      |
| 33 | B10c1 | -           | 円形      | 0.34 × 0.33     | 41      | 平坦  | 外傾    | 人為  |          |                      |
| 34 | B 9d0 | -           | 円形      | 0.51 × 0.50     | 27      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 35 | B 9d9 | N - 27° - W | 楕円形     | 0.59 × 0.48     | 16      | 平坦  | 緩斜    | 人為  |          |                      |
| 36 | B 9d9 | -           | [円形]    | 0.47 × (0.45)   | 21      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          | SK37→本跡              |
| 37 | B 9d9 | N - 5° - W  | [楕円形]   | [0.78] × 0.55   | 35      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          | 本跡→SK36              |
| 38 | B 9e0 | N - 29° - W | 楕円形     | 0.45 × 0.38     | 17      | 平坦  | 外傾    | 自然  | 土師器      |                      |
| 39 | B 9f9 | -           | 円形      | 0.30 × 0.29     | 35      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 40 | B 9g0 | -           | 円形      | 0.37 × 0.35     | 28      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 41 | B 9g0 | N - 6° - E  | 楕円形     | 0.41 × 0.36     | 31      | 平坦  | 直立    | 人為  | 土師器      |                      |
| 42 | B 9h0 | -           | 円形      | 0.54 × 0.50     | 24      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 43 | B 9h0 | N - 34° - W | 楕円形     | 0.48 × 0.35     | 40      | 平坦  | 外傾    | 自然  | 土師器      |                      |
| 44 | B 9g0 | N - 3° - W  | 楕円形     | 0.63 × 0.53     | 30      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 45 | B 9g0 | N - 0°      | 楕円形     | 0.45 × 0.36     | 36      | V字状 | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 46 | B 9i0 | -           | 円形      | 0.32 × 0.30     | 42      | 平坦  | 外傾    | 自然  | 土師器, 須恵器 |                      |
| 47 | B 9h0 | -           | 円形      | 0.49 × 0.48     | 43      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 48 | B 9h0 | N - 50° - W | 楕円形     | 0.30 × 0.26     | 31      | 平坦  | 直立    | 人為  |          |                      |
| 49 | B 9h0 | N - 63° - E | 楕円形     | 0.48 × 0.43     | 46      | 皿状  | 外傾    | 人為  | 土師器      |                      |
| 50 | B 9i9 | N - 37° - W | 楕円形     | 0.50 × 0.39     | 45      | V字状 | 外傾    | 人為  | 土師器      |                      |
| 51 | B 9g8 | N - 24° - W | 楕円形     | 0.35 × 0.30     | 35      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 52 | B 9i0 | -           | [円形]    | 0.45 × (0.22)   | 19      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 53 | B 9i0 | N - 3° - E  | [楕円形]   | 0.67 × (0.41)   | 20      | 階段状 | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 55 | B 9j6 | N - 34° - E | 楕円形     | 0.39 × 0.28     | 38      | 平坦  | 外傾    | 自然  | 土師器      |                      |
| 56 | B 9j6 | N - 77° - E | 楕円形     | 0.50 × 0.41     | 23      | 平坦  | 外傾    | 人為  | 土師器, 陶器  |                      |
| 57 | C 9a7 | -           | 楕円形     | 0.35 × 0.30     | 33      | 平坦  | 外傾    | -   |          |                      |
| 58 | B 9f8 | -           | 円形      | 0.27 × 0.26     | 63      | 平坦  | 直立    | 自然  |          |                      |
| 59 | C 9a6 | -           | 円形      | 0.51 × 0.48     | 14      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 61 | C 9a8 | N - 70° - W | 楕円形     | 0.32 × 0.28     | 35      | 平坦  | 直立    | 人為  |          |                      |
| 62 | C 9b8 | N - 62° - E | [方形]    | 1.72 × 1.70     | 43      | 凸凹状 | 直立    | 人為  | 土師器      |                      |
| 63 | B 9g7 | N - 73° - E | 楕円形     | 0.77 × 0.69     | 9       | 平坦  | 緩斜    | 自然  |          |                      |
| 64 | B 9g7 | N - 32° - E | [楕円形]   | 0.75 × (0.55)   | 20      | 平坦  | 外傾    | 人為  |          |                      |
| 65 | A10h1 | N - 60° - E | 不定形     | (1.36) × 0.74   | 46      | 平坦  | 直立    | -   |          | 本跡→SK66・70           |
| 66 | A10h1 | -           | 円形      | 0.60 × 0.57     | 40      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          | SK65・70→本跡           |
| 67 | A10h1 | N - 52° - W | [楕円形]   | [1.14] × 1.00   | 47      | 平坦  | 外傾    | 人為  |          | SK68→本跡              |
| 68 | A10h1 | N - 62° - E | [楕円形]   | [1.00] × [0.63] | 35      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          | 本跡→SK67, SD2         |
| 69 | A10h1 | N - 40° - E | 楕円形     | 0.75 × 0.62     | 37      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 70 | A 9h0 | N - 93° - E | [不整楕円形] | (2.29) × 1.03   | 30      | 平坦  | 外傾    | -   |          | SK65→本跡→SK14・66, PG1 |
| 71 | A10i1 | N - 52° - E | [楕円形]   | 0.46 × (0.27)   | 47      | 皿状  | 外傾    | -   |          | SD2→本跡               |
| 72 | A10i1 | N - 57° - E | [楕円形]   | 0.58 × (0.37)   | 62      | 皿状  | 外傾    | -   |          |                      |
| 73 | A10i1 | -           | [円形]    | 0.54 × (0.51)   | 49      | 平坦  | 外傾    | -   |          |                      |
| 75 | C 9b7 | N - 25° - E | 楕円形     | 0.85 × 0.72     | 51      | 皿状  | 外傾    | 人為  | 土師器      |                      |
| 77 | C 9c5 | N - 31° - W | 楕円形     | 0.42 × 0.38     | 21      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 78 | C 9b5 | N - 55° - W | [楕円形]   | 0.90 × [0.56]   | 25      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 79 | C 9b5 | -           | [円形]    | 0.40 × [0.37]   | 12      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          |                      |
| 80 | C 9c5 | N - 34° - E | [楕円形]   | [0.61] × 0.50   | 31      | 皿状  | 外傾    | 自然  | 土師器      |                      |
| 81 | A 9h0 | N - 34° - E | [不整楕円形] | 0.90 × (0.42)   | 13      | 平坦  | 外傾    | 自然  |          | 本跡→SK87              |
| 82 | C 9c4 | N - 63° - E | 楕円形     | 1.61 × 1.20     | 73      | 平坦  | 外傾    | 人為  |          | SK84・83→本跡           |
| 83 | C 9d3 | N - 63° - E | [楕円形]   | 1.30 × (0.92)   | 60      | 皿状  | 外傾・緩斜 | 人為  |          | SK84→本跡→SK82         |
| 84 | C 9d3 | N - 63° - E | [楕円形]   | 1.12 × (0.69)   | 53      | 皿状  | 外傾・緩斜 | 人為  |          | 本跡→SK82・83           |
| 85 | C 9e3 | N - 50° - E | 不整楕円形   | 3.02 × 1.72     | 56      | 皿状  | 外傾    | 人為  |          | 本跡→SK86              |
| 86 | C 9e3 | -           | 円形      | 0.50 × 0.48     | 24      | 平坦  | 直立    | 自然  |          | SK85→本跡              |
| 87 | A 9h0 | N - 7° - E  | 不整楕円形   | 0.39 × 0.32     | 30      | 皿状  | 外傾    | 自然  |          | SK81→本跡              |

| 番号  | 位置     | 長径方向          | 平面形   | 規               |             | 底面 | 壁面    | 覆土 | 主な出土遺物    | 備考<br>重複関係(古→新)           |
|-----|--------|---------------|-------|-----------------|-------------|----|-------|----|-----------|---------------------------|
|     |        |               |       | 長径×短径(m)        | 模<br>深さ(cm) |    |       |    |           |                           |
| 88  | C 9 b5 | -             | 円形    | 0.77 × 0.73     | 24          | 平坦 | 外傾    | 自然 | 土師器       |                           |
| 89  | C 9 d4 | N - 40° - W   | 楕円形   | 0.35 × 0.31     | 16          | 皿状 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 90  | C 9 e3 | -             | 円形    | 0.31 × 0.31     | 21          | 皿状 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 91  | C 9 e3 | N - 44° - E   | 楕円形   | 0.73 × 0.66     | 15          | 平坦 | 緩斜    | 自然 |           |                           |
| 92  | C 9 e3 | N - 44° - E   | 不整楕円形 | 2.75 × 1.79     | 42          | 皿状 | 外傾    | 人為 |           |                           |
| 93  | C 9 a6 | N - 15° - W   | 隅丸長方形 | 1.60 × 1.20     | 80          | 平坦 | 外傾・内傾 | 人為 | 縄文土器, 土師器 | SN2, SK95・100 →<br>本跡→SN1 |
| 96  | B 9 j9 | N - 66° - W   | 楕円形   | 0.45 × 0.39     | 35          | 皿状 | 外傾    | -  | 土師器, 須恵器  | SI10                      |
| 98  | C 9 f3 | N - 63° - E   | 不整楕円形 | 0.75 × 0.67     | 49          | 平坦 | 外傾    | 人為 | 石製品       |                           |
| 99  | C 9 a6 | -             | 円形    | 0.74 × 0.75     | 36          | 皿状 | 外傾    | 自然 |           | SK100 →本跡                 |
| 101 | C 9 b6 | N - 65° - E   | [楕円形] | (1.58) × (0.70) | 40          | 平坦 | 外傾    | 人為 |           | 本跡→SK95, SN2              |
| 102 | B 9 g0 | -             | 円形    | 0.35 × 0.35     | 24          | 皿状 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 103 | B 9 h0 | N - 37° - W   | 楕円形   | 0.52 × 0.43     | 34          | 平坦 | 直立    | 自然 |           |                           |
| 104 | B 9 h0 | N - 15° - W   | 楕円形   | 0.47 × 0.39     | 28          | 皿状 | 外傾    | 自然 |           | SK105 →本跡                 |
| 105 | B 9 h0 | N - 51° - W   | [楕円形] | 0.71 × (0.41)   | 23          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           | SK119 →本跡<br>→SK104       |
| 106 | B 9 i0 | -             | 円形    | 0.75 × 0.75     | 30          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 107 | B 9 i0 | N - 29° - E   | 楕円形   | 0.70 × 0.56     | 23          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 108 | B 9 j9 | -             | 円形    | 0.35 × 0.34     | 39          | 皿状 | 外傾    | 人為 |           |                           |
| 109 | B 9 i9 | -             | 円形    | 0.48 × 0.45     | 54 (59)     | 凸凹 | 直立    | 人為 | 土師器       | SK110 →本跡                 |
| 110 | B 9 i9 | [N - 78° - W] | [楕円形] | 0.51 × (0.32)   | 30          | 皿状 | 外傾    | 自然 |           | 本跡→SK109                  |
| 111 | B 9 i9 | -             | 楕円形   | 0.40 × 0.35     | 16          | 平坦 | 外傾    | 人為 |           |                           |
| 112 | B 9 h9 | -             | 円形    | 0.43 × 0.43     | 25          | 皿状 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 113 | B 9 h8 | N - 38° - E   | [楕円形] | 0.57 × [0.48]   | 34          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 114 | B 9 h8 | N - 33° - E   | 楕円形   | 0.92 × 0.80     | 25          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 115 | B 9 g9 | -             | 円形    | 0.47 × 0.47     | 23          | 平坦 | 外傾    | 人為 |           |                           |
| 116 | B 9 g9 | -             | 円形    | 0.47 × 0.44     | 15          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 117 | B 9 h0 | -             | 円形    | 0.55 × 0.50     | 32          | 平坦 | 外傾    | 人為 |           |                           |
| 118 | B 9 h0 | N - 4° - W    | 楕円形   | 1.05 × 0.76     | 21 (34)     | 平坦 | 外傾    | 自然 |           |                           |
| 119 | B 9 h0 | N - 90° - W   | 楕円形   | 1.10 × 0.82     | 25          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           | 本跡→SK105・120              |
| 120 | B 9 h0 | N - 69° - W   | 楕円形   | 0.46 × 0.35     | 36          | 皿状 | 直立    | 自然 |           | SK119 →本跡                 |
| 121 | C 9 a8 | N - 30° - W   | [楕円形] | 0.52 × (0.45)   | 16          | 平坦 | 外傾    | 自然 |           | 本跡→PG 3                   |

## (5) ピット群

今回の調査で、ピット群が3か所確認できた。いずれのピット群も明確に建物跡を想定できず、また伴出する出土遺物がないことから、時期を決定することもできない。ここではピット一覧表と平面図をそれぞれ記載する。

## 第1号ピット群計測表

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    | ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    | ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|-------|--------|-----|----------|----|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 1     | A10h1  | 円形  | 15 × 15  | 17 | 14    | A10h1  | 楕円形 | 18 × 15  | 16 | 27    | B10a2  | 円形  | 14 × 13  | 11 |
| 2     | A10h1  | 楕円形 | 13 × 8   | 23 | 15    | A 9 h0 | 楕円形 | 24 × 7   | 19 | 28    | B10a2  | 楕円形 | 19 × 15  | 20 |
| 3     | A10h1  | 円形  | 19 × 19  | 29 | 16    | A 9 h0 | 楕円形 | 18 × 7   | 13 | 29    | B10c4  | 円形  | 30 × 30  | 30 |
| 4     | A10i1  | 円形  | 14 × 14  | 17 | 17    | A 9 j0 | 楕円形 | 21 × 13  | 15 | 30    | B10a3  | 楕円形 | 22 × 19  | 9  |
| 5     | A10i1  | 楕円形 | 28 × 22  | 20 | 18    | A 9 i0 | 楕円形 | 21 × 16  | 22 | 31    | B10a3  | 円形  | 18 × 17  | 20 |
| 6     | A10i1  | 楕円形 | 30 × 26  | 12 | 19    | B10a5  | 楕円形 | 22 × 20  | 11 | 32    | B10b3  | 楕円形 | 22 × 20  | 17 |
| 7     | A 9 i0 | 楕円形 | 20 × 15  | 36 | 20    | B10a5  | 楕円形 | 23 × 19  | 18 | 33    | A 9 h0 | 楕円形 | 28 × 25  | 28 |
| 8     | A 9 i0 | 楕円形 | 21 × 18  | 19 | 21    | A10j5  | 楕円形 | 19 × 15  | 40 | 34    | A 9 h0 | 円形  | 24 × 22  | 22 |
| 9     | A 9 i0 | 円形  | 15 × 14  | 15 | 22    | A10j2  | 楕円形 | 23 × 20  | 17 | 35    | B10a4  | 円形  | 24 × 24  | 10 |
| 10    | A10i5  | 円形  | 26 × 25  | 18 | 23    | A10j2  | 円形  | 15 × 14  | 13 | 36    | A 9 h0 | 楕円形 | 15 × 12  | 18 |
| 11    | A10i4  | 円形  | 29 × 27  | 58 | 24    | A10j2  | 円形  | 19 × 18  | 18 | 37    | A 9 i0 | 円形  | 28 × 28  | -  |
| 12    | B10a4  | 楕円形 | 29 × 24  | 15 | 25    | A10j2  | 円形  | 16 × 15  | 17 | 38    | A 9 i0 | 楕円形 | 34 × 27  | -  |
| 13    | A 9 h0 | 楕円形 | 25 × 15  | 16 | 26    | B10a1  | 円形  | 14 × 13  | 8  | 39    | B10c2  | 楕円形 | 30 × 21  | 34 |

| ビット番号 | 位置    | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|-------|-----|----------|----|
|       |       |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 40    | B10c2 | 円形  | 27 × 26  | 38 |
| 41    | B10c2 | 円形  | 25 × 25  | 15 |
| 42    | B10c2 | 楕円形 | 26 × 18  | 15 |
| 43    | B10c2 | 楕円形 | 29 × 25  | 17 |
| 44    | B10c2 | 楕円形 | 34 × 28  | 16 |

| ビット番号 | 位置    | 形状    | 規 模 (cm)  |    |
|-------|-------|-------|-----------|----|
|       |       |       | 長径 × 短径   | 深さ |
| 45    | B10c2 | [楕円形] | 23 × (15) | 9  |
| 46    | B10c2 | 楕円形   | 27 × 18   | 14 |
| 47    | B10c2 | 円形    | 25 × 25   | 12 |
| 48    | B10c2 | 楕円形   | 25 × 21   | 27 |

| ビット番号 | 位置    | 形状 | 規 模 (cm) |    |
|-------|-------|----|----------|----|
|       |       |    | 長径 × 短径  | 深さ |
| 49    | B10d2 | 円形 | 27 × 27  | 30 |
| 50    | B10c1 | 円形 | 36 × 35  | 17 |
| 51    | B10c1 | 円形 | 32 × 31  | 31 |
| 52    | B10c1 | 円形 | 20 × 20  | 12 |

## 第2号ビット群計測表

| ビット番号 | 位置     | 形状  | 規 模     |         |
|-------|--------|-----|---------|---------|
|       |        |     | 長径 × 短径 | 深さ (cm) |
| 1     | B 9 c0 | 楕円形 | 29 × 25 | 16      |
| 2     | B 9 c0 | 楕円形 | 17 × 13 | 28      |
| 3     | B 9 c0 | 円形  | 21 × 21 | 32      |
| 4     | B10e1  | 楕円形 | 27 × 23 | 52      |
| 5     | B10e1  | 楕円形 | 17 × 15 | 11      |
| 6     | B10e1  | 円形  | 20 × 18 | 23      |
| 7     | B10e2  | 円形  | 26 × 25 | 16      |
| 8     | B10e2  | 楕円形 | 21 × 17 | 33      |
| 9     | B10f1  | 楕円形 | 25 × 19 | 32      |
| 10    | B10f1  | 円形  | 25 × 24 | 30      |

| ビット番号 | 位置     | 形状  | 規 模     |         |
|-------|--------|-----|---------|---------|
|       |        |     | 長径 × 短径 | 深さ (cm) |
| 11    | B10f1  | 円形  | 20 × 20 | 18      |
| 12    | B10f1  | 円形  | 18 × 17 | 13      |
| 13    | B10f1  | 楕円形 | 30 × 23 | 13      |
| 14    | B10f1  | 円形  | 18 × 18 | 10      |
| 15    | B 9 f0 | 円形  | 21 × 20 | 26      |
| 16    | B 9 f0 | 円形  | 21 × 21 | 15      |
| 17    | B 9 f0 | 楕円形 | 29 × 23 | 34      |
| 18    | B 9 f0 | 円形  | 18 × 17 | 8       |
| 19    | B 9 g9 | 楕円形 | 30 × 25 | 17      |
| 20    | B 9 g9 | 楕円形 | 24 × 21 | 22      |

| ビット番号 | 位置     | 形状  | 規 模     |         |
|-------|--------|-----|---------|---------|
|       |        |     | 長径 × 短径 | 深さ (cm) |
| 21    | B 9 f9 | 円形  | 19 × 17 | 21      |
| 22    | B 9 g9 | 円形  | 30 × 28 | 25      |
| 23    | B 9 g9 | 円形  | 24 × 24 | 30      |
| 24    | B 9 g9 | 円形  | 28 × 26 | 40      |
| 25    | B 9 g9 | 円形  | 25 × 25 | 31      |
| 26    | B 9 g8 | 楕円形 | 30 × 21 | 26      |
| 27    | B 9 g8 | 円形  | 22 × 21 | 25      |
| 28    | B 9 g7 | 円形  | 23 × 21 | 38      |
| 29    | B 9 f8 | 円形  | 31 × 30 | 44      |
| 30    | B 9 f8 | 円形  | 32 × 31 | 27      |

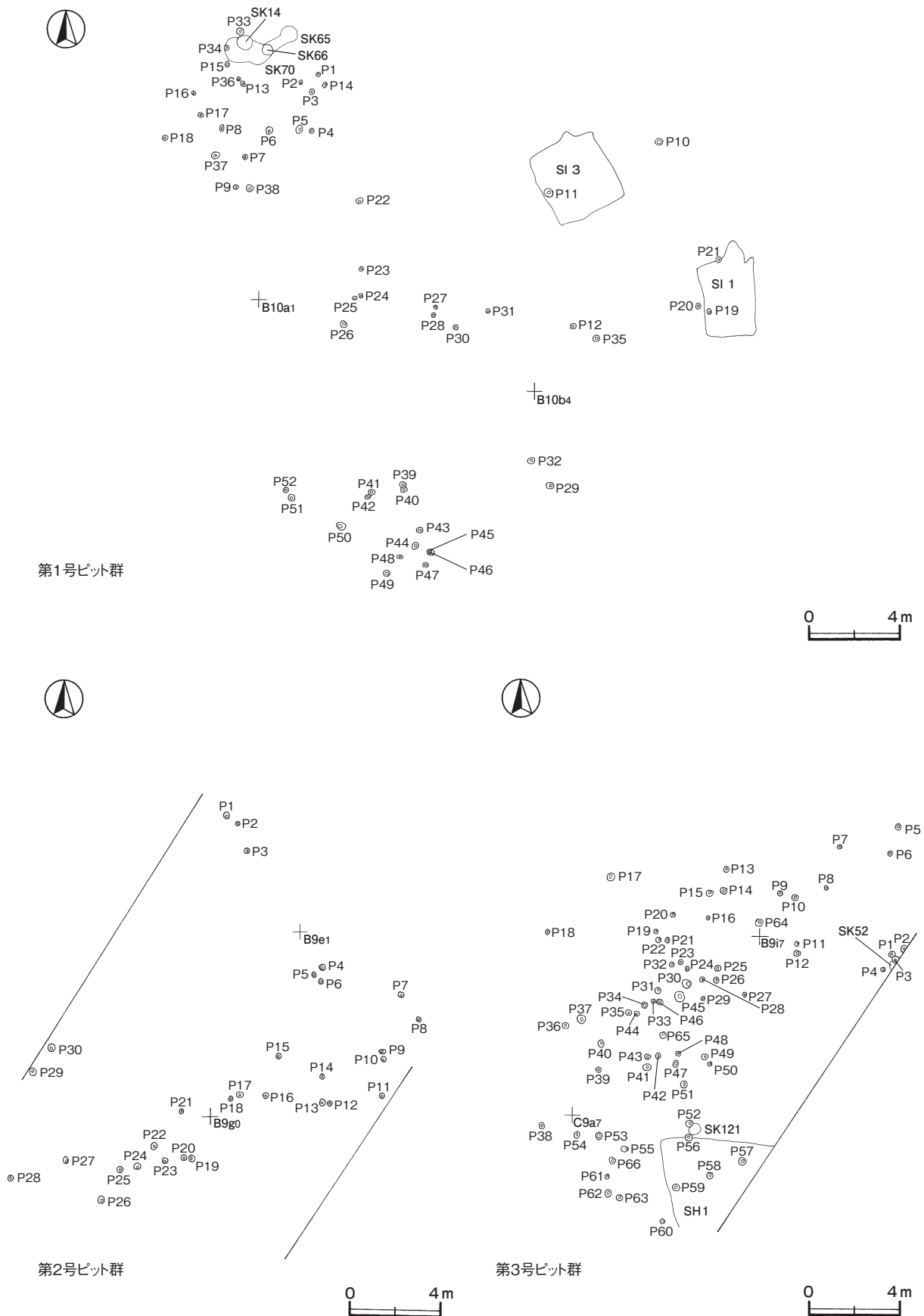
## 第3号ビット群計測表

| ビット番号 | 位置     | 形状    | 規 模       |         |
|-------|--------|-------|-----------|---------|
|       |        |       | 長径 × 短径   | 深さ (cm) |
| 1     | B 9 i0 | 楕円形   | 31 × 27   | -       |
| 2     | B 9 i0 | [楕円形] | 22 × (17) | 18      |
| 3     | B 9 i0 | 楕円形   | 34 × 25   | -       |
| 4     | B 9 i0 | 円形    | 23 × 22   | -       |
| 5     | B 9 g0 | 円形    | 21 × 21   | 22      |
| 6     | B 9 h0 | 円形    | 15 × 15   | 27      |
| 7     | B 9 g9 | 楕円形   | 21 × 18   | 13      |
| 8     | B 9 h9 | 円形    | 16 × 15   | 16      |
| 9     | B 9 h8 | 楕円形   | 24 × 21   | 38      |
| 10    | B 9 h9 | 楕円形   | 24 × 19   | -       |
| 11    | B 9 i9 | 円形    | 20 × 20   | -       |
| 12    | B 9 j9 | 楕円形   | 33 × 24   | -       |
| 13    | B 9 h8 | 円形    | 26 × 24   | 21      |
| 14    | B 9 h8 | 円形    | 28 × 27   | -       |
| 15    | B 9 h8 | 円形    | 28 × 27   | -       |
| 16    | B 9 h8 | 円形    | 14 × 13   | 21      |
| 17    | B 9 h7 | 円形    | 38 × 38   | -       |
| 18    | B 9 j6 | 楕円形   | 19 × 16   | 11      |
| 19    | B 9 h7 | 円形    | 16 × 16   | 20      |
| 20    | B 9 h8 | 円形    | 22 × 22   | 24      |
| 21    | B 9 i7 | 円形    | 16 × 15   | 29      |
| 22    | B 9 i7 | 楕円形   | 24 × 21   | 22      |

| ビット番号 | 位置     | 形状  | 規 模     |         |
|-------|--------|-----|---------|---------|
|       |        |     | 長径 × 短径 | 深さ (cm) |
| 23    | B 9 i8 | 楕円形 | 19 × 17 | -       |
| 24    | B 9 i8 | 楕円形 | 20 × 17 | -       |
| 25    | B 9 i8 | 楕円形 | 25 × 16 | 20      |
| 26    | B 9 i8 | 楕円形 | 23 × 20 | -       |
| 27    | B 9 i8 | 円形  | 15 × 15 | 21      |
| 28    | B 9 i8 | 円形  | 20 × 20 | -       |
| 29    | B 9 i8 | 円形  | 17 × 16 | -       |
| 30    | B 9 i8 | 円形  | 42 × 42 | -       |
| 31    | B 9 i7 | 円形  | 24 × 22 | -       |
| 32    | B 9 i8 | 円形  | 16 × 15 | 18      |
| 33    | B 9 i7 | 楕円形 | 19 × 15 | -       |
| 34    | B 9 i7 | 楕円形 | 25 × 18 | -       |
| 35    | B 9 i7 | 円形  | 21 × 20 | 30      |
| 36    | B 9 j6 | 円形  | 26 × 25 | 34      |
| 37    | B 9 i7 | 楕円形 | 22 × 26 | -       |
| 38    | C 9 a6 | 楕円形 | 28 × 20 | 15      |
| 39    | B 9 i7 | 楕円形 | 24 × 21 | -       |
| 40    | B 9 i7 | 楕円形 | 30 × 25 | 24      |
| 41    | B 9 i7 | 楕円形 | 32 × 29 | -       |
| 42    | B 9 j8 | 楕円形 | 22 × 20 | -       |
| 43    | B 9 j7 | 楕円形 | 26 × 23 | -       |
| 44    | C 9 a8 | 円形  | 31 × 30 | -       |

| ビット番号 | 位置     | 形状  | 規 模     |         |
|-------|--------|-----|---------|---------|
|       |        |     | 長径 × 短径 | 深さ (cm) |
| 45    | B 9 i8 | 楕円形 | 50 × 44 | -       |
| 46    | B 9 i7 | 楕円形 | 27 × 23 | -       |
| 47    | B 9 j8 | 楕円形 | 29 × 20 | -       |
| 48    | B 9 j8 | 楕円形 | 19 × 15 | 20      |
| 49    | B 9 j8 | 楕円形 | 31 × 22 | -       |
| 50    | B 9 j8 | 楕円形 | 18 × 15 | -       |
| 51    | B 9 j8 | 楕円形 | 27 × 23 | -       |
| 52    | C 9 a8 | 楕円形 | 35 × 30 | -       |
| 53    | C 9 a7 | 円形  | 27 × 26 | 16      |
| 54    | C 9 a7 | 楕円形 | 26 × 23 | 27      |
| 55    | C 9 a7 | 楕円形 | 28 × 21 | 22      |
| 56    | C 9 a8 | 円形  | 31 × 30 | -       |
| 57    | C 9 a8 | 楕円形 | 31 × 27 | -       |
| 58    | C 9 a8 | 楕円形 | 27 × 24 | -       |
| 59    | C 9 a8 | 楕円形 | 28 × 24 | -       |
| 60    | C 9 a8 | 円形  | 22 × 22 | 13      |
| 61    | C 9 a7 | 楕円形 | 20 × 15 | 37      |
| 62    | C 9 a7 | 円形  | 26 × 26 | 32      |
| 63    | C 9 a7 | 楕円形 | 24 × 21 | 34      |
| 64    | B 9 h8 | 円形  | 31 × 29 | 31      |
| 65    | B 9 i7 | 楕円形 | 24 × 28 | -       |
| 66    | C 9 a7 | 楕円形 | 24 × 21 | -       |





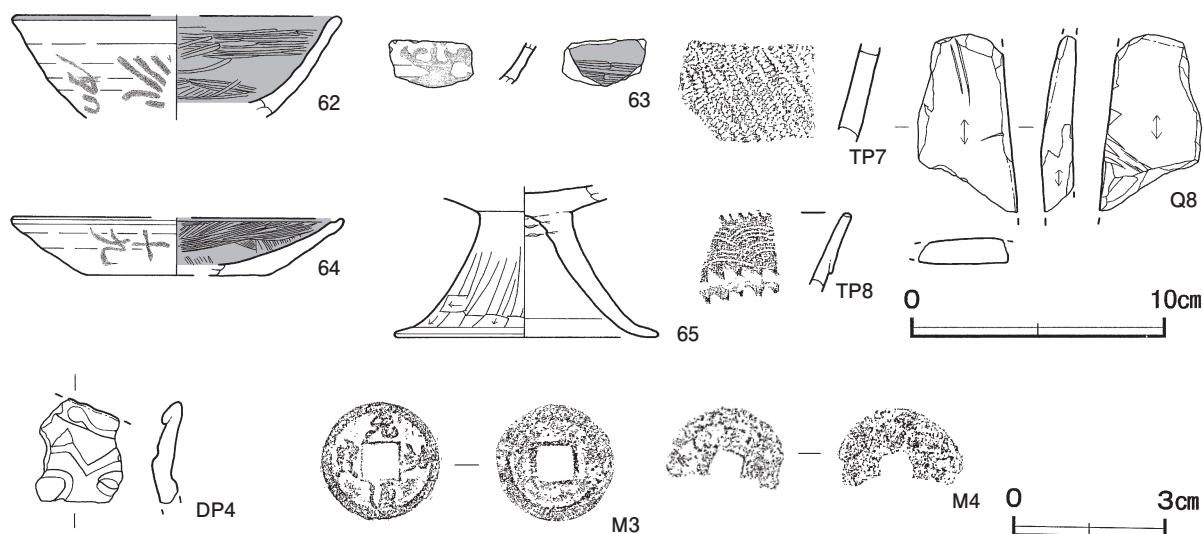
第 57 図 第 1・2・3号ピット群実測図

表8 ピット群一覧表

| 番号 | 位置            | 柱 穴 (cm) |        |         |         |         | 主な出土遺物 | 備 考<br>重複関係 (古→新)        |
|----|---------------|----------|--------|---------|---------|---------|--------|--------------------------|
|    |               | 柱穴       | 平面形    | 長径      | 短径      | 深さ      |        |                          |
| 1  | A 9h9 ~ B10c5 | 52       | 円形・楕円形 | 13 ~ 36 | 7 ~ 35  | 9 ~ 58  |        | SI 3 → 本跡 → SK70<br>SI 1 |
| 2  | B 9c0 ~ B10f1 | 30       | 円形・楕円形 | 17 ~ 32 | 13 ~ 31 | 8 ~ 52  |        |                          |
| 3  | B 9i6 ~ C 9b8 | 66       | 円形・楕円形 | 14 ~ 42 | 13 ~ 42 | 11 ~ 38 |        | SK52・121, SH1            |

(6) 遺構外出土遺物 (第58図)

遺構に伴わない遺物のうち、特徴的なものを実測図と遺物観察表で記述する。



第58図 遺構外出土遺物実測図

遺構外出土遺物観察表 (第61図)

| 番号 | 種 別 | 器種 | 口径     | 器高    | 底径     | 胎 土      | 色 調  | 焼成 | 手 法 の 特 徴 ほか                               | 出土位置    | 備 考     |
|----|-----|----|--------|-------|--------|----------|------|----|--|---------|---------|
| 62 | 土師器 | 坏  | [12.9] | (4.0) | -      | 長石・石英・雲母 | 明赤褐  | 普通 | 外・内面ロクロナデ 内面ヘラミガキ 内面黒色処理 外面体部に墨書「判読不明」     | SI2 覆土中 | 10% PL6 |
| 63 | 土師器 | 坏  | -      | (1.7) | -      | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐  | 普通 | 内面ヘラミガキ 内面黒色処理 外面に墨書「判読不明」                 | SI2 覆土中 | 5% PL6  |
| 64 | 土師器 | 皿  | [12.9] | 2.3   | [7.3]  | 長石・石英・雲母 | にぶい橙 | 普通 | 内面ヘラミガキ 内面黒色処理 体部外面に横位で墨書「十九」              | 北部耕作土中  | 15% PL6 |
| 65 | 土師器 | 高坏 | -      | (6.0) | [10.5] | 長石・石英・細礫 | にぶい橙 | 普通 | 内面ナデ 脚部横位のヘラナデ後縦位のヘラミガキ 裾部縦位のヘラ削り後ナデ 赤彩残存カ | SE2 覆土中 | 25%     |

| 番号   | 種 別  | 器種 | 胎 土      | 色 調   | 文 様 の 特 徴 ほか | 出土位置    | 備 考 |
|------|------|----|----------|-------|--------------|---------|-----|
| TP 7 | 縄文土器 | 深鉢 | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐   | 単節 RL 施文 輪積痕 | SI 2 掘方 | PL9 |
| TP 8 | 弥生土器 | 壺  | 長石・石英・雲母 | にぶい黄褐 | 3本櫛歯連弧文 輪積痕  | SI 2 掘方 | PL9 |

| 番号   | 器 種 | 長さ    | 厚さ  | 重量    | 胎 土      | 特 徴  | 出土位置     | 備 考  |
|------|-----|-------|-----|-------|----------|------|----------|------|
| DP 4 | 泥面子 | (2.1) | 0.6 | (1.3) | 長石・石英・雲母 | 顔上部カ | SI10 覆土中 | PL10 |

| 番号  | 器 種 | 長さ    | 幅     | 厚さ  | 重量     | 材 質 | 特 徴        | 出土位置 | 備 考  |
|-----|-----|-------|-------|-----|--------|-----|------------|------|------|
| Q 8 | 砥石  | (7.1) | (4.0) | 1.2 | (39.7) | 砂岩  | 砥面3面 他は破断面 | 表土   | PL10 |

| 番号  | 銭 種  | 径   | 孔幅  | 厚さ  | 重量     | 材 質 | 初 鑄 年 | 特 徴       | 出土位置     | 備 考  |
|-----|------|-----|-----|-----|--------|-----|-------|-----------|----------|------|
| M 3 | 元祐通寶 | 2.4 | 0.7 | 0.1 | 2.20   | 銅   | 1086  | 北宋銭 無背銭   | 表土       | PL10 |
| M 4 | 不明   | 2.5 | 0.6 | 0.1 | (1.56) | 銅   | -     | 両面劣化 判読不明 | SI7 窰覆土中 | PL10 |

## 第4節 ま と め

### 1 はじめに

今回の調査で、竪穴住居跡 12 軒（古墳時代 1，奈良時代 5，平安時代 6），掘立柱建物跡 2 棟（奈良時代，時期不明），竪穴遺構 1 基（平安時代），粘土採掘坑 2 か所（平安時代），土坑 117 基（平安時代 11，時期不明 106），井戸跡 2 基（時期不明），溝跡 2 条（古墳時代，時期不明），ピット群 3 か所（時期不明）を確認した。遺物は、各遺構に伴う土師器や須恵器とともに、墨書土器、金属製品も出土している。ここでは、遺跡の中心となる奈良時代から平安時代までの集落跡の様相について述べるとともに、「高月郷」と墨書された土師器の坏から、当遺跡の所在した古代の倭文郷と高月郷の交流について考察を試みる。

### 2 各時代の集落様相

当遺跡は、久慈川と春日川に挟まれた標高 36～39m のほぼ平坦な台地上に位置している。遺跡の規模は、東西 1500 m，南北 400m の範囲で、当調査区は遺跡の北西部，東西 40 m，南北 100 m の範囲である。ここでは、確認できた竪穴住居跡（古墳 1，奈良 5，平安 6）と出土遺物から時期区分を行い、集落の様相について考察する。

#### (1) 古墳時代

当該期の住居跡は、第 4 号住居跡 1 軒のみである。長軸 5.96 m，短軸 5.56 m の方形で、炉と貯蔵穴を各 2 か所所有している。住居の規模は中形で、久慈川の対岸に位置する森戸遺跡の第 IV 期（和泉 2 期）の中型住居の範疇に対応する。しかし、出土した土器からは、森戸第 V 期（鬼高 1 期）に対応すると判断できる。鬼高式期以降は、住居内に竈が付設されるのが一般的であるが、今回確認された第 4 号住居跡では、竈を持たず炉を 2 か所所有しており、当地域での住居への竈導入は、他地域よりも遅かったと推察される。

また、本跡は 2 つの貯蔵穴を持ち、貯蔵穴 1 では台形石器 3 点が壁に貼り付けられた状態で出土している。台形石器は、平らな打撃面と握り部があり、平坦部で堅果類などを叩き潰す石器と考えられている<sup>1)</sup>。これらの石器 3 点では、貯蔵穴壁面の補強とは考えられず他の意図を持って貼り付けられていると思われるが、詳細は不明である。

当時期の住居跡は 1 軒のみであるため、この住居のみが特殊であるのか、中形住居以下でも貯蔵穴を 2 か所持つものが普遍的であるのかは、この集落本体の調査を待たなければならない。

#### (2) 奈良・平安時代

##### 第 1 期

本期には、第 6 号住居跡が該当する。主な出土遺物は、土師器（坏，高坏，甕，甗），須恵器（坏，蓋），土製品（支脚）である。当住居跡から出土した須恵器の蓋は、返りが退化し、扁平なつまみを持っていることから 8 世紀前葉に比定できる。

##### 第 2 期

本期には、第 3・12 号住居跡が該当する。主な出土遺物は、土師器（坏，椀，甕類），須恵器（坏，高台付坏，蓋，鉢，小形壺，甕），石器（砥石），鉄製品（剣カ）である。その土器様相から、時期は 8 世紀中葉と考えられる。

### 第3期

本期には、第2・9住居跡が該当する。主な出土遺物は、土師器（坏、高坏、椀、鉢、甕類、甑）、須恵器（坏、高台付坏、蓋、鉢、甕類）、土製品（管状土錘、羽口）、鉄製品（釘、鉄滓）である。出土土器の様相から8世紀後葉と考えられる。

### 第4期

本期は9世紀前葉に当たるが、明確に該当する遺構は確認できなかった。

### 第5期

本期には、第11号住居跡が該当する。主な出土遺物は、土師器（坏、甕類）、須恵器（坏、甕）、石器（砥石）である。出土土器の土器様相から、9世紀中葉に対応するものと考えられる。

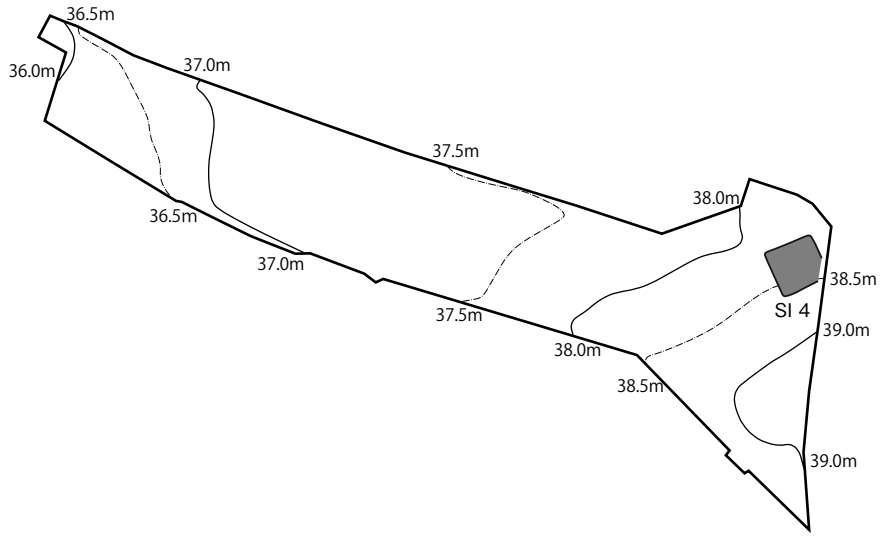
### 第6期

本期には、第1・7・10号住居跡が該当する。主な出土遺物は土師器（坏、椀、高台付坏、甕類）、須恵器（坏、蓋、甕類）である。第1号住居跡からは墨書土器が2点出土している。30の坏は、体部に横位で「寺」と墨書されている。36の坏は、体部に横位で「高月郷カ」と墨書されている。出土土器の様相から、9世紀後葉と考えられる

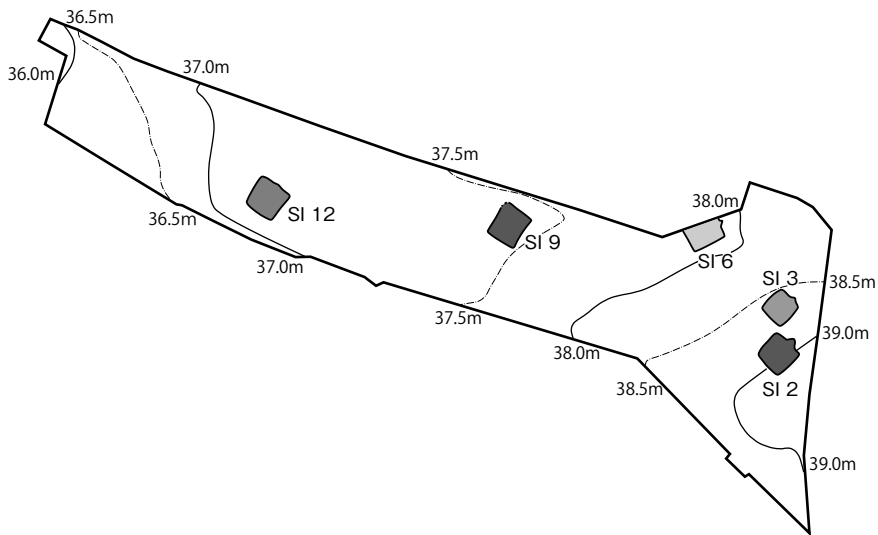
なお、第5・8号住居跡は、遺物が細片のため時期を明確に特定できないが、出土土器の様相から9世紀以降のものと考えている。古墳時代と同様に、集落の本体は調査区北側の台地上に広がっていたものと考えられるが、奈良・平安時代へ経過するにつれて、春日川へと下る台地縁辺部まで集落が拡大していった様子が確認できる（第57図）。

鹿島台遺跡竪穴住居跡時期変遷表

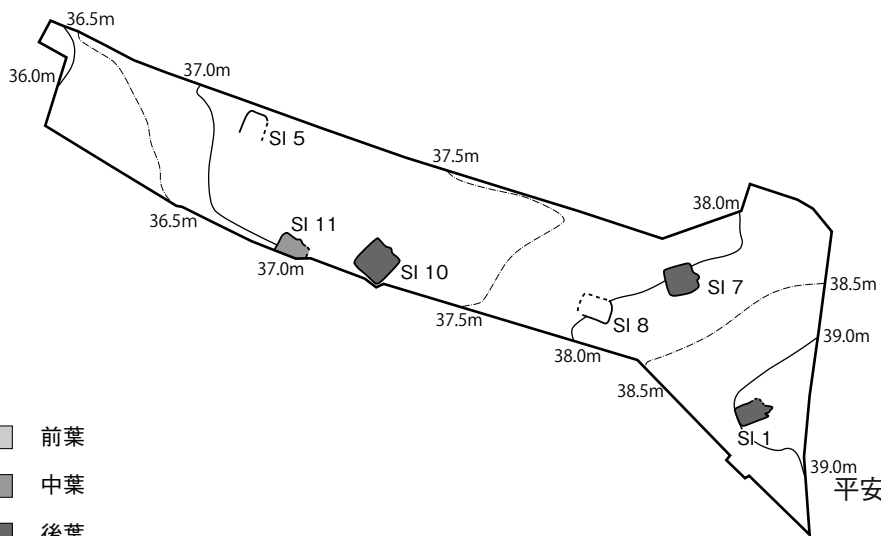
| 時代区分   | 世紀                | 鹿島台遺跡           | 森戸遺跡                 |
|--------|-------------------|-----------------|----------------------|
| 古墳時代前期 | 3世紀後葉             |                 | 森戸Ⅱ期                 |
|        | 4世紀前葉<br>中葉<br>後葉 |                 |                      |
| 古墳時代中期 | 5世紀前葉<br>中葉<br>後葉 | (第4号住居跡)        | 森戸Ⅲ期<br>森戸Ⅳ期<br>森戸Ⅴ期 |
| 古墳時代後期 | 6世紀前葉<br>中葉<br>後葉 |                 | 森戸Ⅵ期<br>森戸Ⅶ期<br>森戸Ⅷ期 |
|        | 7世紀前葉<br>中葉<br>後葉 |                 |                      |
| 奈良時代   | 8世紀前葉             | 1期（第6号住居跡）      | 森戸Ⅸ期                 |
|        | 中葉                | 2期（第3・12号住居跡）   | 森戸Ⅹ期                 |
|        | 後葉                | 3期（第2・9号住居跡）    |                      |
| 平安時代   | 9世紀前葉             | 4期              | 森戸Ⅺ期                 |
|        | 中葉                | 5期（第11号住居跡）     |                      |
|        | 後葉                | 6期（第1・7・10号住居跡） |                      |






古墳時代



奈良時代（8世紀）



平安時代（9世紀）

-  前葉
-  中葉
-  後葉



第 59 図 時代別竪穴住居跡変遷図

### 3 出土墨書土器について

今回の調査で、墨書土器9点が出土した。そのうち判読できた墨書は、「寺」、「高月郷」各1点、「高」2点である。第1号住居跡から出土した30の坏には、「寺」と墨書されている。また、第2号粘土採掘坑から、「高月郷」と横位で墨書された土師器の53の坏が出土している。加えて、第1号住居跡からは「高」と記された36の坏、第1号粘土採掘坑からも「高」と墨書された48の坏の細片が出土している。細片のため「高」部分しか確認できないが、これら2点も「高月」と墨書されていた可能性がある。

荒木志伸氏は、「墨書土器にみえる諸痕跡について」の中で、墨書土器に記される文字を、「人に伝達する意図」、「神に伝達する意図」、「第三者への伝達を意図しないもの」に分類している。「人に伝達する意図」には、所管名、人名、内容物、方位・方向、地名、「神に伝達する意図」には、人名（祭祀主体者等）、内容物（供物）、方位（祭祀的な方位）があり、「第三者への伝達を意図しないもの」には、習書や絵画を分類している<sup>2)</sup>。

「寺」と墨書されている坏の所有者は寺に関わる人物と考えられ、荒木氏の分類に従えば、「人に伝達する意図」の所管名に分類される。平川南氏は『墨書土器の研究』の中で、「寺」について、村落内の寺の存在に加えて、村落間において私度僧のような人物が信仰活動やその信仰に付随する形で文字を広く伝播させる役割を果たしたと指摘している<sup>3)</sup>。「寺」と記された墨書土器から、寺を中心とした、祭祀や儀礼的な行為を行っていた私度僧がいたことを示唆するものであり、今回の調査で寺院跡と考えられる遺構は確認できなかったが、当遺跡内に村落内寺院が存在していた可能性がある。また、第1号住居跡からは「高月」と墨書された可能性のある坏も出土している。

「高月郷」の墨書は、筆致を見ると漢字を知らない者が模倣して記したような稚拙な文字ではなく、教養ある識字層によるものと考えられる。割れた状態で出土しているが、土器を観察したところ供膳具としての使用感が認められることから、祭祀用に作られた坏に墨書されたものとは考えられない。破損状況からも祭祀行為と認められる痕跡は確認できない。供膳具としての坏に、持ち主の所属を記したものと思われる。荒木氏の分類に従えば、「人に伝達する意思」の所管名に分類される墨書土器といえる。所属を記した坏を所持した者の出自は、高月郷であると考えられる。

『和名類聚抄』には、岡田、八部、倭文、高月（<sup>みづき</sup>箕月）、助川、美和、・・・高市・・・などの二十郷があり、その中で、高市、箕月、助川が久慈郡に入る。箕月を『和名類聚抄』は「高月」としている。『大日本地名辞書』は「高と相混し易きは箕なり」として「箕月」とみている。『常陸国風土記』には「<sup>みづき</sup>蜜筑」と記されている。『新編常陸国誌』は「蜜月」の誤写とし、「密月ヲ以テ名トスルモノハ、即水城ノ意」としている<sup>4)</sup>。水城とは現在の日立市水木である。日立市水木は、当遺跡から北東約18kmに位置している。当遺跡のある地域は「<sup>し</sup>倭文郷」に比定されており、他地域との交流があったことをうかがわせるものである。

高月郷の出身者が墨書し土器を持ち、倭文郷に移動した。移動した人物は文字を知っていたと考えられるため、役人もしくは土地の有力者であったと考えられる。役人であれば、着任や赴任等の執務にあたり、墨書された土器を携えて倭文郷を訪れたのかもしれない。もしくは、当時の婚姻形態は男が、妻方の住居に移るものであったことから、倭文郷に迎えられた高月郷の男性が所有する坏であった可能性も考えられる。いずれにせよ「高月郷」と記された坏を所持した者は、自らの出自を倭文郷において示す必要性があったと考えられる。

## 4 おわりに

今回の調査は鹿島台遺跡北西部のみの調査であるが、古墳時代から平安時代に下るに従って、春日川に下る台地縁辺部まで集落が広がっていたことが確認できた。また、「寺」と記された墨書土器から、未調査部に村落内寺院が存在する可能性があること、古代の倭文郷に含まれる鹿島台遺跡から「高月郷」と記された墨書土器が出土したことから、律令期には郷を跨いだ交流があったことなどを確認することができた。

## 註

- 1) 大宮町歴史民俗資料館 『大宮の考古遺物』 1995年10月
- 2) 荒木志伸「墨書土器にみえる諸痕跡について」『お茶の水史学』43号 読史会 1999年9月
- 3) 平川南『墨書土器の研究』吉川弘文館 2000年10月
- 4) 日立市史編さん委員会『新修日立市史』上巻 1994年9月

## 参考文献

- ・茨城地方史研究会『茨城の歴史 県北編』茨城新聞社 2002年5月
- ・茨城県教育庁文化課『茨城県遺跡地図 地図編』茨城県教育委員会 2001年3月
- ・茨城文化団体連合、茨城県教育委員会『茨城の芸能史』1977年10月
- ・瓜連町史編さん委員会『瓜連町史』1985年7月
- ・加藤雅美・西野則史・浅井哲也「一般国道349号線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書 北郷C遺跡 森戸遺跡」、『茨城県教育財団文化財調査報告』第55集 1990年3月
- ・小松崎和治・栗田功「久保山遺跡 主要地方道那珂湊那珂線道路改良事業地内埋蔵文化財調査報告書」、『茨城県教育財団文化財調査報告』第274集 2007年3月
- ・那珂町史編さん委員会『那珂町の考古学』那珂町 1990年1月
- ・中山信名著・栗田寛補訂『新編常陸国誌』宮崎報恩会 1969年
- ・那珂町史編さん委員会『那珂町史 自然環境・原始古代編』1988年3月



第 60 図 鹿島台遺跡遺構全体図



## 第4章 保土通遺跡

### 第1節 調査の概要

当遺跡は、那珂市の北部に位置し、春日川右岸で南北をその支流に挟まれ、標高約 38 m ほどの那珂台地上に立地している。調査面積は 5,607㎡で、調査前の現況は畑地である。

調査の結果、竪穴住居跡 1 軒（古墳時代）、掘立柱建物跡 5 棟（近世 2・時期不明 3）、柵跡 2 列（近世）、竪穴遺構 1 基（近世）、窯跡 1 基（近世）、道路跡 2 条（近世）、井戸跡 1 基（時期不明）、粘土採掘坑 2 か所（近世）、土坑 146 基（近世 1・時期不明 145）、溝跡 16 条（近世 1・時期不明 15）、ピット群 6 か所（時期不明）などを確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ（60 × 40 × 20cm）に 6 箱出土している。主な遺物は、土師器（坏・甕・甑・手捏土器）、須恵器（甕・甗）、土製品（土玉・紡錘車）、窯道具（トチン・糲団子・輪ドチ・棒状粘土紐・留具・杭・サヤ鉢）、石器（鎌・砥石）、金属製品（釘・銭貨）などである。

### 第2節 基本層序

調査区西部の平坦面（G 1 f8 区）にテストピットを設定し、地表面から 2.3 m まで掘り下げて基本層序の確認を行った（第 61 図）。土層は 11 層に分層でき、観察結果は以下のとおりである。

第 1 層は、黒褐色のソフトローム層である。白色粘土粒子を中量含み、層厚は 3～10cm で粘性・締まりは普通である。

第 2 層は、黒褐色のソフトローム層である。粘性・締まりは普通で、層厚は 4～16cm である。

第 3 層は、褐色のソフトローム層である。粘性・締まりは普通で、層厚は 3～15cm である。

第 4 層は、明褐色のハードローム層である。層厚は 5～18cm で、粘性は普通で締まりは強い。

第 5 層は、橙色の粘土層への漸移層である。粘性は強く締まりは普通で、層厚は 2～20cm である。

第 6 層は、橙色の粘土層である。粘性は強く締まりは普通で、層厚は 4～8 cm である。

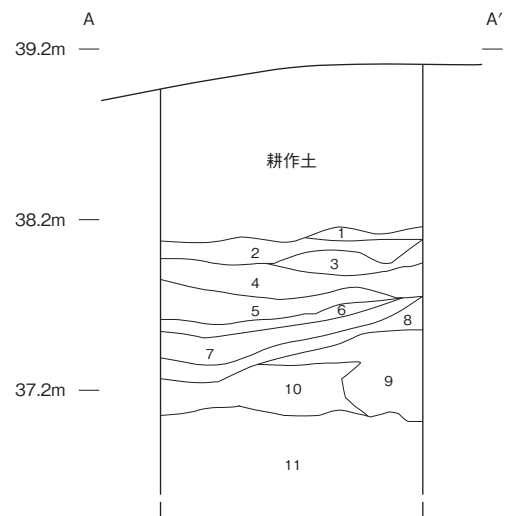
第 7 層は、灰白色の粘土層である。粘性・締まりともに強く、層厚は 7～18cm である。

第 8 層は、にぶい橙色の粘土層である。粘性・締まりともに強く、層厚は 5～15cm である。

第 9 層は、明褐灰色の粘土層である。粘性・締まりともに強く、層厚は 5～52cm である。

第 10 層は、褐灰色の粘土層である。粘性・締まりともに強く、層厚は 15～30cm である。

第 11 層は、灰褐色の粘土層である。粘性・締まりともに強く、層厚は 50cm まで確認したが、下層は未掘のため不明である。なお、遺構は第 1・2 層の上面で確認できた。



第 61 図 基本土層図

### 第3節 遺構と遺物

#### 1 古墳時代の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は、竪穴住居跡1軒である。以下、遺構と出土遺物について記述する。

##### (1) 竪穴住居跡

##### 第1号住居跡（第62～65図）

**位置** 調査区北部のF3g6区、標高38mほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 南西部が攪乱を受けているため、北西・南東軸は5.15mで、北東・南西軸は4.76mしか確認できなかった。平面形は方形と推定され、主軸方向はN-78°-Wである。壁高は14～50cmで、外傾して立ち上がっている。

**床** 平坦な貼床で、中央部が踏み固められている。貼床は、中央部を土坑状に30cmほど掘り込んで（P6）第16・17層を埋土し、第14・15層を貼床の構築土としている。確認できた壁下には、壁溝が巡っている。

**竈** 北西壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで95cmで、燃焼部幅は43cmである。袖部は地山を皿状に掘りくぼめたところに第12～19層を埋土し、その上に白色粘土を主体とした第8～11層を積み重ねて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は火を受けて赤変硬化している。煙道部は壁外に10cm掘り込まれ、火床部から外傾して立ち上がっている。

##### 竈土層解説

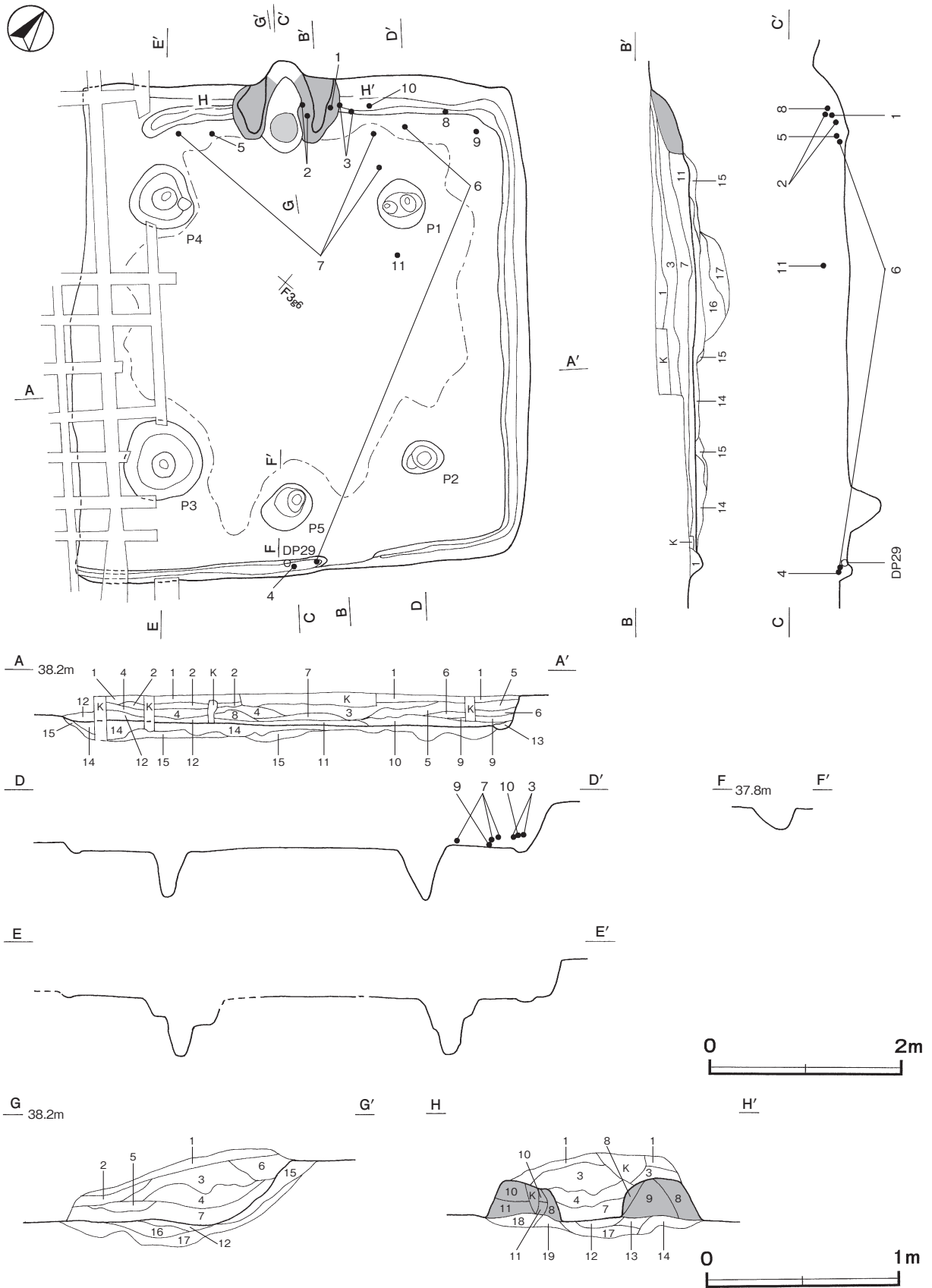
|           |                           |          |                               |
|-----------|---------------------------|----------|-------------------------------|
| 1 極暗褐色    | 粘土ブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量    | 12 赤褐色   | 焼土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子少量         |
| 2 暗褐色     | 白色粘土ブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 | 13 黒褐色   | ロームブロック・焼土ブロック少量              |
| 3 黒褐色     | 白色粘土ブロック・焼土粒子中量、炭化粒子微量    | 14 暗褐色   | ローム粒子・焼土粒子少量、炭化物微量            |
| 4 にぶい黄褐色  | 焼土ブロック・粘土ブロック少量、炭化物微量     | 15 暗褐色   | ロームブロック・焼土ブロック・粘土ブロック少量、炭化物微量 |
| 5 黒褐色     | 焼土ブロック・粘土ブロック少量、炭化材微量     | 16 極暗赤褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量     |
| 6 黒褐色     | 炭化粒子中量、焼土ブロック・粘土ブロック少量    | 17 黒色    | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量         |
| 7 黒褐色     | 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化物微量    | 18 極赤褐色  | ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量     |
| 8 暗褐色     | 炭化物中量、焼土ブロック少量            | 19 褐色    | 白色粘土ブロック多量、焼土粒子少量、炭化粒子微量      |
| 9 オリーブ褐色  | 白色粘土ブロック多量、焼土ブロック少量       |          |                               |
| 10 にぶい黄褐色 | 白色粘土ブロック中量、ローム粒子・焼土粒子微量   |          |                               |
| 11 極暗褐色   | ロームブロック・白色粘土ブロック中量、炭化粒子微量 |          |                               |

**ピット** 5か所。P1～P4は深さ51～59cmで、配置から主柱穴と考えられる。P5は深さ34cmで、南東壁際の中央部に位置していることから出入口施設に伴うピットと考えられる。

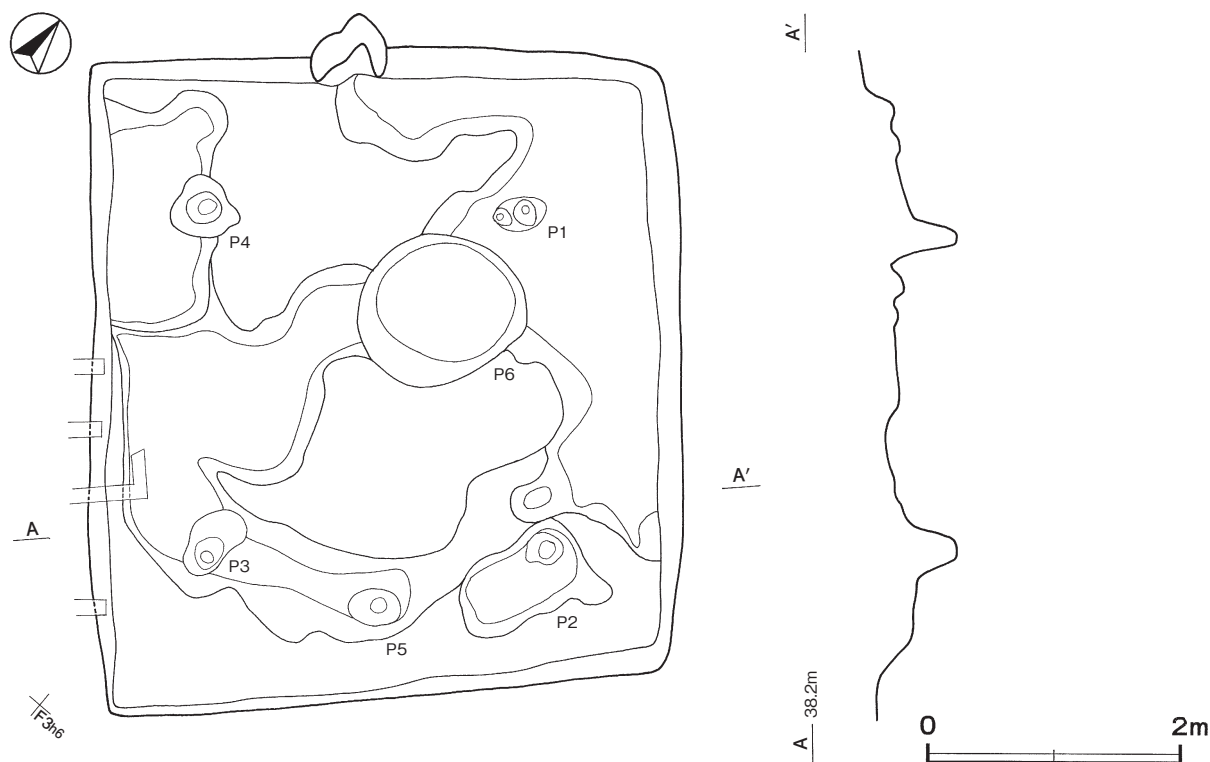
**覆土** 13層に分層できる。各層にブロックが含まれていることから埋め戻されている。第14・15層は貼床の構築土である。

##### 土層解説

|       |                              |        |                             |
|-------|------------------------------|--------|-----------------------------|
| 1 黒褐色 | 粘土ブロック少量、焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子微量 | 8 黒色   | ローム粒子・焼土粒子・白色粘土粒子微量         |
| 2 黒色  | 焼土ブロック中量、炭化物・ローム粒子・白色粘土粒子微量  | 9 黒色   | 焼土粒子少量、ローム粒子・炭化粒子微量         |
| 3 黒褐色 | 粘土ブロック中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量   | 10 黒色  | 焼土粒子・白色粘土粒子少量               |
| 4 黒色  | 粘土ブロック中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量   | 11 黒色  | 焼土粒子・白色粘土粒子微量               |
| 5 黒色  | 焼土ブロック・粘土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量 | 12 黒色  | 焼土粒子少量、炭化粒子微量               |
| 6 黒褐色 | 白色粘土粒子少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量   | 13 黒色  | 粘土ブロック少量                    |
| 7 黒色  | 焼土ブロック・粘土ブロック・ローム粒子・炭化粒子微量   | 14 黒色  | ロームブロック中量、白色粘土ブロック少量、炭化粒子微量 |
|       |                              | 15 暗褐色 | ロームブロック多量、白色粘土ブロック少量、炭化粒子微量 |
|       |                              | 16 黒褐色 | 白色粘土ブロック少量、焼土ブロック微量         |
|       |                              | 17 黒褐色 | 粘土ブロック中量、炭化粒子微量             |



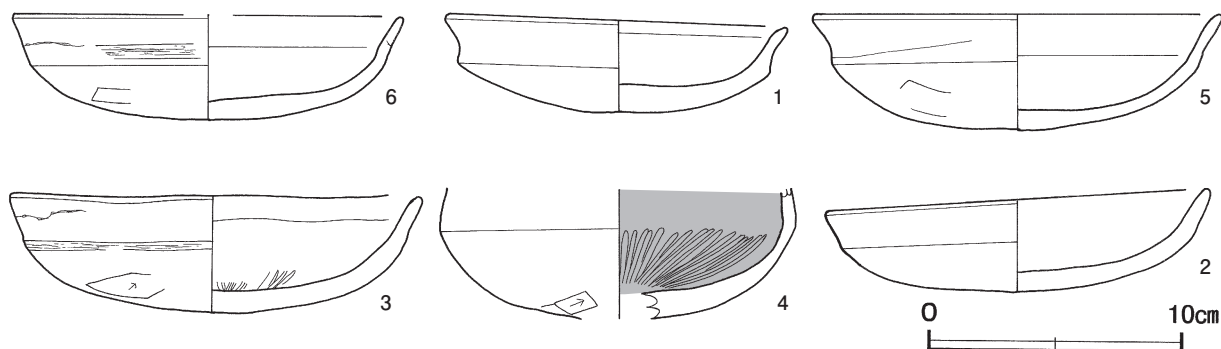
第 62 図 第 1 号住居跡実測図 (1)



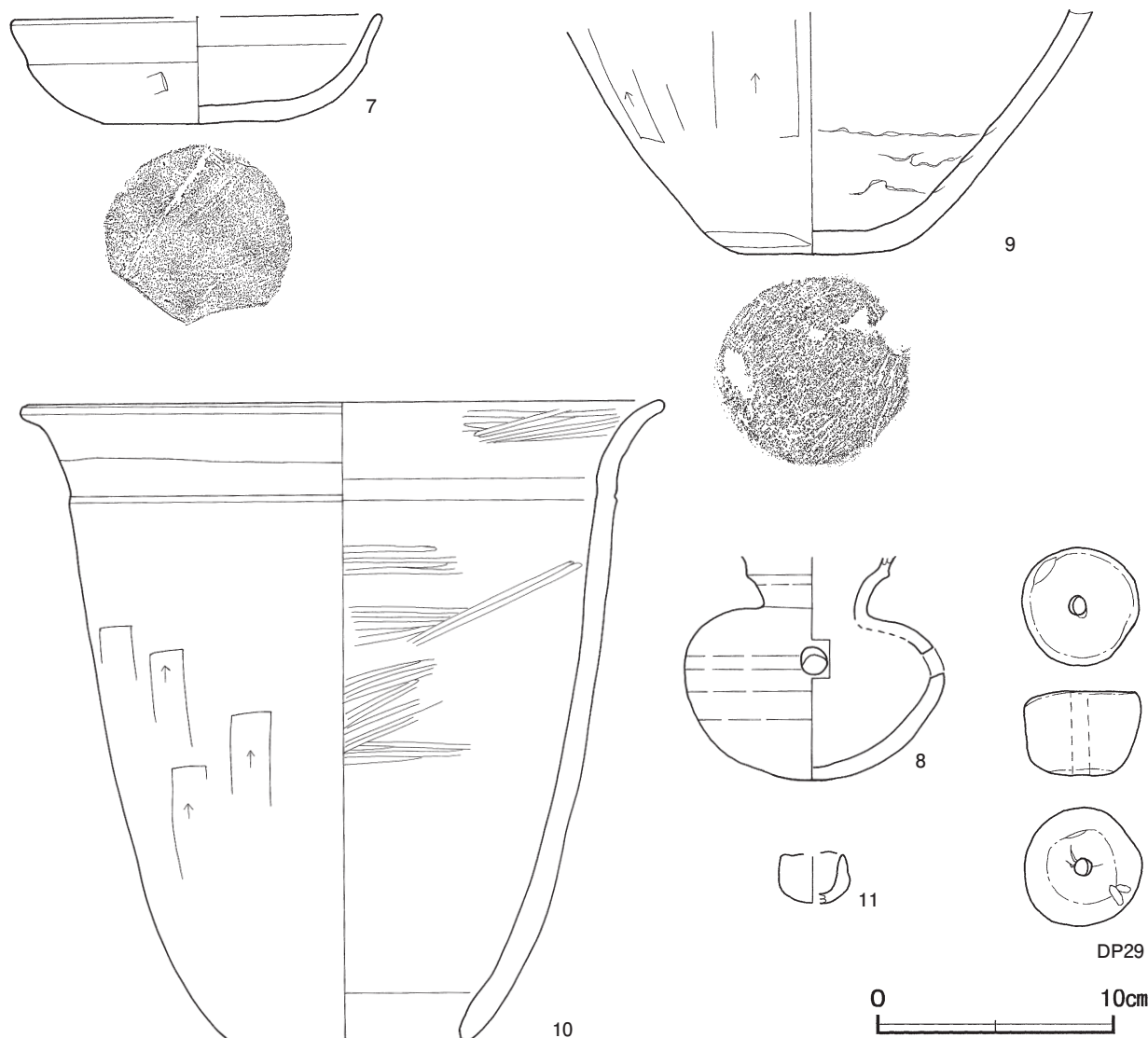
第 63 図 第 1 号住居跡実測図 (2)

**遺物出土状況** 土師器片 299 点 (坏 177, 甕類 120, 甑 1, 手捏 1), 須恵器 1 点 (甗), 土製品 1 点 (紡錘車), 石器 2 点 (磨石), が全面の覆土中層から下層にかけて出土している。2 は竈の右袖部の構築土から出土した破片が接合したものである。1 は竈の右袖部構築土から出土している。5 は竈西側の覆土下層から出土している。3 は竈東側の覆土中層から出土した破片が接合したものである。10 は竈東側の覆土中層から, 8 は北東コーナー部の覆土中層から, 9 は覆土下層から出土している。7 は北部と北西部の覆土下層から出土した破片が接合したものである。6 は北部と南東部の壁際中央部の覆土下層から出土した破片が接合したものである。DP29 は, 南部中央壁際の床面から, 4 は覆土下層から出土している。また混入した縄文土器片 3 点 (深鉢), 石器 1 点 (尖頭器) と, 流れ込んだ陶器片 5 点 (碗) が出土している。

**所見** 時期は, 出土土器から 6 世紀末から 7 世紀初頭と考えられる。中央部の床下土坑は, 貼床の構築過程で地鎮に関連する祭祀が行われた可能性も考えられるが, 遺物は出土していない。



第 64 図 第 1 号住居跡出土遺物実測図 (1)



第 65 図 第 1 号住居跡出土遺物実測図 (2)

第 1 号住居跡出土遺物観察表 (第 64・65 図)

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径     | 器高     | 底径     | 胎土                 | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか   | 出土位置 | 備考       |
|----|-----|----|--------|--------|--------|--------------------|-------|----|---|------|----------|
| 1  | 土師器 | 坏  | 13.7   | 3.9    | -      | 長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子 | にぶい黄橙 | 普通 | 外・内面ナデ 底部ヘラ削り後ナデ                                | 竈右袖部 | 90% PL17 |
| 2  | 土師器 | 坏  | 15.0   | 4.0    | -      | 長石・石英・赤色粒子         | にぶい橙  | 普通 | 外面ヘラ削り後ナデ 内面ナデ                                  | 竈右袖部 | 80% PL17 |
| 3  | 土師器 | 坏  | 16.0   | 4.9    | -      | 長石・石英・雲母           | にぶい黄橙 | 普通 | 口縁部から体部外面棒状工具による横ナデ 体部から底部外面ヘラ削り後ナデ 内面ヘラミガキ 輪積痕 | 覆土中層 | 70% PL17 |
| 4  | 土師器 | 坏  | -      | (5.2)  | -      | 長石・石英・雲母           | 黒褐    | 普通 | 外面ヘラ削り後ナデ 内面放射状のヘラミガキ 内面黒色処理                    | 覆土下層 | 60% PL17 |
| 5  | 土師器 | 坏  | 15.9   | 4.5    | -      | 長石・石英・針状鉱物         | にぶい黄橙 | 良好 | 頸部外面横ナデ 体部から底部外面ヘラ削り後ナデ 内面ナデ                    | 覆土下層 | 55% PL17 |
| 6  | 土師器 | 坏  | [15.4] | 4.2    | -      | 長石・石英・針状鉱物         | にぶい黄橙 | 良好 | 口縁部から体部外面横ナデ 底部ヘラ削り後ナデ 輪積痕                      | 覆土下層 | 50% PL17 |
| 7  | 土師器 | 坏  | [15.5] | 4.5    | 7.6    | 長石・石英・雲母           | 灰褐    | 普通 | 外面体部ヘラ削り後ナデ 内面ナデ                                | 覆土下層 | 40% PL17 |
| 8  | 須恵器 | 甗  | -      | (9.5)  | -      | 長石                 | 黄灰    | 良好 | 体部外面上位穿孔  | 壁 溝  | 90% PL16 |
| 9  | 土師器 | 甕  | -      | (10.3) | 8.0    | 長石・石英・雲母・細礫・赤色粒子   | にぶい黄橙 | 普通 | 外面縦位の粗いヘラ削り後ナデ 底部外面ヘラ削り 内面粗いヘラナデ 輪積痕            | 覆土下層 | 30% PL16 |
| 10 | 土師器 | 甗  | 27.1   | 27.2   | [10.3] | 長石・石英・細礫・黒色粒子      | にぶい黄橙 | 良好 | 頸部外面横ナデ 体部外面縦位のヘラ削り後ナデ 口縁部及び内面上位ヘラミガキ後ナデ        | 覆土中層 | 50% PL17 |
| 11 | 土師器 | 手捏 | [2.5]  | 2.1    | [1.1]  | 長石・石英・雲母           | にぶい褐  | 普通 | 外・内面ナデ  | 覆土中層 | 40% PL17 |

| 番号   | 器種  | 径       | 厚さ  | 孔径  | 重量    | 胎土            | 特徴            | 出土位置 | 備考   |
|------|-----|---------|-----|-----|-------|---------------|---------------|------|------|
| DP29 | 紡錘車 | 3.1~5.0 | 3.6 | 0.8 | 101.0 | 長石・石英・雲母・黒色粒子 | 全面ナデ 一方向からの穿孔 | 壁溝   | PL20 |

## 2 近世の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は、窯跡1基、掘立柱建物跡2棟、柵跡2列、竪穴遺構1基、粘土採掘坑2か所、土坑1基、道路跡2条、溝跡1条を確認した。出土遺物や規模、主軸方向から第1号窯跡に関連すると思われる一連の遺構については、窯関連遺構として記述する。以下、それぞれの遺構の特徴と出土した遺物について記述する。

### (1) 窯関連遺構

#### ア 窯跡

#### 第1号窯跡（第66～70図）

**位置** 調査区東部のE 5g0区、標高36mほどの平坦な台地上に位置している。

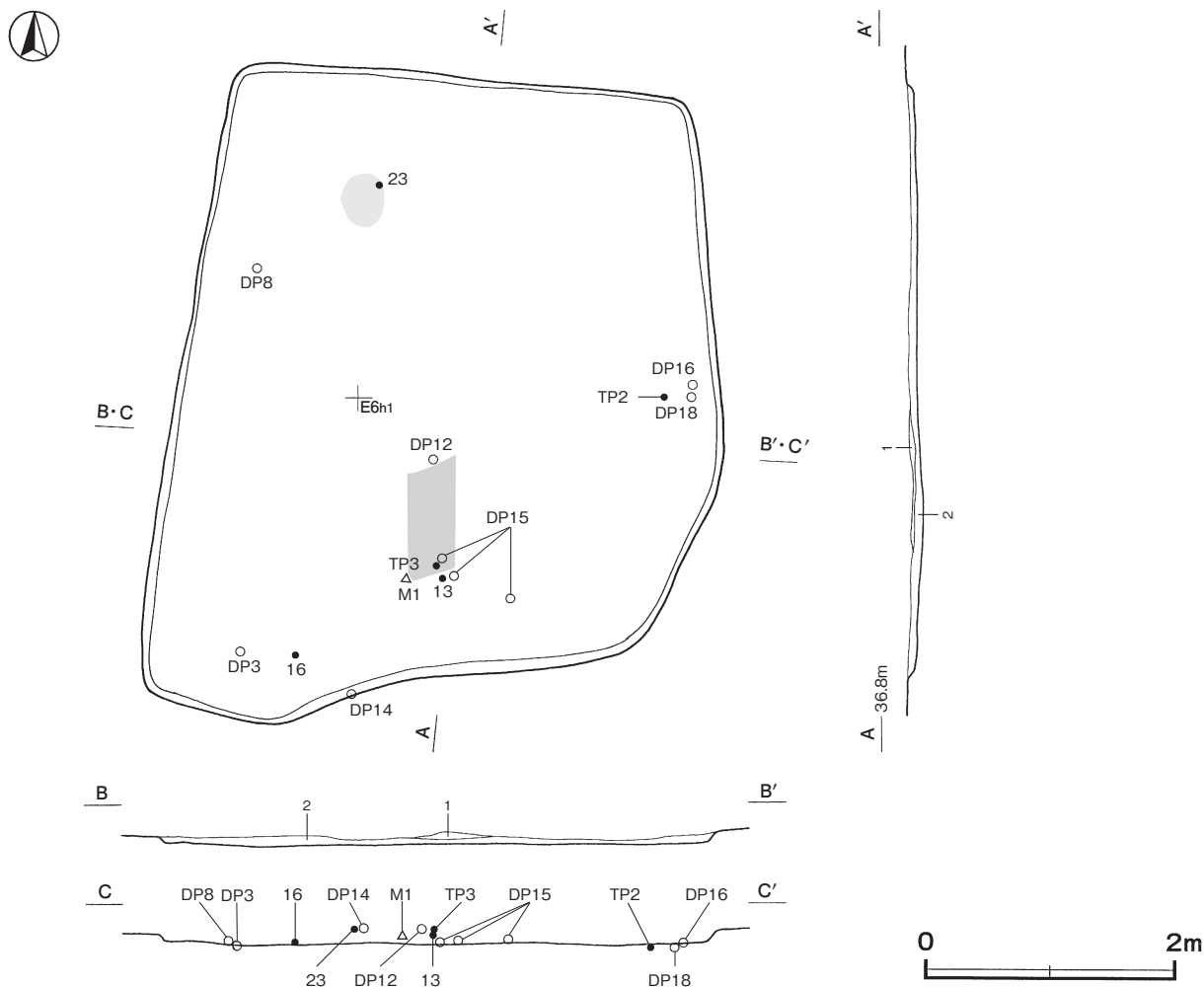
**確認状況** 窯体は削平を受けており、その設置面と考えられるわずかな掘り込みと、窯内部の構造の痕跡を示す焼土範囲4か所が確認できた。焼土の周囲からは窯壁片と窯道具片が出土している。南部中央からほぼ真北に延びる幅40cm、長さ85cmの長方形をした火道の底面が確認できた。火床面は赤変硬化している。

**規模と形状** 長軸5.30m、短軸4.43mの不整長方形で、長軸方向はN-10°-Eである。

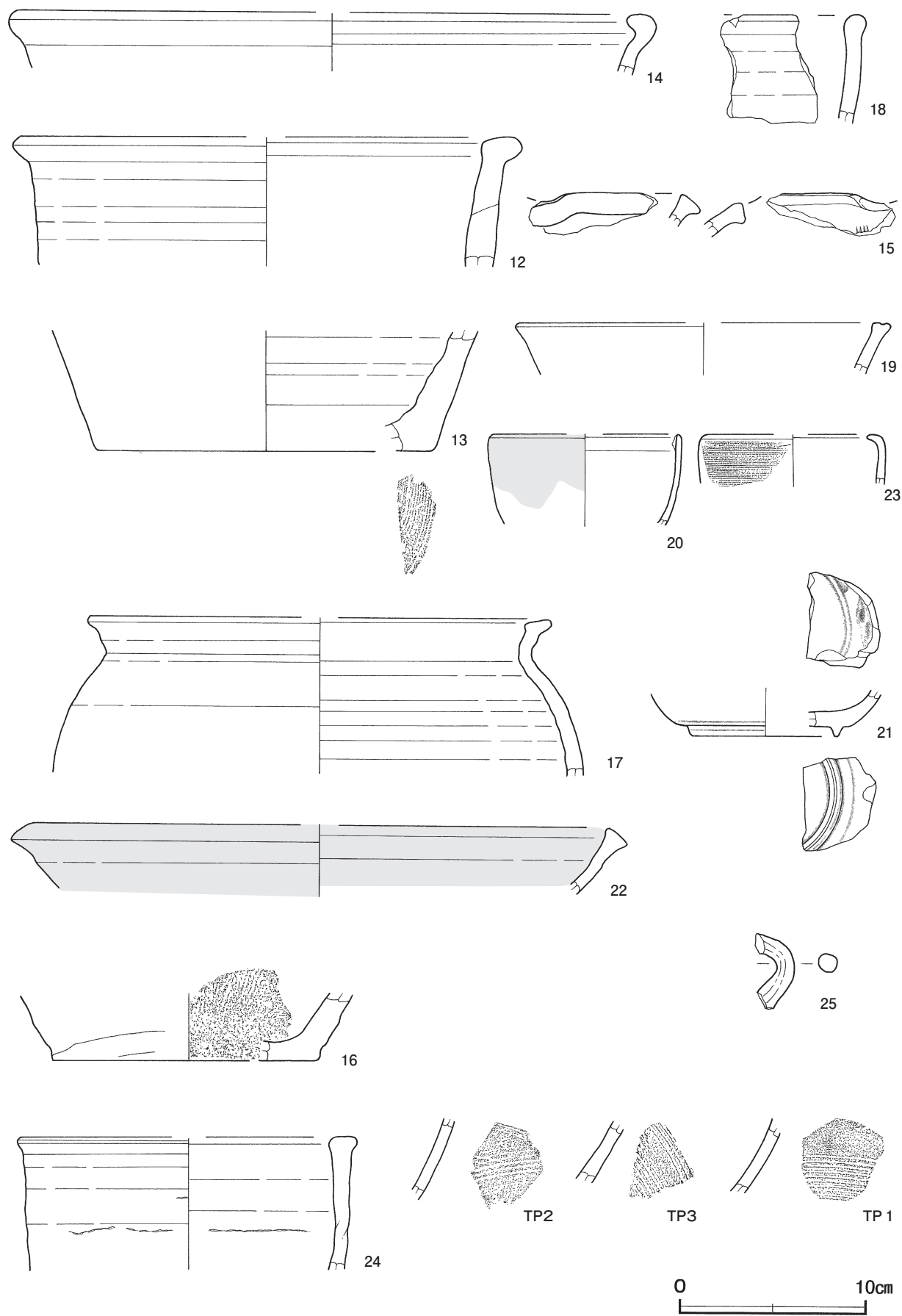
**覆土** 2層に分層できる。層厚が薄いため堆積状況は不明である。

#### 土層解説

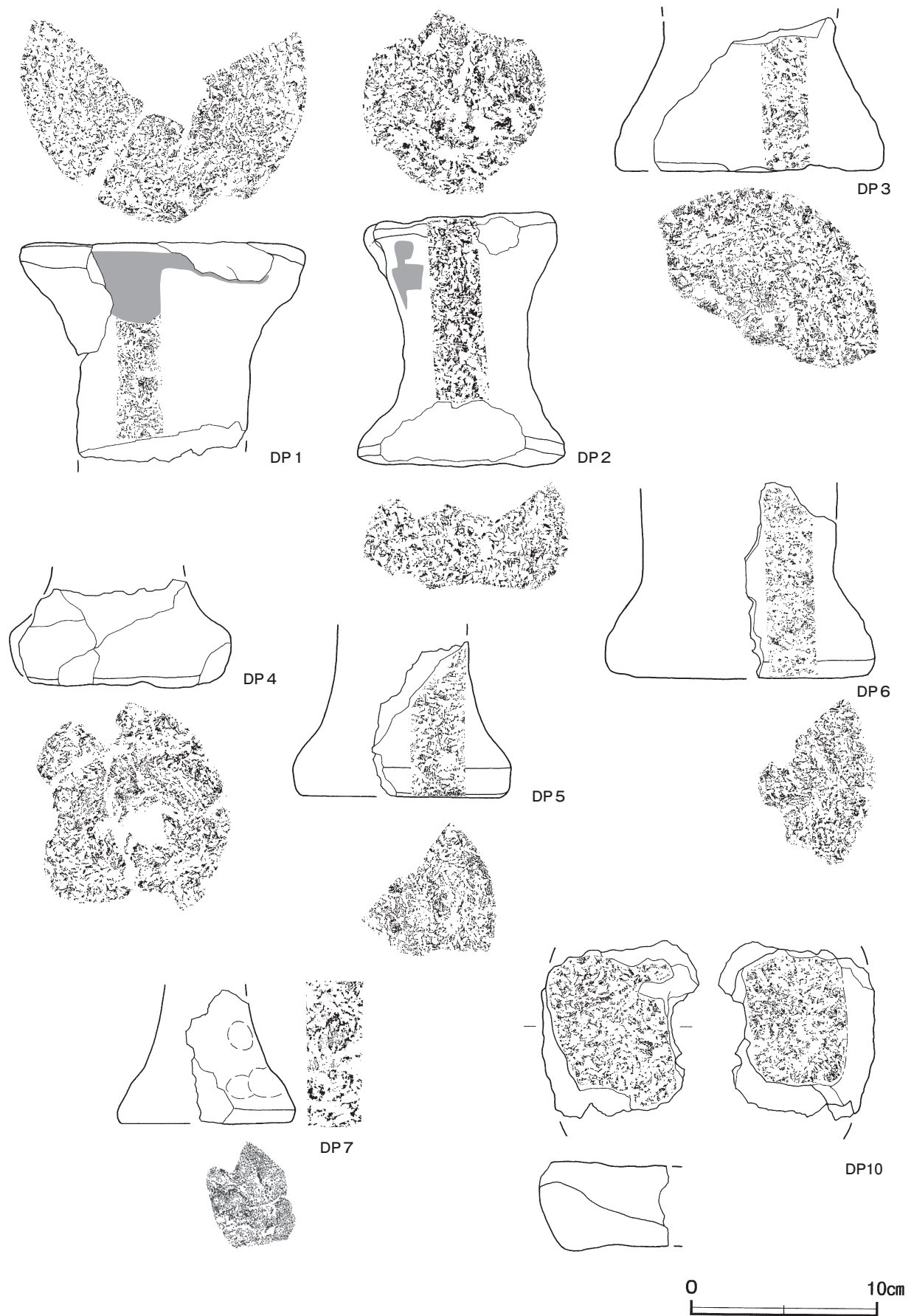
- 1 暗赤褐色 焼土ブロック中量、粘土ブロック・炭化物少量      2 灰褐色 粘土ブロック多量、炭化物少量、焼土ブロック微量



第66図 第1号窯跡実測図

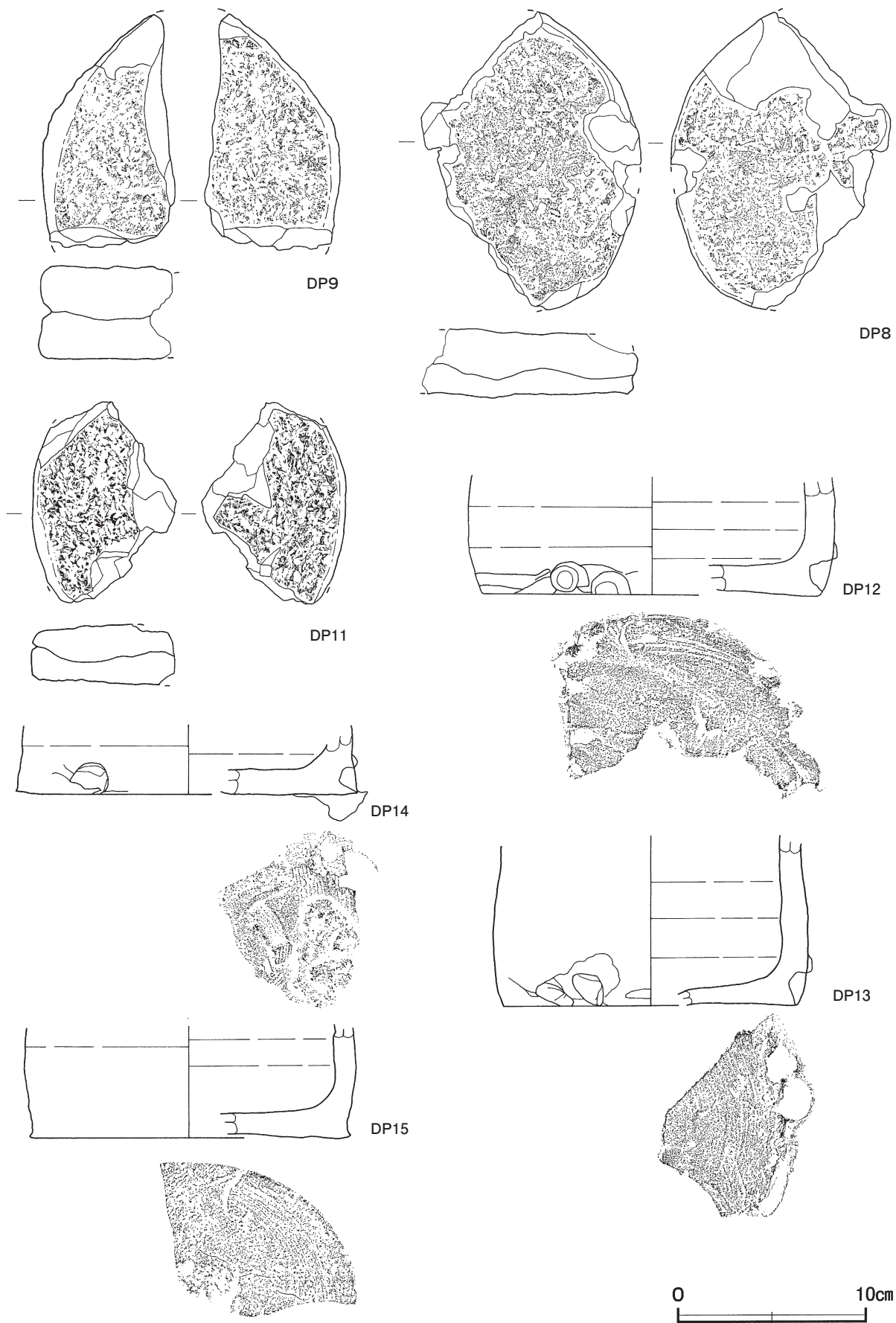


第 67 图 第 1 号窯跡出土遺物実測図 (1)

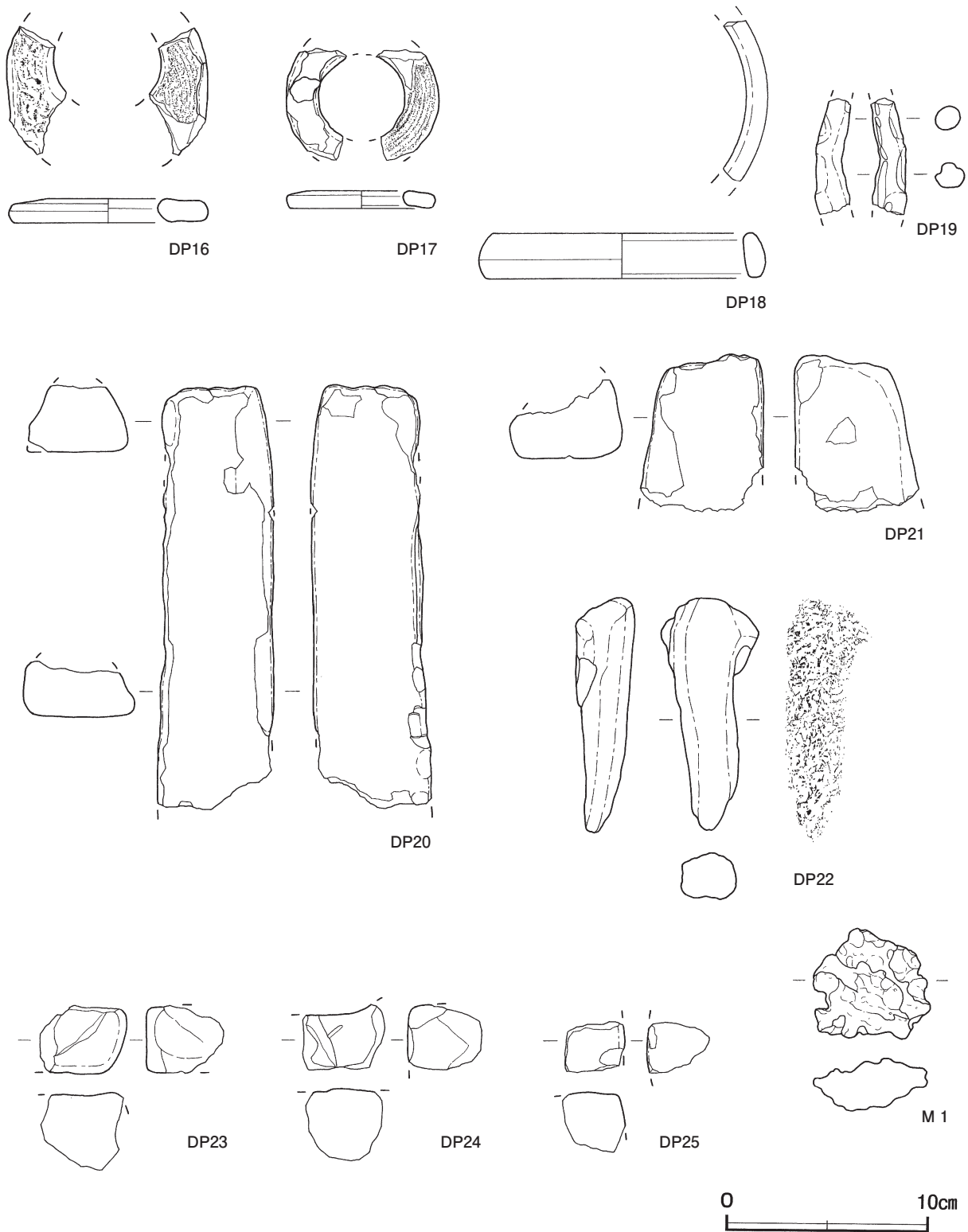


第 68 図 第 1 号窯跡出土遺物実測図 (2)





第 69 図 第 1 号窯跡出土遺物実測図 (3)



第70图 第1号窯跡出土遺物実測図(4)

**遺物出土状況** 土師質土器片 156 点（壺類 143, 瓶類 2, 内耳鍋 4, 播鉢 5, 鉢 2), 窯道具片 67 点（トチン 17, 粘土子 7, 輪ドチ 3, 棒状粘土紐 1, 留具 33, 杭 1, サヤ鉢 5), 陶器片 5 点（灰吹 1, 播鉢 3, 碗 1), 磁器片 2 点（碗), 椀状滓 1 点（102.6 g), 窯壁 3 点が出土している。DP15 は火道とその南側覆土下層から出土した破片が接合している。13 は火道の南側の覆土中層から, TP 3 は火道の上面から, DP12 は火道の北側の確認面から出土している。23 は北部西寄りの焼土上面から, DP 8 は北部西寄りの覆土下層から, 16 と DP 3 は南部西寄りの床面から, DP14 は南部壁際の覆土上層から, TP 2・DP16・DP18 は東部中央の床面から出土している。また, 混入した縄文土器片 29 点（深鉢), 土師器片 28 点（坏 2, 甕類 26）が出土している。

**所見** 火道と見られる焼土範囲の周辺から, 窯壁と窯道具が出土していることから窯跡と考えられる。窯壁や窯道具の焼け具合から判断すると, 窯自体は短期の操業で廃棄されたと考えられる。時期は, 窯構造の痕跡とみられる火道の長軸方向が, 第 2・3 掘立柱建物跡とほぼ同じであることから同時期であり, 21 が出土していることから 18 世紀後葉以降と考えられる。

第 1 号窯跡出土遺物観察表（第 67～70 図）

| 番号 | 種別    | 器種   | 口径(長さ) | 器高(幅) | 底径(厚さ) | 胎土            | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか           | 出土位置 | 備考         |
|----|-------|------|--------|-------|--------|---------------|-------|----|-------------------|------|------------|
| 12 | 土師質土器 | 鉢    | [26.5] | (7.0) | -      | 長石・石英・赤色粒子    | 橙     | 普通 | 外・内面ロクロナデ 輪積痕     | 覆土中  | 10%        |
| 13 | 土師質土器 | 鉢    | -      | (6.5) | [18.0] | 長石・石英・雲母・細礫   | 橙     | 普通 | 底部回転糸切り           | 覆土中層 | 5%         |
| 14 | 土師質土器 | 鉢    | [33.9] | (3.2) | -      | 長石・石英・雲母      | にぶい橙  | 普通 | 外・内面ロクロナデ         | 覆土中  | 5%         |
| 15 | 土師質土器 | 播鉢   | -      | (2.4) | -      | 長石・石英・黒色粒子    | 浅黄橙   | 不良 | 体部外・内面横ナデ         | 覆土中  | 5%         |
| 16 | 土師質土器 | 播鉢   | -      | (3.6) | [14.4] | 長石・石英         | 黒褐    | 普通 | 内面播目摩滅 底部下端粗いへら削り | 床面   | 10%        |
| 17 | 土師質土器 | 甕    | [24.6] | (8.5) | -      | 長石・石英・雲母・黒色粒子 | にぶい黄橙 | 普通 | 外・内面ロクロナデ         | 覆土中  | 15%        |
| 18 | 土師質土器 | 甕    | -      | (5.9) | -      | 長石・石英・赤色粒子    | にぶい橙  | 普通 | 外・内面ロクロナデ 内面摩滅    | 覆土中  | 5%         |
| 19 | 土師質土器 | 内耳鍋  | [19.8] | (2.8) | -      | 赤色粒子          | 浅黄橙   | 不良 | 体部外・内面横ナデ         | 覆土中  | 5%         |
| 20 | 陶器    | 碗    | [10.0] | (5.0) | -      | 緻密            | 緑灰    | 良好 | 外面施釉              | 覆土中  | 5%         |
| 21 | 磁器    | 碗    | -      | (2.6) | [7.8]  | 緻密            | 灰白    | 普通 | 染付 外面貫入           | 覆土中  | 10%<br>波佐見 |
| 22 | 陶器    | 鉢    | [31.2] | (3.7) | -      | 長石・石英・黒色粒子    | にぶい赤褐 | 普通 | 外・内面鉄釉 貫入         | 覆土中  | 5%         |
| 23 | 陶器    | 火入   | [9.4]  | (2.6) | -      | 長石・赤色粒子       | にぶい黄橙 | 良好 | 外面横位の櫛目掻き         | 焼土上面 | 5%         |
| 24 | 陶器    | 灰吹   | [18.0] | (7.2) | -      | 長石・石英         | にぶい赤褐 | 良好 | 外・内面ロクロナデ 輪積痕 自然釉 | 覆土中  | 10% PL16   |
| 25 | 陶器    | 徳利把手 | (4.1)  | (2.1) | 1.2    | 長石・石英・雲母      | 黒褐    | 普通 | 断面円形              | 覆土中  | 5%         |

| 番号  | 種別    | 器種 | 胎土           | 色調    | 手法の特徴ほか           | 出土位置 | 備考   |
|-----|-------|----|--------------|-------|-------------------|------|------|
| TP1 | 土師質土器 | 播鉢 | 長石・石英        | 黒     | 外・内面ナデ            | 覆土中  | PL16 |
| TP2 | 土師質土器 | 播鉢 | 長石・石英・雲母     | にぶい黄橙 | 8 条 1 単位の播り目 外面摩滅 | 床面   | PL16 |
| TP3 | 土師質土器 | 播鉢 | 石英・黒色粒子・赤色粒子 | 明黄褐   | 外面ナデ              | 火道上面 | PL16 |

| 番号  | 器種  | 高さ     | 幅 | 厚さ | 径(底径)  | 孔径 | 重量       | 胎土         | 特徴                | 出土位置 | 備考   |
|-----|-----|--------|---|----|--------|----|----------|------------|-------------------|------|------|
| DP1 | トチン | (11.9) | - | -  | 15.3   | -  | (1108.3) | 長石・細礫      | 手捏成型 初殻痕 煤付着      | 覆土中  | PL18 |
| DP2 | トチン | 13.7   | - | -  | 11.2   | -  | (1027.9) | 長石・黒色粒子    | 手捏成型 初殻痕 底部砂床の砂付着 | 覆土中  | PL18 |
| DP3 | トチン | (8.2)  | - | -  | [14.4] | -  | (515.6)  | 長石         | 手捏成型 初殻痕          | 床面   | PL18 |
| DP4 | トチン | (5.7)  | - | -  | 12.0   | -  | (463.2)  | 長石         | 手捏成型 初殻痕          | 覆土中  | PL18 |
| DP5 | トチン | (8.5)  | - | -  | [11.4] | -  | (374.8)  | 長石         | 手捏成型 初殻痕          | 覆土中  | PL18 |
| DP6 | トチン | (10.6) | - | -  | [14.4] | -  | (318.2)  | 長石・石英・赤色粒子 | 手捏成型 初殻痕          | 覆土中  | PL18 |
| DP7 | トチン | (7.2)  | - | -  | [9.6]  | -  | (158.1)  | 長石・石英      | 底部砂床砂付着 指頭痕       | 覆土中  | PL18 |

| 番号   | 器種    | 長さ・高さ  | 幅      | 厚さ    | 径      | 孔径    | 重量      | 胎土         | 特徴               | 出土位置 | 備考   |
|------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|---------|------------|------------------|------|------|
| DP 8 | 粘土団子  | (15.9) | (11.7) | 3.7   | -      | -     | (513.9) | 長石・石英・赤色粒子 | 全面初殻痕 側面に粘土団子重ね痕 | 覆土下層 | PL19 |
| DP 9 | 粘土団子  | (12.4) | (6.9)  | 5.0   | -      | -     | (410.0) | 長石         | 全面初殻痕 側面に粘土団子重ね痕 | 覆土中  | PL18 |
| DP10 | 粘土団子  | (9.6)  | (8.5)  | 4.8   | -      | -     | (344.3) | 長石         | 全面初殻痕 側面に粘土団子重ね痕 | 覆土中  | PL18 |
| DP11 | 粘土団子  | (10.7) | (7.7)  | (3.4) | -      | -     | (245.3) | 長石・石英      | 全面初殻痕 側面に粘土団子重ね痕 | 覆土中  | PL18 |
| DP16 | 輪ドチ   | -      | (2.9)  | 1.2   | [10.0] | [5.5] | (20.0)  | 黒色粒子       | 上面に焼成時の高台痕       | 床面   | PL19 |
| DP17 | 輪ドチ   | -      | (3.1)  | 0.9   | [7.5]  | [4.3] | (13.0)  | 黒色粒子       | 上面に焼成時の高台痕 ピン剥離痕 | 覆土中  | PL19 |
| DP18 | 輪ドチ   | 2.3    | -      | 1.1   | [13.7] | -     | (15.0)  | 長石・石英      | 全面ナデ             | 床面   | PL19 |
| DP19 | 棒状粘土紐 | (5.8)  | 1.8    | 1.3   | -      | -     | (13.5)  | 黒色粒子       | 断面円形・不定形 指頭痕     | 覆土中  | PL19 |
| DP20 | 留具    | (21.1) | 5.6    | (3.2) | -      | -     | (356.2) | 細礫・黒色粒子    | 全面ナデ 指頭痕         | 覆土中  | PL19 |
| DP21 | 留具    | (7.8)  | 6.2    | (4.0) | -      | -     | (120.7) | 長石・黒色粒子    | 全面ナデ             | 覆土中  |      |
| DP22 | 杭     | 11.7   | 4.8    | 2.9   | -      | -     | 105.0   | 長石・石英・赤色粒子 | 断面不定形 手捏成型 初殻痕   | 覆土中  | PL19 |
| DP23 | 窯壁    | (3.4)  | (4.3)  | (3.9) | -      | -     | (46.3)  | 白色粒子・黒色粒子  | 被熱による弱い赤変有       | 覆土中  | PL19 |
| DP24 | 窯壁    | (3.3)  | (4.1)  | (3.6) | -      | -     | (41.2)  | 白色粒子・黒色粒子  | 被熱による弱い赤変有       | 覆土中  | PL19 |
| DP25 | 窯壁    | (2.6)  | (2.9)  | (3.2) | -      | -     | (22.1)  | 長石・石英・雲母   | 被熱による弱い赤変有       | 覆土中  |      |

| 番号   | 器種  | 口径 | 器高    | 底径     | 胎土            | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                            | 出土位置 | 備考       |
|------|-----|----|-------|--------|---------------|-------|----|------------------------------------|------|----------|
| DP12 | サヤ鉢 | -  | (6.3) | [18.1] | 長石・石英・雲母・黒色粒子 | 灰黄褐   | 普通 | ロクロ成型後取上げ指痕(2カ所) 底部回転糸切り 不純物取り出し指痕 | 覆土上層 | 35% PL19 |
| DP13 | サヤ鉢 | -  | (9.1) | [15.6] | 長石・黒色粒子       | 暗灰黄   | 良好 | 底部回転糸切り 取上げ指痕                      | 覆土中  | 20% PL19 |
| DP14 | サヤ鉢 | -  | (3.6) | [18.2] | 長石・石英         | にぶい赤褐 | 普通 | 底部回転糸切り 取上げ指痕 底部砂床の砂付着             | 覆土上層 | 20%      |
| DP15 | サヤ鉢 | -  | (6.1) | [17.0] | 長石・石英・雲母・黒色粒子 | にぶい赤褐 | 普通 | 内面ナデ 底部回転糸切り                       | 覆土下層 | 15%      |

| 番号  | 器種  | 長さ  | 幅   | 厚さ  | 重量    | 材質 | 特徴                                       | 出土位置 | 備考   |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|--|------|------|
| M 1 | 椀状滓 | 5.5 | 5.8 | 2.5 | 102.6 | 鉄  | 地色は黒褐色 表面は顆粒状突起及び気孔が点在し凹凸がある 底面は椀状で凹凸少ない | 覆土中  | PL20 |

## イ 掘立柱建物跡

### 第2号掘立柱建物跡 (第71図)

**位置** 調査区東部の E 5e0 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第96号土坑に掘り込まれている。また, 第2号柵跡, 第89号土坑, 第6号ピット群と重複しているが, 新旧関係は不明である。

**規模と構造** 四面に塀を伴う桁行3間, 梁行1間の側柱建物跡で, 桁行方向が N - 11° - W の南北棟である。規模は桁行 3.90m, 梁行 2.10m で, 面積は 8.19m<sup>2</sup> である。柱間寸法は, 桁行が北妻から 1.20m (4尺)・1.50m (5尺)・1.20m (4尺) で, 梁行は 2.10m (7尺) に配置されている。柱筋はほぼ揃っている。

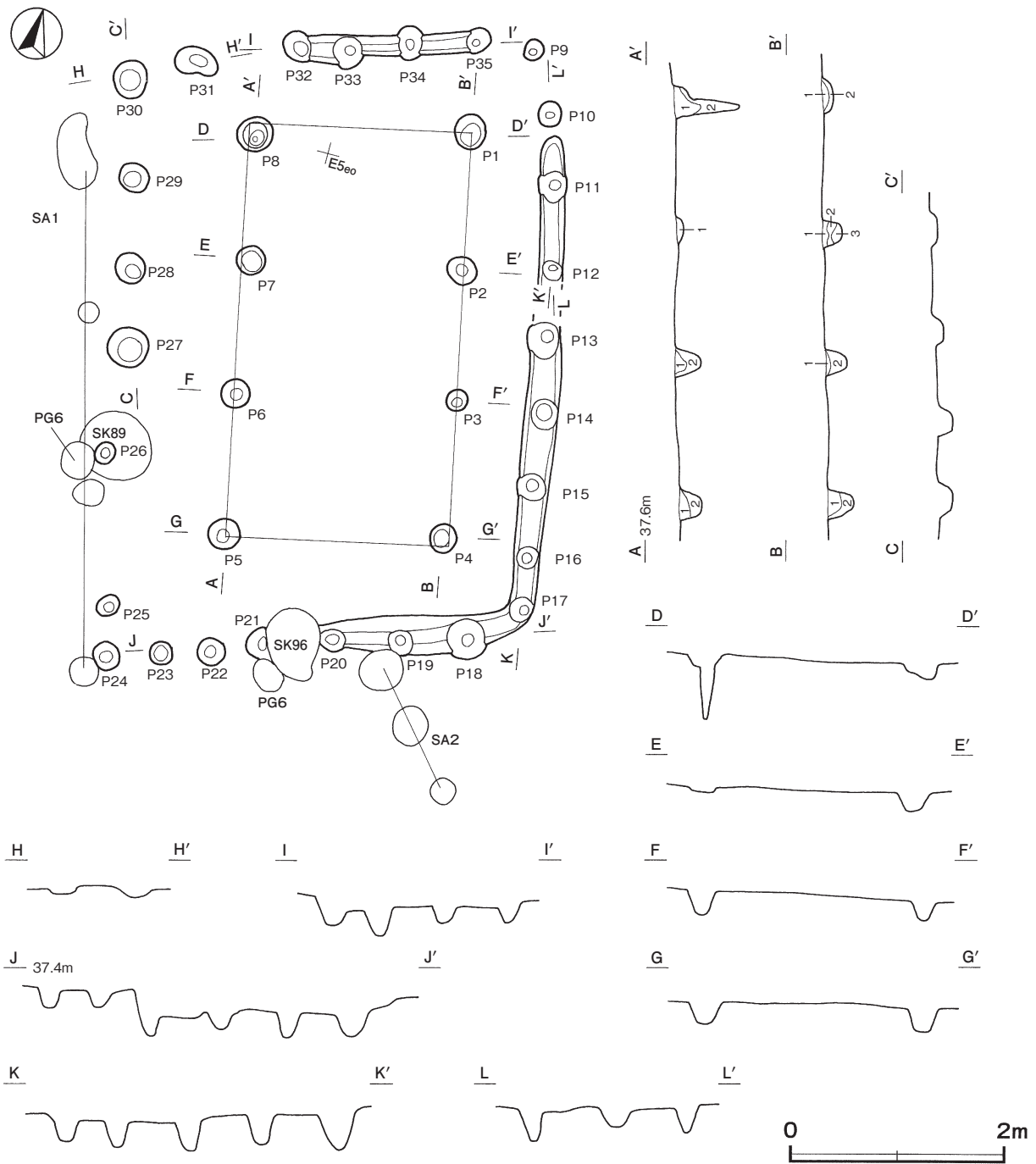
**柱穴** 主柱穴 8 か所, 塀柱穴 27 か所の 35 か所。P 1 ~ P 8 は主柱穴である。平面形は円形または楕円形で, 長径 20 ~ 32cm, 短径 18 ~ 30cm, 深さは 4 ~ 61cm である。P 9 ~ P 35 は塀柱穴で, P 11 ~ P 20, P 32 ~ P 35 は溝を伴っている。平面形は円形または楕円形で, 長径 20 ~ 40cm, 短径 18 ~ 35cm, 深さは 6 ~ 40cm である。塀柱穴の柱間寸法は, 0.6 m (2尺) ~ 0.9 m (3尺) で柱筋はほぼ揃っている。

**覆土** 粘土ブロックが含まれていることから埋め戻されている。

#### 柱穴土層解説 (各柱穴共通)

- 1 暗褐色 粘土ブロック中量, ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 粘土ブロック・ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 黄褐色 粘土ブロック多量, 炭化粒子微量

**所見** 桁行方向が第1号窯跡の火道の長軸方向とほぼ同じであることから, 第1号窯跡に関連する施設と考えられる。時期は近世と考えられる。



第71図 第2号掘立柱建物跡実測図

第3号掘立柱建物跡 (第72図)

**位置** 調査区東部の E 5 e7 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と構造** 四面に塀を伴う桁行 3 間, 梁行 1 間の側柱建物跡で, 桁行方向が  $N - 10^\circ - W$  の南北棟である。規模は桁行 3.60m, 梁行 2.10m で, 面積は 7.56 $m^2$  である。柱間寸法は桁行が 1.20m (4 尺), 梁行が 2.10m (7 尺) で, 柱筋はほぼ揃っている。

**柱穴** 主柱穴 8 か所, 塀柱穴 19 か所の 27 か所。P 1 ~ P 8 は主柱穴である。平面形は円形または楕円形で, 長径 18 ~ 32cm, 短径 15 ~ 30cm で, 深さは 10 ~ 40cm である。P 9 ~ P27 は塀柱穴である。平面形は円

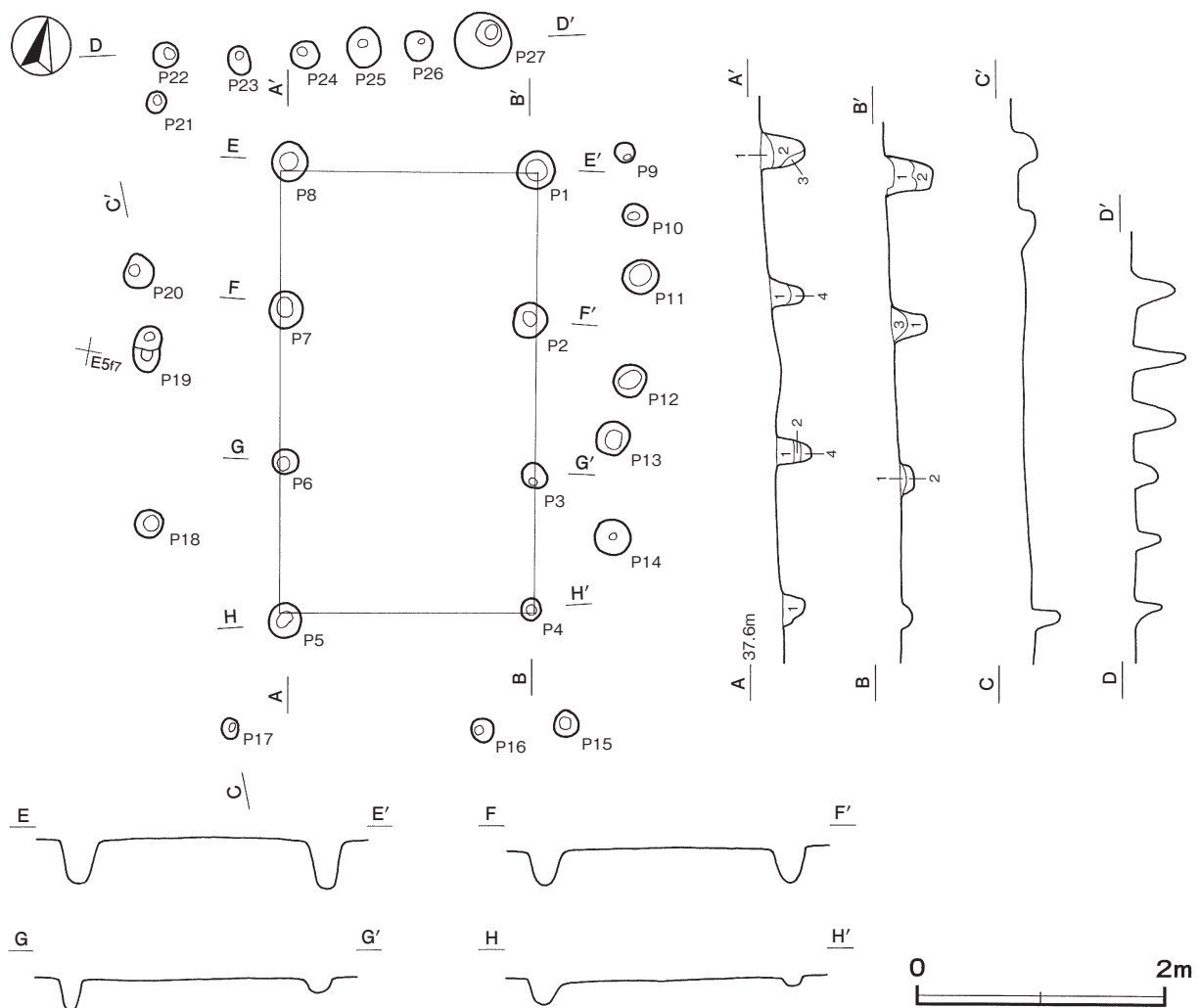
形または楕円形で、長径 17～45cm、短径 12～43cm、深さは 12～42cm である。塀の柱間寸法は 0.3m（1尺）～2.1m（7尺）で柱筋はほぼ揃っている。

**覆土** ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**柱穴土層解説（各柱穴共通）**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 黒色 ロームブロック微量

**所見** 第2号掘立柱建物跡と同様に塀柱穴を持ち、同規模で桁行方向もほぼ一致することから、第2号掘立柱建物跡と同時期とみられる。また第2号掘立柱建物跡と共に、第1号窯跡に関連する施設と考えられる。時期は、近世と考えられる。



第72図 第3号掘立柱建物跡実測図

表9 近世の掘立柱建物跡一覧表

| 番号 | 位置    | 桁行方向        | 柱間数    |             | 面積<br>(㎡) | 柱間寸法      |       | 柱穴 |               |        | 出土遺物                     | 時期 | 備考<br>重複関係<br>(古→新) |                        |
|----|-------|-------------|--------|-------------|-----------|-----------|-------|----|---------------|--------|--------------------------|----|---------------------|------------------------|
|    |       |             | 桁×梁(間) | 桁×梁(m)      |           | 桁間(m)     | 梁間(m) | 構造 | 柱穴数           | 平面形    |                          |    |                     | 深さ(cm)                 |
| 2  | E 5e0 | N - 11° - W | 3 × 1  | 3.90 × 2.10 | 8.19      | 1.2 ~ 1.5 | 2.1   | 側柱 | 主: 8<br>塀: 27 | 円形・楕円形 | 主: 4 ~ 61<br>塀: 6 ~ 40   | -  | 近世                  | 本跡 → SK89・96, SA2, PG6 |
| 3  | E 5e7 | N - 10° - W | 3 × 1  | 3.60 × 2.10 | 7.56      | 1.2       | 2.1   | 側柱 | 主: 8<br>塀: 19 | 円形・楕円形 | 主: 10 ~ 40<br>塀: 12 ~ 42 | -  | 近世                  | SK167                  |

ウ 柵跡

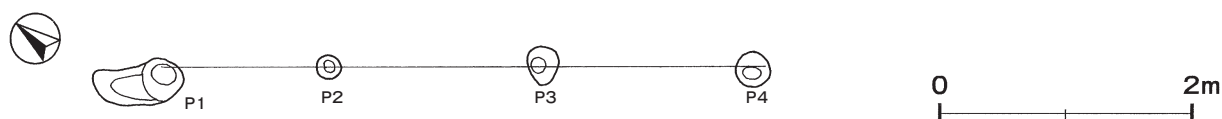
第1号柵跡 (第73図)

**位置** 調査区東部の E 5 e9 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 南北方向に柱穴 4 か所が並び, 方向は N - 19° - W である。柱間寸法は北から 1.2m (4 尺), 1.8cm (6 尺), 1.8m (6 尺) で, 柱筋はほぼ整っている。

**柱穴** 平面形は円形または楕円形で, 長径 20 ~ 72cm, 短径 20 ~ 39cm である。

**所見** 第2号掘立柱建物跡に近接し, 主軸方向がほぼ同じであることから, これと関連する柵跡と考えられる。時期は, 近世と考えられる。



第73図 第1号柵跡実測図

第2号柵跡 (第74図)

**位置** 調査区東部の E 5 f0 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複** 第2号掘立柱建物跡と重複しているが, 新旧関係は不明である。

**規模と形状** 南北方向に柱穴 3 か所が並び, 方向は N - 40° - W である。柱間寸法は 0.6m (2 尺) で, 柱筋はほぼ整っている。

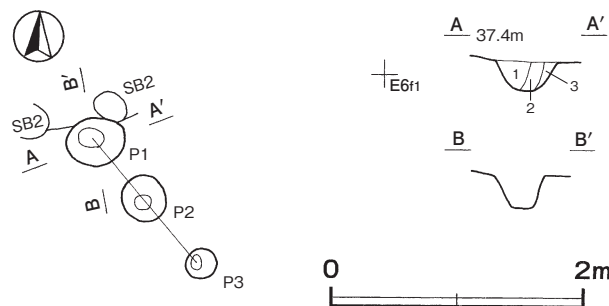
**柱穴** 平面形は円形または楕円形で, 長径 23 ~ 48cm, 短径 23 ~ 38cm, P1 の深さは 24cm である。

**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**P1 土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物微量
- 2 極 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・白色スコリア粒子微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子少量

**所見** 第2号掘立柱建物跡に関連する柵跡と考えられる。時期は, 近世と考えられる。



第74図 第2号柵跡実測図

表 10 近世の柵跡一覧表

| 番号 | 位置     | 主軸方向        | 長さ (m) | 柱間 (m)    | 柱 穴  |        |         |         |         | 備 考<br>(重複関係) |
|----|--------|-------------|--------|-----------|------|--------|---------|---------|---------|---------------|
|    |        |             |        |           | 柱穴本数 | 平面形    | 長径 (cm) | 短径 (cm) | 深さ (cm) |               |
| 1  | E 5 e9 | N - 19° - W | 4.8    | 1.2 ~ 1.8 | 4    | 円形・楕円形 | 20 ~ 72 | 20 ~ 39 | -       |               |
| 2  | E 5 f0 | N - 40° - W | 1.2    | 0.6       | 3    | 円形・楕円形 | 23 ~ 48 | 23 ~ 38 | 24      | SB2           |

エ 竪穴遺構

第1号竪穴遺構 (第75図)

**位置** 調査区東部の E 5 e8 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 長軸 2.75 m, 短軸 2.60 m の方形で, 長軸方向は N - 80° - E である。壁高は 55 ~ 62cm で, 外傾して立ち上がっている。

**ピット** 2 か所。P 1 は深さ 8 cm, P 2 は深さ 22cm である。配置から柱穴と考えられる。

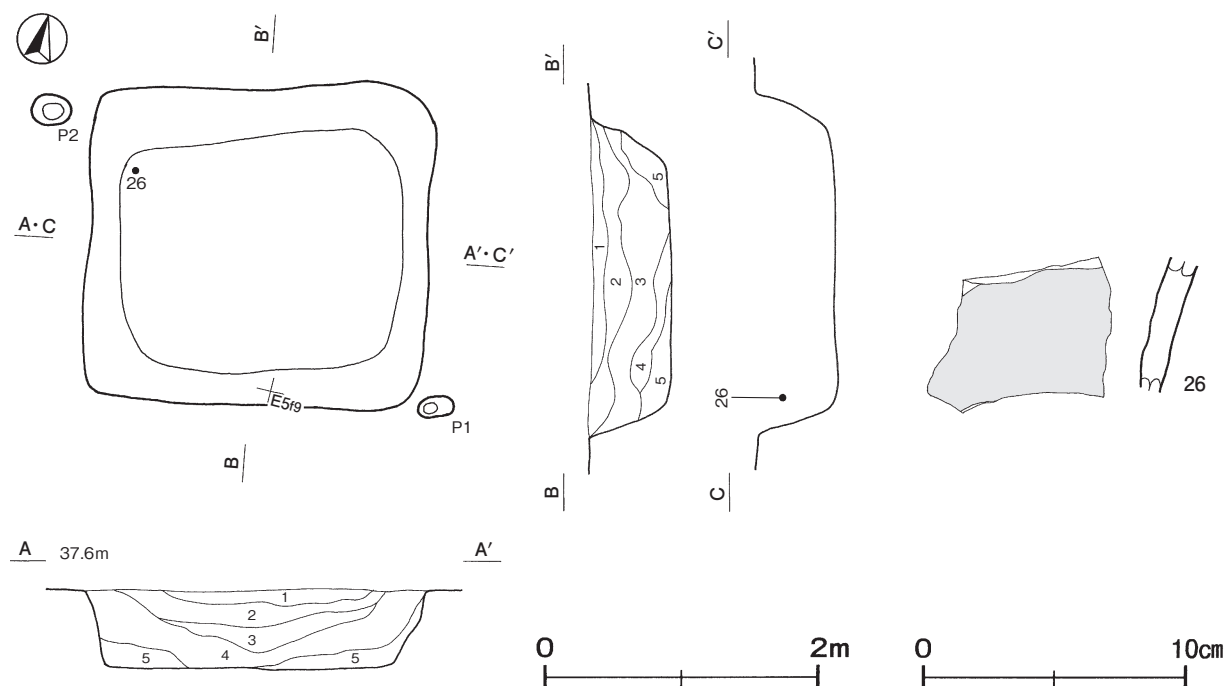
**覆土** 5層に分層できる。各層にロームブロックや粘土ブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                          |       |                 |
|-------|--------------------------|-------|-----------------|
| 1 灰褐色 | ローム粒子少量, 焼土ブロック・炭化物微量    | 4 褐色  | ロームブロック少量       |
| 2 褐色  | ロームブロック少量, 粘土ブロック・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 | ローム粒子少量, 粘土粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・炭化物・粘土粒子微量       |       |                 |

**遺物出土状況** 陶器片2点(甕)が出土している。26は覆土中層から出土している。また、混入して土師器片5点(甕類)も出土している。

**所見** 時期は、出土土器から近世と考えられ、第2・3号掘立柱建物跡と長軸方向が一致することから関連遺構と考えられる。性格は不明である。



第75図 第1号竪穴遺構・出土遺物実測図

第1号竪穴遺構出土遺物観察表 (第75図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土    | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか     | 出土位置 | 備考        |
|----|----|----|----|-------|----|-------|-------|----|-------------|------|-----------|
| 26 | 陶器 | 甕  | -  | (5.1) | -  | 長石・石英 | にぶい赤褐 | 良好 | 内面粗いナデ 外面鉄釉 | 覆土中層 | 5%常滑 PL16 |

オ 粘土採掘坑

第1号粘土採掘坑 (第76図)

**位置** 調査区東部のE5g4区、標高37mのほぼ平坦な台地上に位置している。

**確認状況** 第13・14・15号溝を調査中に確認できた。

**重複関係** 第13・14・15号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径4.70m、短径4.37mの不整形円形で、長径方向はN-6°-Wである。深さは20~50cmで、粘土採掘のための掘り込みが各所に認められ、底面には凹凸がある。壁は外傾して立ち上がっている。

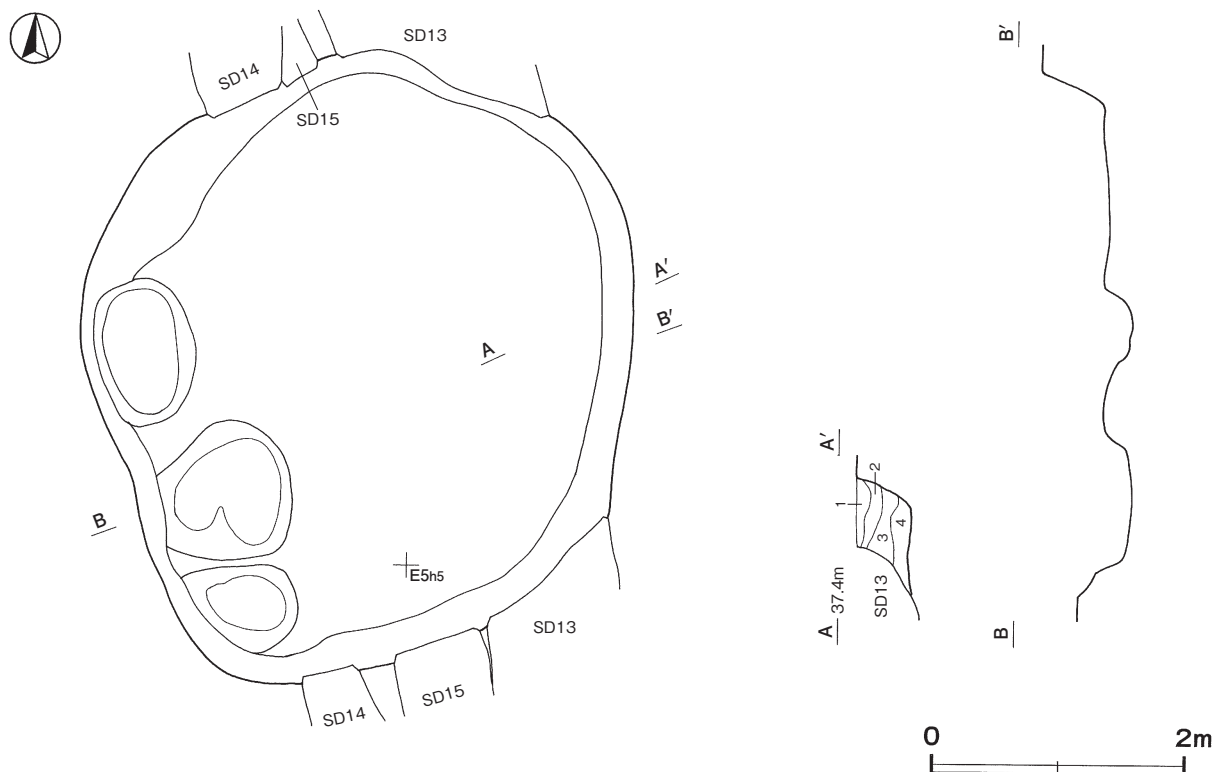
**覆土** 4層に分層できる。各層にローム、粘土ブロックが含まれていることから埋め戻されている。

**土層解説**

- |       |                          |       |                     |
|-------|--------------------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 粘土ブロック・炭化粒子微量 | 3 黒褐色 | ロームブロック少量, 粘土ブロック微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子微量                  | 4 褐色  | ロームブロック多量           |



所見 第2号粘土採掘坑と近接し、規模・形状が似ていることから、時期は近世と考えられる。



第76図 第1号粘土採掘坑実測図

第2号粘土採掘坑 (第77図)

位置 調査区東部のE 5g3区、標高37mのほぼ平坦な台地上に位置している。

重複関係 第2号道路跡を掘り込み、第115・122・123・136号土坑に掘り込まれている。第115号土坑は本跡の底面まで達していない。

規模と形状 北部が調査区域外へ延びているため、南西・北東軸は3.40mで、北西・南東軸は4.37mしか確認できなかった。不整楕円形と推定され、長径方向はN-30°-Wである。深さは39~71cmで、粘土採掘のための掘り込みが各所に認められ、底面には凹凸がある。壁は外傾して立ち上がっている。

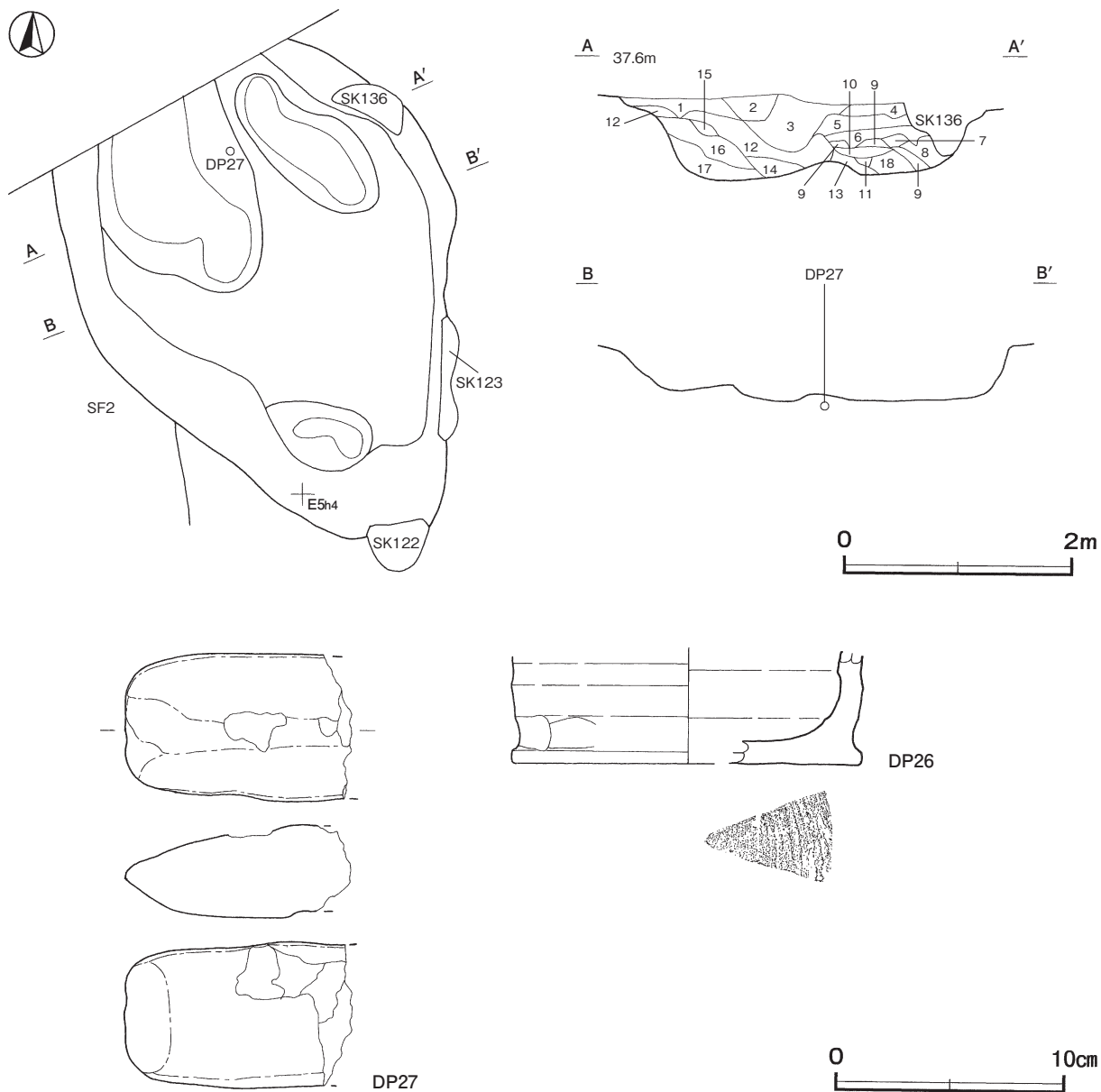
覆土 18層に分層できる。各層にロームブロックが含まれているが、周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

土層解説

- |        |                       |        |                       |
|--------|-----------------------|--------|-----------------------|
| 1 黒褐色  | ローム粒子少量, 白色粘土粒子微量     | 10 黒褐色 | ローム粒子微量               |
| 2 黒褐色  | 炭化物・ローム粒子微量           | 11 黒褐色 | ローム粒子少量               |
| 3 黒褐色  | ロームブロック中量, 白色粘土ブロック微量 | 12 黒褐色 | ロームブロック・白色粘土ブロック少量    |
| 4 黒褐色  | ロームブロック少量, 白色粘土ブロック微量 | 13 灰白色 | 白色粘土ブロック多量, ローム粒子微量   |
| 5 灰褐色  | ロームブロック・白色粘土粒子微量      | 14 黒褐色 | 白色粘土ブロック中量, ローム粒子微量   |
| 6 黒色   | ロームブロック微量             | 15 黒褐色 | ロームブロック・白色粘土ブロック微量    |
| 7 褐色   | ロームブロック中量, 白色粘土ブロック微量 | 16 黄褐色 | ロームブロック多量, 白色粘土ブロック微量 |
| 8 明黄褐色 | ロームブロック多量             | 17 黒色  | 白色粘土ブロック・ローム粒子微量      |
| 9 明黄褐色 | ロームブロック中量, 白色粘土ブロック少量 | 18 黄褐色 | ロームブロック多量, 白色粘土ブロック少量 |

遺物出土状況 陶器片1点(鉢), 窯道具片2点(サヤ鉢, 留具)が出土している。DP27は北部の底面から、DP26は覆土中から出土している。

所見 窯道具が出土していることから第1号窯跡に関連した遺構と考えられる。時期は出土遺物から近世と考えられる。



第 77 図 第 2 号粘土採掘坑・出土遺物実測図

第 2 号粘土採掘坑出土遺物観察表 (第 77 図)

| 番号   | 器種  | 口径 | 器高    | 底径     | 胎土      | 色調       | 焼成 | 手法の特徴ほか               | 出土位置 | 備考       |
|------|-----|----|-------|--------|---------|----------|----|-----------------------|------|----------|
| DP26 | サヤ鉢 | -  | (5.0) | [15.3] | 長石・黒色粒子 | にぶい<br>橙 | 良好 | 外面下部ヘラナデ 内面ナデ 底部回転糸切り | 覆土中  | 10% PL19 |

| 番号   | 器種 | 長さ     | 幅   | 厚さ  | 重量      | 胎土         | 特徴      | 出土位置 | 備考   |
|------|----|--------|-----|-----|---------|------------|---------|------|------|
| DP27 | 留具 | (10.0) | 6.5 | 4.2 | (202.7) | 黒色粒子・長石・石英 | 底端部ヘラ削り | 底面   | PL19 |

表 11 近世の粘土採掘坑一覧表

| 番号 | 位置     | 長径方向        | 平面形   | 規模              |         | 底面 | 壁面 | 覆土 | 主な出土遺物  | 備考<br>重複関係(古→新)          |
|----|--------|-------------|-------|-----------------|---------|----|----|----|---------|--------------------------|
|    |        |             |       | 長径×短径(m)        | 深さ(cm)  |    |    |    |         |                          |
| 1  | E 5 g4 | N - 6° - E  | 不整円形  | 4.70 × 4.37     | 20 ~ 50 | 凹凸 | 外傾 | 人為 | -       | 本跡→SD13・14・15            |
| 2  | E 5 g3 | N - 30° - W | 不整楕円形 | (4.37) × (3.40) | 39 ~ 71 | 凹凸 | 外傾 | 自然 | サヤ鉢, 留具 | SF2→本跡→SK115・122・123・136 |

## カ 土坑

## 第90号土坑（第78図）

**位置** 調査区東部の E 5 d0 区，標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

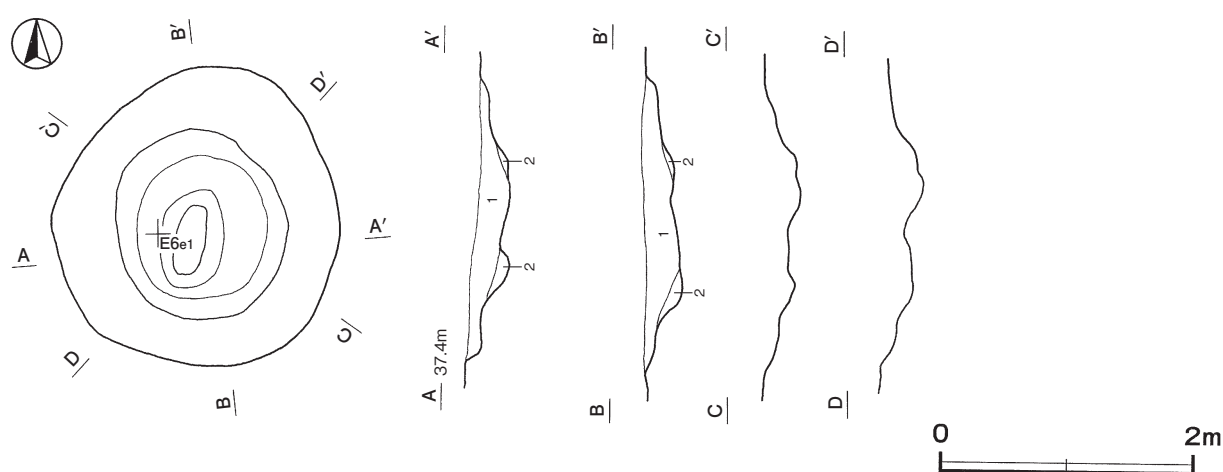
**規模と形状** 長径 2.40 m，短径 2.20 m の円形で，深さは 28 cm である。底面には凹凸があり，壁は緩斜して立ち上がっている。底面の中心部を除いて，壁面に粘土ブロックを含む第 2 層が貼り付けられている。

**覆土** 2 層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから埋め戻されている。

## 土層解説

- 1 灰 褐 色 ロームブロック・黒色土ブロック少量      2 褐 色 黄色粘土ブロック中量

**所見** 西側に第 2 号掘立柱建物跡が近接していることから，これに併設された遺構と考えられる。時期は，同時期の近世と考えられる。



第78図 第90号土坑実測図

## (2) 道路跡

## 第1号道路跡（第79図）

**位置** 調査区東部の E 5 f2 区～F 5 a1 区にかけて，標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第 2 号道路跡，第 11 号溝跡と第 74 号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 北端部が調査区域外へ延び，南端部は削平されているため長さ 21.4 m しか確認できなかった。硬化面の幅は，確認できた範囲で 2.30～3.05 m である。F 5 a1 区から緩やかに湾曲して北東方向（N - 37° - E）に延びた後，北方向（N - 9° - E）にはほぼ直線的に延びている。掘方は溝状で上幅 2.42～3.08 m，下幅 1.80～2.80 m，深さは 45 cm で断面は不定形である。

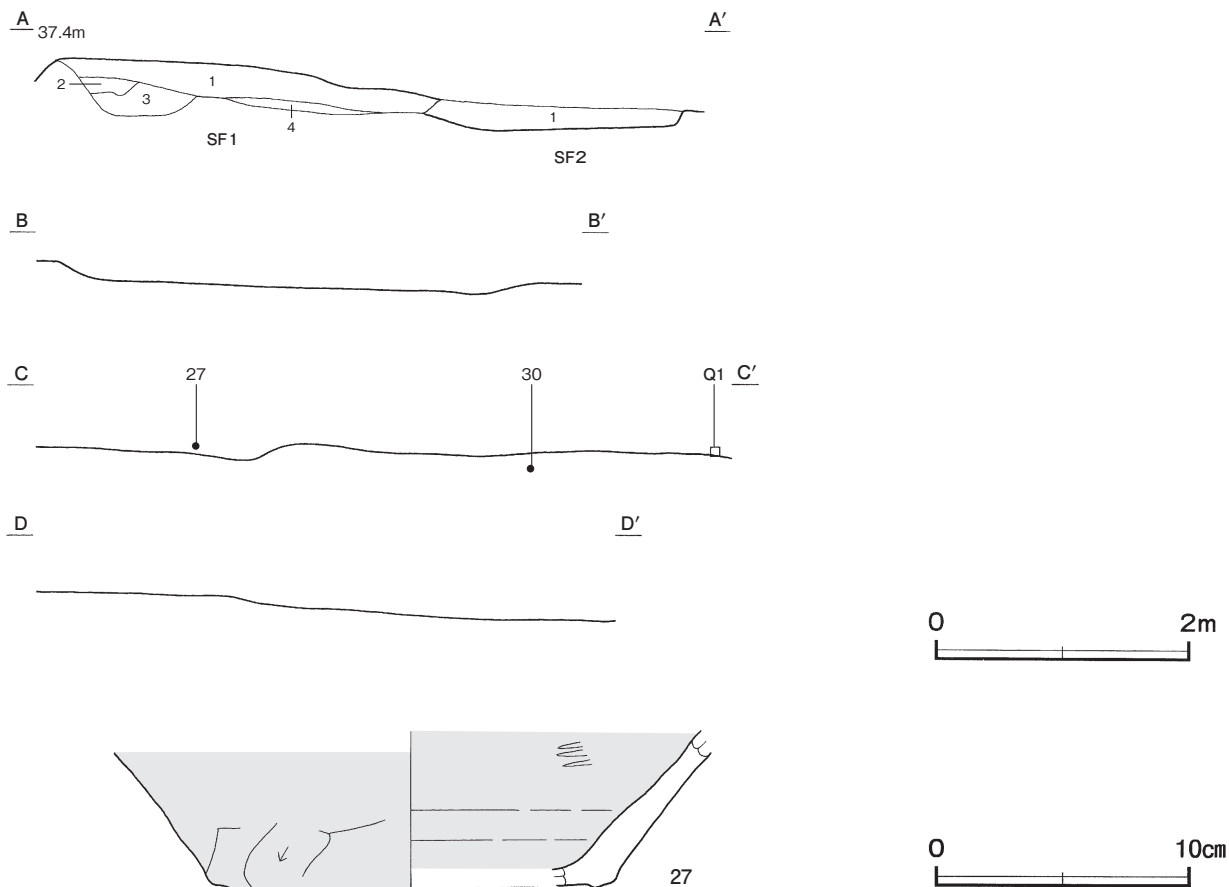
**構築土** 4 層に分層できる。第 1～4 層はロームブロックを含む道路の構築土で，路面は第 1 層の上面で硬化面は 1 面である。

## 土層解説

- 1 にぶい黄褐色 ロームブロック多量，白色粘土ブロック少量      3 褐 灰 色 ロームブロック・白色粘土ブロック少量  
2 褐 灰 色 ロームブロック中量，白色粘土粒子少量      4 褐 灰 色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量

**遺物出土状況** 土師質土器片 2 点（内耳鍋），陶器片 5 点（挿鉢 1・甕 4），窯道具片 20 点（トチン）が出土している。27 は南部の路面から出土している。縄文土器片 1 点（深鉢），土師器片 3 点（甕）も出土している。

**所見** 時期は，出土土器から近世と考えられる。



第79図 第1・2号道路跡，第1号道路跡出土遺物実測図

第1号道路跡出土遺物観察表（第79図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高    | 底径     | 胎土    | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                          | 出土位置 | 備考     |
|----|----|----|----|-------|--------|-------|-------|----|----------------------------------|------|--------|
| 27 | 陶器 | 播鉢 | -  | (6.2) | [16.0] | 長石・石英 | にぶい赤褐 | 良好 | 3条1単位の播目 底部下端へら削り後斜位のヘラナデ 外・内面鉄釉 | 路面   | 10% 常滑 |

### 第2号道路跡(第79・80図)

**位置** 調査区北部のE 5 f3区～E 5 j4区にかけて，標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第1号道路跡と第2号粘土採掘坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北端部が調査区域外へ延び，南端部は削平されているため，長さ16.2mしか確認できなかった。硬化面の幅は，確認できた範囲で0.65m～2.35mである。F 5 a3区から北方向(N-9°-E)に直線的に延びている。

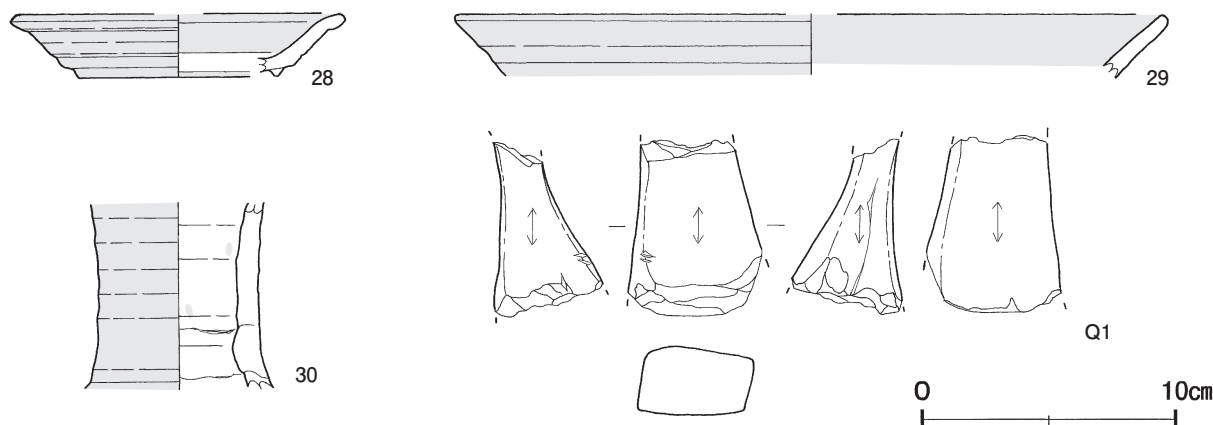
**覆土** 単一層である。堆積状況は不明である。第1層下の地山上面が路面で，硬化面は1面である。

#### 土層解説

1 黒褐色 ローム粒子少量，焼土粒子微量

**遺物出土状況** 土師質土器片2点(内耳鍋)，陶器片13点(碗3，大皿1，小皿1，仏花瓶1，甕7)，石器1点(砥石)，礫1点が出土している。30，Q1は南部の路面から，28・29は覆土中から出土している。また，混入と考えられる縄文土器片1点(深鉢)，土師器片7点(甕)，鉄滓1点(12.0g)も出土している。

**所見** 時期は，出土土器から近世と考えられる。



第 80 図 第 2 号道路跡出土遺物実測図

第 2 号道路跡出土遺物観察表 (第 80 図)

| 番号 | 種別 | 器種  | 口径     | 器高    | 底径    | 胎土    | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか            | 出土位置 | 備考  |
|----|----|-----|--------|-------|-------|-------|-------|----|--------------------|------|-----|
| 28 | 陶器 | 小皿  | [12.6] | 2.5   | [7.9] | 黒色粒子  | オリーブ黄 | 良好 | 外・内面緑釉 口縁部折縁       | 路面   | 15% |
| 29 | 陶器 | 大皿  | [28.0] | (2.4) | -     | 長石・石英 | 灰オリーブ | 普通 | 外・内面緑釉 口縁部外面釉剥離    | 覆土中  | 5%  |
| 30 | 陶器 | 仏花瓶 | -      | (7.4) | -     | -     | オリーブ黄 | 良好 | 外面施釉 貫入 内面ナデ 内面釉付着 | 覆土中  | 5%  |

| 番号 | 器種 | 長さ    | 幅   | 厚さ  | 重量      | 材質 | 特徴           | 出土位置 | 備考   |
|----|----|-------|-----|-----|---------|----|--------------|------|------|
| Q1 | 砥石 | (7.0) | 5.3 | 4.3 | (170.0) | 砂岩 | 砥面 4 面 他は破断面 | 路面   | PL20 |

表 12 近世の道路跡一覧表

| 番号 | 位置              | 方向                        | 形状   | 規模     |                 |                 |        | 断面  | 壁面 | 覆土 | 主な出土遺物            | 備考<br>重複関係<br>(古→新)         |
|----|-----------------|---------------------------|------|--------|-----------------|-----------------|--------|-----|----|----|-------------------|-----------------------------|
|    |                 |                           |      | 長さ(m)  | 上幅(m)           | 下幅(m)           | 深さ(cm) |     |    |    |                   |                             |
| 1  | E 5 E2 ~ F 5 a1 | N - 37° - E<br>N - 9° - E | J 字状 | (21.4) | 2.30 ~ 3.05     | 1.75 ~ 2.78     | 8 ~ 13 | 不定形 | 緩斜 | -  | 土師質土器, 陶器,<br>窯道具 | S F 2, S D 11,<br>SK74 → 本跡 |
| 2  | E 5 E3 ~ E 5 j4 | N - 9° - E                | 直線状  | (16.2) | (0.65) ~ (2.35) | (0.65) ~ (1.10) | 5 ~ 10 | -   | 緩斜 | 人為 | 土師質土器, 陶器,<br>砥石  | 本跡 → SF1, SN<br>2           |

(3) 溝跡

第 12 号溝跡 (第 81 図)

位置 調査区中央部の F 4 c9 ~ F 5 a3 区, 標高 37 m ほどの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 西端部が調査区域外へ延び, 東端部は削平されているため, 長さ 14.57 m しか確認できなかった。F4c9 区から東方向に (N - 57° - E) に直線的に延びている。上幅 0.22 ~ 0.69m, 下幅 0.10 ~ 0.44m, 深さ 8 ~ 15cm である。底面は浅い U 字状で, 壁は外傾して立ち上がっている。

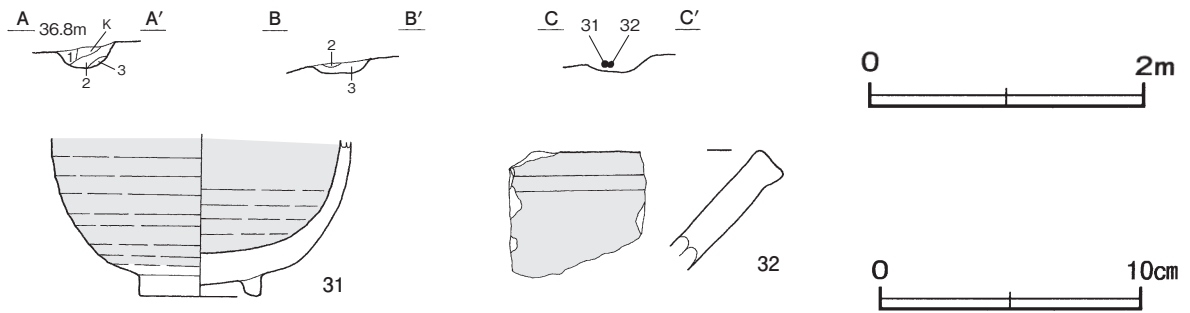
覆土 3 層に分層できる。周囲から流れ込んだ堆積状況を示していることから自然堆積である。

土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 黒色 白色スコリア少量, ロームブロック・炭化材微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化材微量

遺物出土状況 陶器片 2 点 (鉢, 尾呂茶碗) が出土している。32 は中央部の底面から, 31 は中央部西寄りの底面から出土している。

所見 時期は, 出土土器から 17 世紀後葉以降と考えられる。



第 81 図 第 12 号溝跡・出土遺物実測図

第 12 号溝跡出土遺物観察表 (第 81 図)

| 番号 | 種別 | 器種   | 口径 | 器高    | 底径    | 胎土    | 色調  | 焼成 | 手法の特徴ほか     | 出土位置 | 備考             |
|----|----|------|----|-------|-------|-------|-----|----|-------------|------|----------------|
| 31 | 陶器 | 尾呂茶碗 | -  | (6.1) | [4.8] | 長石・石英 | 褐   | 普通 | 高台部除き外・内面鉄釉 | 底面   | 30%<br>瀬戸 PL16 |
| 32 | 陶器 | 鉢    | -  | (4.7) | -     | 長石    | 暗赤褐 | 良好 | 鉄釉 内面釉剥離    | 底面   | 10% 常滑         |

### 3 その他の遺構と遺物

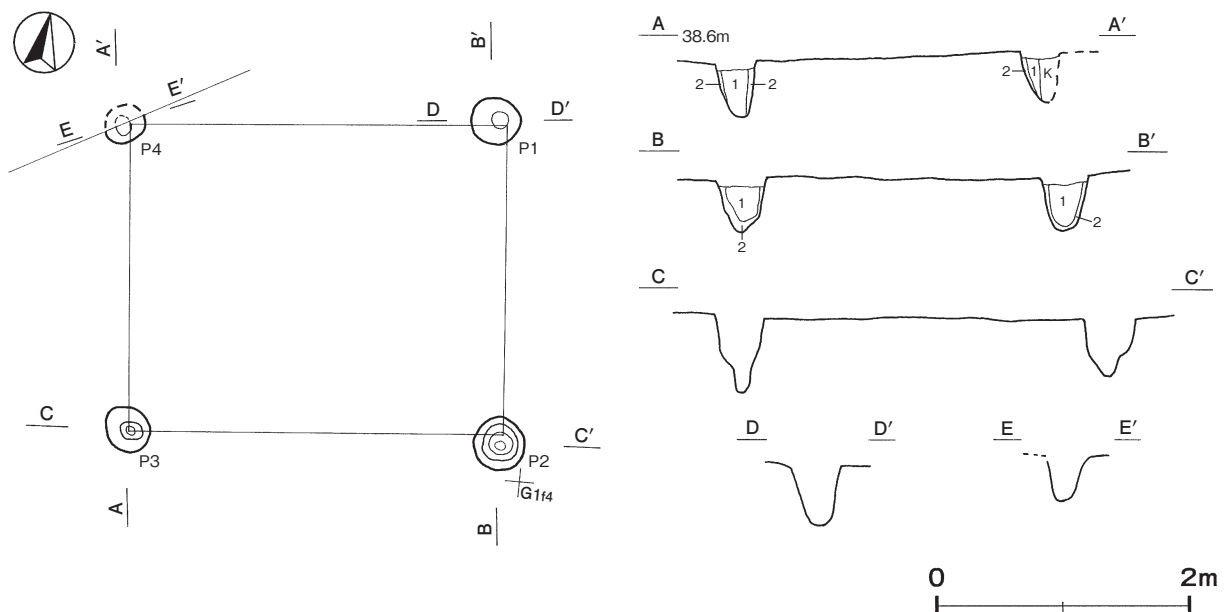
出土遺物がないことから、時期を決定できない掘立柱建物跡 3 棟、井戸跡 1 基、土坑 145 基、溝跡 15 条、ピット群 6 か所が確認できた。また、遺構に伴わない遺物が出土している。以下、特色ある遺構について記述し、それ以外は実測図と一覧表を掲載する。

#### (1) 掘立柱建物跡

##### 第 1 号掘立柱建物跡 (第 82 図)

**位置** 調査区西部の G 1 e3 区、標高 38 m ほどの平坦な台地上に位置している。

**規模と形状** 桁行、梁行ともに 1 間の側柱建物跡で、桁行方向が N - 84° - E の東西棟である。規模は桁行 3.00m、梁行 2.40m で、面積は 7.20㎡である。柱間寸法は桁行が 3.00m (10 尺)、梁行が 2.40m (8 尺) で、柱筋はほぼ揃っている。



第 82 図 第 1 号掘立柱建物跡実測図

**柱穴** 4か所。平面形は円形で、径30～42cmである。深さは34～60cmである。

**覆土** 2層に分層できる。第1層は抜き取り後の覆土、第2層は埋土である。

**土層解説**

1 黒色 ローム粒子・七本桜粒子微量

2 黒褐色 ロームブロック少量、七本桜パミス微量

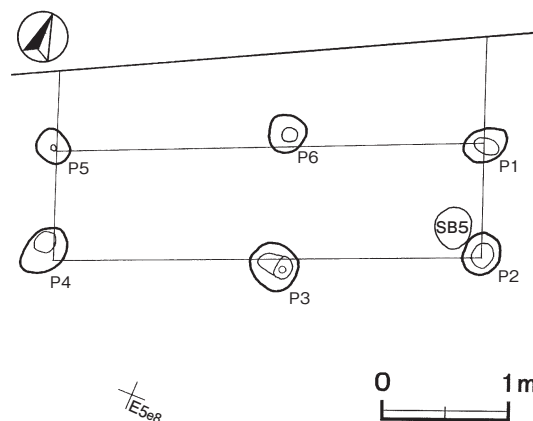
**所見** 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。

**第4号掘立柱建物跡（第83図）**

**位置** 調査区東部のE 5d8区、標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第5号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

**規模と構造** 北部が調査区域外に延びているため、梁行は2間で桁行は1間しか確認できなかった。桁行方向がN-22°-Wの南北棟である。規模は桁行が1.90m以上、梁行が3.30mである。柱間寸法は、梁行が西平から1.80m（6尺）、1.50m（5尺）、桁行が0.90m（3尺）で、柱筋はほぼ揃っている。



第83図 第4号掘立柱建物跡実測図

**柱穴** 6か所。平面形は、径23～43cmの円形または楕円形で、深さは10～36cmである。

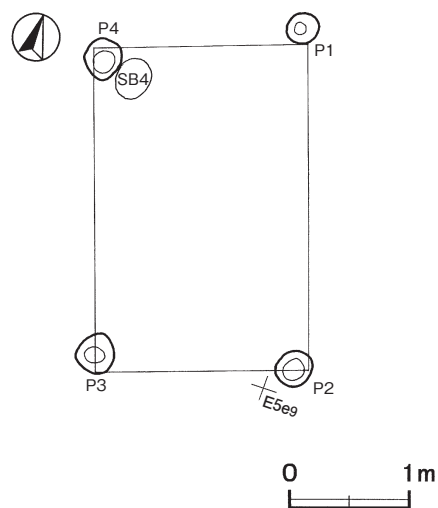
**所見** 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。

**第5号掘立柱建物跡（第84図）**

**位置** 調査区東部のE 5d8区、標高37mほどの平坦な台地上に位置している。

**重複関係** 第4号掘立柱建物跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

**規模と構造** 桁行、梁行ともに1間の側柱建物跡で、桁行方向がN-20°-Wの南北棟である。規模は桁行2.70m（9尺）、梁行1.80m（6尺）で、面積は4.86㎡である。柱筋はほぼ揃っている。



第84図 第5号掘立柱建物跡実測図

**柱穴** 4か所。平面形は、径25～35cmの円形または楕円形で、深さは12～29cmである。

**所見** 時期は、伴う遺物が出土していないため不明である。

表13 時期不明の掘立柱建物跡一覧

| 番号 | 位置    | 桁行方向    | 柱間数    |             | 面積<br>(㎡) | 柱間寸法      |       | 柱穴 |     |        |        | 主な出土遺物 | 備考<br>重複関係(古→新) |
|----|-------|---------|--------|-------------|-----------|-----------|-------|----|-----|--------|--------|--------|-----------------|
|    |       |         | 桁×梁(間) | 桁×梁(m)      |           | 桁間(m)     | 梁間(m) | 構造 | 柱穴数 | 平面形    | 深さ(cm) |        |                 |
| 1  | G 1e3 | N-84°-W | 1×1    | 3.00×2.40   | 7.2       | 3.00      | 2.40  | 側柱 | 4   | 円形     | 34～60  | -      |                 |
| 4  | E 5d8 | N-22°-W | (1)×2  | (1.90)×3.30 | (5.94)    | 1.50～1.80 | 0.90  | 総柱 | 6   | 円形・楕円形 | 10～36  | -      | SB5             |
| 5  | E 5d8 | N-20°-W | 1×1    | 2.70×1.80   | 4.86      | 2.70      | 1.80  | 側柱 | 4   | 円形・楕円形 | 12～29  | -      | SB4             |

(2) 井戸跡

第1号井戸跡(第85図)

位置 調査区西部のF2j6区, 標高38mほどのほぼ平坦な台地上に位置している。

重複関係 第8号溝跡と重複しているが, 新旧関係は不明である。

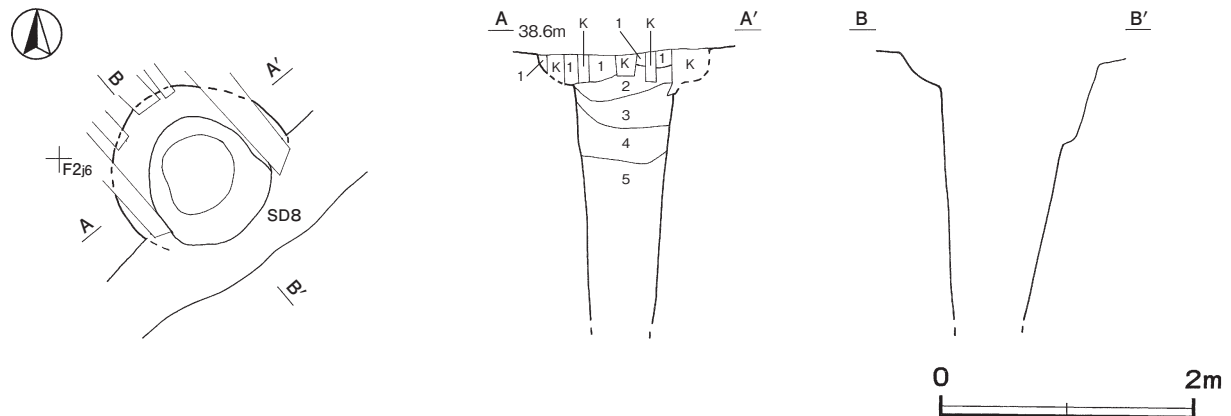
規模と形状 南東部が第8号溝跡と重複しているため, 確認面の北東・南西径は1.42mで, 北西・南東径は1.28mしか確認できなかった。円形と推定される。確認面から0.27mまで漏斗状に, 以下は径0.78mほどの円筒状に掘り込まれ, 下部に向かい徐々に狭まっている。2.07mほど掘り下げた時点で壁の崩落が想定できたので, 下部の調査を断念した。

覆土 5層に分層できる。ロームブロックや鹿沼パミスブロックが含まれていることから, 埋め戻されている。

土層解説

- |       |                        |       |           |
|-------|------------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 鹿沼パミスブロック微量 | 4 黒褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量, 鹿沼パミスブロック少量 | 5 褐色  | ローム粒子多量   |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 鹿沼パミスブロック微量 |       |           |

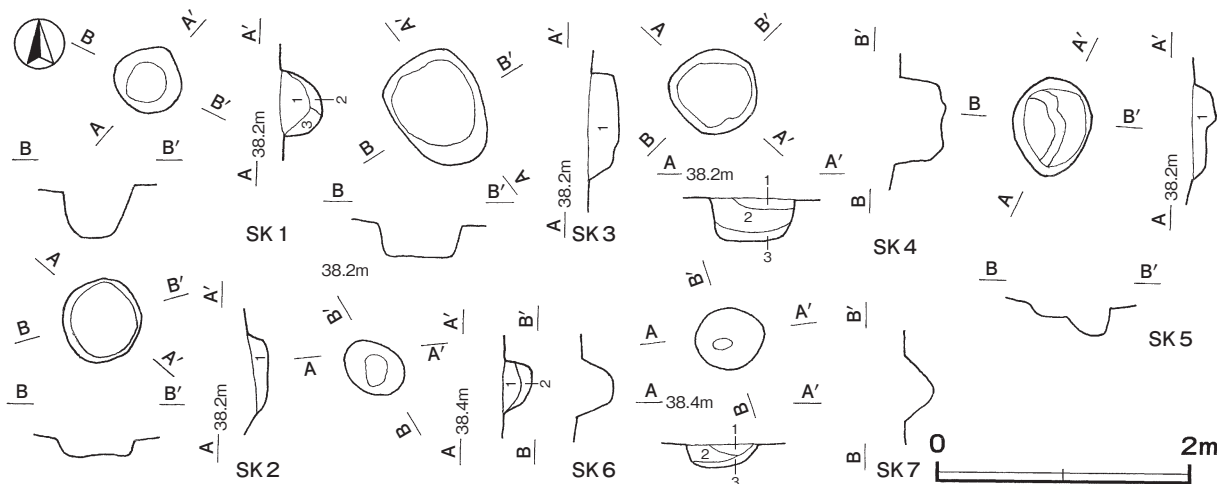
所見 時期は, 伴う遺物が出土していないため不明である。



第85図 第1号井戸跡実測図

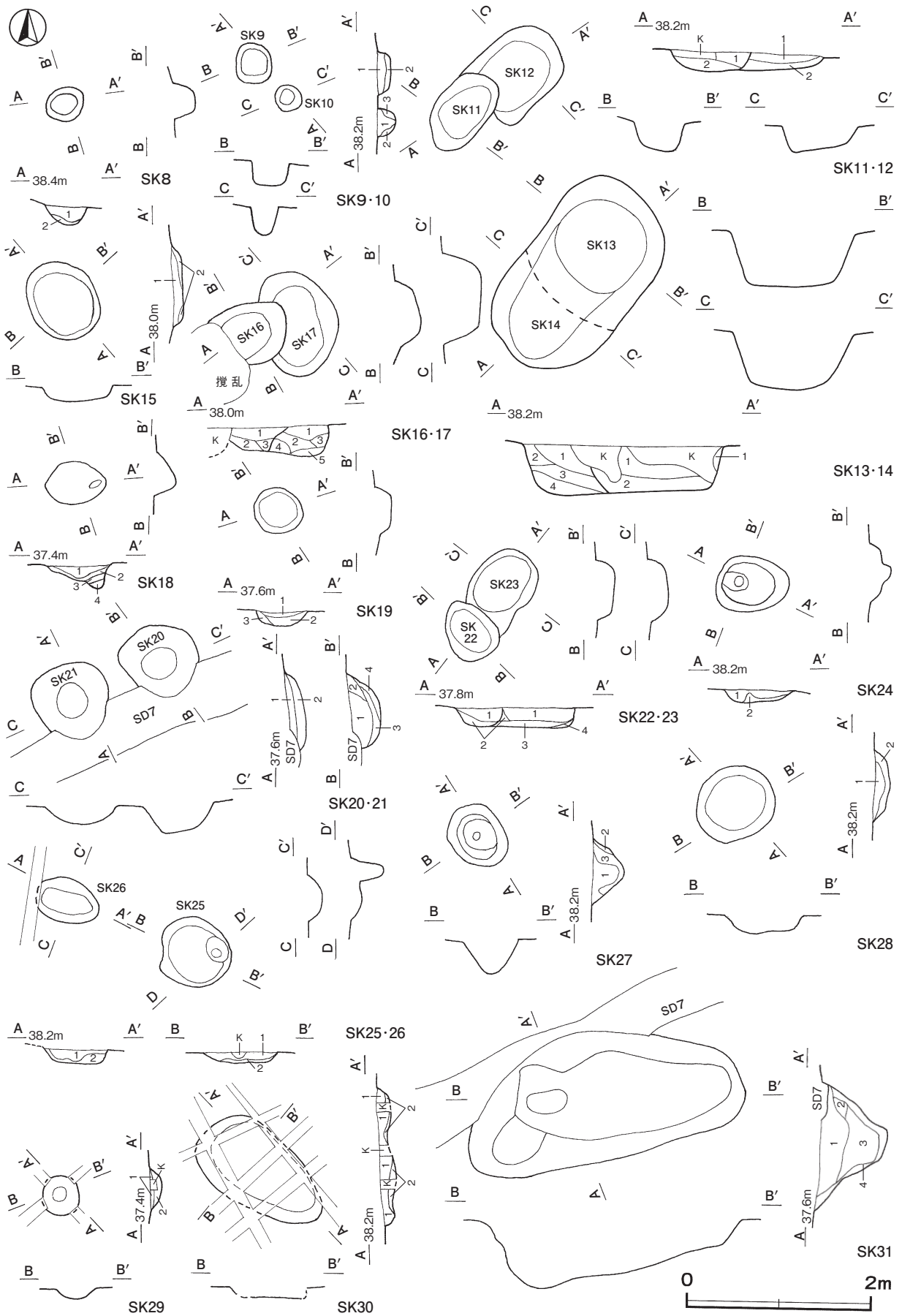
(3) 土坑

今回の調査で, 性格・時期ともに不明な土坑145基を確認した。これらの土坑については, 規模・形状等について実測図と土層解説, 一覧表を掲載するにとどめる。

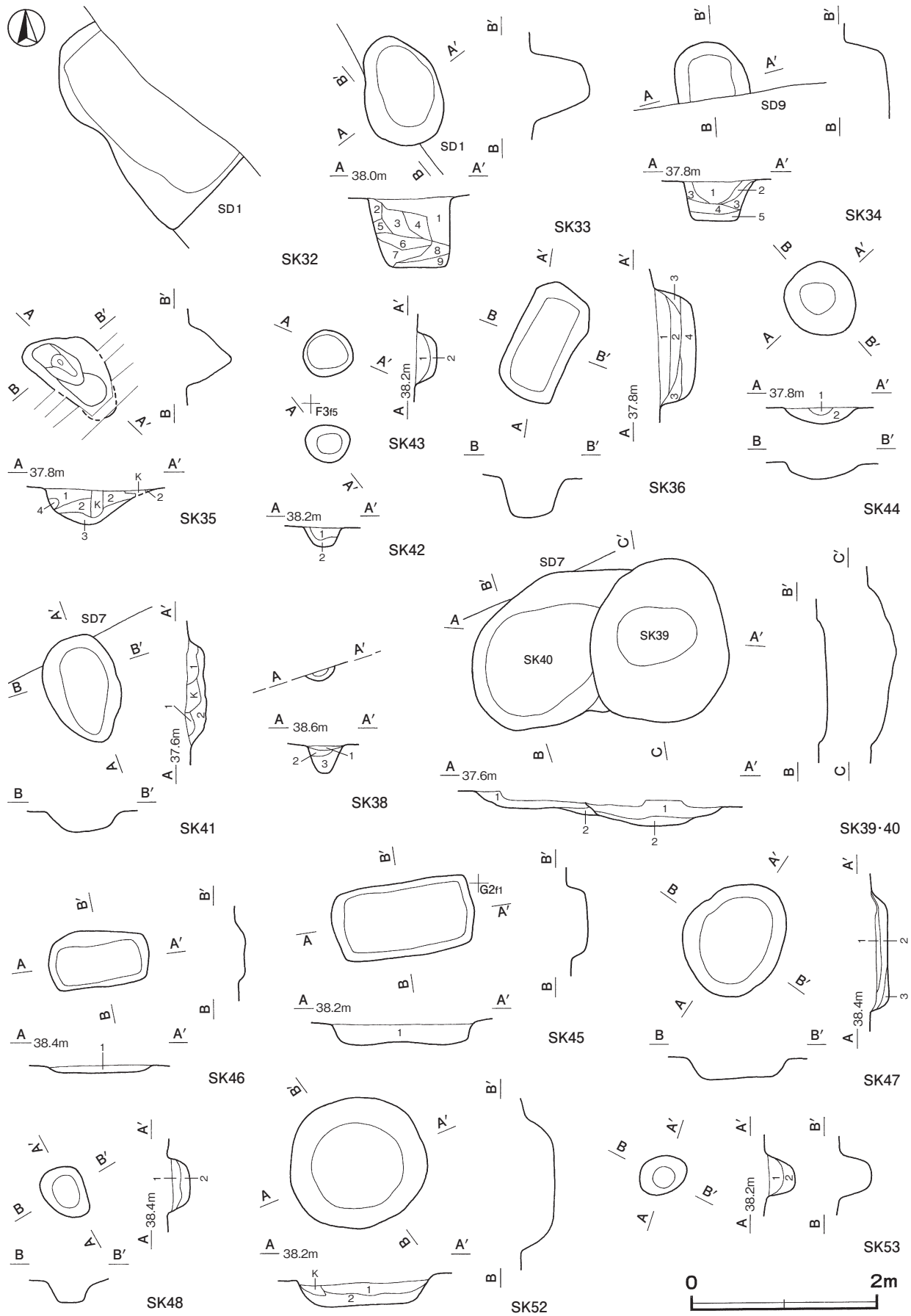


第86図 時期不明の土坑実測図(1)

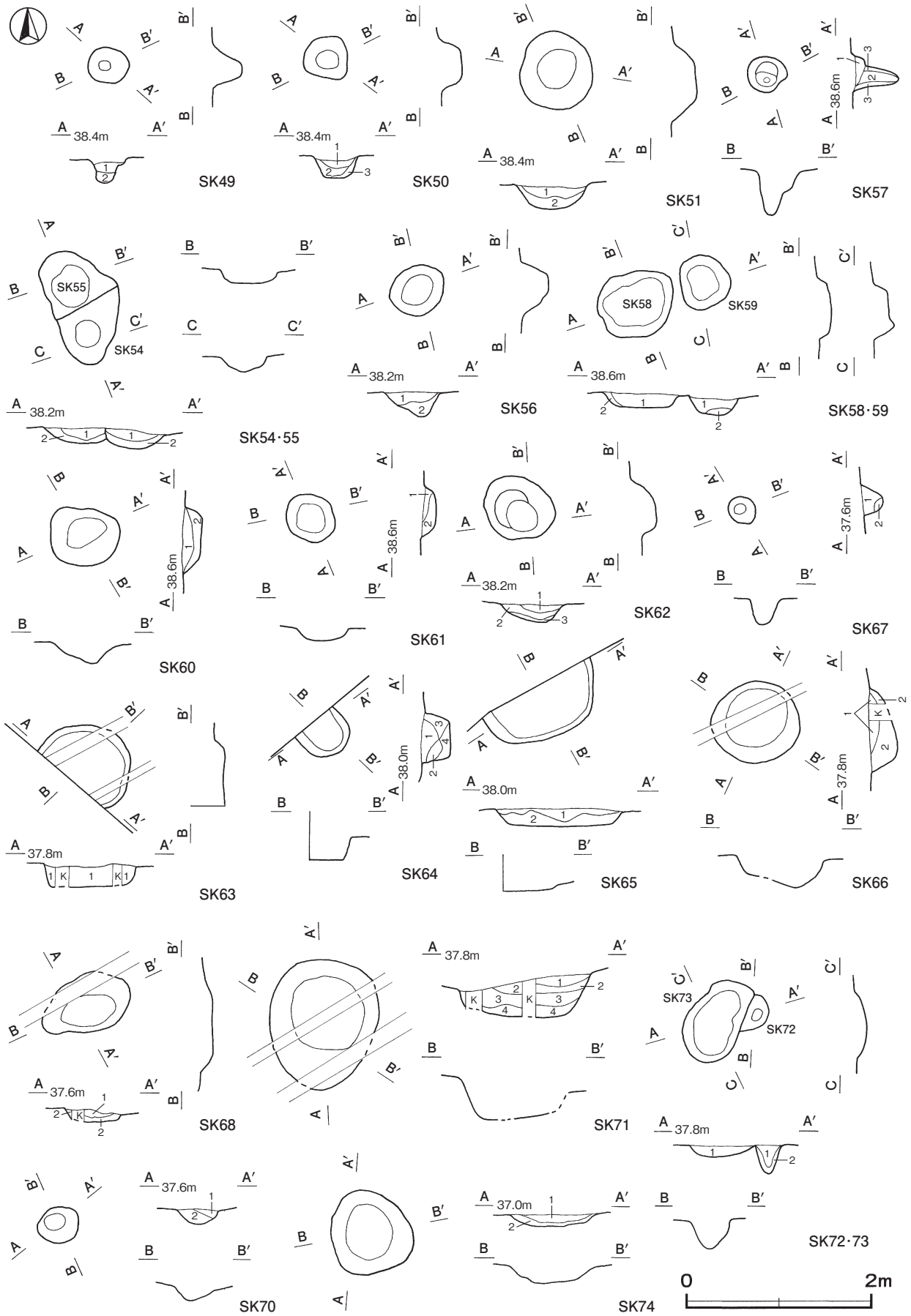




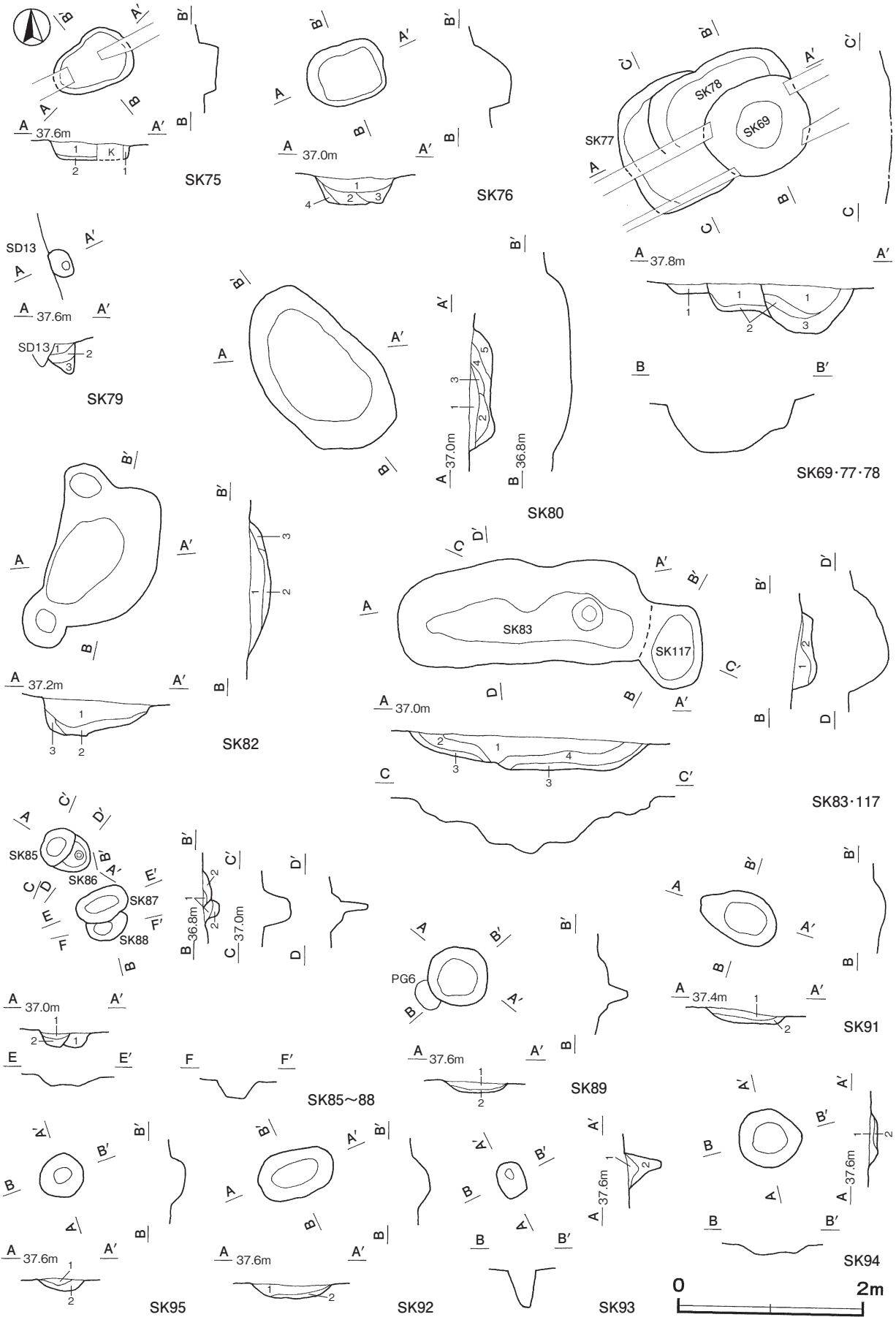
第 87 図 時期不明の土坑実測図 (2)



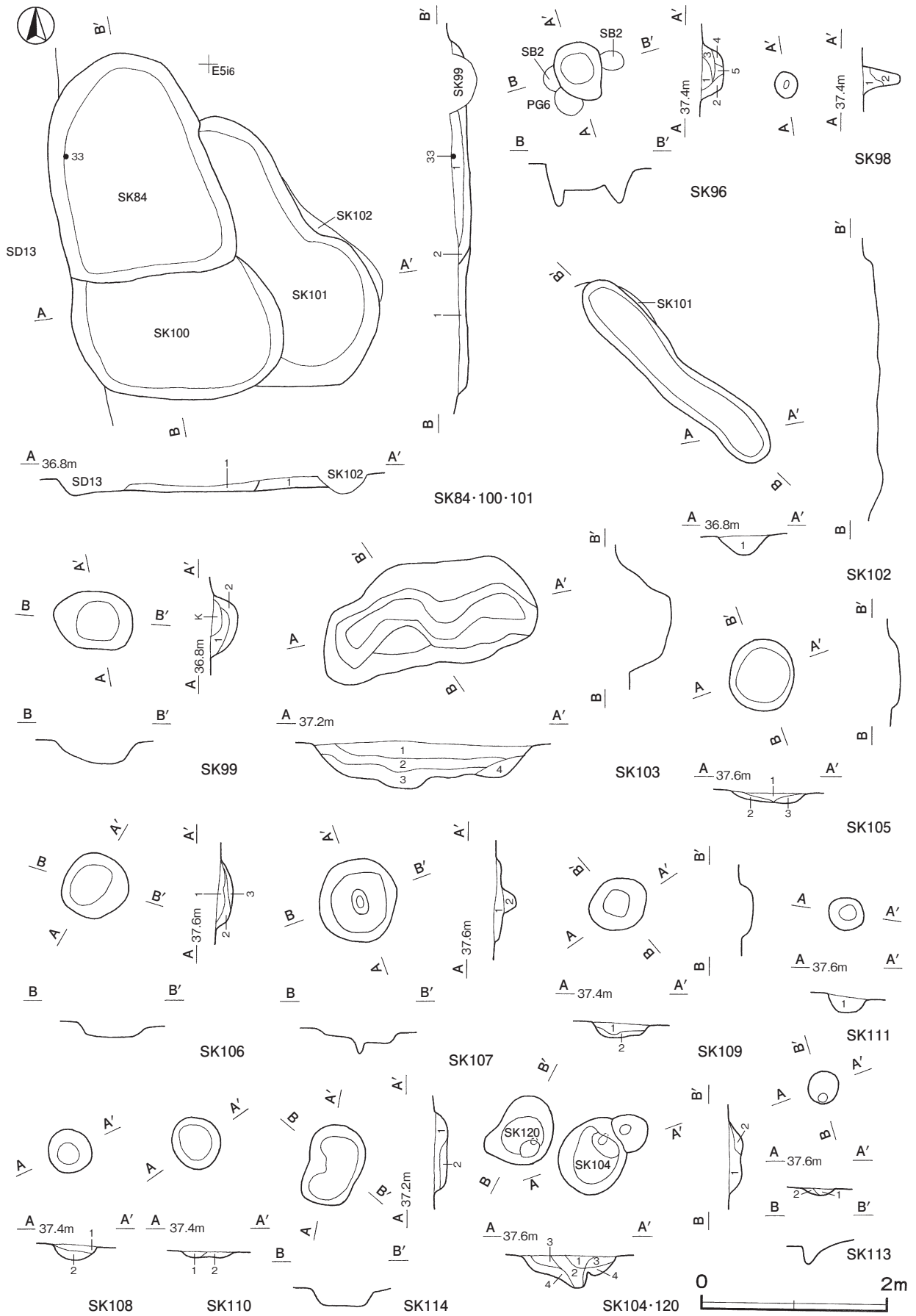
第 88 図 時期不明の土坑実測図 (3)



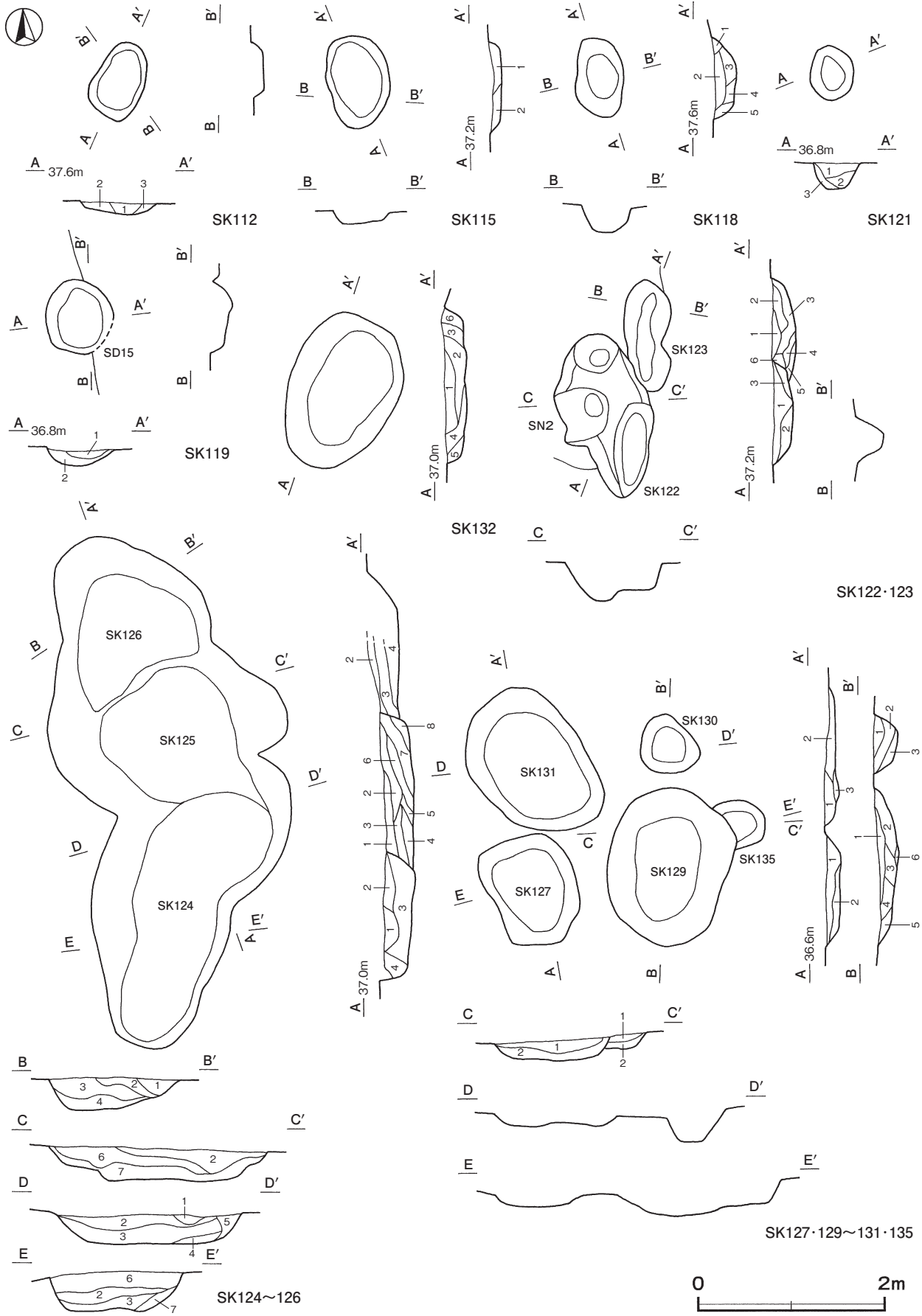
第 89 図 時期不明の土坑実測図 (4)



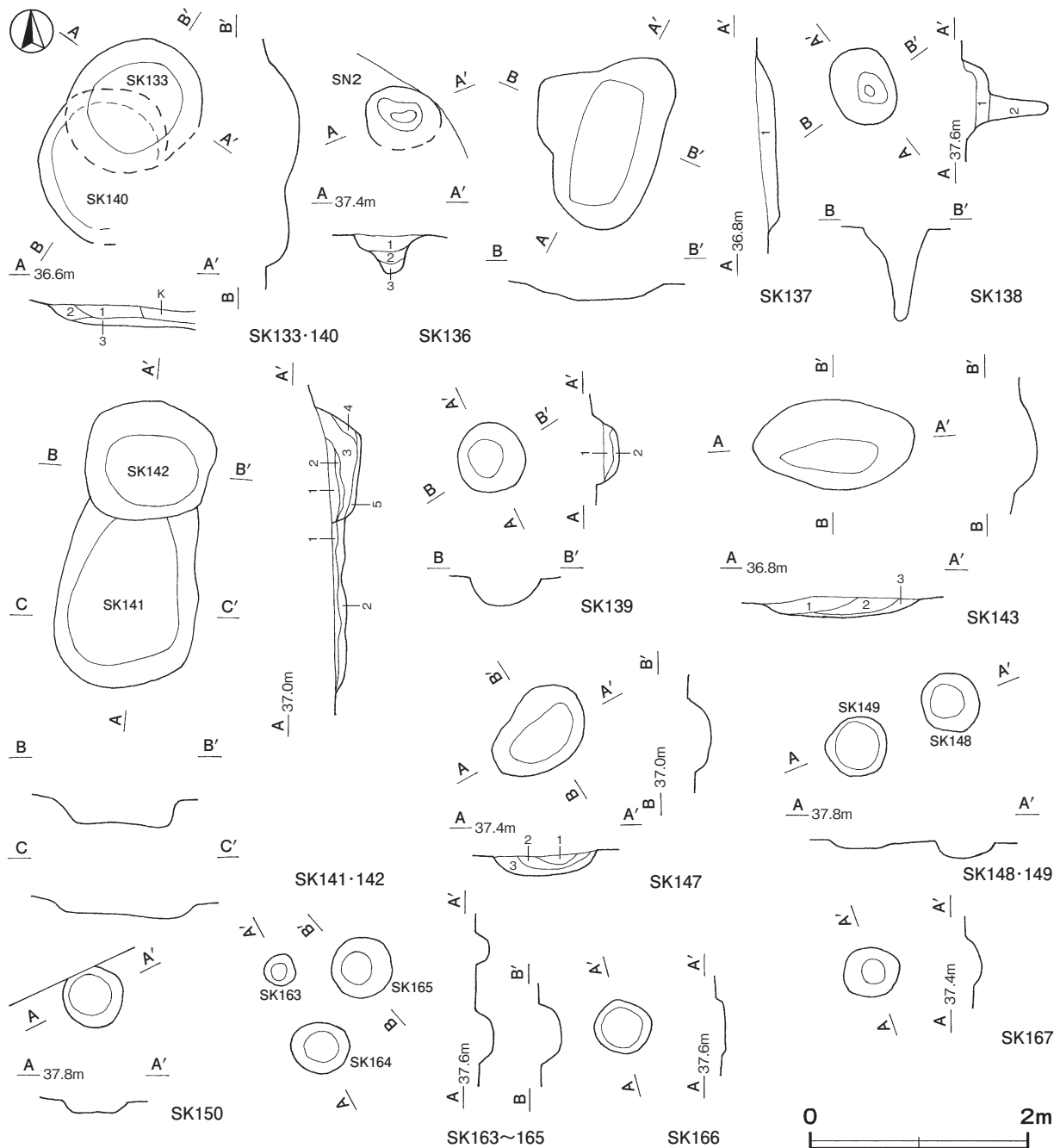
第90図 時期不明の土坑実測図 (5)



第91図 時期不明の土坑実測図 (6)



第 92 図 時期不明の土坑実測図 (7)



第 93 図 時期不明の土坑実測図 (8)

第 1 号土坑土層解説

- 1 黒 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・白色粒子微量
- 2 褐 灰 色 ローム粒子少量, 焼土粒子・白色粒子微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子・白色粒子微量

第 2 号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 焼土ブロック少量

第 3 号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量

第 4 号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 3 黒 色 ロームブロック・焼土粒子少量

第 5 号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 焼土ブロック・炭化物微量

第 6 号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子少量, 白色粒子・七本桜バミス微量

- 2 褐 色 ローム粒子多量, 白色粒子・七本桜バミス微量

第 7 号土坑土層解説

- 1 黒 色 ローム粒子・焼土粒子・白色粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・白色粒子・七本桜バミス微量
- 3 褐 灰 色 ローム粒子少量, 焼土粒子・白色粒子微量

第 8 号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子多量, 白色粒子・七本桜バミス微量

第 9 号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子少量, 白色粒子・七本桜バミス微量
- 2 褐 色 ローム粒子中量, 七本桜バミス微量

第 10 号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・白色粒子・七本桜バミス微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量, 白色粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒子多量, 七本桜バミス微量

**第 11 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 七本桜パミス微量
- 2 黒 色 ロームブロック少量, 七本桜パミス微量

**第 12 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 七本桜パミス微量
- 2 黒 色 ロームブロック中量

**第 13 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 2 黒 色 ロームブロック微量

**第 14 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 ローム粒子微量
- 2 黒 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 黒 色 ロームブロック少量

**第 15 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

**第 16 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量

**第 17 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ローム粒子中量
- 4 褐 色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量
- 5 褐 色 ローム粒子多量

**第 18 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック微量

**第 19 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 2 灰 褐 色 ロームブロック中量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子微量

**第 20 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・七本桜パミス・鉄分微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・七本桜パミス少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック少量, 七本桜パミス微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック・七本桜パミス少量

**第 21 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 2 灰 褐 色 ロームブロック少量, 七本桜パミス微量

**第 22 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量

**第 23 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・粘土粒子微量
- 2 黒 褐 色 粘土ブロック中量, ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック少量

**第 24 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・白色スコリア少量,
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

**第 25 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・白色スコリア微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**第 26 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 白色スコリア少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

**第 27 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 ロームブロック・焼土粒子・白色スコリア少量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック・白色スコリア少量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量, 白色スコリア少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

**第 28 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・白色スコリア少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**第 29 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**第 30 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**第 31 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 粘土粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 色 粘土ブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 黒 色 焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量
- 4 黒 色 粘土ブロック中量, 焼土粒子微量

**第 33 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 黒 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 4 黒 色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 6 黒 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 7 褐 色 白色粘土ブロック中量, ローム粒子・焼土粒子微量
- 8 黒 褐 色 ロームブロック・粘土ブロック少量, 焼土粒子微量
- 9 黒 褐 色 白色粘土ブロック・ロームブロック少量, 焼土粒子微量

**第 34 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 黒 褐 色 ローム粒子・焼土粒子・鹿沼パミス微量
- 3 黒 褐 色 鹿沼パミス少量, ロームブロック微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック・粘土粒子・鹿沼パミス微量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック・鹿沼パミス少量, 粘土ブロック微量

**第 35 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量
- 2 黒 色 粘土ブロック・ローム粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・粘土粒子微量
- 4 黄 灰 褐 色 粘土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量

**第 36 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒 色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック中量

**第 38 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・白色粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック微量
- 3 黒 褐 色 ローム粒子少量

**第 39 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子・粘土粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量, 粘土ブロック少量

**第 40 号土坑土層解説**

- 1 黒 褐 色 ローム粒子少量, 七本桜パミス・粘土粒子微量
- 2 灰 褐 色 ローム粒子・粘土粒子少量

**第 41 号土坑土層解説**

- 1 黒 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・白色スコリア微量



第42号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・白色スコリア微量

第43号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第44号土坑土層解説

- 1 黒色 ローム粒子・七本桜バミス微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

第45号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 粘土ブロック少量

第46号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量

第47号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 粘土粒子・七本桜バミス微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 白色粘土粒子・七本桜バミス微量
- 3 褐色 粘土ブロック・ローム粒子少量

第48号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・白色粘土粒子・七本桜バミス微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・白色粘土粒子・七本桜バミス微量

第49号土坑土層解説

- 1 黒褐色 白色粘土粒子少量, ロームブロック・七本桜バミス微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 七本桜バミス微量

第50号土坑土層解説

- 1 暗褐色 白色粒子少量, ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・白色粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 白色粒子・七本桜バミス微量

第51号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・白色粒子少量, 七本桜バミス微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 白色粒子・七本桜バミス微量

第52号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量, 白色粒子・七本桜バミス微量
- 2 褐色 ローム粒子多量, 七本桜バミス・鉄分微量

第53号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 白色粘土粒子・七本桜バミス微量
- 2 褐色 ローム粒子多量

第54号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック・白色粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 粘土ブロック・白色粒子・七本桜バミス微量

第55号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・白色粒子・七本桜バミス微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 七本桜バミス微量

第56号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・白色粒子少量, 七本桜バミス微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 白色粒子・七本桜バミス微量

第57号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・白色粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・七本桜バミス微量
- 2 黒色 ローム粒子・炭化粒子・白色粒子・七本桜バミス微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子・白色粒子・七本桜バミス微量

第58号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・七本桜バミス微量
- 2 褐色 ローム粒子多量, 七本桜バミス微量

第59号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・白色粒子・七本桜バミス少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子微量

第60号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・白色粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子・七本桜バミス微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 白色粒子・七本桜バミス少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第61号土坑土層解説

- 1 黒褐色 白色粒子少量, ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子・七本桜バミス微量

第62号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック・白色粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子・白色粒子微量

第63号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第64号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子・七本桜バミス微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 七本桜バミス中量, ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第65号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック中量, 焼土微量

第66号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子・七本桜バミス微量

第67号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 七本桜バミス微量

第68号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第69号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子微量
- 2 黒色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 黒色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量

第70号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量
- 2 黒色 ローム粒子中量

第71号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 黒色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第72号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第73号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 炭化粒子・七本桜バミス微量

第74号土坑土層解説

- 1 黒色 粘土ブロック・七本桜バミス微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック・細礫・七本桜バミス微量

第75号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

**第76号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 白色粘土ブロック・ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 オリーブ褐色 白色粘土ブロック中量, ローム粒子微量
- 3 黒褐色 白色粘土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 暗オリーブ褐色 白色粘土ブロック中量, 炭化粒子・七本桜バミス微量

**第77号土坑土層解説**

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

**第78号土坑土層解説**

- 1 黒色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子・七本桜バミス微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

**第79号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 白色粘土ブロック微量

**第80号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 白色粘土ブロック・ローム粒子微量
- 3 黒褐色 白色粘土ブロック少量, ローム粒子微量
- 4 灰黄褐色 白色粘土粒子中量, ローム粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック少量

**第82号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

**第83号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 黒色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック微量

**第84号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子微量

**第85号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・粘土粒子微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子微量

**第86号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック微量

**第87号土坑土層解説**

- 1 黒色 ローム粒子微量
- 2 灰褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量

**第88号土坑土層解説**

- 1 褐色 粘土ブロック中量, ローム粒子微量
- 2 黒色 ロームブロック・粘土ブロック微量

**第89号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量

**第91号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

**第92号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 炭化物・ローム粒子・焼土粒子微量
- 2 明褐色 白色粘土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量

**第93号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

**第94号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量, 焼土粒子微量

**第95号土坑土層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

**第96号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 白色粘土ブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**第98号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

**第99号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量

**第100号土坑土層解説**

- 1 灰褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量

**第101号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量

**第102号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック微量

**第103号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒色 ローム粒子・粘土粒子微量
- 3 黒色 ロームブロック・粘土ブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土粒子微量

**第104号土坑土層解説**

- 1 灰黄褐色 ローム粒子微量
- 2 にぶい黄褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 灰黄褐色 ロームブロック・粘土ブロック少量

**第105号土坑土層解説**

- 1 黒色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

**第106号土坑土層解説**

- 1 灰暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

**第107号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・七本桜バミス微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック中量

**第108号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子・白色スコリア微量
- 2 褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子微量

**第109号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子微量

**第110号土坑土層解説**

- 1 極暗褐色 ロームブロック・七本桜バミス・白色スコリア微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・七本桜バミス少量, 白色スコリア・焼土粒子微量

**第111号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

**第112号土坑土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子・白色スコリア微量

第 113 号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子・七本桜バミス微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第 114 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック・七本桜バミス微量
- 2 灰黄褐色 ロームブロック中量

第 115 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・粘土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック微量

第 117 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・粘土粒子微量
- 2 灰黄褐色 粘土粒子少量, ローム粒子微量

第 118 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 黒色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量

第 119 号土坑土層解説

- 1 褐灰色 ローム粒子少量
- 2 褐灰色 ローム粒子微量

第 120 号土坑土層解説

- 1 灰黄褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量

第 121 号土坑土層解説

- 1 灰褐色 炭化物・ローム粒子微量
- 2 灰黄褐色 粘土ブロック・炭化物・ローム粒子微量
- 3 灰黄褐色 炭化物・ローム粒子微量

第 122 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 3 褐灰色 粘土ブロック・ローム粒子微量

第 123 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・粘土粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 粘土ブロック微量
- 4 明褐灰色 粘土ブロック多量
- 5 にぶい褐色 ロームブロック・粘土ブロック少量
- 6 褐色 ロームブロック多量

第 124 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量
- 3 黒色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量
- 4 黒褐色 ロームブロック微量
- 5 灰白色 白色粘土ブロック多量
- 6 灰褐色 ローム粒子微量
- 7 黒褐色 白色粘土ブロック中量, ロームブロック少量

第 125 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック少量
- 3 黒褐色 白色粘土ブロック少量, ロームブロック微量
- 4 黒色 ローム粒子微量
- 5 にぶい黄褐色 白色粘土ブロック多量
- 6 黒色 ロームブロック少量, 白色粘土ブロック微量
- 7 黒褐色 ロームブロック中量, 白色粘土ブロック少量
- 8 黒色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量

第 126 号土坑土層解説

- 1 灰黄褐色 白色粘土ブロック多量, ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・粘土ブロック少量
- 3 黒色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量
- 4 灰黄褐色 粘土ブロック多量, ロームブロック微量

第 127 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 白色粘土ブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 白色粘土ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第 129 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒色 白色粘土ブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 白色粘土ブロック・炭化粒子少量
- 4 暗褐色 白色粘土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 白色粘土ブロック少量
- 6 黒褐色 白色粘土ブロック少量, 炭化粒子微量

第 130 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 白色粘土粒子少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 白色粘土ブロック・炭化粒子微量
- 3 暗オリーブ褐色 白色粘土ブロック少量

第 131 号土坑土層解説

- 1 黒色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 白色粘土ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒色 白色粘土粒子微量

第 132 号土坑土層解説

- 1 黒色 ローム粒子微量
- 2 黒色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック少量
- 4 黒褐色 白色粘土ブロック・ローム粒子少量
- 5 黒褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量
- 6 黒褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック中量

第 133 号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 にぶい黄褐色 ロームブロック少量, 白色スコリア微量

第 135 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 焼土粒子多量, 白色スコリア微量
- 2 暗褐色 粘土ブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第 136 号土坑土層解説

- 1 褐灰色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 黒褐色 ローム粒子微量

第 137 号土坑土層解説

- 1 暗オリーブ褐色 白色粘土ブロック・焼土粒子微量

第 138 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量

第 139 号土坑土層解説

- 1 灰褐色 ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第 141 号土坑土層解説

- 1 黒色 粘土ブロック少量, 焼土粒子・ローム粒子微量
- 2 暗オリーブ褐色 焼土粒子・炭化粒子微量

第 142 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 白色粘土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 粘土ブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 粘土ブロック・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 炭化粒子微量
- 5 褐色 粘土ブロック・礫少量, 焼土粒子微量

第 143 号土坑土層解説

- 1 暗褐色 白色スコリア粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗オリーブ褐色 粘土ブロック少量, 炭化粒子微量

第 147 号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子・白色粘土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 灰褐色 ローム粒子・砂粒子少量

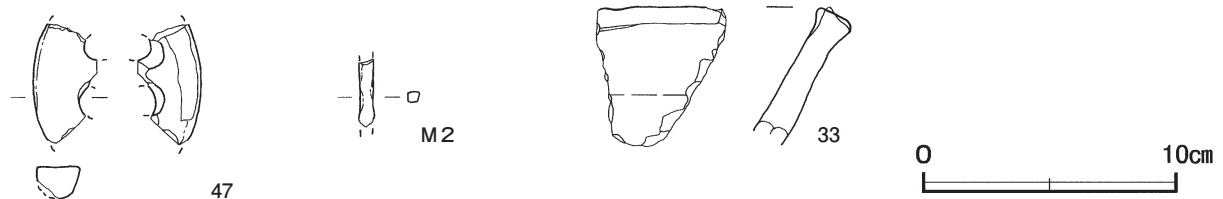
表 14 時期不明の土坑一覧表

| 番号 | 位置    | 長径方向          | 平面形   | 規模            |        | 底面  | 壁面       | 覆土 | 主な出土遺物  | 備考<br>重複関係(古→新) |
|----|-------|---------------|-------|---------------|--------|-----|----------|----|---------|-----------------|
|    |       |               |       | 長径×短径(m)      | 深さ(cm) |     |          |    |         |                 |
| 1  | F 3a6 | -             | 円形    | 0.55 × 0.54   | 41     | 皿状  | 外傾       | 人為 | -       |                 |
| 2  | F 3b7 | -             | 円形    | 0.70 × 0.64   | 13     | 平坦  | 直立       | 人為 | -       |                 |
| 3  | F 3b7 | N - 42° - W   | 楕円形   | 0.92 × 0.70   | 25     | 平坦  | 外傾       | 人為 | -       |                 |
| 4  | F 3b7 | -             | 円形    | 0.70 × 0.69   | 37     | 凸凹  | 直立       | 自然 | -       |                 |
| 5  | F 3c7 | N - 10° - E   | 楕円形   | 0.72 × 0.61   | 21     | 階段状 | 外傾       | 人為 | -       |                 |
| 6  | F 3c6 | N - 71° - W   | 楕円形   | 0.52 × 0.41   | 28     | 皿状  | 外傾       | -  | -       |                 |
| 7  | F 3c6 | N - 72° - E   | 楕円形   | 0.56 × 0.50   | 21     | 皿状  | 緩斜       | 自然 | -       |                 |
| 8  | F 3c6 | N - 65° - E   | 楕円形   | 0.47 × 0.37   | 23     | 皿状  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 9  | F 3c7 | N - 35° - W   | 楕円形   | 0.49 × 0.43   | 27     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 10 | F 3c7 | -             | 円形    | 0.30 × 0.28   | 29     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 11 | F 3c8 | N - 44° - E   | 楕円形   | 0.94 × 0.57   | 30     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       | SK12 →本跡        |
| 12 | F 3c8 | N - 46° - E   | [楕円形] | (1.00) × 0.80 | 31     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       | 本跡 → SK11       |
| 13 | F 3c8 | [N - 35° - E] | [楕円形] | [1.46] × 1.32 | 57     | 平坦  | 外傾       | 自然 | 土師器     | SK14 →本跡        |
| 14 | F 3c8 | [N - 41° - E] | [楕円形] | (1.07) × 1.35 | 61     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       | 本跡 → SK13       |
| 15 | F 3d8 | N - 40° - W   | 楕円形   | 0.88 × 0.76   | 17     | 平坦  | 外傾       | 自然 | 土師器, 鉄滓 |                 |
| 16 | F 3c8 | [N - 61° - E] | [楕円形] | (0.67) × 0.69 | 25     | 平坦  | 外傾       | 自然 | 土師器     |                 |
| 17 | F 3c8 | N - 15° - W   | 楕円形   | 1.14 × 0.82   | 40     | 平坦  | 外傾       | 人為 | -       |                 |
| 18 | F 4g1 | N - 73° - E   | 楕円形   | 0.68 × 0.47   | 25     | 皿状  | 外傾<br>緩斜 | 人為 | -       |                 |
| 19 | F 3f9 | -             | 円形    | 0.55 × 0.51   | 15     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 20 | F 3g8 | -             | [円形]  | 0.86 × (0.80) | 32     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       | 本跡 → SD 7       |
| 21 | F 3g7 | -             | [円形]  | 0.87 × (0.85) | 19     | 平坦  | 緩斜       | 自然 | -       | 本跡 → SD 7       |
| 22 | F 3f6 | N - 30° - W   | 楕円形   | 0.68 × 0.52   | 20     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       | SK23 →本跡        |
| 23 | F 3f7 | N - 27° - E   | [楕円形] | (0.79) × 0.68 | 21     | 平坦  | 外傾       | 人為 | -       | 本跡 → SK22       |
| 24 | F 3e6 | N - 78° - E   | 楕円形   | 0.80 × 0.63   | 15     | 平坦  | 緩斜       | 自然 | -       |                 |
| 25 | F 3e5 | -             | 不整円形  | 0.81 × 0.74   | 13     | 平坦  | 緩斜       | 自然 | -       |                 |
| 26 | F 3e5 | N - 74° - W   | 楕円形   | [0.70] × 0.49 | 14     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 27 | F 3d6 | N - 36° - W   | 楕円形   | 0.73 × 0.60   | 36     | 皿状  | 外傾       | 自然 | 剥片(瑪瑙)  |                 |
| 28 | F 3e6 | N - 57° - E   | 楕円形   | 0.88 × 0.77   | 20     | 平坦  | 緩斜       | 自然 | -       |                 |
| 29 | F 3i6 | -             | 円形    | 0.43 × 0.40   | 11     | 皿状  | 緩斜       | 自然 | -       |                 |
| 30 | F 3g4 | N - 54° - W   | [楕円形] | 1.52 × [0.84] | 14     | 平坦  | 外傾       | 自然 | 土師器     |                 |
| 31 | F 3g8 | N - 72° - E   | 楕円形   | 3.04 × 1.43   | 75     | 皿状  | 外傾<br>緩斜 | -  | -       | 本跡 → SD7        |
| 32 | F 3e0 | N - 43° - W   | 長方形   | 2.28 × 1.05   | -      | -   | -        | -  | -       | SD1             |
| 33 | F 3d9 | N - 10° - W   | 楕円形   | 1.22 × 0.83   | 73     | 平坦  | 外傾       | 人為 | -       | SD1 →本跡         |
| 34 | G 2b0 | -             | [楕円形] | 0.79 × (0.6)  | 43     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       | 本跡 → SD 9       |
| 35 | G 3c1 | N - 41° - W   | 楕円形   | 1.18 × 0.63   | 48     | 皿状  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 36 | G 3b2 | N - 25° - E   | 隅丸長方形 | 1.29 × 0.70   | 44     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 38 | G 1d3 | -             | [円形]  | 0.36 × (0.12) | 29     | 皿状  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 39 | F 3h7 | N - 5° - E    | 楕円形   | 1.78 × 1.50   | 27     | 皿状  | 緩斜       | 自然 | -       | SK40 →本跡        |
| 40 | F 3h7 | [N - 60° - E] | [楕円形] | (1.80) × 1.40 | 11     | 平坦  | 緩斜       | 自然 | 土師器     | SD 7 →本跡 → SK39 |
| 41 | F 3h7 | N - 16° - W   | 楕円形   | 1.17 × 0.78   | 23     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       | SD 7 →本跡        |
| 42 | F 3f5 | -             | 円形    | 0.46 × 0.42   | 25     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 43 | F 3e5 | -             | 円形    | 0.54 × 0.51   | 23     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 44 | G 3a4 | -             | 円形    | 0.81 × 0.76   | 19     | 皿状  | 緩斜       | 自然 | -       |                 |
| 45 | G 1f0 | N - 80° - E   | 長方形   | 1.55 × 0.81   | 21     | 平坦  | 外傾       | 人為 | 陶器      |                 |
| 46 | G 1e0 | N - 83° - E   | 長方形   | 1.10 × 0.64   | 10     | 平坦  | 外傾       | 人為 | -       |                 |
| 47 | G 1f6 | N - 35° - E   | 楕円形   | 1.30 × 1.08   | 20     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 48 | G 1f7 | N - 27° - W   | 楕円形   | 0.60 × 0.48   | 22     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 49 | G 1e8 | N - 90°       | 楕円形   | 0.45 × 0.38   | 32     | 皿状  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 50 | G 1e7 | -             | 不整円形  | 0.50 × 0.49   | 28     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 51 | G 1e7 | N - 19° - W   | 楕円形   | 0.88 × 0.78   | 29     | 平坦  | 外傾       | 自然 | -       |                 |
| 52 | G 1f9 | -             | 円形    | 1.48 × 1.45   | 35     | 皿状  | 外傾       | 自然 | -       |                 |

保土通遺跡

| 番号  | 位置    | 長径方向          | 平面形     | 規 模           |         | 底 面 | 壁 面      | 覆 土 | 主 な 出 土 遺 物   | 備 考<br>重複関係 (古→新)       |
|-----|-------|---------------|---------|---------------|---------|-----|----------|-----|---------------|-------------------------|
|     |       |               |         | 長径×短径 (m)     | 深さ (cm) |     |          |     |               |                         |
| 53  | G 1g8 | N - 71° - E   | 楕円形     | 0.54 × 0.45   | 32      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 54  | G 1f0 | N - 63° - E   | [不整楕円形] | (0.73) × 0.60 | 23      | 皿状  | 外傾       | 自然  | -             | 本跡→SK55                 |
| 55  | G 1f0 | N - 27° - W   | [不整楕円形] | (0.64) × 0.76 | 15      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             | SK54→本跡                 |
| 56  | G 1f9 | N - 55° - E   | 楕円形     | 0.62 × 0.53   | 25      | 皿状  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 57  | G 1e4 | -             | 不整楕円形   | 0.42 × 0.39   | 50      | 皿状  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 58  | G 1c9 | N - 55° - E   | 楕円形     | 0.90 × 0.72   | 15      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 59  | G 1c9 | N - 30° - W   | 楕円形     | 0.58 × 0.51   | 22      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 60  | G 1b9 | N - 55° - W   | 不整楕円形   | 0.74 × 0.69   | 22      | 平坦  | 外傾<br>緩斜 | 自然  | -             |                         |
| 61  | G 2b1 | N - 55° - W   | 楕円形     | 0.55 × 0.50   | 15      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 62  | G 2c4 | N - 41° - W   | 楕円形     | 0.78 × 0.66   | 20      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 63  | E 4j6 | -             | [円形]    | 1.02 × (0.79) | 11      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 64  | E 4j5 | -             | [楕円形]   | 0.54 × (0.45) | 30      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 65  | E 4j6 | -             | [楕円形]   | 1.32 × (0.58) | 9       | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 66  | F 4a7 | N - 86° - W   | 楕円形     | 0.98 × 0.85   | 26      | 皿状  | 外傾       | 自然  | 陶器, 鉄製品       |                         |
| 67  | E 4j8 | -             | 円形      | 0.31 × 0.29   | 27      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 68  | E 4j9 | N - 63° - E   | 楕円形     | 1.05 × 0.64   | 13      | 平坦  | 緩斜       | 自然  | 碟             |                         |
| 69  | E 4j7 | N - 63° - E   | 楕円形     | 1.17 × 1.01   | 49      | 皿状  | 外傾       | 自然  | -             | SK77・78→本跡              |
| 70  | E 4j9 | N - 72° - E   | 楕円形     | 0.47 × 0.41   | 15      | 皿状  | 緩斜       | 自然  | -             |                         |
| 71  | E 4i8 | N - 8° - E    | 楕円形     | 1.40 × 1.19   | 45      | 平坦  | 外傾       | 自然  | 須恵器, 陶器, 瓦質土器 |                         |
| 72  | E 4i8 | N - 15° - E   | 楕円形     | 0.38 × 0.22   | 30      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 73  | E 4i8 | N - 21° - E   | 楕円形     | 0.84 × 0.56   | 10      | 皿状  | 緩斜       | 人為  | -             |                         |
| 74  | F 5a2 | -             | 円形      | 0.92 × 0.90   | 15      | 皿状  | 緩斜       | 自然  | -             | SD11→本跡→SF1             |
| 75  | E 4g0 | N - 62° - E   | 楕円形     | 0.90 × 0.61   | 21      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             |                         |
| 76  | F 5b2 | N - 69° - E   | 楕円形     | 0.89 × 0.67   | 35      | 平坦  | 外傾       | 自然  | ガラス製品         |                         |
| 77  | E 4j6 | N - 27° - E   | [楕円形]   | 1.39 × (0.85) | 8       | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             | 本跡→SK69・78              |
| 78  | E 4j7 | N - 63° - E   | [楕円形]   | 1.64 × (0.78) | 32      | 平坦  | 外傾       | -   | -             | SK77→本跡→SK69            |
| 79  | E 5f5 | [N - 38° - E] | [楕円形]   | 0.34 × [0.25] | 35      | 皿状  | 外傾       | 自然  | -             | 本跡→SD13                 |
| 80  | E 5i6 | N - 39° - W   | 楕円形     | 1.97 × 1.15   | 28      | 皿状  | 緩斜       | -   | -             |                         |
| 82  | E 6e1 | N - 15° - E   | 不定形     | 2.05 × 1.11   | 37      | 皿状  | 直立<br>緩斜 | 自然  | -             |                         |
| 83  | E 6f2 | N - 90°       | 不整楕円    | (2.75) × 1.14 | 40 (56) | 凸凹  | 外傾       | 自然  | -             | SK117                   |
| 84  | E 5i5 | N - 11° - W   | 不整楕円    | 2.45 × 1.77   | 18      | 平坦  | 外傾       | 自然  | 土師器, 陶器       | SD13, SK100・101→本跡→SK99 |
| 85  | E 6d2 | N - 26° - E   | 楕円形     | 0.43 × 0.32   | 28      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             | SK86→本跡                 |
| 86  | E 6d2 | -             | [楕円形]   | 0.42 × (0.25) | 12      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             | 本跡→SK85                 |
| 87  | E 6d2 | N - 69° - E   | 楕円形     | 0.59 × 0.38   | 10      | 平坦  | 緩斜       | 自然  | -             | SK88→本跡                 |
| 88  | E 6d2 | [N - 65° - E] | [楕円形]   | 0.46 × (0.21) | 18      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             | 本跡→SK87                 |
| 89  | E 5e9 | -             | 円形      | 0.68 × 0.67   | 13      | 平坦  | 緩斜       | 自然  | 土師器           | SB2, PG6                |
| 91  | E 5f0 | N - 66° - W   | 楕円形     | 0.90 × 0.55   | 13      | 平坦  | 緩斜       | 自然  | -             |                         |
| 92  | E 5f9 | N - 70° - E   | 楕円形     | 0.86 × 0.54   | 15      | 平坦  | 緩斜       | 自然  | -             |                         |
| 93  | E 5f8 | N - 23° - W   | 楕円形     | 0.38 × 0.31   | 39      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 94  | E 5f9 | -             | 円形      | 0.70 × 0.65   | 10      | 平坦  | 緩斜       | 自然  | -             |                         |
| 95  | E 5f9 | -             | 円形      | 0.51 × 0.47   | 15      | 平坦  | 緩斜       | 自然  | -             |                         |
| 96  | E 5f0 | -             | 円形      | 0.57 × 0.52   | 24      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             | SB2, PG6                |
| 98  | E 5f0 | -             | 円形      | 0.27 × 0.25   | 38      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 99  | E 5i5 | N - 87° - W   | 楕円形     | 0.86 × 0.63   | 22      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             | SK84→本跡                 |
| 100 | E 5i5 | N - 87° - E   | [楕円形]   | 2.24 × (1.40) | 15      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             | SD13, SK101→<br>本跡→SK84 |
| 101 | E 5i6 | N - 27° - W   | 不整楕円形   | 3.27 × (1.08) | 14      | 平坦  | [外傾]     | -   | -             | 本跡→SK84・100・102         |
| 102 | E 5i6 | N - 43° - W   | 不整楕円形   | 2.69 × 0.46   | 29      | 平坦  | 外傾       | 人為  | -             | SK101→本跡                |
| 103 | E 5g6 | N - 78° - E   | 不整楕円形   | 2.38 × 1.10   | 53      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |
| 104 | E 5f8 | N - 58° - E   | 不整楕円形   | 1.11 × 0.72   | 46      | 皿状  | 緩斜       | 人為  | -             |                         |
| 105 | E 5c9 | -             | 円形      | 0.78 × 0.72   | 8       | 平坦  | 緩斜       | 自然  | -             |                         |
| 106 | E 5c0 | -             | 円形      | 0.70 × 0.70   | 10      | 平坦  | 外傾       | 自然  | -             |                         |

| 番号  | 位置     | 長径方向          | 平面形   | 40規 模           |         | 底面  | 壁面       | 覆土       | 主な出土遺物 | 備考<br>重複関係(古→新)   |
|-----|--------|---------------|-------|-----------------|---------|-----|----------|----------|--------|-------------------|
|     |        |               |       | 長径×短径(m)        | 深さ(cm)  |     |          |          |        |                   |
| 107 | E 5 c0 | -             | 円形    | 0.90 × 0.87     | 12 (25) | 凸凹  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 108 | E 5 c0 | -             | 円形    | 0.47 × 0.45     | 13      | 皿状  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 109 | E 6 c1 | N - 70° - E   | 楕円形   | 0.64 × 0.57     | 12      | 皿状  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 110 | E 6 c1 | N - 38° - W   | 楕円形   | 0.59 × 0.52     | 4       | 平坦  | 緩斜       | 自然       | -      |                   |
| 111 | E 5 c0 | -             | 円形    | 0.40 × 0.40     | 18      | 皿状  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 112 | E 5 c0 | N - 22° - E   | 楕円形   | 0.82 × 0.52     | 11      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 113 | E 5 c0 | -             | 円形    | 0.35 × 0.32     | 20      | V字状 | 直立       | 自然       | -      |                   |
| 114 | E 5 h4 | N - 20° - E   | 楕円形   | 0.86 × 0.60     | 16      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 115 | E 5 g3 | N - 8° - W    | 楕円形   | 1.00 × 0.69     | 12      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | SN2 →本跡           |
| 117 | E 6 f2 | N - 7° - E    | [楕円形] | 0.93 × (0.63)   | 22      | 皿状  | 外傾       | 自然       | -      | SK83              |
| 118 | E 5 f7 | N - 6° - W    | 楕円形   | 0.86 × 0.54     | 27      | 平坦  | 外傾       | 人為       | -      |                   |
| 119 | E 5 j5 | N - 19° - W   | 楕円形   | 0.83 × 0.74     | 21      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | SD15 →本跡          |
| 120 | E 5 f8 | N - 24° - E   | 不整楕円形 | 0.76 × 0.62     | 18      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 121 | E 6 e3 | N - 10° - W   | 楕円形   | 0.58 × 0.47     | 31      | 平坦  | 外傾       | 人為       | -      |                   |
| 122 | E 5 g4 | N - 10° - W   | 不定形   | 1.79 × 1.07     | 30      | 凸凹  | 外傾<br>緩斜 | 人為       | -      | SN2, SK123 →本跡    |
| 123 | E 5 g4 | N - 3° - E    | 不整楕円形 | 1.19 × 0.48     | 32      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | SN2 →本跡 → SK122   |
| 124 | E 5 i4 | [N - 16° - E] | 不整楕円形 | (2.83) × 1.55   | 41      | 平坦  | 外傾       | 人為       | -      | SK125・126 →本跡     |
| 125 | E 5 h4 | [N - 73° - E] | 不整楕円形 | 2.52 × (1.46)   | 34      | 平坦  | 外傾       | 自然<br>人為 | -      | SK126 →本跡 → SK124 |
| 126 | E 5 h4 | [N - 19° - W] | 不整楕円形 | (1.60) × 1.55   | 35      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | 本跡 → SK124・125    |
| 127 | E 6 d3 | N - 24° - W   | 楕円形   | 1.22 × 0.95     | 16      | 平坦  | 緩斜       | 自然       | -      |                   |
| 129 | E 6 d3 | N - 8° - E    | 楕円形   | 1.71 × 1.32     | 23      | 皿状  | 緩斜       | 人為       | -      | SK135 →本跡         |
| 130 | E 6 c3 | -             | 不整円形  | 64 × 60         | 29      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 131 | E 6 c3 | N - 30° - W   | 楕円形   | 1.68 × 1.19     | 12      | 皿状  | 緩斜       | 自然       | -      |                   |
| 132 | E 6 h4 | N - 25° - E   | 楕円形   | 1.67 × 1.16     | 25      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 133 | E 6 d8 | N - 30° - E   | [楕円形] | [1.29] × 1.14   | 30      | 平坦  | 緩斜       | 自然       | -      | SK140             |
| 135 | E 6 d3 | -             | [楕円形] | 0.53 × (0.45)   | 17      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | 本跡 → SK129        |
| 136 | E 5 g4 | N - 69° - E   | 楕円形   | 0.69 × (0.60)   | 35      | 平坦  | 外傾       | 自然       | 土師器    | SN2 →本跡           |
| 137 | E 5 h7 | N - 18° - E   | 不整楕円形 | 1.67 × 1.24     | 15      | 平坦  | 緩斜       | 人為       | 土師器    |                   |
| 138 | E 5 e6 | N - 30° - W   | 楕円形   | 0.72 × 0.60     | 82      | 平坦  | 直立       | 人為       | -      |                   |
| 139 | E 5 f6 | -             | 円形    | 0.65 × 0.64     | 27      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 140 | E 6 d8 | N - 29° - E   | [楕円形] | [1.28] × (0.86) | 20      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | SK133             |
| 141 | E 6 g1 | [N - 6° - E]  | [楕円形] | (1.55) × 1.30   | 12      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | 本跡 → SK142        |
| 142 | E 6 f1 | N - 83° - W   | 楕円形   | 1.20 × 1.08     | 25      | 平坦  | 外傾       | 自然       | -      | SK141 →本跡         |
| 143 | E 6 i7 | N - 85° - E   | 楕円形   | 1.47 × 0.86     | 21      | 皿状  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 147 | E 5 i0 | N - 41° - E   | 楕円形   | 1.00 × 0.67     | 19      | 皿状  | 外傾       | 自然       | -      |                   |
| 148 | E 5 e6 | -             | 円形    | 0.56 × 0.54     | 13      | 平坦  | 外傾       | -        | -      |                   |
| 149 | E 5 e6 | -             | 円形    | 0.57 × 0.55     | 8       | 平坦  | 緩斜       | -        | -      |                   |
| 150 | E 5 e6 | -             | 円形    | 0.56 × 0.55     | 11      | 平坦  | 外傾       | -        | -      |                   |
| 163 | E 5 e8 | -             | 円形    | 0.31 × 0.30     | 12      | 平坦  | 外傾       | -        | -      |                   |
| 164 | E 5 e8 | -             | 円形    | 0.52 × 0.48     | 15      | 平坦  | 外傾       | -        | -      |                   |
| 165 | E 5 e8 | -             | 円形    | 0.60 × 0.55     | 21      | 皿状  | 外傾       | -        | -      |                   |
| 166 | E 5 e8 | -             | 円形    | 0.55 × 0.54     | 10      | 平坦  | 外傾       | -        | -      | SB5, PG6          |
| 167 | E 5 d7 | N - 63° - E   | 楕円形   | 0.53 × 0.48     | 13      | 皿状  | 外傾       | -        | -      | SB3               |



第94図 第66・84号土坑出土遺物実測図

第 66 号土坑出土遺物観察表 (第 94 図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高  | 底径    | 胎土 | 色調  | 焼成 | 手法の特徴ほか | 出土位置 | 備考      |
|----|----|----|----|-----|-------|----|-----|----|---------|------|---------|
| 47 | 陶器 | 七厘 | -  | 1.3 | [9.8] | 長石 | 明灰褐 | 普通 | 被熱による剥離 | 覆土中  | 5% PL20 |

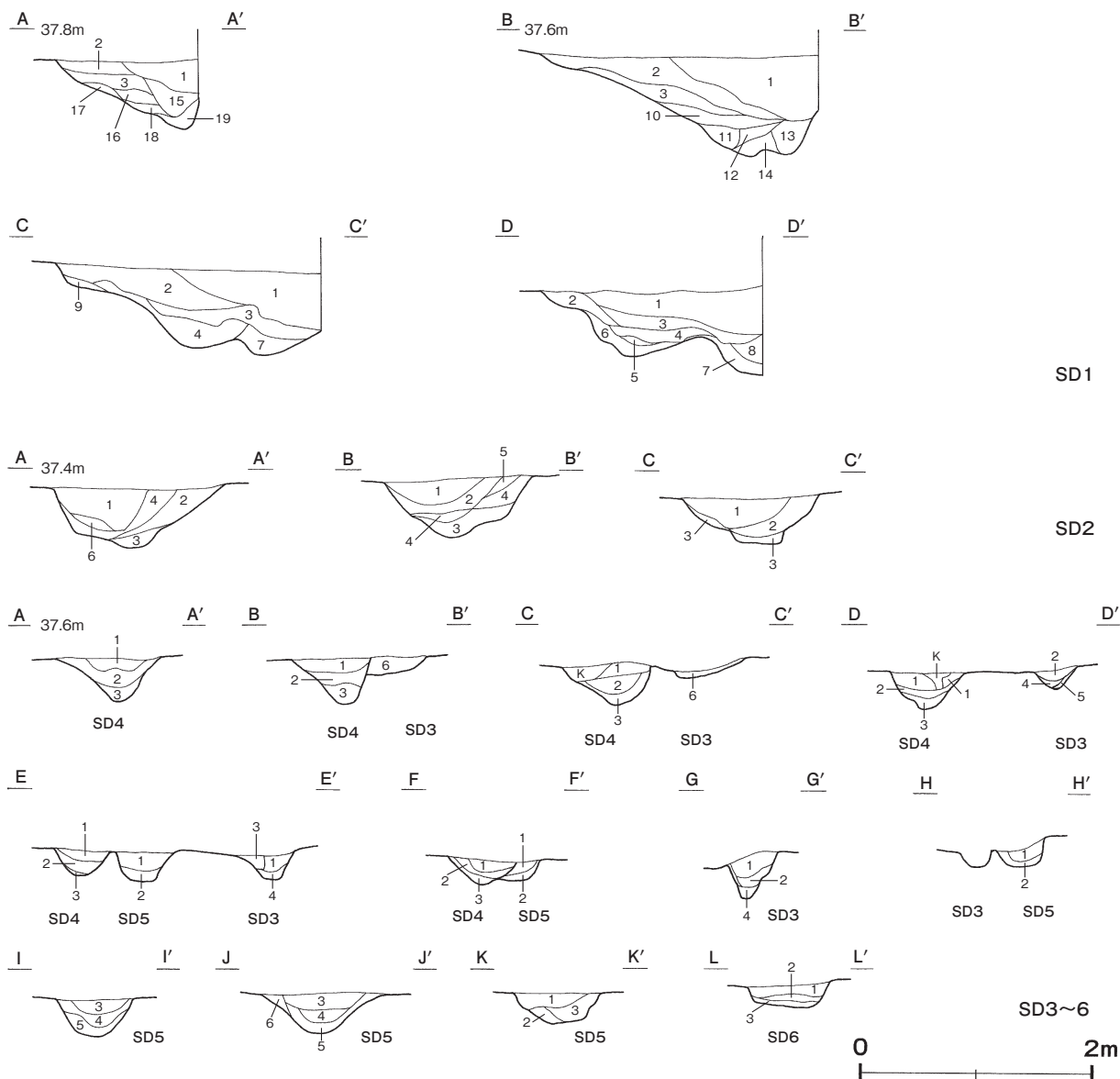
| 番号 | 器種 | 長さ    | 幅   | 厚さ  | 重量     | 材質 | 特徴          | 出土位置 | 備考   |
|----|----|-------|-----|-----|--------|----|-------------|------|------|
| M2 | 釘  | (2.6) | 0.6 | 0.4 | (1.86) | 鉄  | 上下端部欠損 断面方形 | 覆土中  | PL20 |

第 84 号土坑出土遺物観察表 (第 94 図)

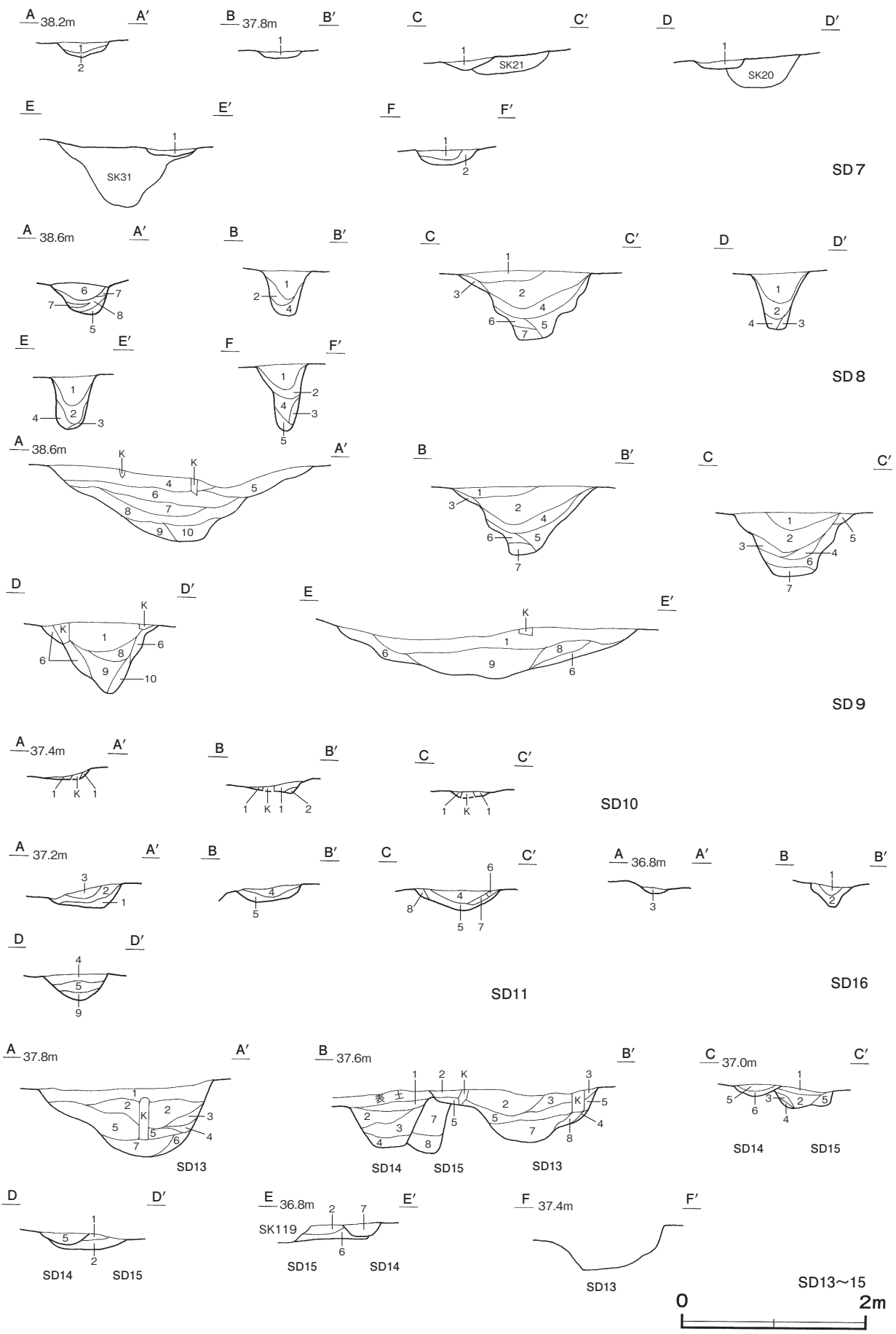
| 番号 | 種別 | 器種  | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土    | 色調 | 焼成 | 手法の特徴ほか     | 出土位置 | 備考 |
|----|----|-----|----|-------|----|-------|----|----|-------------|------|----|
| 33 | 陶器 | 片口鉢 | -  | (5.6) | -  | 長石・石英 | 赤褐 | 普通 | 体部外・内面ロクロナデ | 覆土上層 | 5% |

(4) 溝跡

今回の調査で、時期不明の溝跡 15 条を確認した。以下、断面図と土層解説、一覧表を掲載し、平面図については遺構全体図で掲載する。



第 95 図 第 1 ~ 6 号溝跡実測図



第 96 图 第 7 ~ 16 号沟迹实测图



第1号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 炭化粒子少量, ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒色 炭化粒子微量
- 4 黒色 ロームブロック微量
- 5 黒色 ローム粒子微量
- 6 暗褐色 粘土ブロック・炭化粒子中量, ローム粒子少量
- 7 黒褐色 粘土ブロック・炭化粒子少量
- 8 黒色 粘土粒子微量
- 9 黒褐色 ローム粒子微量
- 10 黒褐色 ローム粒子少量, 粘土ブロック微量
- 11 黒色 粘土ブロック少量, ローム粒子・細礫微量
- 12 暗褐色 粘土ブロック多量, 炭化粒子中量, ロームブロック微量
- 13 にぶい黄褐色 粘土ブロック多量, 炭化粒子中量, ロームブロック微量
- 14 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック少量
- 15 黒色 炭化粒子中量, ロームブロック少量
- 16 黒色 炭化粒子中量
- 17 明褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量, 粘土ブロック微量
- 18 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック少量
- 19 黒色 砂質粘土粒子微量

第2号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量, 砂粒子微量
- 2 灰褐色 ローム粒子中量, 砂粒子少量
- 3 褐色 灰褐色 ローム粒子・砂粒子少量
- 4 褐色 灰褐色 ロームブロック・炭化粒子・砂粒子少量
- 5 黒褐色 炭化粒子・砂粒子少量
- 6 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子中量

第3号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子微量
- 4 黒褐色 粘土粒子少量, ローム粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 6 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量

第4号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・七本桜パミス微量
- 2 黒褐色 粘土ブロック・炭化物・ローム粒子・七本桜パミス微量
- 3 黒褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子・七本桜パミス微量

第5号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・粘土粒子・七本桜パミス微量
- 2 暗褐色 粘土ブロック・ローム粒子・七本桜パミス微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 七本桜パミス微量
- 4 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック・七本桜パミス微量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック・七本桜パミス微量
- 6 暗褐色 ローム粒子, 七本桜パミス微量

第6号溝跡土層解説

- 1 黒色 白色スコリア少量, ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・白色スコリア微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第7号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・七本桜パミス微量
- 2 黒色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第8号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・粘土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・粘土ブロック微量
- 3 暗褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子微量

- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 5 黒褐色 粘土ブロック・ローム粒子微量
- 6 黒褐色 ローム粒子微量
- 7 黒褐色 ローム粒子少量
- 8 黒色 ローム粒子微量

第9号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 焼土ブロック・ローム粒子微量
- 4 黒褐色 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 7 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量
- 8 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 9 黒色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量
- 10 黒色 粘土ブロック中量, ロームブロック微量

第10号溝跡土層解説

- 1 黒色 白色粘土ブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量

第11号溝跡土層解説

- 1 黒色 ローム粒子少量, 焼土粒子・礫微量
- 2 黒色 白色スコリア少量, ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒色 ローム粒子少量, 炭化粒子・七本桜パミス微量
- 4 黒色 粘土ブロック・炭化物・ローム粒子微量
- 5 黒褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 白色粘土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 7 黒色 粘土ブロック少量, 焼土粒子微量
- 8 黒褐色 粘土ブロック中量
- 9 黒色 ロームブロック・粘土ブロック・焼土粒子微量

第13号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・白色粘土粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物・白色粘土粒子微量
- 5 灰褐色 ロームブロック・白色粘土ブロック少量
- 6 褐色 ロームブロック中量
- 7 黒褐色 ロームブロック少量, 白色粘土ブロック微量
- 8 黒褐色 ロームブロック微量

第14号溝跡土層解説

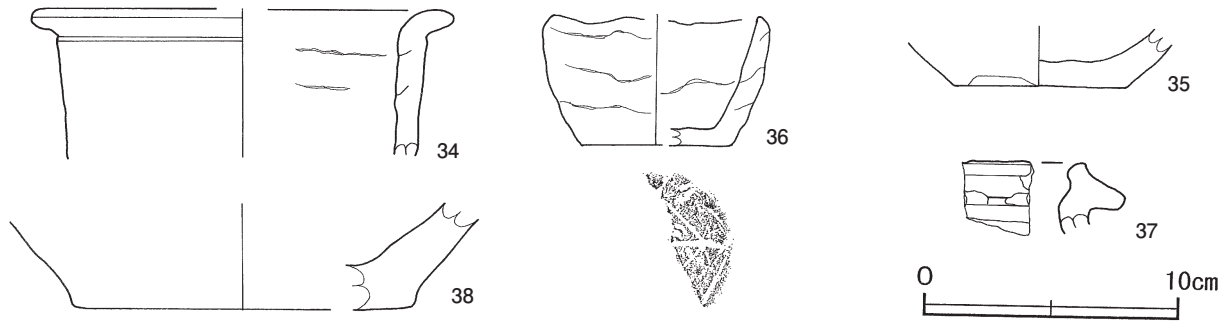
- 1 黒褐色 ローム粒子・白色粘土粒子微量
- 2 黒色 ロームブロック・白色粘土ブロック微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・白色粘土粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量
- 5 黒褐色 ローム粒子・粘土粒子・七本桜パミス微量
- 6 灰褐色 粘土ブロック少量, ローム粒子微量
- 7 灰褐色 七本桜パミスブロック少量, ロームブロック微量

第15号溝跡土層解説

- 1 黒色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 砂粒子中量, ロームブロック・粘土ブロック・七本桜パミス微量
- 3 灰褐色 粘土ブロック中量, ローム粒子微量
- 4 明褐色 灰褐色 粘土ブロック中量, 砂粒子少量
- 5 灰褐色 粘土ブロック少量, ロームブロック微量
- 6 灰黄褐色 粘土粒子多量, ロームブロック微量
- 7 褐色 灰褐色 白色粘土ブロック多量, ロームブロック少量
- 8 黒褐色 ローム粒子・鉄分少量

第16号溝跡土層解説

- 1 黒褐色 粘土ブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 にぶい黄褐色 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 炭化粒子微量



第97図 第5・9・11・13号溝跡出土遺物実測図

第5号溝跡出土遺物観察表 (第97図)

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径     | 器高    | 底径 | 胎土            | 色調   | 焼成 | 手法の特徴ほか      | 出土位置 | 備考 |
|----|-----|----|--------|-------|----|---------------|------|----|--------------|------|----|
| 34 | 土師器 | 鉢  | [16.0] | (5.8) | -  | 長石・石英・雲母・赤色粒子 | にぶい褐 | 普通 | 外・内面ナデ 内面輪積痕 | 覆土中  | 5% |

第9号溝跡出土遺物観察表 (第97図)

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径    | 器高    | 底径    | 胎土         | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか            | 出土位置 | 備考       |
|----|-----|----|-------|-------|-------|------------|-------|----|--------------------|------|----------|
| 35 | 土師器 | 甕  | -     | (2.4) | [6.6] | 長石・石英・赤色粒子 | にぶい黄橙 | 普通 | 内面粗いヘラナデ 底部ヘラ削り後ナデ | 覆土中  | 5%       |
| 36 | 土師器 | 手捏 | [8.2] | 5.2   | [5.9] | 長石・石英      | にぶい黄橙 | 普通 | 輪積痕 底部木葉痕          | 覆土中層 | 50% PL17 |

第11号溝跡出土遺物観察表 (第97図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土    | 色調   | 焼成 | 手法の特徴ほか | 出土位置 | 備考    |
|----|----|----|----|-------|----|-------|------|----|---------|------|-------|
| 37 | 陶器 | 甕  | -  | (2.9) | -  | 長石・石英 | オリブ褐 | 普通 | 内面自然釉   | 底面   | 5% 常滑 |

第13号溝跡出土遺物観察表 (第97図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高    | 底径     | 胎土       | 色調   | 焼成 | 手法の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|----|----|----|----|-------|--------|----------|------|----|---------|------|----|
| 38 | 陶器 | 鉢  | -  | (4.2) | [13.3] | 長石・石英・雲母 | にぶい褐 | 普通 | 自然釉     | 覆土下層 | 5% |

表15 時期不明の溝跡一覧表

| 番号 | 位置            | 方向                      | 形状   | 規模      |             |             |         | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 備考<br>重複関係(古→新)                    |
|----|---------------|-------------------------|------|---------|-------------|-------------|---------|----|----|----|--------|------------------------------------|
|    |               |                         |      | 長さ(m)   | 上幅(m)       | 下幅(m)       | 深さ(cm)  |    |    |    |        |                                    |
| 1  | F 3c8 ~ F 4j4 | N-147°-E                | 直線状  | (38.30) | 0.43 ~ 2.21 | 0.10 ~ 0.55 | 58 ~ 86 | 緩斜 | 皿状 | 自然 | -      | SD2 ~ 7 → 本跡 → SK33 SK32           |
| 2  | F 3j9 ~ F 4h3 | N-71°-E                 | 直線状  | (18.84) | 0.72 ~ 1.60 | 0.14 ~ 0.44 | 78 ~ 98 | 外傾 | 皿状 | 自然 | -      | 本跡 → SD1                           |
| 3  | F 3i9 ~ F 4g2 | N-61°-E                 | 直線状  | (15.60) | 0.28 ~ 0.58 | 0.04 ~ 0.20 | 18 ~ 74 | 外傾 | 皿状 | 自然 | -      | 本跡 → SD1・4 SD5                     |
| 4  | F 3j8 ~ F 4h2 | N-63°-E                 | 直線状  | (21.74) | 0.46 ~ 1.00 | 0.12 ~ 0.26 | 42 ~ 82 | 外傾 | 皿状 | 自然 | -      | SD3・5 → 本跡 → SD1                   |
| 5  | F 3g0 ~ F 4h2 | N-59°-E<br>~<br>N-70°-W | C字状  | (17.86) | 0.30 ~ 0.72 | 0.10 ~ 0.32 | 36 ~ 50 | 外傾 | 皿状 | 自然 | -      | SD6 → 本跡 → SD1・4 SD3               |
| 6  | F 3h8 ~ F 4f1 | N-62°-E                 | 直線状  | (14.30) | 0.54 ~ 0.66 | 0.20 ~ 0.38 | 42      | 外傾 | 皿状 | 自然 | -      | 本跡 → SD5 → SD1                     |
| 7  | F 3j2 ~ F 4f1 | N-69°-E                 | 直線状  | (43.20) | 0.32 ~ 0.89 | 0.14 ~ 0.51 | 10 ~ 20 | 外傾 | 皿状 | 自然 | -      | SK20・21・31 → 本跡 → SD1, SK40・41     |
| 8  | F 2h8 ~ G 1j4 | N-20°-E<br>~<br>N-50°-E | への字状 | (80.42) | 0.32 ~ 0.81 | 0.06 ~ 0.43 | 32 ~ 75 | 外傾 | 皿状 | 自然 | -      | 本跡 → SD9 SE1                       |
| 9  | G 1d3 ~ G 3b3 | N-85°-E                 | 直線状  | (80.07) | 0.92 ~ 1.60 | 0.10 ~ 0.53 | 50 ~ 75 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 土師器    | SD8, SK34 → 本跡                     |
| 10 | E 4a9 ~ E 5j1 | N-55°-E                 | 直線状  | (12.30) | 0.44 ~ 0.63 | 0.22 ~ 0.36 | 5 ~ 12  | 緩斜 | 平坦 | 自然 | -      |                                    |
| 11 | F 4c9 ~ F 5a2 | N-57°-E                 | 直線状  | (15.05) | 0.44 ~ 0.76 | 0.10 ~ 0.28 | 14 ~ 27 | 外傾 | 皿状 | 自然 | 陶器     |                                    |
| 13 | E 5f4 ~ E 5j5 | N-170°-E                | 直線状  | (19.23) | 0.6 ~ 1.95  | 0.18 ~ 0.54 | 38 ~ 72 | 緩斜 | 皿状 | 自然 | 陶器     | SN1, SK79, SD14・15 → 本跡 → SK84・100 |

| 番号 | 位置              | 方向                               | 形状   | 規 模     |             |             |         | 壁 面  | 底 面 | 覆 土 | 主な出土遺物 | 備 考<br>重複関係(古→新)          |
|----|-----------------|----------------------------------|------|---------|-------------|-------------|---------|------|-----|-----|--------|---------------------------|
|    |                 |                                  |      | 長さ(m)   | 上幅(m)       | 下幅(m)       | 深さ(cm)  |      |     |     |        |                           |
| 14 | E 5 f4 ~ E 5 j5 | N - 161° - E                     | 直線状  | (18.58) | 0.42 ~ 0.85 | 0.18 ~ 0.49 | 12 ~ 50 | 外傾緩斜 | 平坦  | 人為  | -      | SN1, SD15 → 本跡 → SD13     |
| 15 | E 5 f4 ~ E 5 j5 | N - 168° - E                     | 直線状  | (18.61) | 0.45 ~ 0.98 | 0.15 ~ 0.68 | 15 ~ 60 | 外傾緩斜 | 平坦  | 自然  | -      | SN1 → 本跡 → SD13・14, SK119 |
| 16 | E 6 g2 ~ E 6 f8 | N - 65° - E<br>~<br>N - 105° - E | への字状 | (23.33) | 0.28 ~ 0.40 | 0.11 ~ 0.30 | 5 ~ 22  | 外傾緩斜 | 皿状  | 自然  | -      |                           |

(5) ピット群

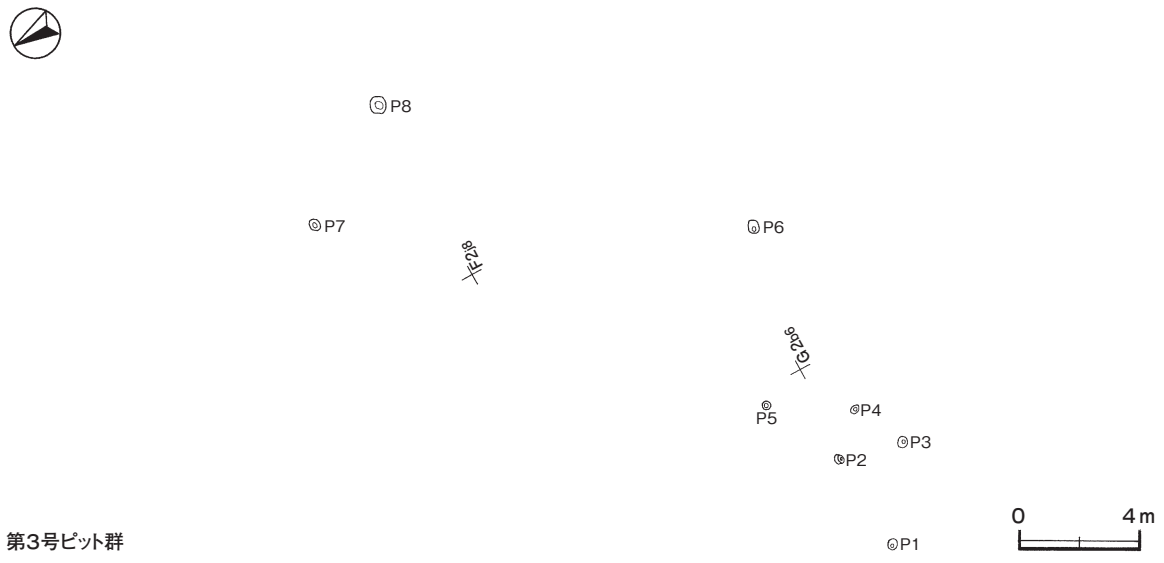
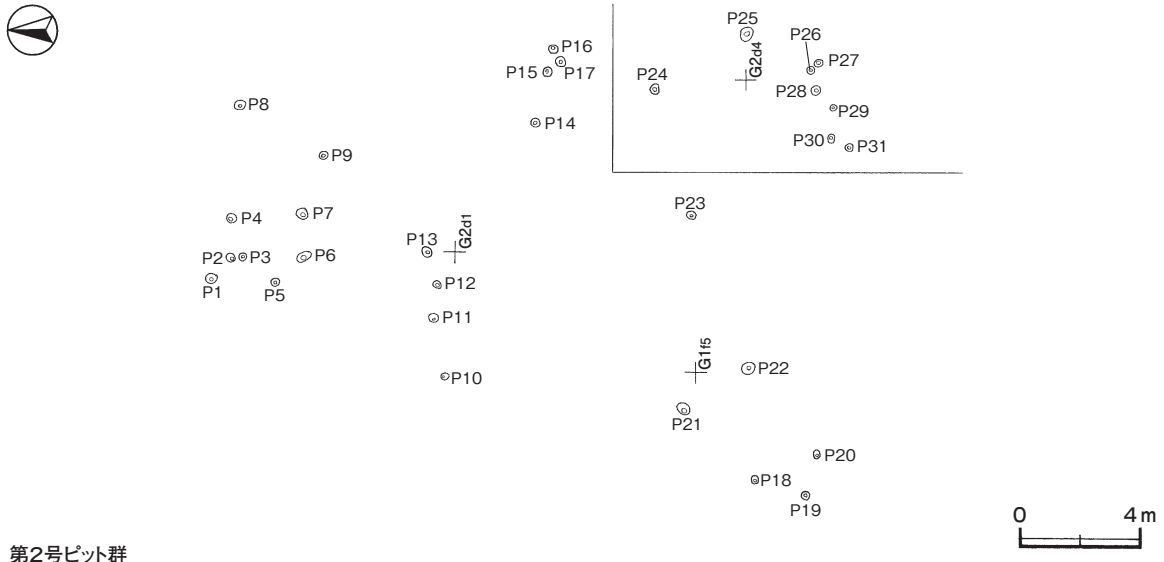
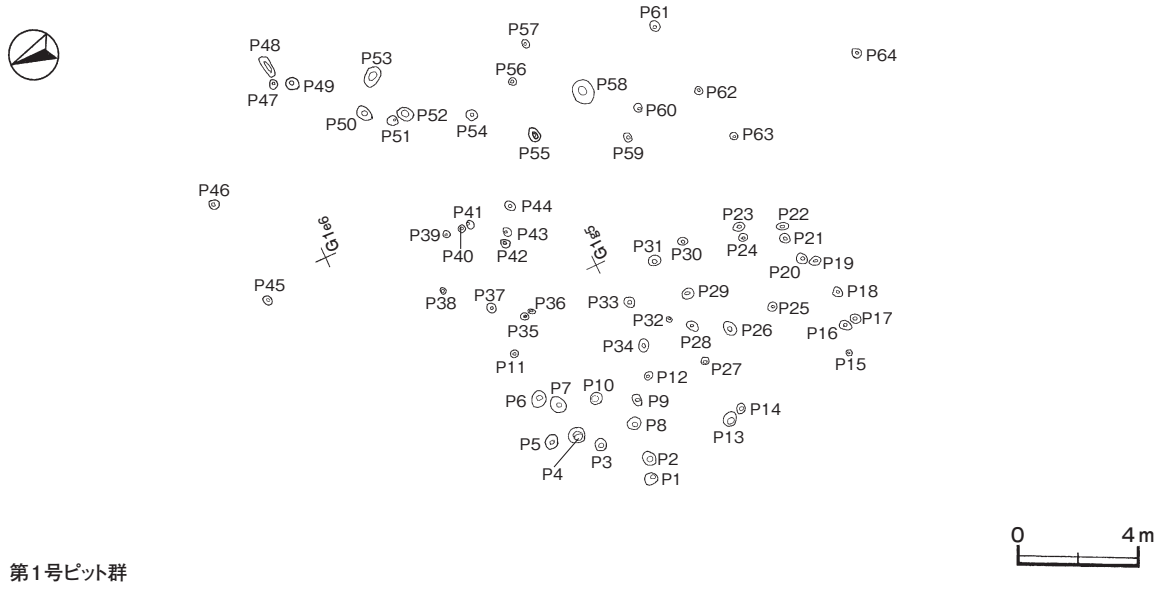
今回の調査で、ピット群が6か所確認できた。いずれのピット群も明確に建物跡を想定できず、また伴出する出土遺物がないことから、時期を決定することもできない。ここでは、ピット群ごとに遺構平面図と計測表を掲載する。

第1号ピット群計測表

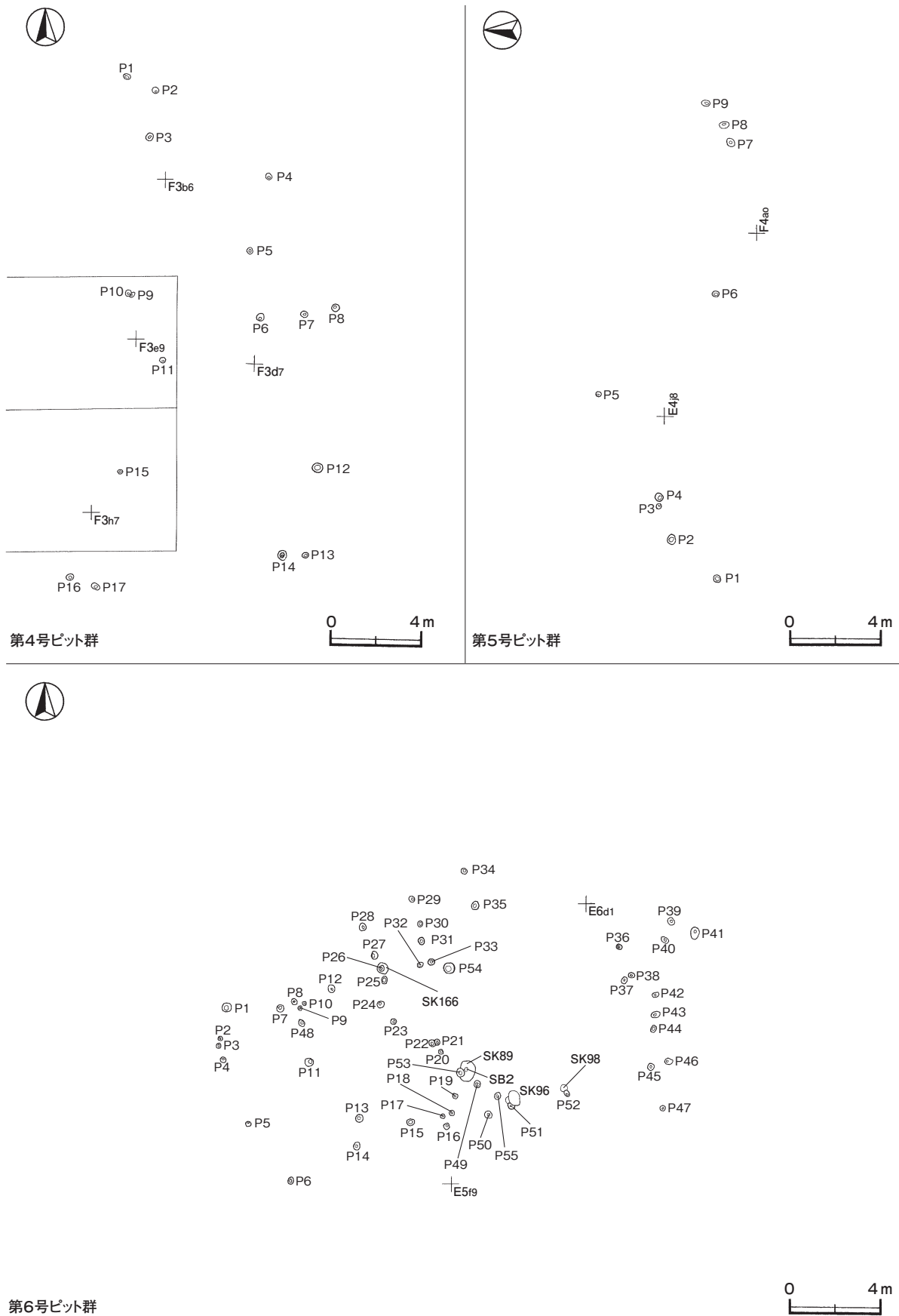
| ピット番号 | 位置     | 形状    | 規 模 (cm) |    |    | ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |    | ピット番号 | 位置     | 形状    | 規 模 (cm) |    |    |
|-------|--------|-------|----------|----|----|-------|--------|-----|----------|----|----|-------|--------|-------|----------|----|----|
|       |        |       | 長径       | 短径 | 深さ |       |        |     | 長径       | 短径 | 深さ |       |        |       | 長径       | 短径 | 深さ |
| 1     | G 1 f3 | 楕円形   | 43       | 37 | 29 | 23    | G 1 h4 | 楕円形 | 38       | 29 | 34 | 44    | G 1 f5 | 楕円形   | 38       | 29 | 19 |
| 2     | G 1 f3 | 楕円形   | 58       | 49 | 28 | 24    | G 1 h4 | 楕円形 | 36       | 26 | 19 | 45    | G 1 d5 | 楕円形   | 39       | 32 | 39 |
| 3     | G 1 f3 | 円形    | 39       | 38 | 28 | 25    | G 1 h4 | 円形  | 37       | 35 | 23 | 46    | G 1 d6 | 円形    | 32       | 31 | 54 |
| 4     | G 1 f3 | 円形    | 54       | 51 | 30 | 26    | G 1 g4 | 楕円形 | 50       | 40 | 23 | 47    | G 1 e7 | 楕円形   | 31       | 25 | 40 |
| 5     | G 1 f3 | 楕円形   | 54       | 42 | 26 | 27    | G 1 g3 | 円形  | 26       | 24 | 32 | 48    | G 1 e7 | 隅丸長方形 | 70       | 28 | 47 |
| 6     | G 1 f4 | 円形    | 52       | 50 | 26 | 28    | G 1 g4 | 楕円形 | 48       | 33 | 36 | 49    | G 1 e7 | 楕円形   | 44       | 37 | 44 |
| 7     | G 1 f4 | 楕円形   | 53       | 48 | 27 | 29    | G 1 g4 | 円形  | 36       | 35 | 29 | 50    | G 1 e6 | 楕円形   | 55       | 41 | 23 |
| 8     | G 1 f3 | 円形    | 45       | 42 | 31 | 30    | G 1 f3 | 楕円形 | 41       | 36 | 29 | 51    | G 1 e6 | 楕円形   | 37       | 30 | 32 |
| 9     | G 1 f3 | 楕円形   | 46       | 30 | 29 | 31    | G 1 f3 | 楕円形 | 48       | 35 | 34 | 52    | G 1 f6 | 楕円形   | 60       | 45 | 23 |
| 10    | G 1 f3 | 円形    | 43       | 41 | 24 | 32    | G 1 f4 | 円形  | 15       | 14 | 28 | 53    | G 1 e7 | 楕円形   | 71       | 50 | 27 |
| 11    | G 1 f4 | 楕円形   | 25       | 23 | 14 | 33    | G 1 g4 | 楕円形 | 41       | 35 | 27 | 54    | G 1 f6 | 円形    | 42       | 40 | 32 |
| 12    | G 1 f3 | 楕円形   | 29       | 21 | 32 | 34    | G 1 g4 | 楕円形 | 46       | 35 | 27 | 55    | G 1 f6 | 楕円形   | 49       | 31 | 45 |
| 13    | G 1 g3 | 楕円形   | 54       | 47 | 28 | 35    | G 1 f4 | 円形  | 24       | 23 | 20 | 56    | G 1 f6 | 円形    | 24       | 24 | 31 |
| 14    | G 1 g3 | 円形    | 31       | 29 | 23 | 36    | G 1 f4 | 円形  | 20       | 20 | 23 | 57    | G 1 g6 | 楕円形   | 25       | 20 | 42 |
| 15    | G 1 h3 | 円形    | 20       | 19 | 27 | 37    | G 1 f5 | 楕円形 | 30       | 24 | 13 | 58    | G 1 g6 | 楕円形   | 83       | 72 | 25 |
| 16    | G 1 h3 | 不整楕円形 | 42       | 30 | 17 | 38    | G 1 e5 | 楕円形 | 18       | 15 | 15 | 59    | G 1 g5 | 楕円形   | 30       | 27 | 18 |
| 17    | G 1 h3 | 楕円形   | 37       | 30 | 21 | 39    | G 1 e5 | 円形  | 23       | 22 | 29 | 60    | G 1 g6 | 円形    | 27       | 27 | 42 |
| 18    | G 1 h3 | 楕円形   | 35       | 27 | 18 | 40    | G 1 f5 | 円形  | 25       | 24 | 29 | 61    | G 1 h6 | 円形    | 33       | 32 | 35 |
| 19    | G 1 h4 | 不整楕円形 | 43       | 32 | 16 | 41    | G 1 f5 | 円形  | 27       | 25 | 25 | 62    | G 1 h5 | 楕円形   | 26       | 23 | 16 |
| 20    | G 1 h4 | 楕円形   | 42       | 35 | 18 | 42    | G 1 f5 | 楕円形 | 39       | 30 | 26 | 63    | G 1 h5 | 円形    | 21       | 19 | 29 |
| 21    | G 1 h4 | 楕円形   | 33       | 30 | 26 | 43    | G 1 f5 | 楕円形 | 28       | 23 | 27 | 64    | G 1 i5 | 楕円形   | 34       | 30 | 35 |
| 22    | G 1 h4 | 楕円形   | 38       | 28 | 24 |       |        |     |          |    |    |       |        |       |          |    |    |

第2号ピット群計測表

| ピット番号 | 位置     | 形状    | 規 模 (cm) |    |    | ピット番号 | 位置     | 形状    | 規 模 (cm) |    |    | ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |    |
|-------|--------|-------|----------|----|----|-------|--------|-------|----------|----|----|-------|--------|-----|----------|----|----|
|       |        |       | 長径       | 短径 | 深さ |       |        |       | 長径       | 短径 | 深さ |       |        |     | 長径       | 短径 | 深さ |
| 1     | G 1 b0 | 楕円形   | 33       | 29 | 8  | 12    | G 1 c0 | 不整楕円形 | 34       | 16 | 16 | 23    | G 2 e1 | 円形  | 29       | 27 | 14 |
| 2     | G 1 b0 | 楕円形   | 34       | 30 | 12 | 13    | G 1 c0 | 楕円形   | 34       | 26 | 19 | 24    | G 2 c3 | 楕円形 | 35       | 26 | 13 |
| 3     | G 1 b0 | 円形    | 24       | 24 | 12 | 14    | G 2 d2 | 楕円形   | 25       | 22 | 16 | 25    | G 2 d4 | 楕円形 | 55       | 35 | 19 |
| 4     | G 2 b1 | 楕円形   | 35       | 31 | 15 | 15    | G 2 d2 | 楕円形   | 30       | 24 | 24 | 26    | G 2 d3 | 楕円形 | 30       | 25 | 19 |
| 5     | G 1 b0 | 楕円形   | 26       | 21 | 14 | 16    | G 2 d2 | 楕円形   | 30       | 26 | 37 | 27    | G 2 d4 | 円形  | 28       | 26 | 16 |
| 6     | G 1 b0 | 不整楕円形 | 53       | 28 | 33 | 17    | G 2 d2 | 楕円形   | 33       | 30 | 15 | 28    | G 2 d3 | 円形  | 35       | 33 | 22 |
| 7     | G 2 b1 | 円形    | 37       | 35 | 20 | 18    | G 1 f9 | 円形    | 27       | 27 | 25 | 29    | G 2 d3 | 円形  | 21       | 22 | 24 |
| 8     | G 2 b2 | 円形    | 35       | 32 | 21 | 19    | G 1 f8 | 楕円形   | 20       | 17 | 31 | 30    | G 2 d3 | 楕円形 | 29       | 19 | 10 |
| 9     | G 2 b1 | 楕円形   | 31       | 27 | 17 | 20    | G 1 f9 | 楕円形   | 33       | 25 | 24 | 31    | G 2 d3 | 円形  | 21       | 20 | 14 |
| 10    | G 1 c9 | 楕円形   | 25       | 21 | 33 | 21    | G 1 e9 | 円形    | 41       | 38 | 55 |       |        |     |          |    |    |
| 11    | G 1 c0 | 楕円形   | 29       | 24 | 13 | 22    | G 1 f9 | 円形    | 40       | 39 | 24 |       |        |     |          |    |    |



第98図 第1～3号ピット群実測図



第 99 図 第 4～6 号ピット群実測図

### 第3号ピット群計測表

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 1     | G 2 a4 | 楕円形 | 34 × 28  | 38 |
| 2     | G 2 a5 | 円形  | 25 × 23  | 43 |
| 3     | G 2 b5 | 楕円形 | 36 × 32  | 48 |

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 4     | G 2 b5 | 楕円形 | 28 × 20  | 30 |
| 5     | G 2 a5 | 円形  | 28 × 28  | 10 |
| 6     | G 2 b7 | 円形  | 44 × 40  | 23 |

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 7     | F 2 i9 | 楕円形 | 38 × 34  | 53 |
| 8     | F 2 i9 | 円形  | 57 × 54  | 33 |

### 第4号ピット群計測表

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 1     | E 3 j5 | 楕円形 | 33 × 28  | 38 |
| 2     | F 3 a5 | 円形  | 30 × 28  | 32 |
| 3     | F 3 a5 | 円形  | 27 × 27  | 8  |
| 4     | F 3 a7 | 円形  | 25 × 24  | 32 |
| 5     | F 3 b6 | 楕円形 | 32 × 27  | 18 |
| 6     | F 3 c7 | 円形  | 30 × 30  | 16 |

| ピット番号 | 位置     | 形状    | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-------|----------|----|
|       |        |       | 長径 × 短径  | 深さ |
| 7     | F 3 c7 | 楕円形   | 30 × 25  | 14 |
| 8     | F 3 c7 | 円形    | 35 × 34  | 50 |
| 9     | F 3 d8 | 不整楕円形 | 28 × 23  | 24 |
| 10    | F 3 d8 | 不整楕円形 | 27 × 19  | 21 |
| 11    | F 3 e9 | 円形    | 26 × 24  | 31 |
| 12    | F 3 e7 | 円形    | 48 × 48  | 13 |

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 13    | F 3 f7 | 円形  | 29 × 28  | 18 |
| 14    | F 3 f7 | 楕円形 | 44 × 40  | 32 |
| 15    | F 3 g7 | 円形  | 19 × 19  | 29 |
| 16    | F 3 f4 | 楕円形 | 33 × 24  | 17 |
| 17    | F 3 f5 | 楕円形 | 39 × 27  | 32 |

### 第5号ピット群計測表

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 1     | E 4 j6 | 円形  | 30 × 30  | 16 |
| 2     | E 4 j6 | 楕円形 | 43 × 36  | 13 |
| 3     | E 4 i6 | 楕円形 | 27 × 24  | 15 |

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 4     | E 4 i7 | 円形  | 38 × 35  | 15 |
| 5     | E 4 i8 | 円形  | 25 × 24  | 14 |
| 6     | E 4 j9 | 楕円形 | 34 × 30  | 20 |

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 7     | E 5 j1 | 楕円形 | 40 × 34  | 12 |
| 8     | E 5 j1 | 楕円形 | 41 × 31  | 10 |
| 9     | E 5 j1 | 楕円形 | 31 × 28  | 15 |

### 第6号ピット群計測表

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 1     | E 5 e7 | 円形  | 40 × 37  | 24 |
| 2     | E 5 e6 | 楕円形 | 16 × 13  | 7  |
| 3     | E 5 e6 | 楕円形 | 17 × 15  | 44 |
| 4     | E 5 e7 | 円形  | 23 × 21  | 26 |
| 5     | E 5 f7 | 楕円形 | 20 × 18  | 19 |
| 6     | E 5 g7 | 楕円形 | 25 × 22  | 21 |
| 7     | E 5 e7 | 楕円形 | 28 × 25  | 27 |
| 8     | E 5 e7 | 楕円形 | 30 × 27  | 22 |
| 9     | E 5 e7 | 円形  | 17 × 16  | 9  |
| 10    | E 5 e7 | 円形  | 14 × 14  | 14 |
| 11    | E 5 e7 | 円形  | 36 × 34  | 17 |
| 12    | E 5 d8 | 楕円形 | 34 × 30  | 26 |
| 13    | E 5 f8 | 円形  | 29 × 27  | 14 |
| 14    | E 5 f8 | 円形  | 26 × 24  | 29 |
| 15    | E 5 f9 | 楕円形 | 38 × 24  | 44 |
| 16    | E 5 f9 | 楕円形 | 23 × 19  | 31 |
| 17    | E 5 f9 | 円形  | 19 × 18  | 15 |
| 18    | E 5 f9 | 楕円形 | 21 × 19  | 32 |
| 19    | E 5 f9 | 円形  | 19 × 17  | 14 |

| ピット番号 | 位置     | 形状  | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-----|----------|----|
|       |        |     | 長径 × 短径  | 深さ |
| 20    | E 5 e9 | 円形  | 25 × 23  | 33 |
| 21    | E 5 e9 | 円形  | 22 × 21  | 23 |
| 22    | E 5 e9 | 楕円形 | 33 × 24  | 31 |
| 23    | E 5 e8 | 円形  | 24 × 22  | 62 |
| 24    | E 5 e8 | 楕円形 | 30 × 22  | 34 |
| 25    | E 5 d8 | 楕円形 | 35 × 25  | 18 |
| 26    | E 5 d8 | 円形  | 28 × 26  | 24 |
| 27    | E 5 d8 | 円形  | 29 × 27  | 19 |
| 28    | E 5 d8 | 円形  | 30 × 28  | 23 |
| 29    | E 5 c9 | 円形  | 25 × 23  | 16 |
| 30    | E 5 d9 | 円形  | 20 × 20  | 9  |
| 31    | E 5 d9 | 円形  | 30 × 29  | 23 |
| 32    | E 5 d9 | 楕円形 | 24 × 18  | 20 |
| 33    | E 5 d9 | 円形  | 25 × 25  | 24 |
| 34    | E 5 c9 | 円形  | 26 × 25  | 14 |
| 35    | E 5 d9 | 楕円形 | 33 × 30  | 22 |
| 36    | E 6 d1 | 楕円形 | 25 × 17  | 27 |
| 37    | E 6 d1 | 楕円形 | 25 × 20  | 23 |
| 38    | E 6 d1 | 楕円形 | 25 × 20  | 15 |

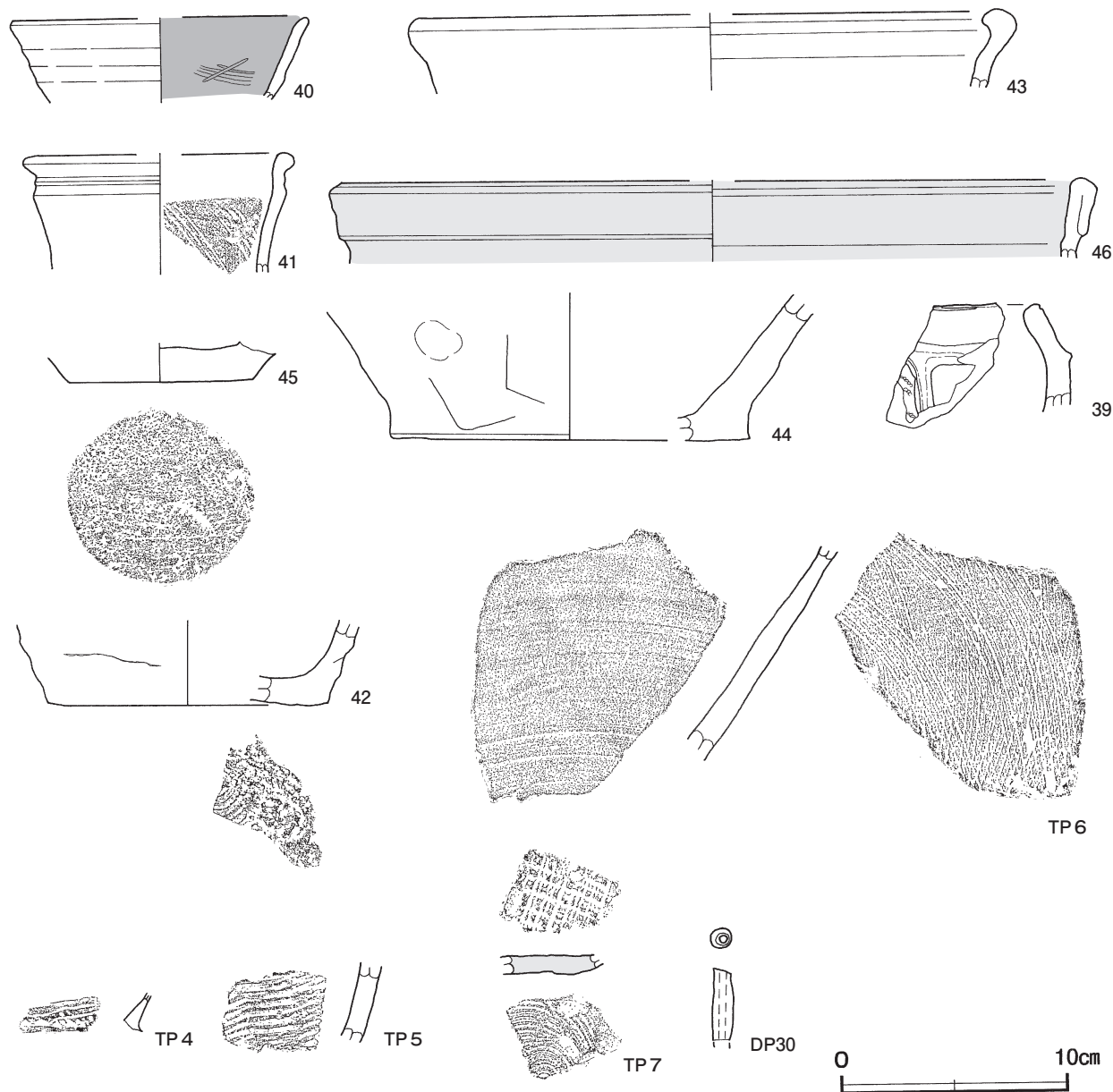
| ピット番号 | 位置     | 形状    | 規 模 (cm) |    |
|-------|--------|-------|----------|----|
|       |        |       | 長径 × 短径  | 深さ |
| 39    | E 6 d1 | 楕円形   | 30 × 25  | 27 |
| 40    | E 6 d1 | 楕円形   | 32 × 24  | 18 |
| 41    | E 6 d2 | 楕円形   | 65 × 37  | 37 |
| 42    | E 6 e1 | 円形    | 23 × 23  | 35 |
| 43    | E 6 e1 | 円形    | 44 × 43  | 31 |
| 44    | E 6 e1 | 楕円形   | 30 × 24  | 19 |
| 45    | E 6 e1 | 円形    | 26 × 24  | 26 |
| 46    | E 6 e1 | 不整楕円形 | 38 × 24  | 18 |
| 47    | E 6 f1 | 円形    | 21 × 20  | 23 |
| 48    | E 5 e7 | 楕円形   | 35 × 27  | 17 |
| 49    | E 5 e9 | 円形    | 30 × 30  | 20 |
| 50    | E 5 f9 | 楕円形   | 40 × 30  | 16 |
| 51    | E 5 f0 | 楕円形   | 33 × 30  | 20 |
| 52    | E 5 f0 | 円形    | 28 × 27  | 37 |
| 53    | E 5 e9 | 円形    | 33 × 33  | 9  |
| 54    | E 5 d9 | 円形    | 46 × 46  | 10 |
| 55    | E 5 f0 | 楕円形   | 30 × 27  | 10 |

表 16 時期不明のピット群一覧表

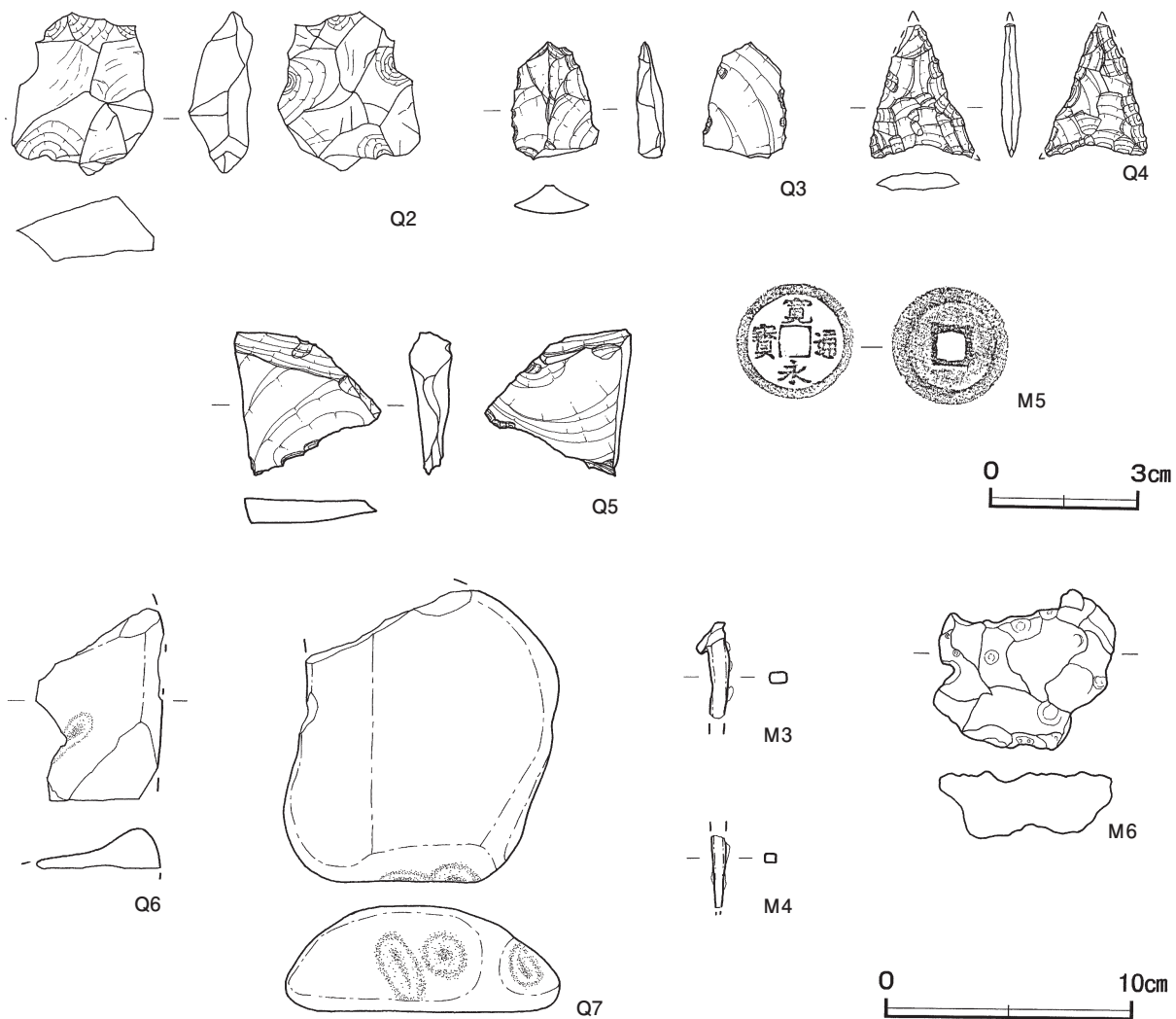
| 番号 | 位置              | 柱 穴 (cm) |        |    |    |         | 主な出土遺物 | 備 考<br>重複関係      |
|----|-----------------|----------|--------|----|----|---------|--------|------------------|
|    |                 | 柱穴       | 平面形    | 長径 | 短径 | 深さ      |        |                  |
| 1  | G 1 b3 ~ G 1 i7 | 64       | 円形・楕円形 | 83 | 14 | 13 ~ 47 | -      |                  |
| 2  | G 1 b9 ~ G 2 f2 | 31       | 円形・楕円形 | 55 | 16 | 8 ~ 55  | -      |                  |
| 3  | F 2 i4 ~ G 2 d9 | 8        | 円形・楕円形 | 57 | 20 | 10 ~ 53 | -      |                  |
| 4  | E 3 i5 ~ F 3 g7 | 17       | 円形・楕円形 | 48 | 19 | 8 ~ 50  | -      |                  |
| 5  | E 4 i8 ~ E 5 j1 | 9        | 円形・楕円形 | 43 | 24 | 10 ~ 20 | -      |                  |
| 6  | E 5 d7 ~ E 6 f1 | 55       | 円形・楕円形 | 65 | 13 | 7 ~ 62  | -      | SB2, SK89・96・166 |

(6) 遺構外出土遺物 (第 100・101 図)

遺構に伴わない遺物のうち、特徴的なものを実測図と遺物観察表で記述する。



第 100 図 遺構外出土遺物実測図 (1)



第 101 図 遺構外出土遺物実測図 (2)

遺構外出土遺物出土遺物観察表 (第 100・101 図)

| 番号 | 種別    | 器種 | 口径     | 器高    | 底径     | 胎土               | 色調    | 焼成 | 手法の特徴ほか                       | 出土位置 | 備考    |
|----|-------|----|--------|-------|--------|------------------|-------|----|-------------------------------|------|-------|
| 39 | 縄文土器  | 深鉢 | -      | (5.4) | -      | 長石・石英・雲母         | にぶい黄橙 | 良好 | 口縁部沈線 磨消縄文 単節縄文 LR            | 表土   | 5%    |
| 40 | 土師器   | 椀  | [12.8] | (3.8) | -      | 長石・石英・雲母         | にぶい橙  | 普通 | 内面ヘラミガキ 内面黒色処理                | 表土   | 5%    |
| 41 | 土師器   | 播鉢 | [11.1] | (5.3) | -      | 長石・石英・雲母         | にぶい黄褐 | 普通 | 4条1単位の播り目 外面ナデ                | 表土   | 10%   |
| 42 | 土師器   | 甕  | -      | (3.7) | [12.2] | 長石・石英・赤色粒子       | にぶい黄橙 | 普通 | 底部ヘラ削り後ナデ 輪積痕                 | SD13 | 10%   |
| 43 | 土師質土器 | 鉢  | [25.7] | (3.4) | -      | 長石・石英・黒色粒子       | にぶい黄橙 | 普通 | 外面ナデ                          | 表土   | 5%    |
| 44 | 土師質土器 | 鉢  | -      | (6.5) | [15.8] | 長石・石英            | 明赤褐   | 普通 | 外面ヘラ削り後粗いヘラナデ 内面ナデ 底部ヘラ削り 指頭痕 | 表土   | 5%    |
| 45 | 土師質土器 | 甕  | -      | (1.7) | 8.3    | 長石・石英・雲母・細礫・赤色粒子 | にぶい橙  | 良好 | 底部ヘラ削り 輪積痕                    | 表土   | 5%    |
| 46 | 陶器    | 大甕 | [32.8] | (3.6) | -      | 長石・黒色粒子          | 暗赤褐   | 良好 | 折り返し口縁 全面施釉                   | 表土   | 5% 常滑 |

| 番号   | 種別   | 器種 | 胎土      | 色調    | 手法の特徴ほか             | 出土位置 | 備考   |
|------|------|----|---------|-------|---------------------|------|------|
| TP 4 | 弥生土器 | 壺  | 長石・石英   | にぶい黄橙 | 附加条縄文               | 表土   | PL16 |
| TP 5 | 須恵器  | 甕  | 長石      | 灰     | 外面平行叩き              | 表土   | PL16 |
| TP 6 | 陶器   | 播鉢 | 長石      | 黒     | 6~9条1単位の播り目 外面ロクロナデ | 表土   | PL16 |
| TP 7 | 陶器   | 卸皿 | 長石・黒色粒子 | 明赤褐   | 底部回転糸切り 灰釉          | 表土   | PL16 |



## 保土通遺跡

| 番号   | 器種   | 長さ    | 幅   | 孔径  | 重量    | 胎土    | 特徴            | 出土位置 | 備考   |
|------|------|-------|-----|-----|-------|-------|---------------|------|------|
| DP30 | 管状土錘 | (3.2) | 0.9 | 0.4 | (2.2) | 長石・石英 | 一方向からの穿孔 外面ナデ | SF1  | PL20 |

| 番号  | 器種   | 長さ     | 幅     | 厚さ    | 重量      | 材質      | 特徴                      | 出土位置 | 備考   |
|-----|------|--------|-------|-------|---------|---------|-------------------------|------|------|
| Q 2 | 尖頭器カ | 3.3    | 2.9   | 1.3   | 10.25   | チャート    | 未成品                     | 表土   | PL20 |
| Q 3 | 削器   | 2.4    | 1.8   | 0.6   | 1.58    | 珪質頁岩    | 刃部は鋭い側辺                 | SH1  | PL20 |
| Q 5 | 剥片   | 2.9    | 3.0   | 0.9   | 5.45    | チャート    | 刃部は鋭い側辺 自然面2面           | 表土   | PL20 |
| Q 4 | 石鏃   | (2.7)  | (2.1) | 0.4   | (1.38)  | 花崗斑岩    | 両面押圧剥離 先端・側辺・脚部欠損 凹基無茎鏃 | 表土   | PL20 |
| Q 6 | 磨石   | (7.9)  | (5.2) | (1.6) | (58.5)  | ホルンフェルス | 磨面2面 凹痕1か所              | SH1  | PL20 |
| Q 7 | 磨石   | (11.9) | 11.1  | 4.4   | (668.0) | 凝灰岩     | 磨面3面 凹痕3か所              | SH1  | PL20 |

| 番号  | 器種 | 長さ    | 幅     | 厚さ  | 重量    | 材質 | 特徴           | 出土位置 | 備考   |
|-----|----|-------|-------|-----|-------|----|--------------|------|------|
| M 3 | 釘  | (3.9) | 1.3   | 0.5 | (7.2) | 鉄  | 先端部欠損 断面長方形  | 表土   | PL20 |
| M 4 | 釘  | (2.9) | (0.6) | 0.4 | (2.7) | 鉄  | 上下端部欠損 断面長方形 | 表土   | PL20 |

| 番号  | 銭種   | 径    | 孔幅   | 厚さ   | 重量   | 材質 | 初鑄年  | 特徴  | 出土位置 | 備考   |
|-----|------|------|------|------|------|----|------|-----|------|------|
| M 5 | 寛永通寶 | 2.44 | 0.53 | 0.15 | 3.04 | 銅  | 1636 | 無背銭 | 表土   | PL20 |

| 番号  | 器種  | 長さ  | 幅   | 厚さ  | 重量    | 着磁 | 材質 | 特徴  | 出土位置 | 備考   |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|----|---|------|------|
| M 6 | 碗状滓 | 6.5 | 7.5 | 2.8 | 153.0 | 弱  | 鉄  | 地色は黒褐色 表面は顆粒状突起及び気孔が点在し、凹凸がある 底面は碗状で凹凸少ない | SD6  | PL20 |

## 第4節 ま と め

### 1 はじめに

今回の調査で、竪穴住居跡1軒（古墳時代）、掘立柱建物跡5棟（近世2，時期不明3）、竪穴遺構1基（近世）、道路跡2条（近世）、窯跡1基（近世）、柵跡2列（近世）、粘土採掘坑2か所（近世）、土坑146基（近世1，時期不明145）、井戸跡1基（時期不明）、溝跡16条（近世1，時期不明15）、ピット群6か所（時期不明）を確認した。そのうち、調査区東部の掘立柱建物跡2棟、柵跡2列、竪穴遺構1基、粘土採掘坑2か所と土坑1基は窯に関連する遺構と考えられる。ここでは、古墳時代の住居跡1軒を概観した後、保土通地区に窯が築かれることとなった背景を考察しまとめたい。

### 2 古墳時代の遺構と遺物（第62～65図参照）

第1号竪穴住居跡1軒が確認できた。一辺5.15mほどで、森戸遺跡の住居の規模による分類にあてはめると、森戸IV期（和泉2期）の中型住居の範疇に入る<sup>1)</sup>。遺物のうち、土師器の坏は、森戸遺跡のE類に対応するものが多く出土し、森戸遺跡VII期土器群にほぼ対応しており、時期は6世紀末から7世紀初頭と考えられる。古墳時代の住居跡は1軒だけであるが、集落の本体は調査区北側の台地上に展開していたものと考えられる。

### 3 窯跡（第66～70図参照）

第1号窯跡は、後世の削平により窯の構造物はほぼ取り払われ、窯壁の一部と数点の窯道具のみを残した状態で確認できた。窯跡がある場所は平坦であり、削平を考慮しても地下に窯の下部構造が確認できないことから、ここに設営された窯は平窯であると考えられる。窯跡からは19世紀代の波佐見焼の碗（第67図21）が出土しており、窯関連遺構である第1号竪穴遺構、第1・2号粘土採掘坑から出土した遺物は近世のものである。出土した窯道具は、トチン、糲団子、輪ドチ、棒状粘土紐、留具、杭、サヤ鉢である。出土した窯道具から推察すると、焼成時の降灰から素地を保護するサヤ鉢が出土していることから、磁器生産も試みたと考えられる。また、留具や棒状粘土紐が出土していることから、陶製の土管やニシン鉢のような角皿など多様な製品の生産を意図していたことが推察される。

近世の窯跡として、2003年に発掘調査が行われた町田窯跡（常陸太田市町田）出土の窯道具は、トチン、ハマ、ニギリドチ、焼台、キキョウ台、サヤ鉢、輪ドチが出土している。本跡の窯跡からは、焼台やニギリドチは出土しておらず、町田窯跡では、本跡で確認された糲団子や留具、杭は確認されていない。本跡の窯跡から出土した波佐見焼と同時期のものが町田窯跡からも出土しているため、本跡の窯跡は、町田窯跡とほぼ同時期と考えられるが、出土する窯道具の構成は異なり、生産を意図した陶磁器の種類は異なっている。また、本跡の窯跡と関連遺構から出土するトチン、糲団子は糲殻を混ぜて焼成しているため全面に糲殻痕が確認できるが、町田窯のトチンには見られない。加えて、町田窯跡から出土しているトチンには窯印のヘラ書きがあるものもあるが、本跡では確認できなかった。さらに、町田窯出土のトチンやハマには磁器化したものもあるが、本跡出土のトチンは焼け具合が弱く、サヤ鉢に飛散した釉の付着も少ないことから繰り返し使用されたとは考えられない。本跡の窯跡は短期間の操業であったことがわかった。

#### 4 窯跡関連施設

調査区の東部で確認された掘立柱建物跡2棟、柵跡2列、竪穴遺構1基、粘土採掘坑2か所と土坑1基は、窯跡に関連する遺構と考えられる。ここでは、これらの遺構について検討を試みたい。

第2・3号掘立柱建物跡は、窯跡に近接し、火道の長軸方向と桁行方向がほぼ一致していることから、窯跡に関連する遺構と考えられる。これらの掘立柱建物跡には四面に塀が巡らされていたことが確認できた。第2号掘立柱建物跡には第1・2号柵跡が併設されている。遺物が出土していないため第2・3号掘立柱建物跡の性格を決定することはできないが、工房もしくは作業場としての施設と想定される。また、周囲に塀を巡らせていることから、目隠し、日除け、防風等を意図して設置したものと想定される。窯跡からはサヤ鉢が出土しており、磁器の生産も試みたと考えられることから、製法などの機密事項を保持する意図があったのかもしれない。また、柵が併設されていることも同様の意図が想定される。いずれにせよ、これら2棟の掘立柱建物跡は、塀や柵によって遮蔽される必要のあった施設であったと考えられる。第1号竪穴遺構は窯跡に近接し、第2・3号掘立柱建物跡と長軸方向がほぼ一致している。また、両者に挟まれていることから窯跡の関連遺構と考えられる。出土遺物は近世の常滑焼片（甕）である。倉庫もしくは作業場のような機能を持っていた可能性が考えられる。第2号粘土採掘坑からは、サヤ鉢、留具が出土しており、第1号窯跡に関連する遺構と考えられる。第1号粘土採掘坑から窯道具は出土していないが、第2号粘土採掘坑に近接し、規模と形状が似ていることから同時期の粘土採掘坑で、窯跡に関連する遺構と考えられる。第90号土坑は、西側に第2号掘立柱建物跡が近接していることから、その併設遺構と考えられる。土坑の底面には凹凸があり、底面の中心部を除いて、壁面に粘土が貼り付けられている。第1・2号粘土採掘坑で採集した粘土を水簸するための沈殿槽のような用途が想定されるが、性格は不明である。

また、第4・5号掘立柱建物跡は、遺構が調査区域外に伸びており、出土遺物がないため窯関連遺構と認定することができなかったが、第2・3号掘立柱建物跡、第1号竪穴遺構と近接しており、窯に関連する遺構の可能性はある。

#### 5 築窯の背景について

今回調査した保土通地区の窯に関する史料は確認できず、近隣に住む人たちからも手がかりはつかめなかった。ただし、本跡と町田窯跡からは、同時期の波佐見焼の碗が出土しており、これらの窯が築かれた時期は共通している。

江戸時代初期に始まる磁器生産は、重要な海外貿易品の一つとなり、その技術を持つ藩は他藩の羨望的であった。幕末になると諸藩の財政は疲弊し、諸藩は殖産興業に乗り出した。水戸藩及び近隣諸藩の窯場の創始年代を見ると、寛文年間と伝えられるどびん焼（旧小川町）、享保12（1727）年の勿来焼（北茨城市）、安永年間の笠間焼（笠間市）を別格とすれば、おおむね化政期（文化・文政）の前後と、天保・嘉永期に大別される。前者には桃源焼（常陸太田市）、松岡焼（北茨城市）、岡野台焼（矢板市）、後者には七面製陶所（瓦屋窯含む、水戸市）、町田焼（旧水府村）、小砂焼（馬頭町）、益子焼（益子町）、志鳥焼（南那須町）、平野焼（矢板市）、成田焼（矢板市）、宍戸焼（旧友部町）が属する<sup>2)</sup>。化政期は諸藩がこぞって殖産興業政策を推し進め、新たな産業として陶業を興した藩もある。さらに農民の農閑稼ぎが一般化する時期でもあり、その一つとして陶業が選ばれる場合も多い。また、天保・嘉永期はさらにこの傾向が強まるとともに、各藩が直接その経営を行う藩窯と、この創始・操業に援助を与える民窯があり、ともに藩財政への貢献を期待している。

第9代藩主の徳川斉昭は、文政12（1829）年に9代水戸藩主となり、藩政改革に着手した。斉昭は、領内

の殖産興業の一つとして陶器生産を考えた。会津藩と平戸藩に依頼し、採取状態のままの土をサンプルとして取り寄せ、領内の陶土産出地を調査させている。その結果、七面製陶所、町田焼、小砂焼などが開窯されている。陶土調査翌年の天保2（1831）年には、通事の伊藤友寿を京都へ派遣し、陶器製法を研究させている<sup>3)</sup>。保土通遺跡や隣接する鹿島台遺跡では、古代から近世に至るまで粘土採掘坑が数か所確認されており、粘土が採取できる土地であった。斉昭が保土通地区に築窯したという記録はないが、町田窯跡と時期を同じくすること、斉昭が藩内で陶土産出の候補地を探していたこと、また、後述するが彼は陶土が産出する場所に窯を築きたかったことなどから、当跡の窯跡は、斉昭の希望した以上の候補地条件に合致しており、斉昭による陶器生産に関わる窯跡の可能性が想定できる。

斉昭は、領内の数か所で行われていた「陶器」の生産のほか、より商品価値の高い「石焼」と称する「磁器・半磁器」の生産も目指した。他藩と同様に、高値で売買できる磁器の国産（藩産）に取り組んだのである<sup>4)</sup>。「石焼」は水戸城下での試験焼成に成功しているが、城下での生産は原料土の輸送にコストがかかり過ぎ利益が薄いため、それぞれの原料土産地での生産が望ましいと斉昭は考えていた。天保6（1835）年には、「郡官から異議の申し立てがあったために下町に作ったが、ゆくゆくは山近辺に作るべし」とある<sup>5)</sup>。

天保9（1838）年には、神埼七面堂の下に七面製陶所を設置し、天保12（1841）年の正月には、肥前唐津の陶工傳五郎を招聘して本格的に製陶を開始する。しかし、天保15（1844）年には斉昭が幕府から致仕謹慎を命ぜられ、水戸藩の天保改革は挫折した。

当跡の窯跡は、記録に残っていないことから、試験的に焼成が試されたが、七面焼や町田焼、小砂焼のようにはいかず、何らかの理由で廃棄されたと推察される。斉昭が水戸藩での陶土探索を指示した当初、藩の官僚は、「今までに陶土を探したが見つからず、焼物を興そうとしてもうまくいった試しがない」という主旨のことを述べており、これが当時の感覚であったと思われる。以上のことから、斉昭の命により陶土探索をした結果、陶磁器製作可能な粘土が採取できる当地で築窯し、試験的に焼成を行ったと考える方が自然であろう。地元の庄屋クラスの者が、藩主斉昭の望みを実現すべく、陶業を興した可能性も考えられる。藩営ではなくとも、藩主の希望に沿ったものとするれば築窯の動機付けになるだろう。近隣地区の今後の調査を待ち、いつの日か保土通遺跡の窯跡の性格が明らかになることを期待したい。

#### 註

- 1) 加藤雅美・西野則史・浅井哲也「一般国道349号線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書 北郷C遺跡 森戸遺跡」、『茨城県教育財団文化財調査報告』第55集 1990年3月
- 2) 河野一也・水野順敏・河野真理子『町田焼窯跡発掘調査報告書』日本窯業史研究所 2004年3月
- 3) 第四章「藩政特書」の陶器の項参照『水戸藩史料』別記巻二一 吉川弘文館 1970年
- 4) 伊藤瓢堂「斉昭公の『陶の道』についての試論 -水府村「町田焼の調査」-」『水戸史学』第59号 水戸史学会 2003年11月
- 5) 第四章「藩政特書」の町奉行共への項参照『水戸藩史料』別記巻二一 吉川弘文館 1970年

#### 参考文献

- 伊藤瓢堂「幕末における水戸藩の窯業から -神埼七面焼について-」『水戸史学』第65号 水戸史学会 2006年11月
- 川口武彦・関口慶久「水戸城下における近世生産遺跡の調査と課題 -七面製陶所跡の調査を中心に-」水戸市教育委員会 2006年9月
- 瓦吹堅「北茨城市の陶器窯跡と窯道具について」『北茨城市史壇』6 北茨城市史編さん委員会 1986年1月
- 高橋拓「東北近世窯における窯道具の転換的原因」『山形大学歴史・地理・人類学論集』10号 山形大学 2009年3月
- 水戸市教育委員会「七面製陶所跡 -第2次・3次発掘調査現地説明会資料-」2007年7月

# 写 真 図 版

鹿 島 台 遺 跡  
保 土 通 遺 跡



鹿島台遺跡出土遺物





鹿島台遺跡調査区遠景（南から）



鹿島台遺跡調査区全景（上空から）

PL2



第 4 号 住 居 跡  
遺 物 出 土 状 況



第 4 号 住 居 跡  
完 掘 状 况



第 2 号 住 居 跡  
遺 物 出 土 状 况



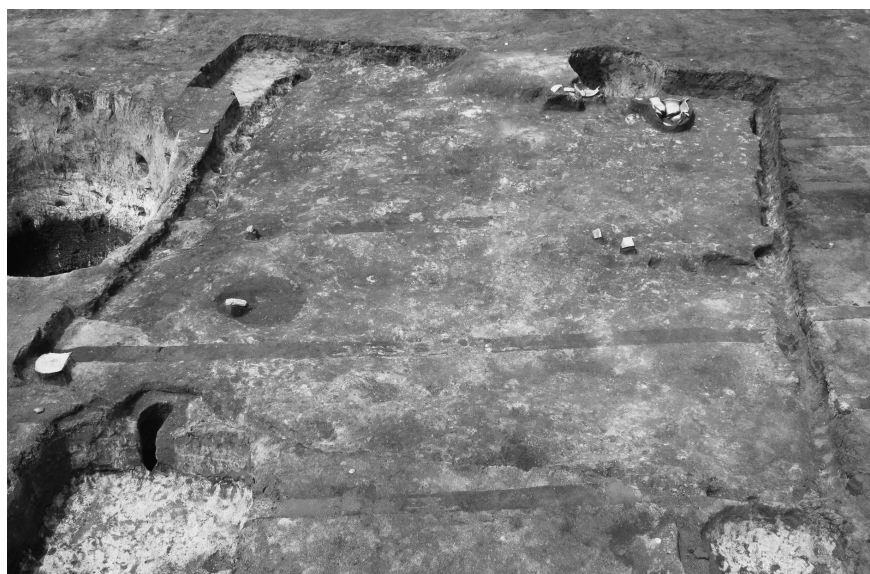
第 2 号住居跡  
完 掘 状 況



第 6 号住居跡  
完 掘 状 況



第 9 号住居跡  
遺 物 出 土 状 況



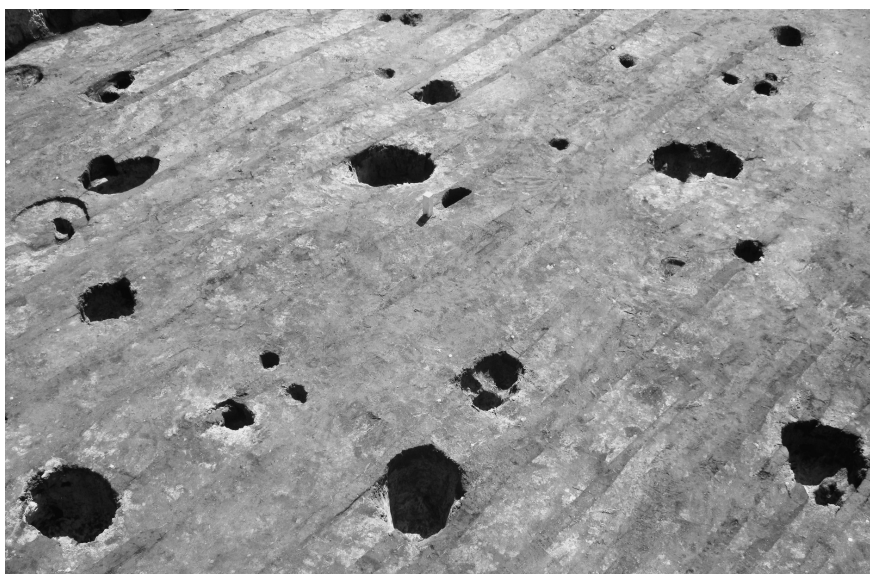
PL4



第9号住居跡  
完掘狀況



第12号住居跡  
完掘狀況



第2号掘立柱建物跡  
完掘狀況

第 1 号住居跡  
完 掘 状 況



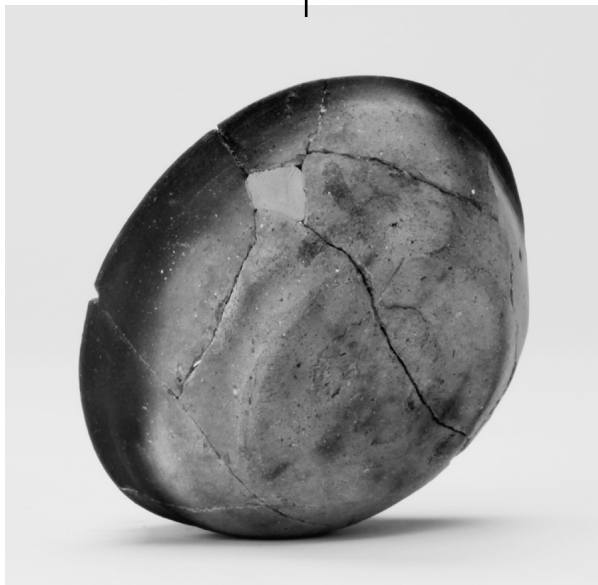
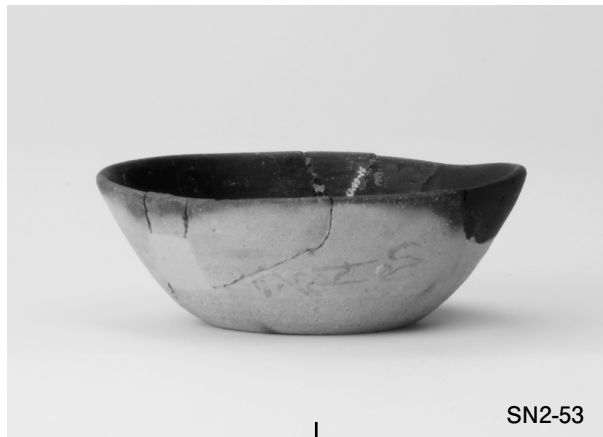
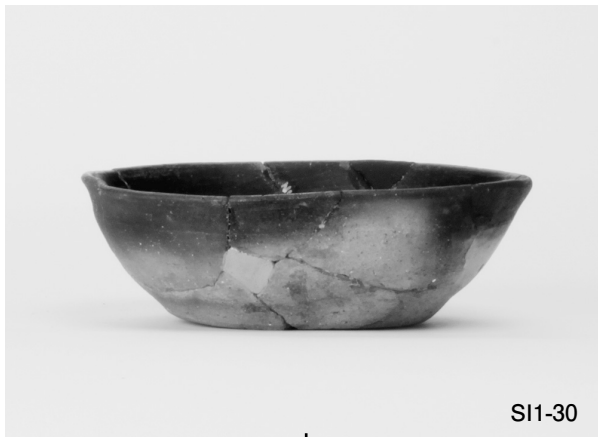
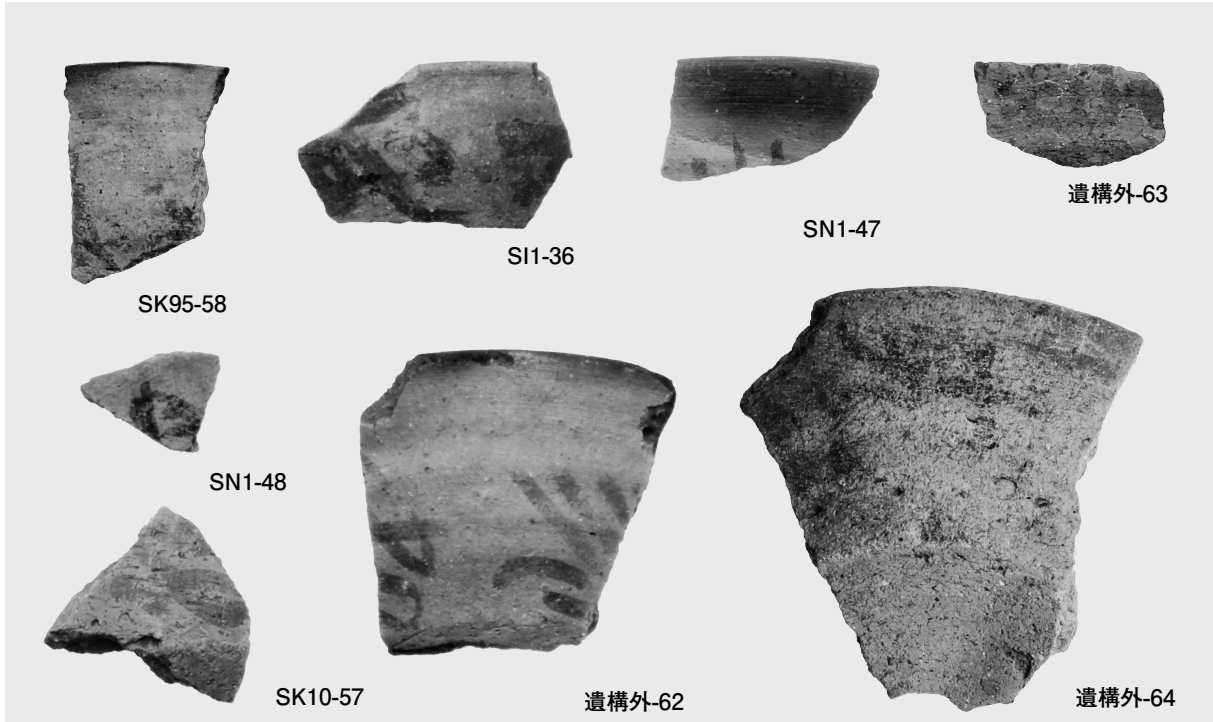
第 10 号住居跡  
完 掘 状 況



第 1 号粘土採掘坑  
完 掘 状 況



PL6

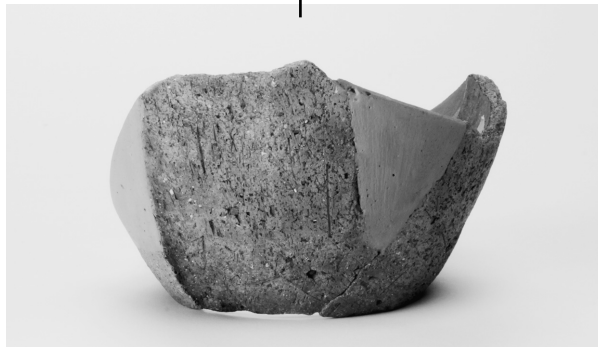


第1号住居跡，第1・2号粘土採掘坑，第10・95号土坑，遺構外出土墨書土器

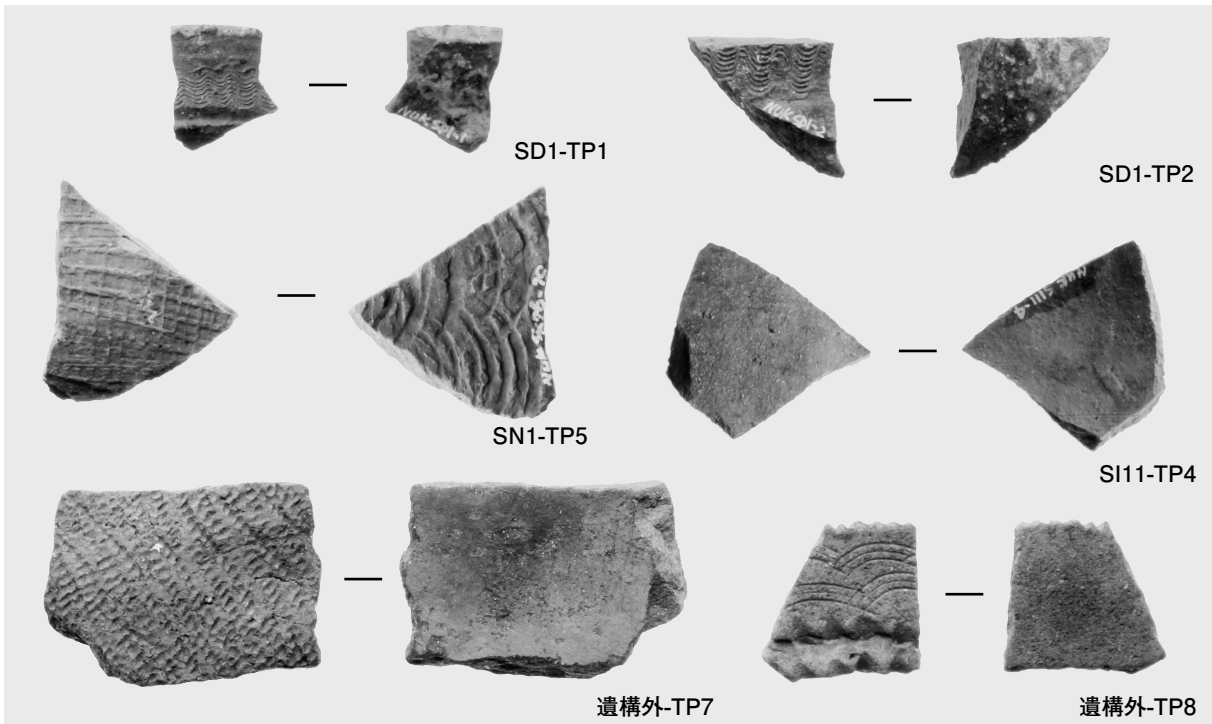
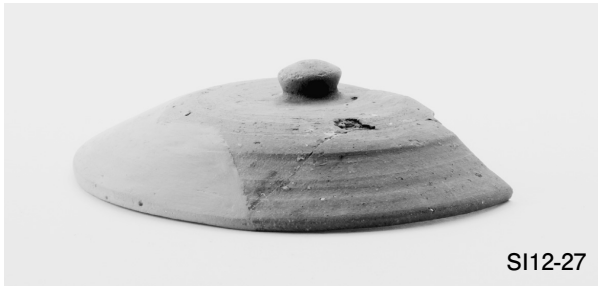


第1～4・6・12号住居跡，第95号土坑出土土器

PL8



第3·4·6·9号住居跡，第1号粘土採掘坑出土土器



第3・4・6・9・11・12号住居跡，第1号粘土採掘坑，第1号溝跡，遺構外出土土器

PL10



SI2-DP1



SI6-DP2



SI4-Q1



遺構外-DP4



SI4-Q2



SD1-Q4



SN1-Q7



SI4-Q3



SI12-Q5



SI11-Q6



遺構外-Q8



SI2-M1



SI3-M2



遺構外-M3



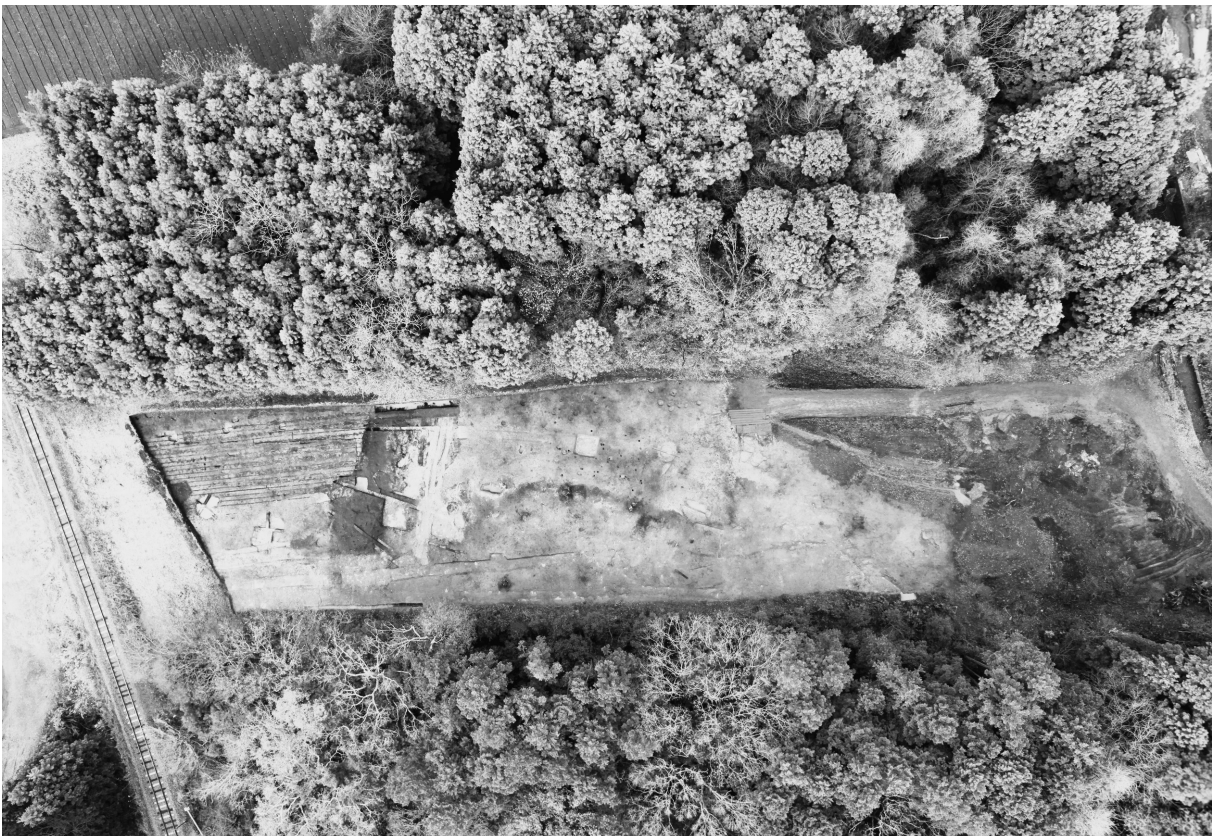
遺構外-M4

出土土製品，石器・石製品，金屬製品



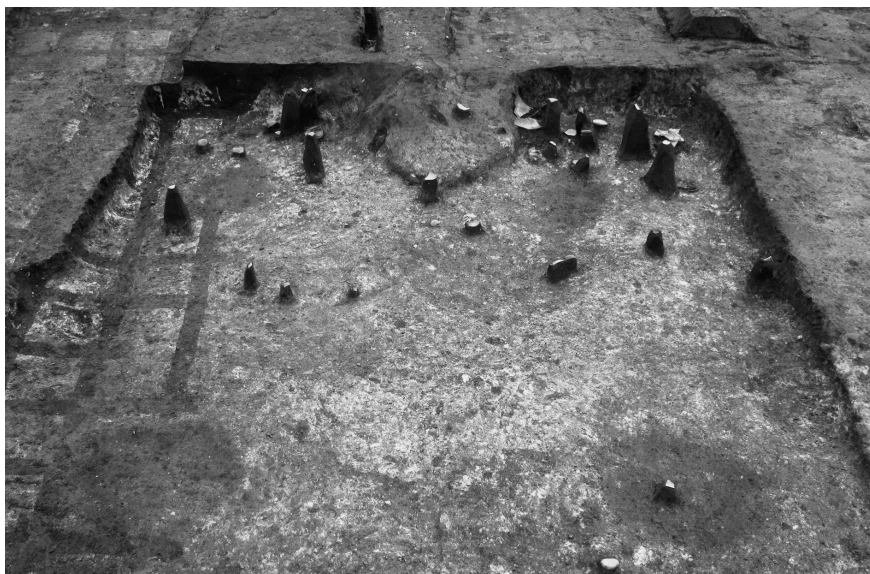


保土通遺跡調査区遠景（東から）



保土通遺跡調査区東部（上空から）

PL12



第 1 号住居跡  
遺物出土狀況



第 1 号住居跡  
遺物出土狀況



第 1 号住居跡  
完掘狀況

第 1 号 窯 跡  
遺 物 出 土 状 況



第 1 号 窯 跡  
遺 物 出 土 状 況



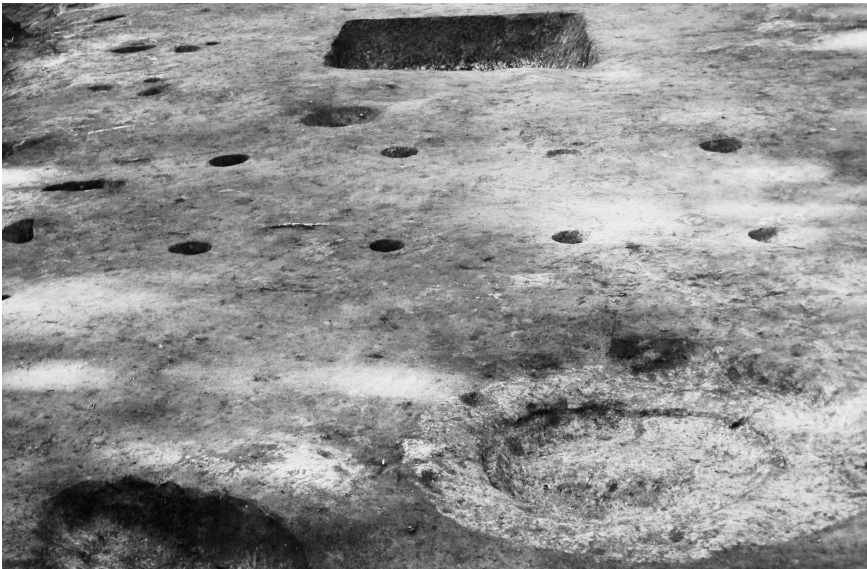
第 1 号 窯 跡  
遺 物 出 土 状 況



PL14



第 1 号 豎 穴 遺 構  
遺 物 出 土 狀 況



第 1 号 豎 穴 遺 構  
第 2 号 掘 立 柱 建 物 跡  
第 90 号 土 坑  
完 掘 狀 況



第 2 号 掘 立 柱 建 物 跡  
第 1 号 柵 跡  
完 掘 狀 況

第2号粘土採掘坑  
完掘狀況

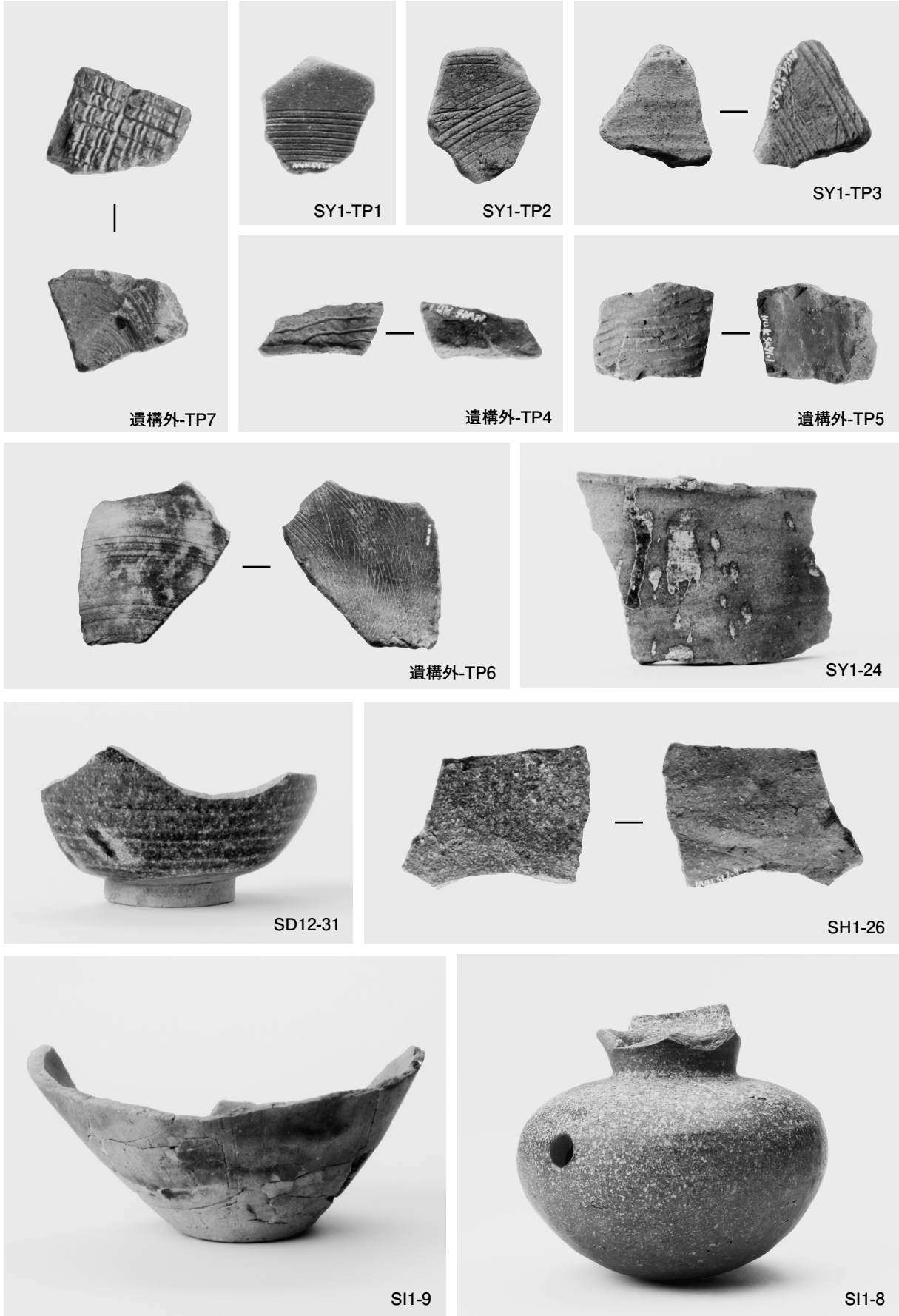


第12号溝跡  
遺物出土狀況



第13号溝跡  
完掘狀況



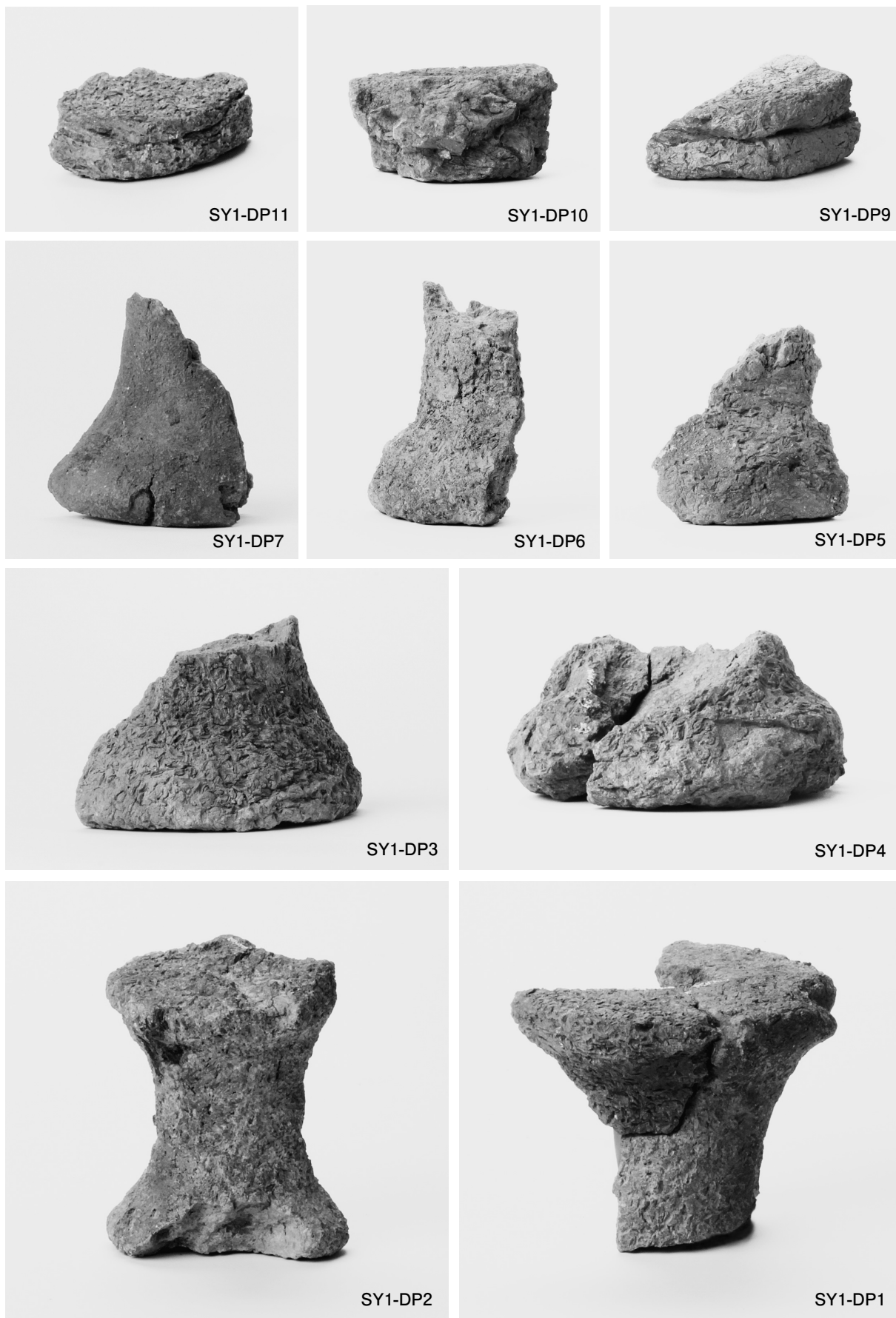


第8・9号住居跡，第1号窯跡，第1号竪穴遺構，第1号溝跡，遺構外出土土器



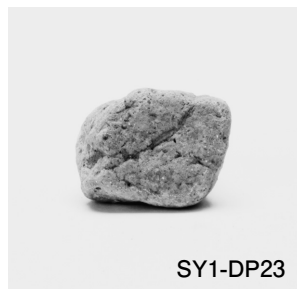
第1号住居跡，第9号溝跡出土土器

PL18



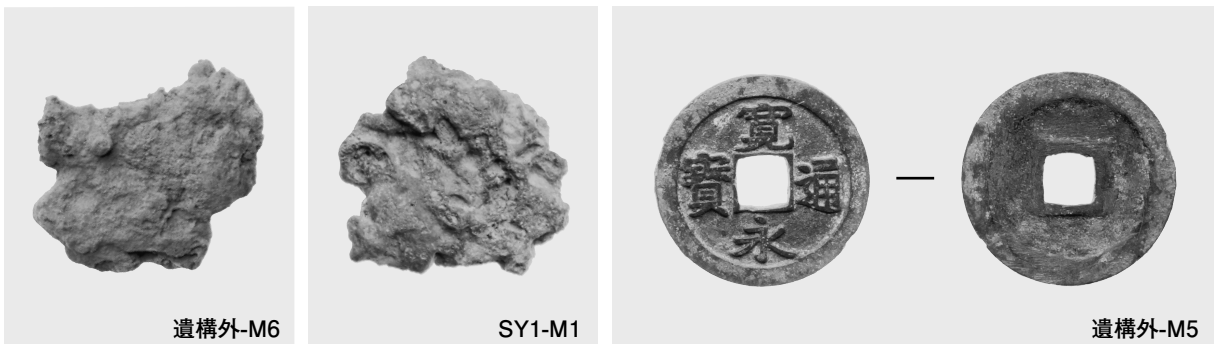
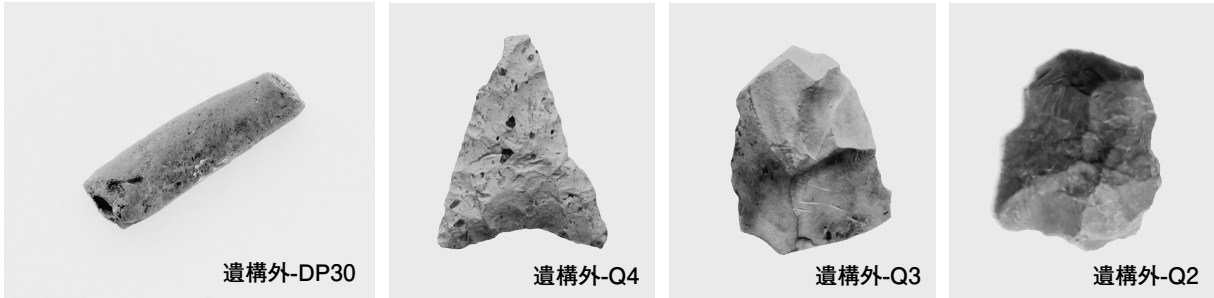
第1号窯跡出土窯道具





第1号窯跡，第2号粘土採掘坑出土窯道具

PL20



出土土器，土製品，石器，金屬製品



保土通遺跡出土窯道具



# 抄 録

|                   |  |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
|-------------------|--|----------------------|-------------------|--------------------|--|---|-----------------------------|--------------------------|--|
| ふりがな              | かしまだいいせき ほどとおりいせき  |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| 書名                | 鹿島台遺跡 保土通遺跡  |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| 副書名               | 都市計画道路平野杉本線道路整備事業地内埋蔵文化財調査報告書  |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| シリーズ名             | 茨城県教育財団文化財調査報告第355集  |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| 著者名               | 宮崎 剛   |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| 編集機関              | 財団法人茨城県教育財団  |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| 所在地               | 〒310-0911 茨城県水戸市見和1丁目356番地の2 TEL 029-225-6587  |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| 発行日               | 2012(平成24)年3月16日   |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |
| ふりがな<br>所収遺跡      | ふりがな<br>所在地  | コード                  | 北緯                | 東経                 | 標高   | 調査期間  | 調査面積                        | 調査原因                     |  |
| かしまだいいせき<br>鹿島台遺跡 | 茨城県那珂市<br>瓜連 866-1 番地ほか  | 08226<br> <br>343015 | 36度<br>29分<br>47秒 | 140度<br>27分<br>23秒 | 37 m   | 20100701<br>~<br>20101031   | 1,720 m <sup>2</sup>        | 都市計画道路平野杉本線道路整備事業に伴う事前調査 |  |
| ほどとおりいせき<br>保土通遺跡 | 茨城県那珂市<br>瓜連 811-3 番地ほか  | 08226<br> <br>343032 | 36度<br>29分<br>46秒 | 140度<br>27分<br>18秒 | 38 m   | 20101001<br>~<br>20101231   | 5,607 m <sup>2</sup>        |                          |  |
| 所収遺跡名             | 種別   | 主な時代                 | 主な遺構              |                    | 主な遺物   |   | 特記事項                        |                          |  |
| 鹿島台遺跡             | 集落跡  | 古墳                   | 堅穴住居跡             | 1軒                 | 土師器(坏・椀・高坏・壺・甕類)、須恵器(甗・甕)、石器(台形石器)、石製品(双孔円板)   | 第2号粘土採掘坑から、「高月郷カ」と記された墨書土器が出土している。当遺跡が所在する地域は「倭文郷」に比定されていることから、交流があったことを知る貴重な資料になる。 |                             |                          |  |
|                   |  | 奈良                   | 堅穴住居跡             | 5軒                 | 土師器(椀・鉢・甕・小形甕・甌)、須恵器(坏・高台付坏・蓋)、土製品(管状土錘・支脚)、石器(砥石)、鉄製品(剣カ・釘)   |   |                             |                          |  |
|                   |  | 平安                   | 堅穴住居跡             | 6軒                 | 土師器(坏・椀・高台付坏・甕)、須恵器(坏・短頸壺・甕)、土製品(支脚・紡錘車)、石器(砥石)  |   |                             |                          |  |
|                   |  | 時期不明                 | 掘立柱建物跡            | 1棟                 | 土師器(坏・甕類・手捏)、陶器(甕)   |   |                             |                          |  |
|                   | その他  | 時期不明                 | 土坑                | 106基               | 土師器(坏・甕・甌)、須恵器(甕)  |   |                             |                          |  |
| 保土通遺跡             | 集落跡  | 古墳                   | 堅穴住居跡             | 1軒                 | 土師器(坏・甕・甌・手捏)、須恵器(甗)、土製品(紡錘車)、石器(磨石)   | 調査区東部からは、近世の窯跡1基とそれに関連する施設と考えられる掘立柱建物跡2棟、柵跡2列、堅穴遺構1基、粘土採掘坑2か所、土坑1基を確認した。            |                             |                          |  |
|                   |  | 近世                   | 道路跡               | 2条                 | 土師質土器(内耳鍋)、陶器(播鉢・甕)、窯道具(トチン)   |   |                             |                          |  |
|                   |  | 時期不明                 | 掘立柱建物跡            | 3棟                 |  |   |                             |                          |  |
|                   | 窯跡   | 近世                   | 窯跡                | 1基                 | 土師質土器(鉢・甕・内耳鍋・播鉢)、陶器(碗・大皿・小皿・鉢・播鉢・甕・仏花瓶・火入・灰吹・徳利把手)、磁器(碗)、土製品(トチン・初団子・輪ドチ・棒状粘土紐・留具・杭・サヤ鉢・窯壁)、鉄製品(椀状滓)、石器(砥石) |   |                             |                          |  |
|                   |  | 時期不明                 | 時期不明              | 土坑                 | 145基   |   | 土師器(甕・手捏)、陶器(片口鉢・七厘)、鉄製品(釘) |                          |  |
| その他               | 時期不明   | 溝跡                   | 15条               |                    |  |   |                             |                          |  |
| その他               | 時期不明   | ピット群                 | 6か所               |                    |  |   |                             |                          |  |
| 要約                | <p>鹿島台遺跡は、古墳時代から平安時代にかけて断続的に営まれた集落跡である。奈良時代は、律令期の計画的な集落形態の様子がうかがえる。</p> <p>保土通遺跡では、古墳時代後期の住居跡1軒が確認できた。集落の中心は当調査区の北側の台地上に広がっていたものと考えられる。また、近世の窯跡とその関連遺構として掘立柱建物跡2棟、柵跡2列、堅穴遺構1基、粘土採掘坑2か所、土坑1基を確認した。窯の操業は短期間であったと想定できる。</p> |                      |                   |                    |  |   |                             |                          |  |

## 印刷仕様

編集 OS Microsoft Windows 7  
Home Premium ServicePack 1  
編集 Adobe InDesign CS4  
図版作成 Adobe Illustrator CS4  
写真調整 Adobe Photoshop CS4  
Scanning 6×7 film Nikon SUPER COOLSCAN9000  
図面類 EPSON ES-10000G  
使用Font OpenType リュウミンPro・L  
写真 線数 モノクロ175線以上 カラー210線以上  
印刷 印刷所へは、Adobe InDesign CS4でレイアウトして入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第355集

### 鹿島台遺跡 保土通遺跡

都市計画道路平野杉本線道路整備  
事業地内埋蔵文化財調査報告書

平成24（2012）年 3月14日 印刷

平成24（2012）年 3月16日 発行

発行 財団法人茨城県教育財団

〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2  
茨城県水戸生涯学習センター分館内

TEL 029-225-6587

H P <http://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 有限会社平電子印刷所

〒970-8024 福島県いわき市平北白土字西ノ内13  
TEL 0246-23-9051